User Guide 取扱説明書

S01SH Ⅱ

SHARP®

EM

EMOBILE

はじめに

このたびは、S01SH Ⅱ（以下、本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
不明な点がございましたらご契約先の問い合わせ窓口(☞ 裏表紙の前ページ)にご連絡ください。

ご利用いただくにあたって

- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また、サービスエリア内であっても、地域的に電波の伝わりにくい場所もありますのであらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は、高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本製品は、日本国内でのご利用を前提としています。海外に持ち出しての使用はできません。
- 本製品は、電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でのご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは登録している情報が消失する恐れがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」(☞0-9 ページ)を必ずお読みください。

携帯電話・PHS 端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず右記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご注意
- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客さまの情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

もくじ

◆ まず使ってみましょう ◆

1 基本操作

2 インターネットや メールを使うための準備

3 インターネット

4 メール

5 ワンセグ TV を見る

6 辞書・PIM 機能

7 映像と音楽

8 パソコンや周辺機器との連携

9 その他の機能

10 設定

11 困ったときは

12 付録

本製品には、本書で説明している以外に次のプログラムがあります。

- Word Mobile
- PowerPoint Mobile
- Excel Mobile
- Picsel PDF Viewer

これらの説明は、付属の Getting Started CD に収録されている『Windows Mobile 6 Office PDF マニュアル』または『Picsel PDF Viewer マニュアル』をご覧ください。

この取扱説明書の用紙は、再生紙を使用しています。

本製品の特徴について

本製品には以下のような特徴があります。

ワンセグ TV を楽しむ

ワンセグ TV☞5-2 ページ

- 地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を楽しめます。
- データ放送（BML 表示モード）も利用できます。

※本製品に搭載されているワンセグを視聴するプログラムについて、プログラム画面に表示されているアイコンの名称は「StationMobile」ですが、この取扱説明書では“ワンセグ TV”と記載しています。

インターネットを使う

Web ブラウザ（Internet Explorer Mobile、Opera Browser）☞3-4、3-14 ページ

- ホームページの閲覧ができます。
- お気に入りのホームページを順番に閲覧できます（ネットウォーカー）。

メール（Outlook、SH メール）☞4-5、4-40 ページ

- インターネットを経由して、パソコンや携帯電話などとメールを送信／受信できます。

映像や音楽を楽しむ

カメラ ☞7-2 ページ

- 静止画や動画を撮影してメールで送ることができます。

Windows Media Player 10 Mobile ☞7-24 ページ

- 本製品やネットワーク上にある音楽、動画を再生できます。

情報を管理する

カレンダー（予定表）☞6-11 ページ

- “予定表”を使ってスケジュールの管理ができます。

アドレス帳（連絡先）☞6-30 ページ

- “連絡先”を使ってアドレスなどを管理できます。

“仕事”☞6-40 ページ

- “仕事”を使って期限を決めて仕事の管理ができます。

わからない言葉を調べる

DicLand 辞書 ☞6-2 ページ

- 調べたい単語（語句）を直接入力して検索したり、メールなどの文章から単語（語句）を取り込んで検索することができます。（『エクシード英和辞典』、『エクシード和英辞典』、『デイリーコンサイス国語辞典』、『英文ビジネスレター事典』を収録）

パソコンと連携する

ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンター ☞8-2 ページ

- パソコンの Microsoft Outlook と本製品の“予定表”や“連絡先”などのデータを同期できます。
- 本製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーできます。

データ通信 ☞8-27 ページ

- 本製品をパソコンのモデムとして使うことができます。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

⚠ **危険**	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図表示の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

⊘ 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

■ S01SH Ⅱ本体の取り扱いについて

⚠ 警告

- 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し､ご契約先の問い合わせ窓口（☞ 裏表紙の前ページ）にご連絡ください。
  そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

- 万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、ご契約先の問い合わせ窓口（☞ 裏表紙の前ページ）にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 必ず専用の機器をご使用ください。指定以外の機器を使用すると、発熱・発火・破裂・故障の原因となります。

- 落雷のおそれがあるときは、すぐに電源を切り安全な場所へ移動してください。

- 車両の運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

- 航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。
  電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカーなどから離して携行および使用してください。
  電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

- 満員電車の中など混雑した場所では付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切って本製品の使用を控えてください。
  電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作することがあります。

- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
  - 手術室､集中治療室（ICU）､冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本製品を持ち込まないでください。
  - 病棟内では本製品の電源を切ってください。
  - ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本製品の電源を切ってください。
  - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

- 自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください｡電波の影響で､電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器に影響を与える場合があります。
  ご注意していただきたい電子機器の例：心臓ペースメーカー、補聴器、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。心臓ペースメーカーやその他医療用電子機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカーもしくは販売業者にご確認ください。

- 本体について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。
  - 分解、改造をしないでください。なお本体の改造は電波法違反になります。
  - 直射日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、火やストーブなどの暖房器具のそばなどの高温の場所で使用および放置しないでください。本体が高温になり、やけどの原因になることがあります。
  - 電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください。
  - ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。
  - 濡れた手で触らないでください。
  - 浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。
  - コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
  - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
  - 本体やアンテナに無理な力を加えないでください。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下して、けがや故障の原因になることがあります。
- 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、本製品に影響を受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、このようなときは電源を切ってください。
- 人が密集している場所では、使用しないでください。アンテナで本人や他の人にけがをさせる原因となります。
- アンテナが壊れたままで、使用しないでください。触ったときにやけど、けがの原因となります。
- アンテナを持って振り回さないでください。本人がけがをしたり他の人にけがをさせる原因となります。また故障の原因となります。
- 長時間の連続使用などで本製品が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
- ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。故障の原因となります。

⚠ 注意

- **皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。お客さまの体質や体調によってはかゆみ・かぶれ・湿疹などを生じるおそれがあります。**

  本製品は以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。

部位	材料
本体上下キャビネット（電池カバー含む）	PC+ABS 樹脂アクリル系塗料（下地：アクリル樹脂塗料）、SUS ニッケルメッキ（下地：銅）
表示キャビネット	ABS 樹脂アクリル系塗料（下地：アクリル樹脂塗料、アクリル系 UV 硬化塗装、不連続蒸着、ビニル系樹脂塗料）
表示下キャビネット	PC+ABS 樹脂アクリル系塗料（下地：アクリル樹脂塗料）
フォーカスリング	ABS 樹脂アクリル系塗料（下地：アクリル系 UV 硬化塗装、不連続蒸着、ビニル系樹脂塗料）
ボリュームボタン シャッターボタン 縦横表示切替ボタン	PC+ABS 樹脂アクリル系塗料（下地：アクリル樹脂塗料）
電源スイッチ スタイラスペン	ポリアセタール樹脂
miniSD カバー イヤホンマイクカバー RGB アダプタカバー	PC 樹脂アクリル系塗料
AC アダプタジャックカバー	エラストマー
ポインティングデバイス	ABS 樹脂アクリル系塗料（下地：アクリル系 UV 硬化塗装、不連続蒸着、ビニル系樹脂塗料）
インジケータランプ	アクリル樹脂
アンテナ（キャップ） アンテナ	ABS 樹脂 SUS/ 黄銅 /PA/ エラストマー（SUS/ 黄銅：三価クロムメッキ、ニッケルメッキ）
タッチパネル	PET 樹脂 /PC 樹脂（アクリル系ハードコート）
キーボード	PC 樹脂アクリル系ＵＶ硬化塗装（下地：アクリル系２液硬化塗装）
カーソルボタン	ABS 樹脂、PC 樹脂下地ニッケルメッキ、表面クロムメッキ
タブレット	SUS ニッケルメッキ（下地：銅）
電池パック裏板金 電池パック端子	SUS PA9T 樹脂 /SUS 内部コンタクト：ベリリウム銅合金（金メッキ、下地ニッケルメッキ）
スクロールホイール	PA 樹脂
AC アダプタジャック	PBT 樹脂内部コンタクト：コルソン系銅合金（金メッキ、下地ニッケルメッキ）
クレードル端子	LCP 樹脂 / リン青銅合金内部コンタクト：コルソン系銅合金（金メッキ、下地ニッケルメッキ）/ 外部スズメッキ（下地銅）
EM chip トレイ	ポリアセタール樹脂
ネジ	SWCH12AT 三価クロムメッキ（下地：ニッケル）

⚠ 注意

- miniSD カードを取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。miniSD カードを装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、カードが飛び出し危険です。

- 小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

- クレジットカードなどを本製品に近づけないでください。クレジットカードなどの磁気カードのデータが消えるおそれがあります。

■電池パックの取り扱いについて

⚠ 危険

- 電池パック（リチウムイオン電池パック）について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。
  - ・本製品で使用できる電池パックは、PBS01SHZ10 または別売の PBS02SHZ10 です。これ以外の電池パックは使用しないでください。
  - ・装着するとき、電池パックの向きが決められています。本製品にうまく装着できないときは、無理をしないでください。電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
  - ・充電には、付属の AC アダプタ（PCS01SHZ10）以外のものを使用しないでください。また、電池パックは指定機器以外の機器には使用しないでください。
  - ・直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所に放置しないでください。
  - ・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
  - ・外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
  - ・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
  - ・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
  - ・端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
  - ・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。

⚠ 危険

・ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。

- 電池パックからもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い､すぐに医師の治療を受けてください｡失明のおそれがあります｡

⚠ 警告

- 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
  ・電子レンジや高圧容器に入れないでください。
  ・濡れた手で触らないでください。
  ・コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
  ・水や海水に浸けたり、雨滴などで濡らさないでください。万一、濡れた場合には、直ちに使用を止めてください。
  ・電池パックから液がもれたり異臭がするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。
  ・液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
  ・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

- 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し､ご契約先の問い合わせ窓口（☞ 裏表紙の前ページ）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

⚠ 注意

- 次のことをお守りください。
  ・小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。
  ・乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が本製品から取り出さないように注意してください。間違えて飲みこむなど、事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

・充電は必ず 0 ～ 40℃の範囲で行ってください。
・充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

- 電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

- 電池パックを本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、電池パックを本体に装着しないでご契約先の問い合わせ窓口（☞ 裏表紙の前ページ）にご連絡ください。

■ AC アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

- 本体に接続する AC アダプタは、必ず付属の PCS01SHZ10 を使用してください。他の AC アダプタは使用しないでください。

- 付属の AC アダプタはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

- 使用されないときには、安全のため、AC アダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。

- 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。すぐに AC アダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、ご契約先の問い合わせ窓口(☞ 裏表紙の前ページ)にご連絡ください。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

- 濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

- 次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

  ・AC アダプタを水やその他の液体につけたり、濡らしたりしないでください。
  ・AC アダプタおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

・お客さまによる改造や分解・修理はしないでください。
・AC アダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
・AC アダプタに針金などの金属を差し込んだりしないでください。
・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

● 落雷のおそれがあるときは、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。

● 長期間使用されないときには、安全のため、AC アダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。

⚠ 注意

● AC アダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

● 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。

・周囲温度 0 ～ 40℃、湿度 35 ～ 85%の範囲でご使用ください。
・直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。
・ほこりの多い場所に置かないでください。
・落下させたり衝撃を与えないでください。
・コードの根元部分を無理に曲げないでください。
・重いものを載せないでください。
・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
・布などでくるまないでください。
・電子レンジや高圧容器に入れないでください。

■ EM chip（USIM カード）の取り扱いについて

⚠ 警告

- EM chip の取り付けや取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。また、取り付け、取り外しの際には過剰な力を加えますと故障の原因にもなりますのでご注意ください。

⚠ 注意

- EM chip の IC 部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要な IC 部分への接触は避けてください。
- 分解や改造はしないでください。データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねます。
- 火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用および放置しないでください。溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。
- 本製品を使用中、EM chip 自体に熱を持つことがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- EM chip は当社が指定した機器にてご使用ください。指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねます。
- 落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。
- 低温・高温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理器や高圧となる容器に EM chip を入れないでください。溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。
- 小児が使用する際に、保護者が使用方法を間違えていないか確認し、正しい取扱い方法を教えてください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。

⚠ 注意

- **小児や乳幼児が誤って EM chip を飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chip は、小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。**

- **その他、本来の用途とかけ離れた方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。**

■ USB ケーブルの取り扱いについて

⚠ 危険

- **分解、改造をしないでください。**
  火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

- **火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。**
  機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。

- **濡らさないでください。**
  水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

⚠ 警告

- **電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、入れないでください。**
  故障や火災の原因となります。

- **強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。**
  故障や火災の原因となります。

- **端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。**
  ショートによる火災や故障の原因となります。

- **雷が鳴り出したら、USB ケーブルには触れないでください。**
  落雷、感電の原因となります。

⚠ 注意

- **USBケーブルは、対応機種以外にはご使用にならないでください。**
  指定の機器以外のものを接続した場合、破損の原因となります。

- **子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。**
  けがなどの原因となります。

- **乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
  誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

- **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。**
  故障の原因となります。

- **USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。**
  コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

- **USBケーブルのコードの上に重いものを載せたりしないでください。**
  感電、火災の原因となります。

■付属CD-ROMの取り扱いについて

⚠ 警告

- **付属のCD-ROMは、一般オーディオ用のCD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。再生音によって耳を痛めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。**

使用上のお願い

共通

●本製品は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境下では使用しないでください。また洗濯機では洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合保証の対象外となります。

●次のような極端な温度環境での使用は避けてください。

・直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近く。
・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

●エアコンの吹出口の近くなどで使用しないでください。

・温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。

●落としたり強い衝撃を与えたり曲げたりしないでください。

・落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。

●汚れたり水滴がついたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

・アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学ぞうきんの使用は、本製品の表面を傷めるおそれがありますので、使用しないでください。
また、洗濯機で洗わないでください。

●衣類のポケットにこもった汗の湿気が、故障の原因になるおそれがあります。持ち運ぶときには十分ご注意ください。

●無理な力がかかるような場所に置かないでください。

●荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。

●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

本体

●使用中に本製品が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。

そのままお使いください。
ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

●お客さまご自身で本製品に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●ズボンやスカートの後ろポケットなどに本製品を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

●本体を直射日光の当たる所に放置しないでください。変色を起こす場合があります。

●持ち運ぶときや使用しないときは、必ずキーボードを閉じて、付属のケースに入れてください。ケースに入れずに持ち運ぶと、画面が割れたり傷ついたりします。

●画面は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。汚れたまま画面をタップすると傷つくことや、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

●表示部を開いた状態で表示部だけを持って移動したり、振り回したりしないでください。本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。

●画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。画面などを傷めることがあります。

●本体の上に書類などをのせないでください。
誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。

●突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。

●スタイラスペンの先や画面の汚れを取って操作してください。
汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

●使用中に、強い磁石を近づけないでください。
故障の原因となります。

電池パック

●電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

●直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態で本製品または充電器から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

AC アダプタ

●充電中、AC アダプタが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。

●強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。

EM chip（USIM カード）

●IC 部はいつもきれいな状態でご使用ください。

●お客さまご自身で EM chip に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●EM chip を本製品に取り付けるときや取り外しのときに注意してください。必要以上の力をかけると、手や指を傷つけたり、EM chip の破損の原因となります。

●EM chip は当社指定のものを使用してください。指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。

●他社の IC カードを本製品に挿入しないでください。故障した場合、お客さまの責任となり、当社では一切の責任を負いません。

●IC 部は傷つけたり、ショートさせたりしないでください。故障の原因となります。

●使用中、EM chip が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

カメラ

●カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

●大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。

●お客さまが本製品を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条令（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

●販売されている書籍や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

USB ポート／カードスロット

●USB ポートや miniSD カードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記録内容の消失の原因になります。

●USB ポートや miniSD カードスロットなどにはカバーがあります。使用していないときは、カバーを閉じてください。

液晶表示

●液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

●画面タップの操作は､付属のスタイラスペンを使ってください｡鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものは、使わないでください。

ハンドストラップ

- **ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。**

公衆の場で使用するとき

- **テレビ、ラジオ、携帯電話機など電磁波が発生する物の近くで使用しないでください。お互いに影響を受ける場合がありますので、なるべく離れて使用してください。**

- **本製品が持つ通信機能は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。**

著作権等に関するお願い

音楽用 CD 等各種 CD、TV 映像等、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法で認められた条件の下で、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
著作権にかかわる画像やサウンドの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。
実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、本製品にはデジタルカメラ機能が搭載されていますが、このデジタルカメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

免責事項

- 地震や水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断、トラブル・記録内容の変化消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

- Microsoft、ActiveSync、Outlook、Word Mobile、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、Windows、Windows Media、Windows ロゴ、MSN ロゴ、Office ロゴは、米国およびその他の国における米国マイクロソフト社の登録商標または商標です。
- Bluetooth® is a registered trademark of the Bluetooth SIG, Inc.
  The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
  Bluetooth QD ID B012368
- Bluetooth® は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- miniSD ™は SD アソシエーションの商標です。
- Flash および Macromedia は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- Marvell® は Marvell International Ltd. の登録商標です。
- Picsel、Picsel Powered、Picsel Viewer、Picsel File Viewer、Picsel Document Viewer、Picsel PDF Viewer また Picsel キューブロゴは Picsel Technologies の商標、または登録商標です。
- Opera は、Opera Software ASA の商標または登録商標です。
  Opera に関する詳細については、http://jp.opera.com/ をご覧ください。
- 「ATOK」および「APOT」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標または商標です。

- StationMobile ™は、株式会社ピクセラの商標です。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- フリーダイヤルのサービス名称とロゴマークはNTTコミュニケーションズの商標です。
- この製品に収録されているDicLand辞書のデータは、下記の辞典・事典にもとづいています。
  - 『エクシード英和辞典』©2002
    編者：三省堂編修所
  - 『エクシード和英辞典』©2002
    編者：三省堂編修所
  - 『デイリーコンサイス国語辞典 第3版』©2002
    編者：佐竹秀雄・三省堂編修所
  - 『キーワードで引く英文ビジネスレター事典』©2002
    監修：橋本光憲
    編者：三省堂編修所
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

Bluetooth およびワイヤレス LAN に関するご注意

- **電波法に基づく適合証明について**

  本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。
  下記のことは行わないでください。法律で罰せられることがあります。
  - 本製品に内蔵のBluetoothモジュールおよびワイヤレスLANモジュールを分解、改造する。
  - 本製品の電池パックを外した位置にあるラベルをはがす。

  - BluetoothおよびワイヤレスLAN搭載機器が使用する周波数帯は、本体に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4FH1 ■■■

2.4DS/OF4 ■■■

①「2.4」	：使用する周波数帯域を表します（2.4GHz帯）。
②「FH/DS/OF」	：変調方式を表します（FH-SS方式/DS-SS方式/OFDM方式）。
③「1」	：想定される与干渉距離を表します（約10m）。
④「4」	：想定される与干渉距離を表します（約40m）。
⑤「■■■」	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

・ **電波干渉に関するご注意**

本製品の Bluetooth およびワイヤレス LAN の使用周波数帯は 2.4GHz です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止してください。
3. 医療機器（心臓ペースメーカー）などの動作に影響を与える場合がありますので、病院内などにいる時や、混雑した場所（満員電車の中など）では、Bluetooth およびワイヤレス LAN を無効にしてください。

・ **使用上のご注意**

本製品は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

Bluetooth についてのお願い

- 本製品は、Bluetooth を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で Bluetooth を使う場合、他のワイヤレス LAN 機器と 10m 以上離してください。10m 以内に他のワイヤレス LAN 機器がある場合は、ワイヤレス LAN 機器の電源を切ってください。

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意（お客さまの権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して、本製品とワイヤレスアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレスアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
ワイヤレス LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客さまがセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスアクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
※他社製のワイヤレス LAN 機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。
当社では、お客さまが、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）のワイヤレス LAN のセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN2/index.html

取扱説明書の表記

ボタンやキーの表記

・画面上のメニューやボタンなど........ ・ メニュー などと表記します。
・キーボードのキー .... ・『Ⓐキー』などと表記します。
・キーの上に表示されている「Del」などの機能は、『(BS)（Del）キー』などと表記します。
・カーソルボタンは、『(カーソル)ボタン』と表記します。

操作手順の表記

本製品を操作するには、次の 3 つの方法があります。
・ボタンやキーを押して操作する
・スタイラスペンで画面をタップして操作する
・マウスポインターを使って操作する
※ 主に横表示の場合を説明しています。また、画面上のボタンを押す操作は、画面タップで説明しています。

マーク

MEMO　補足的なことを説明しています。

!ご注意　注意していただきたいことを説明しています。

☞　参照する取扱説明書のページを指しています。

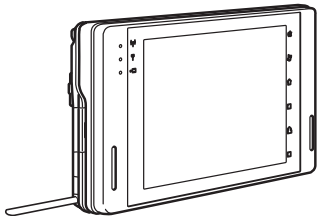
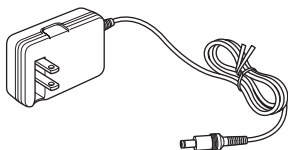
表示画面

・ 本書に記載されている画面例は、横表示のものを掲載しています。
・ 本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

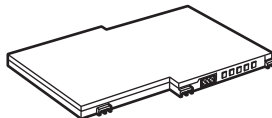
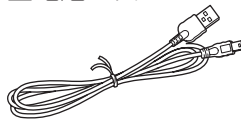
付属品

同梱物

■箱の中には次のものが入っています。

□本体

□スタイラスペン（本体に装着）

□電池パック

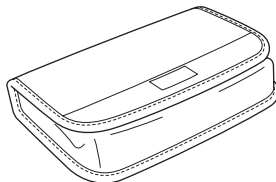
□USBケーブル

□ACアダプタ

□S01SHⅡ用CD-ROM
□保証書
□安全にお使いいただくために
□はじめにお読みください

上記以外に小冊子が入って
いることがあります。

ご購入時に箱とは別にお渡しするもの

□取扱説明書（本書）※

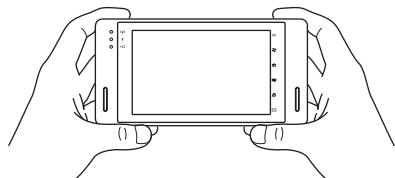
※ 当商品は日本国内向けであり、
日本語以外の説明書はありません。
This model is designed exclusively
for Japan, with manuals in Japanese only.

□ケース

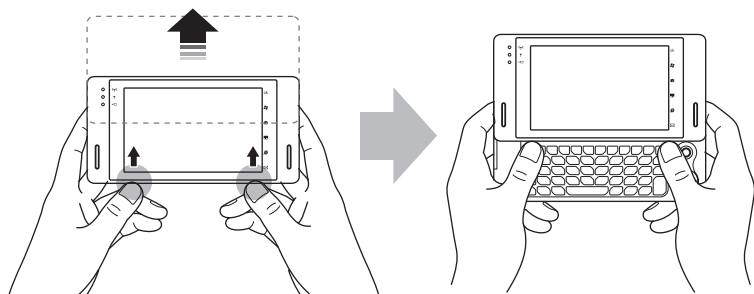
・ 本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。
・ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
・ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
・ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
・ 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

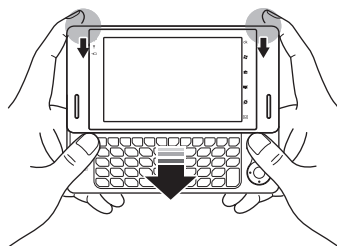
まず使ってみましょう

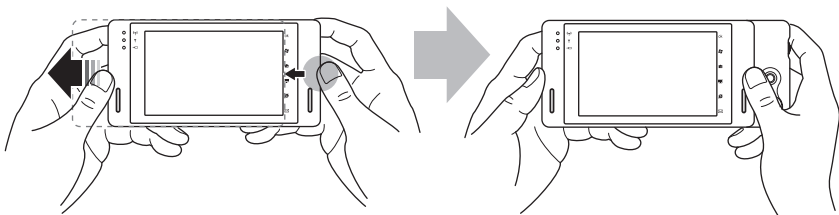
“スタイル”を切り替えてみよう

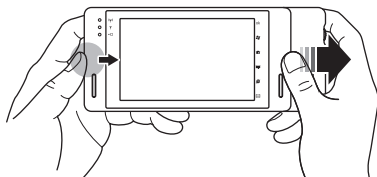
本製品には、画面タップに適した「ビュースタイル」、文字入力に適した「インプットスタイル」と、画面の閲覧に適した「コントロールスタイル」があります。
まず、この“スタイル”を切り替えてみましょう。

ビュースタイル 画面タップに適したスタイルです。

インプットスタイル 文字入力に適したスタイルです。

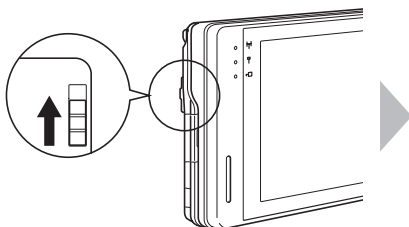
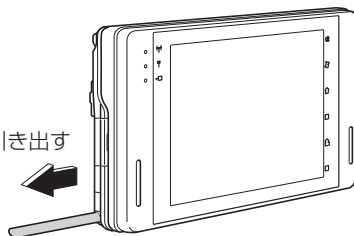
1 ● 部分を軽く押して、表示部をスライドさせて開きます。

2 閉じるときは、● 部分を軽く押して表示部を閉じます。

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

コントロールスタイル 画面の閲覧に適したスタイルです。

1 ● 部分を軽く押して、表示部をスライドさせて開きます。

2 閉じるときは、● 部分を軽く押して表示部を閉じます。

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

電源を入れてみよう

1 電源スイッチを矢印の方向に約 1 秒間押して電源を入れます。

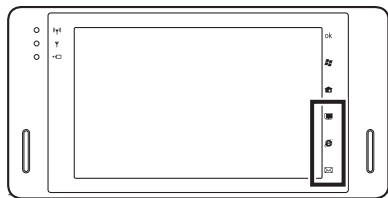
Today 画面が表示されます。

2 スタイラスペンを取り出します。

プログラムを起動しよう

4 種類の起動方法があります。

スタートメニューから起動する

1 画面左上の スタート をタップします。

2 表示されたメニューから “予定表”などをタップします。

タブレットキーから起動する

1 タブレットキーの 、、 をタップします。

ワンセグ TV 視聴ソフトや Web ブラウザソフト、メールソフトが起動します。

ホームメニュー画面から起動する

1 タブレットキーの をタップします。

2 起動したいプログラム（ “連絡先” など）をタップします。

プログラム画面から起動する

1 画面左上の スタート ▶ “プログラム”をタップします。

2 起動したいプログラム（ “DicLand”など）をタップします。

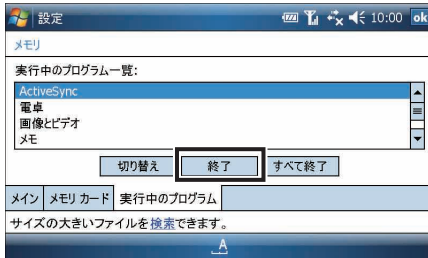
プログラムを終了しよう

画面右上の ✕ や ok をタップして画面が消えても、そのプログラムは終了していません。使用していないプログラムは、以下の操作で終了してください。起動したままでは、プログラム実行用メモリが不足し、動作が遅くなることがあります。

1 Today 画面を表示します。

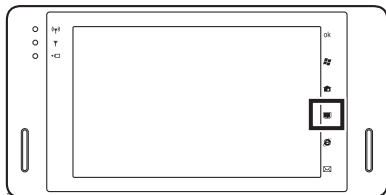
2 Today 画面で、「 実行中のプログラム：X 件」をタップします。

メモリ画面（実行中のプログラム タブ）が表示されます。

3 終了したいプログラム名を選び、終了 をタップします。

ワンセグ TV を見てみよう

地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を視聴できます。
あらかじめチャンネル設定など、必要な準備をしてください（☞5-5 ページ）。

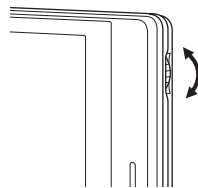
1 アンテナを引き出します（☞5-4 ページ）。

2 タブレットキーの をタップします。

3 他アプリケーションの終了確認画面が表示されたら はい をタップします。

他アプリケーションの終了確認画面が表示されないときは、テレビ画面が表示されます。

4 ワンセグ TV 視聴ソフトが起動し、テレビ画面（BML 表示モード）が表示されます。

画像ははめ込みです。

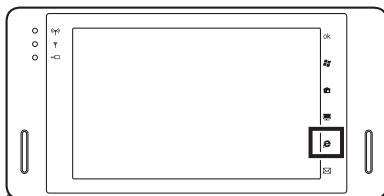
5 スクロールホイールを回してチャンネルを選びます。

6 音量調節ボタンで音量を調節します。

7 ワンセグ TV を終了するときは、画面右上の をタップし、表示された確認画面で、はい をタップします。

ホームページを見てみよう

- **HSDPA 通信を使ってインターネットに接続する場合**
  あらかじめ必要な情報は本製品に設定（☞2-4 ページ）されていますので、以下の手順を行ってホームページの閲覧ができます。
- **内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続する場合**
  接続するための設定が必要です。2-5 ページをご覧になり設定を行った後、以下の手順を行ってください。

1 **タブレットキーの をタップします。**

Internet Explorer Mobile が起動します。
インターネットに接続し、入力したURL のホームページが表示されます。

アドレスバー
移動ボタン

※この画面は、実際に接続したときに表示される画面とは異なります。

2 **アドレスバーに URL を入力し、（移動ボタン）をタップします。**

見たいホームページが表示されたら、次の操作でいったんインターネット接続を終了します。

3 **HSDPA 通信で EM モバイルブロードバンドに接続した場合は、タイトルバーの をタップし、表示された画面の 切断 をタップします。**

他にもこんなことができます

メールの送受信をしよう

まず、メールを送受信するためのアカウント設定を行います。

- メール（Outlook）のアカウント設定　☞4-7 ページ
- SH メールのアカウント設定　☞4-40 ページ

設定を完了後、メールの送受信を行います。

パソコンと連携して使おう

- パソコンとデータを同期する　☞8-2 ページ
- 本製品をパソコンのモデムとして利用する　☞8-27 ページ

設定を変えてみよう

- Today 画面を設定する　☞10-2 ページ
- ボタンを設定する　☞10-6 ページ
- スタートメニューを設定する　☞10-7 ページ
- 他人が使えないようにロックする　☞10-7 ページ
- 音と通知を設定する　☞10-11 ページ
- バックライトを減光（最小輝度）するまでの時間を設定する　☞10-18 ページ
- パワーマネージメントを設定する　☞10-21 ページ
- メモリを確認する　☞10-26 ページ
- メモリ不足を解消する　☞10-27 ページ
- マウスポインターの設定をする　☞10-24 ページ
- アラームを設定する　☞10-33 ページ
- アラーム通知画面を消す／再通知する　☞10-34 ページ
- 画面の設定をする　☞10-36 ページ

基本操作

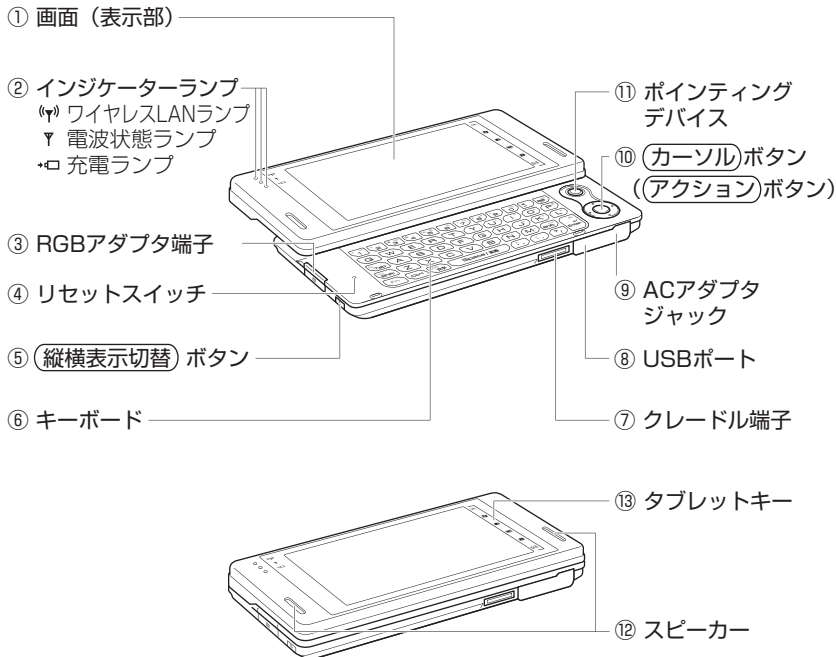
基本的な使いかた

本製品の基本的な使いかたについて説明します。

各部のなまえと働き

各部のなまえとその働きを覚えましょう。

正面・左側面

① 画面（表示部）
② インジケーターランプ
　ワイヤレスLANランプ
　電波状態ランプ
　充電ランプ
③ RGBアダプタ端子
④ リセットスイッチ
⑤ 縦横表示切替 ボタン
⑥ キーボード
⑦ クレードル端子
⑧ USBポート
⑨ ACアダプタジャック
⑩ カーソル ボタン（アクション ボタン）
⑪ ポインティングデバイス
⑫ スピーカー
⑬ タブレットキー

①画面（表示部）

各種のデータを表示します。また、付属のスタイラスペンでタップして操作します（☞1-16 ページ）。

②インジケーターランプ

本製品の状態をランプの光りかたで表します。

ワイヤレス LAN ランプ

ワイヤレス LAN を有効（オン）にすると緑色点灯します（☞2-8 ページ）。

電波状態ランプ

電波強度（☞1-40 ページ）などを表します。

緑色に点灯※1	
オレンジ色に点灯※1	
赤色に点灯※1	
消灯	圏外（エリア外であることを示します。）
青色に点灯	未読のメールがあることを示します。※2

※1：電波状態アイコン（☞1-40ページ）と連動します。

※2：未読メールがあると青色に点灯したままになります。電波状態を示すランプに戻すには、未読を既読にするなどしてください。

充電ランプ（☞1-7 ページ）

オレンジ色に点灯	充電中であることを示します。
黄緑色に点灯	満充電であることを示します。
赤色に点滅※1	電池残量が少なくなっていることを示します。
黄緑色に点滅	予定表などのアラームを知らせます。※2
オレンジ色に点滅	充電中に異常が発生したことを示します。

※1：ACアダプタ使用時、赤色点滅はしません。

※2：点滅する／しないを設定できます（☞10-12ページ）。

③RGB アダプタ端子

別売の RGB アダプタを使って、RGB 外部機器に接続し、外部ディスプレイに表示することができます（☞10-28 ページ）。通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

④リセットスイッチ

画面タップやキー操作が正しく働かないときなどに、付属のスタイラスペンで押します。リセット（再起動）がかかります（☞12-2 ページ）。

⑤（縦横表示切替）ボタン

・ 画面を縦表示から横表示へ切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えます。ただし、カメラ撮影時（☞7-4 ページ）は、切り替わりません。
・ 長く（約 2 秒）押すと、キーロックします。キーロックの状態になるとボタンやキー、画面をタップしても動作しません（タイトルバーに 🔒 が表示されます（☞1-16 ページ））。
キーロックを解除するには、このボタンを長く（約 2 秒）押します。

⑥キーボード

キーボードを引き出して、キーボードを使って文字を入力できます（☞1-19 ページ）。

⑦クレードル端子

別売のクレードルに接続します。

⑧ USB ポート

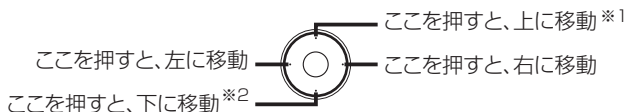
付属の USB ケーブルを接続し、パソコンなどと接続します（☞8-9 ページ）。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

⑨AC アダプタジャック

付属の AC アダプタを取り付けます。
他の AC アダプタは取り付けないでください。故障の原因になります。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

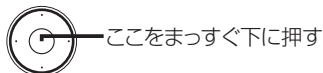
⑩ (カーソル) ボタン（ (アクション) ボタン）

上下左右を押すと、カーソルが上下左右に動きます。

ここを押すと、上に移動※1
ここを押すと、左に移動
ここを押すと、右に移動
ここを押すと、下に移動※2

※ 1 ATOK 使用時、文字入力に「かな漢字変換」モード未確定文字がある場合は、変換されます。
※ 2 ATOK 使用時、文字入力に「かな漢字変換」モードで未確定文字がある場合は、推測変換候補ウィンドウの文字を選択できます。

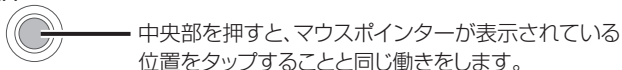
(アクション) ボタン

- 中心をまっすぐ押すと、キーボードの (Enter) キーに相当する操作を行います（プログラムや設定画面によって、動きが異なることがあります）。
- 文字入力時は、未確定文字が決定されます。

ここをまっすぐ下に押す

⑪ポインティングデバイス

中央部を各方向（360°）にスライドすると、マウスポインターが表示されます。
各方向（360°）にスライドすると、その方向にマウスポインターが移動します。

中央部

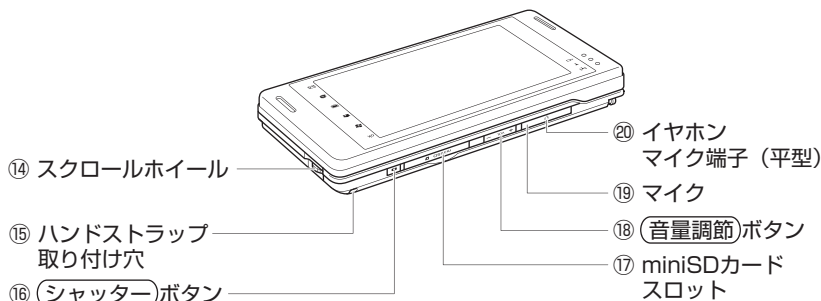
中央部を押すと、マウスポインターが表示されている位置をタップすることと同じ働きをします。

⑫スピーカー

“予定表”のアラームや再生している音楽、“ワンセグ TV”の音声などが聞こえます。
※イヤホンなどを接続しているときは、イヤホンから聞こえます。

⑬タブレットキー

タップするとアプリケーションの起動などを実行します（☞1-15 ページ）。

右側面・上面

⑭ スクロールホイール
⑮ ハンドストラップ取り付け穴
⑯ (シャッター)ボタン
⑳ イヤホンマイク端子（平型）
⑲ マイク
⑱ (音量調節)ボタン
⑰ miniSDカードスロット

⑭スクロールホイール

スクロールバーなどが表示されているときなどに、画面をスクロールさせることができます。またホイールを回す量によって、スクロールする量が変わります。

- "ワンセグ TV"を視聴しているときは、チャンネルが切り替わります。
- アプリケーションや画面によって、動きが異なることがあります。
  ※"Picsel PDF Viewer"など一部のプログラムでは動作しません。また、"メール（Outlook）"では一覧画面では動作し詳細画面では動作しないという制限があります。

⑮ハンドストラップ取り付け穴

市販のハンドストラップを取り付けます。

⑯ (シャッター) ボタン

内蔵カメラ使用時、写真を撮影します（☞7-4 ページ）。
長く（約 1 秒）押すと、"カメラ"が起動します。

⑰miniSD カードスロット

市販の miniSD カードを装着します（☞1-57 ページ）。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

⑱ (音量調節) ボタン

- 音量の調節をします。
  ＋：音量が大きくなります。　－：音量が小さくなります。

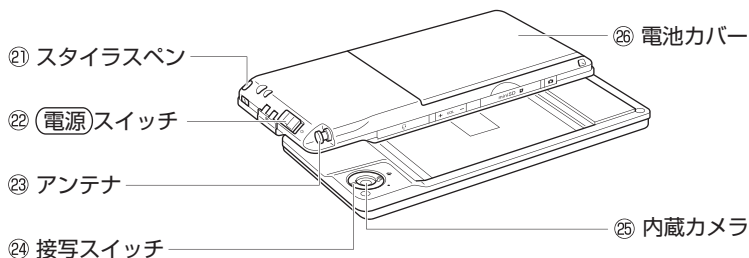
⑲マイク

声や音を録音します。

⑳イヤホンマイク端子（平型）

イヤホンマイクなどを接続します。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。
※イヤホンマイク端子に接続するイヤホンマイクなどの形状によって、キーボードを引き出すことができない場合があります。

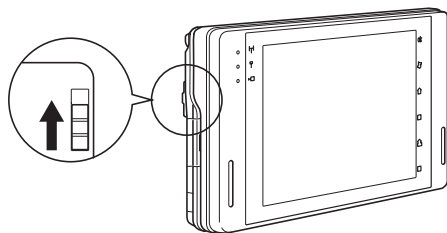
背面

㉑ スタイラスペン
㉒ (電源)スイッチ
㉓ アンテナ
㉔ 接写スイッチ
㉕ 内蔵カメラ
㉖ 電池カバー

㉑スタイラスペン

画面をタップしたり、画面に文字を書きます（☞1-16 ページ）。

㉒ (電源) スイッチ

電源の入／切ができます（☞1-13 ページ）。

・ 矢印の方向に約 1 秒間押すと電源が入ります。

・ 電源が入っているとき、約 1 秒間押すと電源が切れます。

㉓アンテナ

ワンセグ TV を視聴するときに、伸ばして使用します（☞5-4 ページ）。

㉔接写スイッチ

名刺や QR コードなどを撮影するときに切り替えます（☞7-17 ページ）。

㉕内蔵カメラ

写真を撮影します（☞7-4 ページ）。

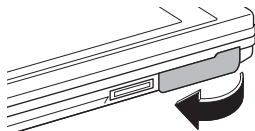
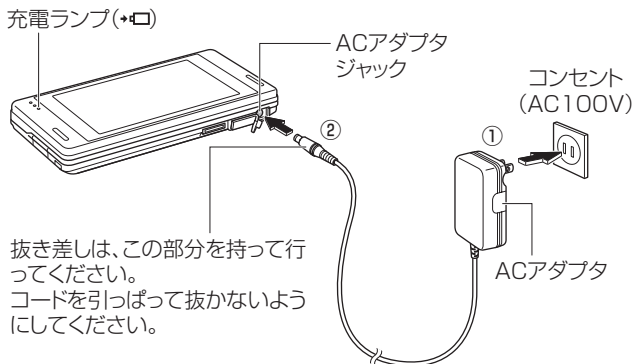
㉖電池カバー

このカバーを外し、電池パックを取り外したり取り付けます（☞12-8 ページ）。

電池カバーを取り外しているときは、電源は入りません。

充電する

本製品を使用中に電池残量が少なくなったときは、すぐに本製品の専用充電器である付属の AC アダプタ（PCS01SHZ10）を使って電池パックを充電してください（他の AC アダプタは使用しないでください）。

1 AC アダプタのカバーを開きます。

2 下図のように①、②の順で、AC アダプタを接続します。

充電ランプがオレンジ色に点灯して、充電が始まります。

3 満充電になると、充電ランプが黄緑色になり、充電が完了します。

また、AC アダプタを抜くとタイトルバーの電池残量のアイコンが ▮▮▮ になります。

電池残量はパワーマネージメント画面（ バッテリ タブ）(☞10-21 ページ) でも確認できます。

電源を切った状態で満充電になるまでに、通常、常温 25℃で約 3.5 時間かかります（電池残量や周囲温度によって変わります）。

また、本製品を使用しながら充電を行うと、満充電になるまでには長い時間がかかります。使用状態（データ通信など）によっては、消費電流が多いため充電されないことがあります。

4 AC アダプタを本製品のジャックから抜き、コンセントから取り外します。

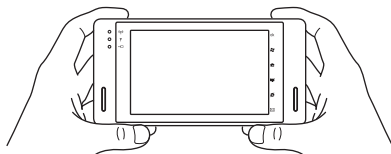
ご注意
- 必ず本製品に付属の AC アダプタ（PCS01SHZ10）を使用してください。
- AC アダプタを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。本製品または AC アダプタが故障することがあります。

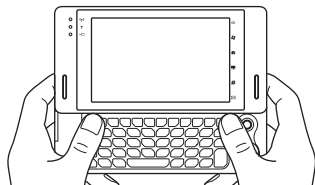
MEMO
- 充電は、周りの温度が 0 ～ 40℃の場所で行ってください。温度が変わると充電時間が長くなることがあります。また、充電は満充電するまで行ってください。
- 長時間使用しなかった電池パックの充電には、通常より多くの時間がかかります。
- 電池パックについては、12-7 ページをご覧ください。
- 充電中に本製品や AC アダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。

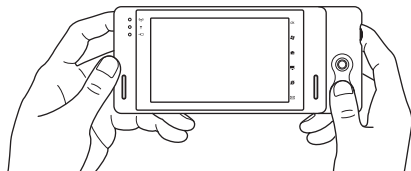
使うスタイルを切り替える

本製品には、主に画面タップで操作するビュースタイルや、文字入力に適したインプットスタイルと画面の閲覧に適したコントロールスタイルがあります。

ビュースタイル

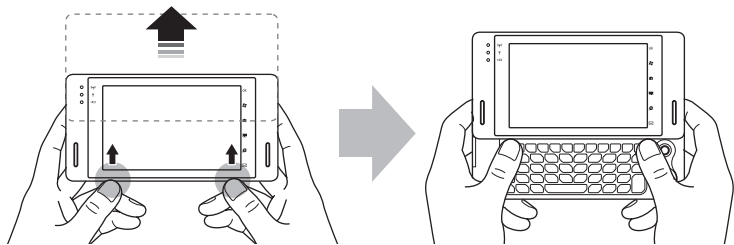
主に画面タップで操作するスタイルです。

インプットスタイル

文字入力に適したスタイルです。キーボードを使って快適に文章の入力ができます。切り替えかたについては、次ページをご覧ください。

コントロールスタイル

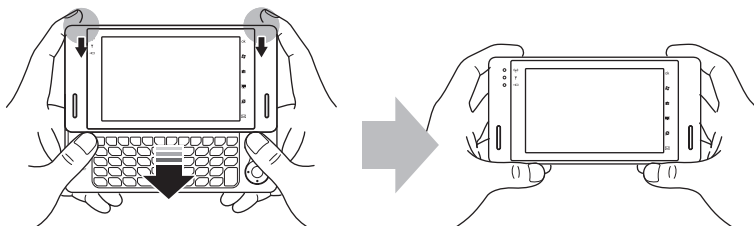
図のようにポインティングデバイスや （カーソル） ボタンで操作するのに適したスタイルです。切り替えかたについては、次ページをご覧ください。

インプットスタイルへ切り替える

キーボードを正しく開きます。また、閉じます。
キーボードを使う場合、キーボードを開いてから行ってください。

1 **● 部分を軽く押して、表示部をスライドさせて開きます。**

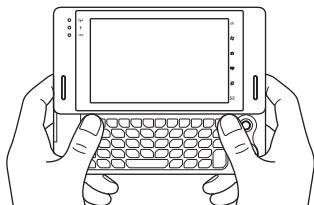
しっかりと開いてください。

縦表示のときにスライドさせると、横表示に切り替わります。

2 **● 部分を軽く押して、表示部を閉じます。**

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

MEMO ● 画面を切り替えるときは、（縦横表示切替）ボタン（☞1-2 ページ）を押します。

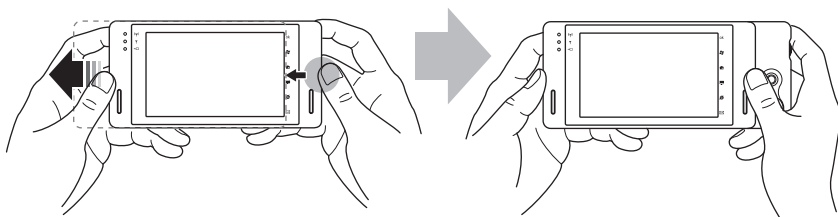
!ご注意 ● **持ち運ぶときは**
必ずキーボードを閉じてください。キーボードを開いたまま持ち運ぶと、破損の原因になります。

キー操作をするときの持ちかたについて

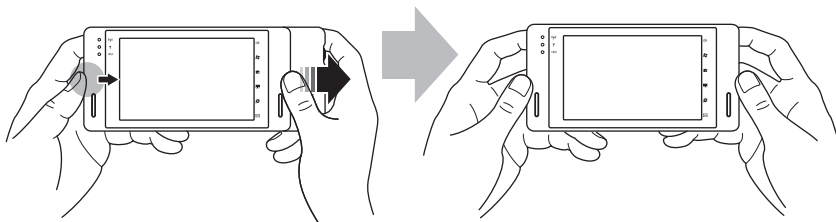
本製品を使って文字入力や登録したデータを見るためにキー操作などを行うとき、下図のように両手で本製品を下から支えるようにして持つことをおすすめします。

コントロールスタイルへ切り替える

（カーソル）ボタンやポインティングデバイスのみを開き、操作することができます。カメラを使用するときも、この状態にします。

1 **● 部分を軽く押して、表示部をスライドさせて開きます。**

しっかりと開いてください。

ご購入時の設定は、横表示になっています。

2 ● 部分を軽く押して、表示部を閉じます。

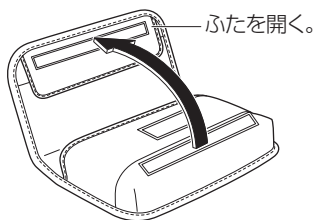
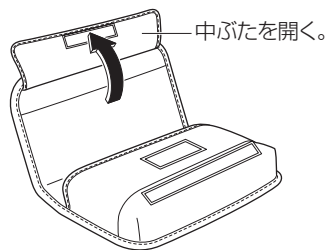
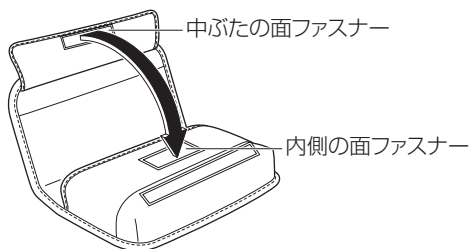
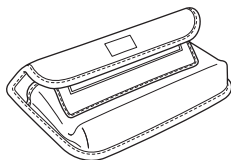
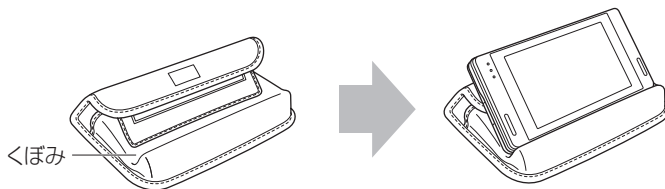
「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

MEMO ● 画面を切り替えるときは、（縦横表示切替）ボタン（☞1-2 ページ）を押します。

ご注意 ● **持ち運ぶときは**
必ず閉じてください。開いたまま持ち運ぶと、破損の原因になります。

ケースに置いて使う

本製品に付属のケースは、持ち運ぶときに使用するだけではなく、本製品の台として使用することができます。

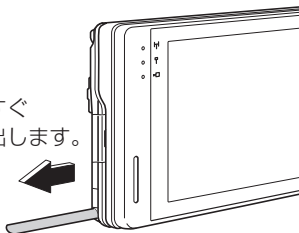
1 ケースのふたを開きます。

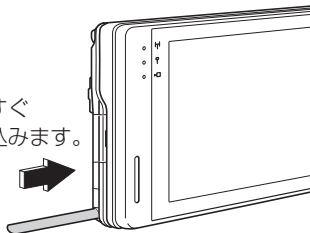
ふたを開く。

2 ケースの中ぶたを開きます。

3 開いた中ぶたの面ファスナーを内側の面ファスナーに合わせます。

4 ふたの部分を図のように折り曲げます。

5 本製品をくぼみに合わせて置きます。

ご注意 ● 不安定な場所ではケースの上に置かないようにしてください。本体が落ちて故障の原因になります。

スタイラスペンを取り出す／取り付ける

スタイラスペンを正しく取り出します。また、取り付けます。

スタイラスペンを取り出す

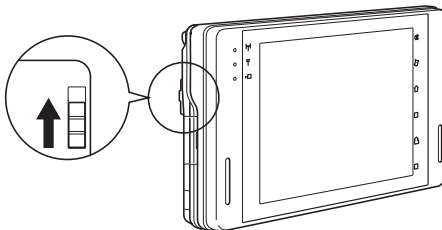
まっすぐ
引き出します。

スタイラスペンを取り付ける

まっすぐ
差し込みます。

ご注意 ● スタイラスペンで画面をタップするとき、手が画面に触れないように注意してください。

電源を入れる／切る

1 （電源）スイッチを矢印の方向に約 1 秒間押します。

2 電源が入り、画面が表示されます。

スタート 10:00
2007年10月15日
未読メッセージはありません
: OFF : OFF : ON
実行中のプログラム: 1 件
予定表 連絡先

MEMO ● 電源を入れたときに、オーナー情報を表示する設定（☞10-5 ページ）にしているときは、以下の画面が表示されます。

オーナー情報 10:00
マイ インフォ
岡田 太郎
03XXXXXXXXX
okada@xxx.xxxx.ne.jp

3 電源を切るときは、（電源）スイッチを約 1 秒間押します。

MEMO ● 電池残量が少なくなり電源が切れた後に、付属の AC アダプタを接続しても電源が入らないことがあります。このような場合は、しばらく充電してから使用してください。
● （電池パックを交換したときなど）電源が入らないときは、フルリセットしてみてください（☞12-3 ページ）。

!ご注意 ● 再び電源を入れるときは、5 秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、誤動作や故障の原因となります。

横表示と縦表示を切り替える

本製品では、以下の方法で横表示から縦表示に切り替えたり、縦表示から横表示に切り替えることができます。

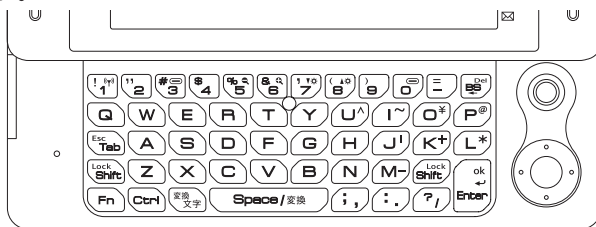
・ **（縦横表示切替）ボタン（☞1-2 ページ）を押します。横から縦、縦から横に切り替わります。**

MEMO ● カメラ撮影時（“静止画モード”、“ビデオモード”）は横表示のみとなります。（縦横表示切替）ボタンを押しても切り替わりません。

キー操作について

キー操作を行うとき、大きく次の 2 つがあります。
・ キーボード（文字を入力する）
・ タブレットキー（プログラムの起動や画面を切り替えたりする）
※キーボードは文字入力のときに使い、隠したり／出したりすることができます（☞1-9 ページ）。

キーボード

キーボードは文字を入力するときに使います。操作方法については 1-19 ページをご覧ください。

タブレットキー

タブレットキーの働きは一部変更することができます。
変更するときは、10-6 ページをご覧ください。

ok	（OK キー） 画面右上の ok や × をタップするのと同じ働きをします。
	（スタート キー） スタートメニューを表示します。
	（ホーム キー） ホームメニューを表示します。
	（ワンセグ TV キー） “ワンセグ TV”を起動します。
	（インターネット キー） 通常使用する Web ブラウザ（☞3-2 ページ）で設定しているプログラム（“Internet Explorer Mobile”または“Opera Browser”）が起動します。
	（メール キー） 通常使用するメールソフト（☞4-4 ページ）で設定しているプログラム（“メール（Outlook）”または“SH メール”）が起動します。

キーロック

誤って画面をタップしたりボタンが押されても動作しないようにできます。

キーロックを設定する

1 **電源が入っている状態で、（縦横表示切替）ボタン（☞1-2 ページ）を長く（約 2 秒）押します。**

タイトルバーに 🔒 が表示されます（☞1-40 ページ）。
ワンセグ TV 視聴中や“カメラ”表示中など、タイトルバーが表示されない状態では、画面中央に 🔒 アイコンが一定時間表示されます。
キーロックします。キーロックの状態になるとボタンやキーを押したり、画面をタップしても動作しません。

キーロックを解除する

1 **電源が入っている状態で、（縦横表示切替）ボタンを長く（約 2 秒）押します。**

🔒 アイコンが音量アイコンに戻ります。
キーロックが解除します。ボタンやキーを押したり、画面タップが行えます。

スタイラスペンを使う

付属のスタイラスペンで画面をタップして操作します。
スタイラスペンで画面に 1 回軽くタップします。プログラムの起動や設定などを行うときに操作します。

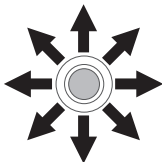
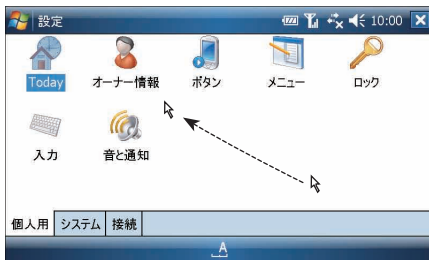
ポインティングデバイスを使う

ポインティングデバイスを操作し、画面タップと同じ働きをすることができます。

はじめてポインティングデバイスを使うときは、インプットスタイル（☞1-9ページ）とコントロールスタイル（☞1-10ページ）両方のスタイルでポインティングデバイスの調整を行ってください（☞10-24～25ページ）。

1 **ポインティングデバイスの中央部をスライドさせます。**

マウスポインター（ ）が表示されます。

2 **ポインティングデバイスをスライドし、マウスポインターを目的の位置まで移動します。**

各方向(360°)にスライドすると、
スライドした方向にマウスポインターが移動します。

3 **ポインティングデバイスの中央部を押します。**

中央部を押す。

画面タップと同様の動作をします。

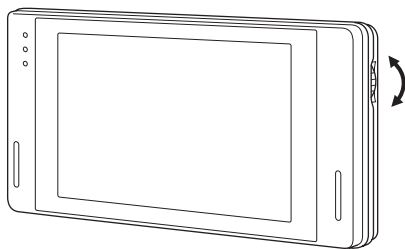
MEMO
- ポインティングデバイスを一定時間操作しないと、マウスポインターは自動的に消えます。また、自動的に消えるまでの時間や、移動速度などは変更することができます（☞10-24ページ）。

スクロールホイールを使う

スクロールバーなどが表示されているときなどに、画面をスクロールさせることができます。またホイールを回す量によって、スクロールする量が変わります。

※ “Picsel PDF Viewer” など一部のプログラムでは動作しません。また、“メール（Outlook）” では一覧画面では動作し詳細画面では動作しないという制限があります。

1 **スクロールバーが表示されている画面で、スクロールホイールを回します。**

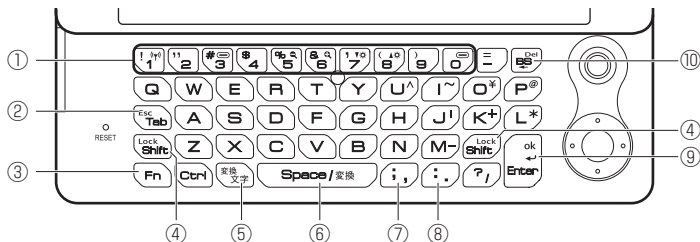
スクロールバー

スクロールホイールを回す量や方向に、画面がスクロールします。

文字入力のしかた

文字を入力するには、次の 2 つの方法があります。
・キーボードを使って入力する（☞ 下記）
・文字入力パネルを使って入力する（☞1-27 ページ）

本製品には「ATOK」が搭載されており、推測変換機能（☞1-29 ページ）などを使って効率的な文字入力が可能です。
ご購入時は「ATOK」が有効になっていますが、ATOK を使用せずに「Microsoft IME」で文字入力もできます。「ATOK」と「Microsoft IME」の切り替え方法は、10-13 ページをご覧ください。

キーボードの基本操作について

文字入力に必要なキーボードの基本的な役割について説明します。

①数字キー、(🔍-)キー、(🔍+)キー、(▼☼)キー、(▲☼)キー、(▭)キー、((ᵧ))キー

・数字を入力します。
・(Shift) キーを押したまま数字キーを押すと、数字キーの左上側の記号（！、”、#、$、%、&、’、(、)）を入力します。
・(Fn) キーを押したまま (🔍-) キーや (🔍+) キーを押すと、Excel Mobile や Word Mobile などで表示文字サイズを変更できます。
・(Fn) キーを押したまま (▼☼) キー（暗く）や (▲☼) キー（明るく）を押すと、バックライトの明るさを変更できます。
・(Fn) キーを押したまま [0] や [#3] キーを押すと、メニューバーに表示されている機能を実行します。例えば、“連絡先” の一覧画面ではメニューバーに [新規作成]、[メニュー] が表示され、(Fn) キーを押したまま [#3] キーを押すと新規作成画面が表示されます。
・(Fn) キーを押したまま [!1] キーを押すと、ワイヤレス LAN のオン／オフを切り替えることができます。

②Tab（Esc）キー

・新規作成や編集画面では、次の項目にカーソルやフォーカスが移動します。
・Fn キーを押したままこのキーを押すと、確定前の文字を削除します。

③Fn キー

・キーの上側に書かれている記号（＾、〜、｜、＿、@、＋、＊、¥）を入力したり、機能を実行します。Fn キーを押したまま該当するキーを押します。

④Shift（Lock）キー

・英字入力時に働きます。このキーを押したまま文字のキーを押すと、大文字が入力されます（大文字入力状態のときは、小文字が入力されます）。
・このキーを押したまま = キーや ?/ キーを押すとキーの左上側の記号（=、？）を入力します。
・Fn キーを押したままこのキーを押すと、英字を大文字で入力できる状態（Caps Lock）と、小文字で入力できる状態を交互に切り替えます。

⑤文字（変換）キー

・文字入力モードを切り替えます。
このキーを押すたびに、文字入力モードが切り替わります（☞ 次ページ）。
・Fn キーを押したままこのキーを押すと、入力中のひらがな／カタカナを漢字に変換します。もう一度 Fn キーを押したままこのキーを押すと、別の候補を表示します。

⑥Space/変換 キー

・入力中のひらがな／カタカナを漢字に変換します。
・スペースを入力します。
・漢字変換中にこのキーを押すと、別の候補が表示されます。

⑦；, キー

・ひらがな／カタカナ入力時は「、」、英字入力時は「,」が入力されます。
・Shift キーを押したままこのキーを押すと、「；」が入力されます。
・Shift キーを押したあとこのキーを押す、または Fn キーを押したままこのキーを押すと、「<」が入力されます。

MEMO
● **Space/変換 キーについて**
Space/変換 キーは、両手の親指で操作することを想定しているため、キーの中央を押しても入力されないことがあります。キーの右端または左端を押すように操作してください。

⑧(：.) キー

・ひらがな／カタカナ入力時は「。」、英字入力時は「.」が入力されます。
・(Shift) キーを押したままこのキーを押すと、「：」が入力されます。
・(Shift) キーを押したあとこのキーを押す、または (Fn) キーを押したままこのキーを押すと、「>」が入力されます。

⑨(Enter)（ok）キー

・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。
・変換中の文字がないときは、改行します。

⑩(BS)（Del）キー

・カーソルの前（左側）の文字を削除します。
・(Fn) キーを押したままこのキーを押すと、(Del) キーとして働き、カーソルの後ろ（右側）の文字を削除します。
・漢字変換中は、変換を取り消します。

MEMO ● **アンダーバーを入力するときは**
(Fn) キーを押したまま、(M⁻) キーを押します。

キーボードを使って文字を入力する

ここでは、キーボードを使った文字の入力方法について説明します。
まずは、文字を入力する前に入力モードを確認します。

入力モードの確認と切り替え

キーボードで文字を入力するときの入力モードは、画面下に表示されます。
入力モードの切り替えは、キーボードの (文字) キーを押します。

画面下（メニューバー）
表示　あ　メニュー

入力モードが表示されます。
あ ：「ひらがな」の入力になります。
カ ：「全角カタカナ」の入力になります。
ｶ ：「半角カタカナ」の入力になります。
Ａ ：「全角英字」の入力になります。
A ：「半角英字」の入力になります。

基本操作
文字入力

ローマ字でひらがなや漢字を入力する

1-22 ～ 24 ページの文字入力は、ATOK、Microsoft IME 共通です。ただし、Microsoft IME にした場合、推測変換候補ウィンドウは表示されません。
ローマ字でひらがなを入力し（☞「ローマ字→かな変換表」12-17 ページ）、漢字に変換します。

たとえば、Word Mobile を起動し「はいしゃ」と入力し、「配車」に変換します。

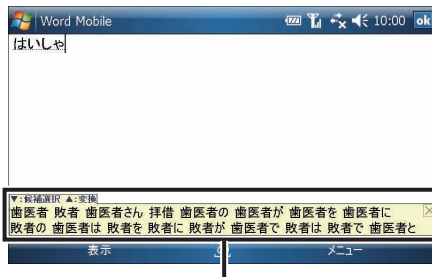
1 Word Mobile の新規画面を表示します（☞『PDF マニュアル .pdf』「Word Mobile」）。

2 入力モードが あ になっていることを確認します。

カ などになっているときは、キーボードの （文字） キーを数回押し、あ にします。

3 キーボードから「はいしゃ」と入力します。

（H）（A）（I）（S）（Y）（A） キー を順に押します。

Word Mobile 10:00 ok
はいしゃ
▼:候補選択 ▲:変換
歯医者 敗者 歯医者さん 拝借 歯医者の 歯医者が 歯医者を 歯医者に
敗者の 歯医者は 敗者を 敗者に 敗者が 歯医者で 敗者は 敗者で 歯医者と
表示 メニュー

ATOK の推測変換機能を有効にしている場合、文字を入力すると推測変換候補ウィンドウが表示されます。このウィンドウを使った文字の入力方法については 1-25 ページをご覧ください。

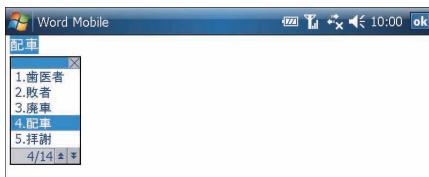
4 （Space/ 変換） キーを押します。

「歯医者」と変換されます。

Word Mobile 10:00 ok
歯医者

5 続けて (Space/ 変換) キーを押します。

(Space/ 変換) キーを押すたびに、別の変換候補が表示されます。
入力したい語（ここでは「配車」）が表示されるまで、(Space/ 変換) キーを数回押します。

Word Mobile 10:00 ok
配車
1.歯医者
2.敗者
3.廃車
4.配車
5.拝謝
4/14

MEMO

- (Fn) キーを押したまま、または押した直後に (文字) （変換）キーを押しても、別の変換候補が表示されます。
- 推測変換候補ウィンドウが表示されていない場合は、(カーソル) ボタンの上または下を押しても、別の変換候補が表示されます。

6 (Enter) キーを押します。

選択した変換候補が確定されます。

MEMO

- 入力したい漢字が表示されないときは、手書き入力で入力してみてください（☞1-32 ページ）。

変換中の漢字を別の漢字にする

複数の文節の読みを入力して変換します。

たとえば、「新しい企画を提案する」を「新しい規格を提案する」に変換します。

1 「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。

2 (Space/ 変換) キーを押します。

Word Mobile 10:00 ok
新しい企画を提案する

3 (Shift) キーを押したまま、または押した直後に (カーソル) ボタンの右を押します。

カーソルが次の文節に移ります。

Word Mobile 10:00 ok
新しい企画を提案する

MEMO
- (Shift) キーを押したまま、または押した直後に (カーソル) ボタンの左を押すと、カーソルが前の文節に移ります。
- (カーソル) ボタンの左または右で文節の区切りを変更することができます。
- **Microsoft IME の場合は**
  文節を移る場合は、(カーソル) ボタンの左または右を押します。
  文節の区切りを変更する場合は、(Shift) キーを押したまま、または押した直後に (カーソル) ボタンの左または右を押します。

4 (Space/ 変換) キーを押します。

(Space/ 変換) キーを押すたびに、別の変換候補が表示されます。
入力したい語が表示されるまで、(Space/ 変換) キーを数回押します。

Word Mobile 10:00 ok
新しい規格を提案する
1.企画
2.規格
3.キカク
4.きかくを
5.キカクヲ
2/12

5 (Shift) キーを押したまま、または押した直後に (カーソル) ボタンの右を押します。

手順 **4** で選択した変換候補が入り、カーソルが次の文節に移ります。

Word Mobile 10:00 ok
新しい規格を提案する

MEMO
- 続けて文字を変換する場合は手順 **4** ～ **5** を繰り返します。
- Microsoft IME の場合は、(Shift) キーを押さずに (カーソル) ボタンの右を押します。

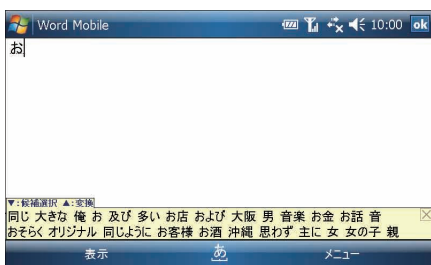
6 (Enter) キーを押します。

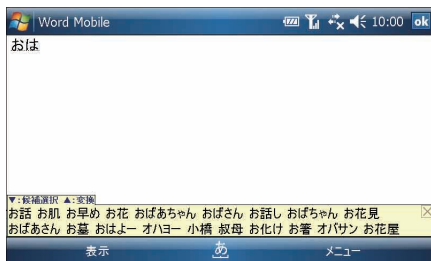
Word Mobile 10:00 ok
新しい規格を提案する

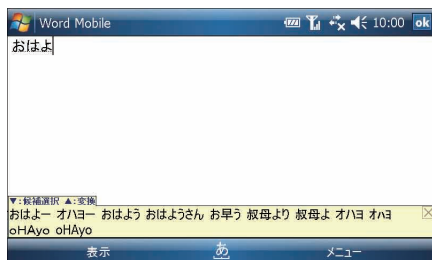
推測変換機能を使って文字を入力する（ATOK のみ）

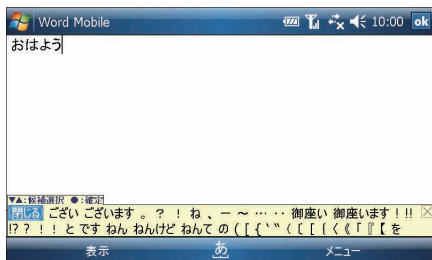
推測変換機能を有効にしている場合、文字を入力すると、入力した文字から推測される語句の候補を推測変換候補ウィンドウに表示します。
表示された変換候補から目的の語を選択して漢字やひらがな、数字、英字を入力することができます。キーを押す回数が少なくなるので便利です。
ご購入時は推測変換機能が使える状態になっています。無効にする場合は、10-13ページをご覧ください。

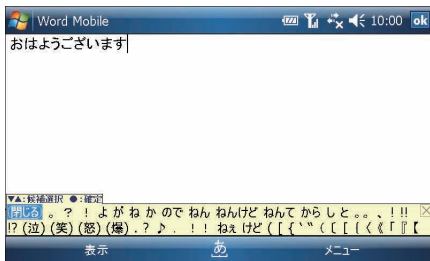
1 文字を入力します。

推測変換候補ウィンドウが表示されます。

推測変換候補ウィンドウ

1 文字ずつ文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。

2 文字を入力していき、変換したい語が推測変換候補ウィンドウに表示されたら、(カーソル) ボタンの下を押します。

推測変換候補ウィンドウの変換候補を選択できるようになります。

3 (カーソル) ボタンの下または上で入力したい語を選択し、(Enter) キーを押します。

選択した変換候補が確定されます。

入力した文字が確定されると、その後に続く変換候補が表示されます。

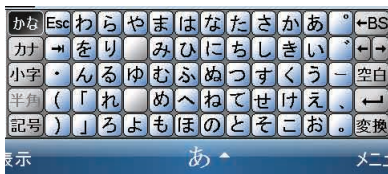
「おはよう」と入力して確定すると、推測変換候補ウィンドウに「ござい」などが表示されます。
続けて、推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補から変換を行っていくだけで、「おはようございます。」などの文章を入力することができます。

MEMO

- 推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補をタップしても、語の入力ができます。
- 推測変換候補ウィンドウの 閉じる または、右上にある × をタップすると、推測変換候補ウィンドウの表示が消え、文字の入力が取り消されます。
- 一度変換すると、変換した語が学習され、推測変換候補ウィンドウに優先して表示されます。

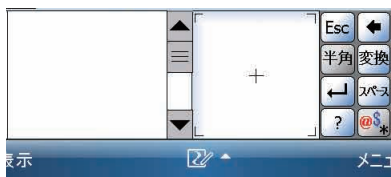
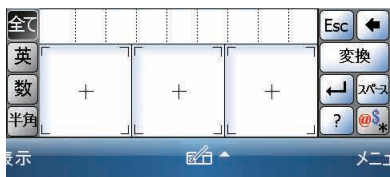
文字入力パネルについて

文字入力パネルには、画面に表示されるキーをタップして文字を入力する「キーボード入力パネル」と手書き文字を入力する「手書き入力パネル」があります。

キーボード入力パネル

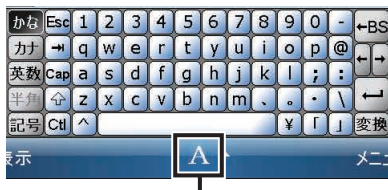
「ひらがな／カタカナ」入力パネル

「ローマ字／かな」入力パネル

手書き入力パネル

「手書き検索」入力パネル

「手書き入力」入力パネル

文字入力パネルを表示する

1 **画面下のあなどをタップします。**

文字入力パネルが表示されます。

文字入力パネルの表示／非表示を切り替えます。
表示している文字入力パネルによって、次のアイコンが表示されます。

あ ：「ひらがな／カタカナ」入力パネル
A ：「ローマ字／かな」入力パネル
：「手書き検索」入力パネル
：「手書き入力」入力パネル

MEMO

● 文字入力パネルは一度表示すると、文字を入力する画面で常に表示されるようになります。

表示している文字入力パネルを消す

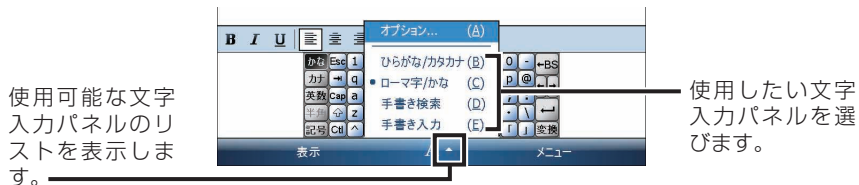
1 **画面下の A などをタップするか、キーボードの各キーを押します。**

表示している文字入力パネルが消えます。

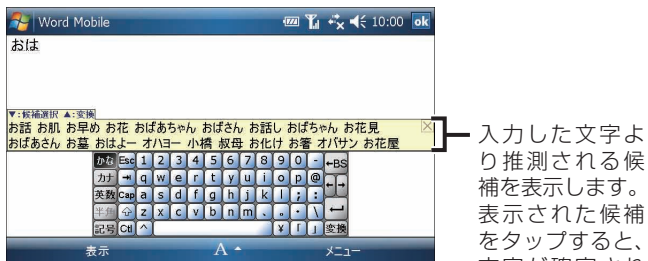
文字入力パネルを切り替える

1 **画面下の A などの右横の ▲ をタップし、表示されたメニューから使用したい文字入力パネルをタップします。**

使用可能な文字入力パネルのリストを表示します。

使用したい文字入力パネルを選びます。

候補の語を表示して文字を入力する（推測変換機能）

文字を入力すると、入力した文字から推測される語句の候補を表示させて、候補の文字をタップして文字入力ができます。
また、文字を確定すると、これまでの文字入力の履歴より次に続く文字を推測して語句の候補を表示し、文字入力を続けることができます（推測変換機能を有効にしている場合 ☞10-13 ページ）。

入力した文字より推測される候補を表示します。表示された候補をタップすると、文字が確定されます。

キーボード入力パネルを使って文字を入力する

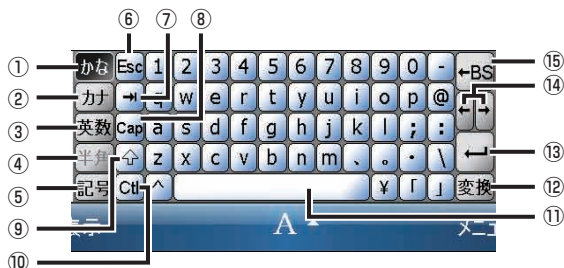
画面に表示されるキーをタップして、文字を入力します。
文字入力は、キーボードを使った文字入力と同じようにできます。
入力のしかたについては、1-21 ページをご覧ください。

ご注意 ● スタイラスペンで画面をタップしたり文字を入力するとき、手が画面に触れないように注意してください。

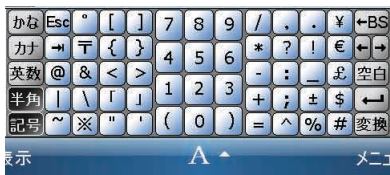
「ひらがな／カタカナ」入力パネルについて

①	**かな**	ひらがなキーボードに切り替わります。
②	**カナ**	カタカナキーボードに切り替わります。
③	**小字**	タップし反転させると、「っ」、「ょ」などの小文字を入力できます（反転すると、小文字で入力できる文字のキートップが小さく表示されます）。１文字入力すると解除されます。
④	**半角**	カタカナキーボードと記号入力パネルのとき半角カタカナ、半角記号を入力します。
⑤	**記号**	記号入力パネルに切り替わります（☞1-32 ページ）。
⑥	**変換**	入力したひらがななどを漢字に変換します。
⑦	←	Enter キーと同じ働きをします。 変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 変換中の文字がないときは、改行します。
⑧	**空白**	スペースを入力します。
⑨	← →	カーソルを左右に移動します。
⑩	← BS	カーソルの前（左側）の文字を削除します。
⑪	°	半濁音（半濁点）を入力します。 たとえば、「ぴ」を入力するときは、ひ をタップし、° をタップします。

⑫ ゛	濁音（濁点）を入力します。 たとえば、「が」を入力するときは、か をタップし、゛ をタップします。

「ローマ字／かな」入力パネルについて

① かな	ローマ字でひらがなを入力します。
② カナ	ローマ字でカタカナを入力します。
③ 英数	英数字を入力します。
④ 半角	カタカナ、英数字、記号を半角で入力します。
⑤ 記号	記号入力パネルに切り替わります（☞ 次ページ）。
⑥ Esc	・ATOK の場合、変換中の文字を削除します。 Microsoft IME の場合は、変換中の文字に対して、変換を取り消します。 ・変換前の文字を削除します。
⑦ ➡|	タブを入力します。
⑧ Cap	英字を入力するとき、タップして反転させておくと大文字を入力できます。
⑨ ⇧	タップして反転させておくと英字の大文字や！、＃、＄などの記号を入力できます。1 文字入力すると元に戻ります。
⑩ Ctl	(Ctrl) キーとして働きます。英数字と組み合わせて機能を実行します。
⑪ スペース	ATOK の場合、入力したひらがななどを漢字に変換します。 Microsoft IME の場合は、スペースを入力します。
⑫ 変換	入力したひらがななどを漢字に変換します。
⑬ ↵	(Enter) キーと同じ働きをします。 変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 変換中の文字がないときは、改行します。
⑭ ← →	カーソルを左右に移動します。
⑮ ←BS	カーソルの前（左側）の文字を削除します。

MEMO

- **「記号」入力パネルについて**
  「ひらがな／カタカナ」入力パネルや「ローマ字／かな」入力パネルで、(記号) をタップすると記号入力パネルが表示されます。
  全角／半角の記号を入力できます。

手書き入力パネルを使って文字を入力する

付属のスタイラスペンを使って、手書きでひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。

「手書き検索」入力パネルで文字を入力する

「手書き検索」入力パネルで文字を入力します。

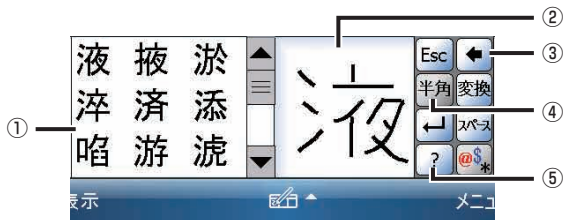
たとえば、「液」と手書きして変換します。

1 **「手書き検索」入力パネルを表示します（☞1-28 ページ）。**

2 **手書き入力枠に「液」と手書き入力します。**

手書きした文字の候補が入力パネルの左側に表示されます。

3 **認識候補一覧から「液」をタップすると、「液」が入力されます。**

4 [←] をタップすると、「液」の文字が確定されます。

① 認識候補	手書き入力枠に手書きした文字の候補が表示されます。入力したい文字をタップします。
② 手書き入力枠	手書き入力します。
③ ←	手書き中にタップすると、最後の 1 画が消去されます。手書き入力枠に何もないときは、カーソルの前（左側）の文字を削除します。
④ 半角	タップして反転した状態でカタカナや英数字などを手書きし認識候補から選択すると、半角のカタカナや英数字を入力できます。
⑤ ?	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

「手書き入力」入力パネルで文字を入力する

1 「手書き入力」入力パネルを表示します（☞1-28 ページ）。

2 枠に 1 文字ずつ手書きします。

- 枠に文字を手書きすると認識されて、すぐに候補欄に認識候補が表示されます。
- 別の枠に次の文字を書き始めると、候補欄の左端の候補が自動的に選択されます。
- 別の枠に文字を書かないときは、しばらくしたあと候補欄の左端の候補が自動的に選択されます（選択される前に別の候補をタップすると、その文字が選択されます）。
- どの枠から書いてもかまいません。先に手書きした文字から認識します。

3 ひらがなを手書きし漢字に変換するときは、[変換] をタップします。

4 ↵ をタップすると、文字が確定されます。

①	全て	手書きした文字を認識するとき、ひらがな、漢字などすべての種類を候補にします。
②	英	手書きした文字を認識するとき、英字および記号を候補にします。
③	数	手書きした文字を認識するとき、数字および記号を候補にします。
④	手書き入力枠	付属のスタイラスペンで 1 枠に 1 文字ずつ手書きします。
⑤	候補欄	認識された文字の候補が表示されます。入力したい文字を選択します。
⑥	?	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

認識した文字を別の文字に変える

誤って選択した文字（確定する前の文字）を、別の文字に変えることができます。

1 手書きで文字を入力します。

2 別の文字に変えたい文字をタップします。

変換候補が表示されます。
Microsoft IME の場合は、変えたい文字の左側にカーソルを移動します。

3 目的の文字をタップします。

MEMO
- 文字を確定した後、上記の方法で別の文字に変えることはできません。
  確定後に文字を変更するときは、目的の文字を削除してから再度入力します。

選択されるまでの時間を変更する

認識された文字が、認識候補の中から自動的に選択されるまでの時間を変更できます。

1 スタート メニューの “設定” をタップします。

2 設定画面で 個人用 タブをタップし、 “入力” をタップします。

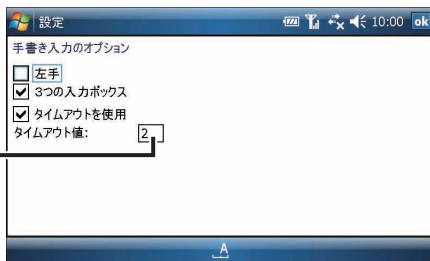
3 入力方法 タブで、「入力方法」の右横の▼をタップして「手書き入力」を選択し、オプション をタップします。

設定 10:00 ok
入力
入力方法: 手書き入力
オプション...
入力方法 オプション

「手書き入力」を選びます。

「手書き入力のオプション」設定画面が表示されます。

4 「タイムアウトを使用」のチェックボックスにチェックが付いていることを確認し、「タイムアウト値」の数値を変えます。

設定 10:00 ok
手書き入力のオプション
左手
3つの入力ボックス
タイムアウトを使用
タイムアウト値: 2

数値を変更します。
この数値の単位は、「秒」です。

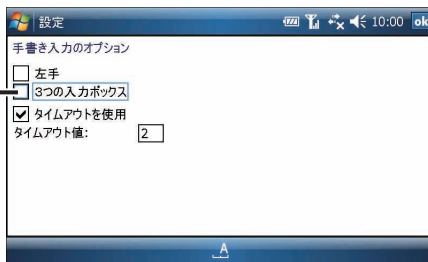
MEMO
- 「タイムアウトを使用」のチェックを外すと、自動的に選択されなくなります。このときは、候補の中から目的の文字をタップします。

5 選択されるまでの時間の変更が終わったら、ok をタップします。

手書き認識の入力枠の数を変更する

1 「手書き入力のオプション」設定画面（☞ 前ページ）で、「3 つの入力ボックス」のチェックを外します。

チェックを外すと、入力枠は 2 つになります。

設定 10:00 ok
手書き入力のオプション
左手
3つの入力ボックス
タイムアウトを使用
タイムアウト値: 2

2 入力枠数の変更が終わったら、ok をタップします。

文字を編集する

文字を追加する

1 **追加したい場所にカーソルを移動させます。**

(カーソル) ボタンの上下左右でカーソルを移動させるか、文字を追加したい場所をタップします。

2 **文字を入力します。**

カーソルの位置に文字が追加されます。

文字を削除する

1 **削除したい文字の直後にカーソルを移動させます。**

複数の文字を削除したい場合は、画面をなぞって文字列を反転させます。キーボードを使っているときは、(Shift) キーを押しながら (カーソル) ボタンの右または左を押すと複数の文字を選択できます。

2 **(BS) キーを押します。**

・複数文字削除の場合は、反転していた範囲がすべて削除されます。
・1 文字削除の場合は、カーソルの直前の文字が削除されます。

MEMO
- キーボード入力パネルのときは、[← BS] をタップします。
  手書き入力パネルでは、[←] をタップします。

Windows Mobile を使う

Today 画面を使う

本製品の電源を入れ、スタートメニューの “Today”をタップすると、Today 画面が表示されます。
Today 画面には、実行中のプログラム数の表示、ワイヤレスの状態、メールの未読件数などが表示されます。

①スタート
タップするとスタートメニューが表示され、プログラムを起動したり（☞1-53 ページ）、設定画面を表示します。

②タイトルバー
電波状態、ネットワーク接続中などを示すアイコンなどが表示されます。タイトルバーに表示されるアイコンについては次ページをご覧ください。

③日付表示
日付を表示します。タップすると「時計とアラーム」画面が表示され、日付／時刻を変更できます（☞10-32 ページ）。

④メール未読件数表示
メールの未読件数を表示します。
ここをタップすると、“メール（Outlook）”画面が表示されます。

⑤ワイヤレス状態表示
ワイヤレス LAN、Bluetooth、HSDPA の有効（オン）／無効（オフ）の状態を表示します。
Today 画面の設定画面（ アイテム タブ）（☞10-2 ページ）でリスト内の「ワイヤレス」のチェックを外すと、この項目は表示されなくなります。

⑥**実行中のプログラム数表示**

現在実行（起動）しているプログラム数を表示します。使っていないプログラムを終了するときは、ここをタップし表示されたメモリ画面（実行中のプログラム タブ）でプログラムを終了します。

⑦**メニューバー**

左端と右端にボタンが表示されます。"連絡先"では、新規作成、メニュー などが表示されそれぞれをタップすると連絡先の新規作成画面が表示されたり、メニューが表示されます。プログラムによって、表示されるボタンは異なります。

MEMO
- Today 画面に表示する項目は Today 画面設定（アイテム タブ）で変更できます（☞10-2 ページ）。
- Today 画面の背景を、お好みの画像に変更できます（☞10-3 ページ）。

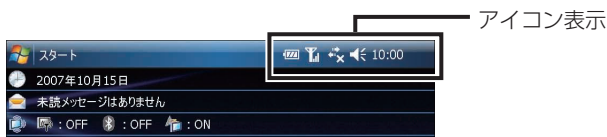
文字サイズを調整する

Today 画面やプログラムで表示される文字などのサイズを変更することができます。

スタート ー "設定"ー システム タブー "画面"ー 文字サイズ タブをタップして変更できます（☞10-36 ページ）。

タイトルバーに表示されるアイコンについて

アイコン表示

スタート 10:00
2007年10月15日
未読メッセージはありません
: OFF : OFF : ON

①**時刻表示** 10:00

時刻を表示します。タップするとウィンドウが表示され、今日の日付と時刻、今日これから一番近い予定がわかります（ウィンドウはしばらくすると自動的に消えます）。

時刻をタップしたままにするとメニューが表示され、アナログ表示に変更できます。

②音量のアイコン

音量の状態を表示します。

：オン／：オフ

タップすると音量設定のウィンドウが表示され、音量の調節やオン／オフを設定できます。

※ 縦横表示切替 ボタン（☞1-2 ページ）を長く押すとキーロック状態になります（☞1-16 ページ）。キーロック中は に変わります。

③インターネット接続のアイコン ／

：インターネットに接続している状態を示します。

：インターネットに接続していない状態を示します。

④電波状態のアイコン

HSDPA 通信の電波の受信状態をアイコンで表示します。

このアイコンは、電波状態ランプと連動しています（☞1-3 ページ）。

圏外：エリア外または電波が届いていない場所にいます。

強 ◀――――▶ 弱

：HSDPA を無効（オフ）にしている状態を示します（☞2-4 ページ）。

：PIN コードを設定し、PIN コード認証待ち状態を示します（☞12-13 ページ）。
HSDPA を無効（オフ）にしている状態では、 が表示されます。

：EM chip が取り付けられていない状態を示します（☞12-11 ページ）。
HSDPA を無効（オフ）にしている状態では、 が表示されます。

：EM chip がロックされている状態、または本製品では使用できない USIM カードを取り付けている状態を示します。
HSDPA を無効（オフ）にしている状態では、 が表示されます。

MEMO

- タイトルバーに表示されるアイコンの数は 4 つです。この数を越えると が表示されます。 をタップすると隠れているアイコンが表示されます。

⑤電池残量のアイコン

電池残量を表示します。

：半分以上残っています。

：少なくなっています。

：あまり残っていません。充電してください。

：ほとんど残っていません。充電してください。

電池残量は、パワーマネージメント画面（ バッテリ タブ）(☞10-21 ページ) でも確認できます。

：充電中を示します。

⑥ワイヤレス LAN のアイコン

：ワイヤレス LAN が有効（オン）になっていることを示します（☞2-8 ページ）。

：アクセスポイントを介してネットワークに接続しています（☞2-13 ページ）。
ワイヤレス LAN を使用しないときは、電池残量の消耗を防ぐため無効（オフ）にすることをおすすめします（☞2-15 ページ）。

⑦アラームのアイコン

予定にアラームを設定しているとき、アラーム時刻になると表示されます。また画面下部にその予定の内容を表示します。画面下部に表示された予定の内容を消すには、画面左下の アラームを消す をタップします（☞10-34 ページ）。

画面下部のアイコンについて

Today 画面の下部には、以下のアイコンが表示されます。

連絡先

パソコンと接続し同期していることを示します。

ただし、USB 接続画面（ ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しているときのみこのアイコンは表示されます。

基本操作

Windows Mobile を使う

ホームメニューを使う

ホームメニューは、よく使うプログラムなどのアイコンを集めて、すぐに起動できる画面です。
この画面に表示されているプログラムや設定のアイコンをタップすると、プログラムが起動したり、設定画面が表示されます。
また、アイコンの表示／非表示や順番を入れ替えて、よく使うプログラムとしてまとめることができます。

1 タブレットキーの をタップします。

ホームメニューが表示されます。

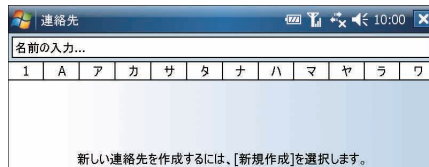
画面のデザインは変更することができます(☞1-44ページ)。

次ページ、または前ページへ移動します。

ホームメニュー画面は、キーボードを閉じたときや開いたときなど本体スタイルによって画面が自動的に切り替わります。くわしくは、次ページをご覧ください。ここでは、キーボードを閉じたときの画面で説明しています。

2 アイコンをタップしてプログラムを起動したり、設定画面を開いたりします。

たとえば“連絡先”をタップすると…

“連絡先”が起動します。

ホームメニュー画面について

ホームメニュー画面にはアイコン表示とリスト表示の 2 種類があり、キーボードを開いたときや閉じたときなどスタイルによって画面が自動的に切り替わります。
どちらの画面でも、プログラムや設定を選択するとそのプログラムや設定が起動します。

- **アイコン表示画面**

  横表示／縦表示のビュースタイル（☞1-8 ページ）にするとこの画面になります。

- **リスト表示画面**

  横表示／縦表示のコントロールスタイル（☞1-9 ページ）、インプットスタイル（☞1-8 ページ）にするとこの画面になります。

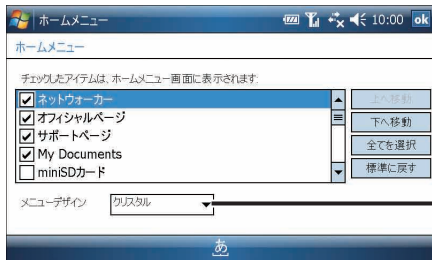
ホームメニューの内容を変更する

1 **ホームメニュー画面右下の メニュー － 設定 をタップします。**

設定画面が表示されます。

2 **リストのチェックボックスにチェックを付けたり外したりします。**

・チェックを付けるとホームメニューに表示されます。
・チェックを外すと表示されなくなります。

ホームメニュー
チェックしたアイテムは、ホームメニュー画面に表示されます:
ネットウォーカー
オフィシャルページ
サポートページ
My Documents
miniSDカード
上へ移動
下へ移動
全てを選択
標準に戻す
メニューデザイン クリスタル

ホームメニュー画面のデザインを変えるときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

MEMO ● 標準に戻す をタップすると購入時の状態に戻ります。

3 **変更し終わったら、 ok をタップします。**

ホームメニュー画面に戻ります。

アイコンを並べ替える

1 **ホームメニュー設定画面の一覧で、移動する項目をタップします。**

2 **上へ移動 または 下へ移動 をタップして並べ替えます。**

ホームメニューを終了する

1 **ホームメニュー画面右下の メニュー － 終了 をタップします。**

プログラム画面について

スタートメニューの “プログラム”をタップしてプログラム画面を表示します。
プログラム画面のアイコンをタップすると、それぞれのプログラムを起動できます。

ゲーム
ゲームソフトが 2 つ入っています（☞9-18 ページ）。

ActiveSync
ActiveSync を使ってパソコンの Microsoft Outlook の仕事や予定表などと同期します（☞8-2 ページ）。

DicLand
「エクシード英和辞典」や「エクシード和英辞典」、「デイリーコンサイス国語辞典　第 3 版」で、言葉の意味や英単語の意味などを調べます（☞6-2 ページ）。「英文ビジネスレター事典」で英文ビジネスレターの基礎知識や表現を学習することができます。

Messenger
登録しているメンバーとの間で、チャットができます（☞9-24 ページ）。

Opera Browser
ホームページの閲覧ができます（☞3-14 ページ）。

Picsel PDF Viewer
PDF ファイルを表示することができます（☞ 付属の CD-ROM に収録の PDF マニュアル）。※ファイルによっては表示できないことがあります。

SH メール
インターネットを経由して、パソコンや携帯電話などとメールの送受信ができます（☞4-40 ページ）。“メール”との違いについては、4-3 ページをご覧ください。

Sprite Backup
この製品に保存しているデータなどを miniSD カードにバックアップ（保管）したり、保管したデータをこの製品にリストア（復元）します（☞9-2 ページ）。

StationMobile（ワンセグ TV）
ワンセグ TV を視聴したり、データ放送を利用したりすることができます（☞5-2 ページ）。

Windows Live
Windows Live メールを確認できます（☞9-24 ページ）。

Windows Media
ビデオファイルやオーディオファイルを再生できます（☞7-24 ページ）。

カメラ
静止画（画像）やビデオ（動画）の撮影ができます（☞7-2 ページ）。

ネットウォーカー
あらかじめアクセスリストに登録されたインターネットサイトを順番にアクセスすることができます（☞3-27 ページ）。

バーコード リーダ
内蔵カメラを使って QR コードなどを読み取ることができます（☞7-17 ページ）。

パケットカウンタ
本製品で使用したパケット量をカウントし、パケット量の履歴を見ることができます（☞9-20 ページ）。

ファイル エクスプローラ
本体メモリや取り付けたメモリカード内のフォルダやファイルを表示したりすることができます（☞9-14 ページ）。また、新しくフォルダを作成したり、ファイルの削除やコピーなどができます（ファイルをタップしたままにして表示されるメニューから「コピー」などを選択します）。

ブンコビューア
XMDF 形式の電子書籍を読むためのビューアです。
電子書籍は Space Town ブックス（http://books.spacetown.ne.jp/）などで購入できます。
ブンコビューアについてくわしくは、ブンコビューアのヘルプをご覧ください。
あらかじめ、サンプルの電子書籍が入っています。

ホームメニュー
よく使うプログラムなどのアイコンを集めて、そのアイコンをタップするとすぐに起動できます（☞1-42 ページ）。

メモ
スタイラスペンを使って画面に手書きしたり、キーボードなどから文字を入力することができます（☞6-52 ページ）。
また、自分の声などを録音しメモに貼り付けることもできます。

リモートデスクトップモバイル
外出先から、会社などのパソコンに接続して、データを閲覧したり編集したりすることができます（☞8-53 ページ）。

画像とビデオ
静止画の表示や編集､動画を表示することができます（☞7-9 ページ）。また、“カメラ”（☞7-2 ページ）を起動することもできます。

検索
「My Documents」フォルダとそのサブフォルダ内のファイルなどを検索することができます（☞1-62 ページ）。

仕事
期限を決めて仕事の管理ができます（☞6-40 ページ）。

電卓
10 桁の四則計算ができます（☞9-13 ページ）。

名刺リーダ
内蔵カメラを使って、名刺を撮影すると名前や住所などの文字を読み取って“連絡先”に登録することができます（☞7-20 ページ）。

設定画面について

音や Today 画面など、使いやすいように本製品の環境を設定します。
スタート メニューの “設定”をタップすると、設定画面が表示されます。
設定画面には 3 つのタブがあり、以下の項目が設定できます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

◇ 個人用 タブ◇

個人用 タブをタップします。

Today（☞10-2 ページ）
Today 画面（☞1-38 ページ）を設定します。
デザイン ：Today 画面の背景を変更します。
アイテム ：Today 画面に表示する情報（仕事、予定表など）と表示順などを設定します。

オーナー情報（☞10-5 ページ）
オーナー情報を入力します。
オーナー情報 ：名前、住所などを入力します。
メモ ：メモなどを入力します。
オプション ：電源を入れたときに、オーナー情報やメモを表示する／しないを設定します。

ボタン（☞10-6 ページ）
タブレットキーやボタンに割り当てる機能を設定します。
プログラムボタン ：タブレットキーやボタンに対して、割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。
上／下コントロール ：(カーソル) ボタンを押したとき、スクロールを開始するまでの時間や移動速度などを変更します。

メニュー（☞10-7 ページ）
スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

ロック（☞10-7 ページ）
パスワードを設定して、本製品を他人が使えないようにします。
パスワード：パスワードなどを設定します。
ヒント：パスワードを忘れたときに、パスワードを思い出すヒントになる文章などを入力します。

入力（☞10-9 ページ）
よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。
入力方法：文字の入力方法の設定や単語の登録をします。
オプション：録音形式や手書き入力の詳細などを設定します。

音と通知（☞10-11 ページ）
音や通知の方法を設定します。
サウンド：予定表や仕事で設定したアラームと画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。
通知：ActiveSync 開始など各種イベントの通知方法を設定します。

◇システムタブ◇

システムタブをタップします。

ATOK 設定（☞10-13 ページ）
日本語入力に ATOK を使用する／しないを設定したり、ATOK を使った変換方法などを設定します。

External GPS
専用のプログラムを使って本製品で緯度や経度などの情報を表示するとき、外部 GPS 端末から緯度や経度などの情報を取得するための通信ポートや、本製品で動作する専用プログラムの通信ポートなどを設定します。

S01SH 情報（☞10-16 ページ）
ファームウェアのバージョン情報を確認できます。

Windows Update
重要なセキュリティの問題が発生したときにのみ使います。

エラー報告（☞10-17 ページ）
エラーが発生したときに、マイクロソフトに内容を報告する／しないを設定します。

カスタマフィードバック
ソフトウェアの改善のためにマイクロソフト社に情報を提供する／しないを設定します。

バックライト（☞10-18 ページ）
バックライトの明るさや減光するまでの時間などを設定します。

バッテリ ：電池パックを使っている（AC アダプタを接続していない）ときのバックライトを設定します。
外部電源 ：AC アダプタを接続しているときのバックライトを設定します。
明るさ ：バックライトの明るさを調節できます。

バージョン情報（☞10-20 ページ）

バージョン ：本製品のバージョン情報などを確認できます。
デバイス ID ：本製品の名前を設定します。
著作権 ：本製品の著作権について確認できます。

パワーマネージメント（☞10-21 ページ）

バッテリ ：電池（バッテリ）残量を確認できます。
詳細設定 ：最後の操作から一定時間が経過すると、電源が切れるようにオートパワーオフの設定をします。
キーボード点灯 ：キーボードのバックライトを表示部のバックライトと連動させるかを設定します。
電波状態表示ランプ ：電波状態を示すランプを点灯する／しないを設定します。

プログラムの削除（☞10-23 ページ）
追加したプログラムを削除します。

ポインティング（☞10-24 ページ）

デバイス ：ポインティングデバイスの有効／無効の設定をします。
ポインター ：マウスポインターの移動速度や消えるまでの時間などを設定します。
調整 ：ポインティングデバイスの調整を行います。
感度 ：ポインティングデバイスの感度を設定します。

メモリ（☞10-26 ページ）

メイン ：本製品のメモリの使用状況が確認できます。
メモリカード ：装着しているメモリカードの使用状況が確認できます。
実行中のプログラム ：実行中のプログラムを確認できます。

ユーティリティ（☞10-28 ページ）

音量調節ボタン ：音量調節ボタンで音量調節するのかスクロールホイール機能として使用するのかを設定します。

パスワード確認 ：パスワードを登録していないとき、再起動時にパスワード設定画面を表示する／しないを設定します。

RGB 出力 ：RGB 外部出力をするときの表示方法を設定します。

地域（☞10-31 ページ）

地域、数値、通貨、時刻、日付 の各タブで、表示される数値の形式を変更できます。

時計とアラーム（☞10-32、10-33 ページ）

時刻 ：現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

アラーム ：毎週決まった時刻に表示するアラームを設定します。

その他 ：プログラムのタイトルバーに時計を表示する／しないを設定します。

暗号化（☞10-35 ページ）

miniSD カードに保存するときにファイルを暗号化して保存します。
暗号化したファイルは、別の S01SH Ⅱやパソコンなど別の機器で開いたり編集などはできません。また、同じ S01SH Ⅱでも、本体を完全消去（フォーマット）（☞12-5 ページ）した場合、開いたり編集などはできなくなります。
この機能をお使いになるときは、十分ご注意ください。

画面（☞10-36 ページ）

全般 ：表示方向（縦画面／横画面）の設定や、タッチスクリーンの補正をします。

文字サイズ ：文字のサイズを設定します。

証明書（☞10-38 ページ）

個人証明、中間証明、ルート証明を表示します。

◇ 接続 タブ◇

接続 タブを
タップします。

設定
Bluetooth HSDPA設定 USB接続 ネットワークカード ビーム
ワイヤレスマネージャ 接続
個人用 システム 接続

Bluetooth（☞8-39 ページ）

モード ：本製品を他の製品から検索できるようにできます。
デバイス ：他の Bluetooth 対応機器を検索します。
COM ポート ：他の製品と接続するポートを設定します。

HSDPA 設定

情報 ：本製品の電話番号などを表示します（☞10-39 ページ）。
PIN 認証設定 ：PIN コードを設定して、PIN コード認証の有無を設定します（☞12-13 ページ）。
PIN 変更 ：設定している PIN コードを変更します（☞12-16 ページ）。
APN 設定 ：APN の変更や新しく APN を追加します（☞2-16 ページ）。
※ ご購入時、APN が 1 つ設定されています。
無線 ON/OFF ：HSDPA を有効（オン）／無効（オフ）にします（☞2-3 ～ 4 ページ）。

USB 接続

USB 接続 ：パソコンと接続して同期するか、モデムとして使用するかを設定します（☞8-8、8-28 ページ）。
ActiveSync ：同期する場合、接続の方式を設定します（☞8-8 ページ）。

ネットワークカード（☞2-6 ページ）

ワイヤレス LAN の設定をします。

ビーム

Bluetooth 対応機器からのビームを受信する／しないを設定します。

ワイヤレスマネージャ（☞2-8、2-15 ページ）

ワイヤレス LAN、Bluetooth、HSDPA 通信のオン（有効）／オフ（無効）を設定します。ワイヤレス LAN、Bluetooth を使わないときはオフ（無効）にすることをおすすめします。

接続（☞2-7 ページ）

設定 や 詳細設定 タブから、インターネットなどのネットワークに接続する設定をします。

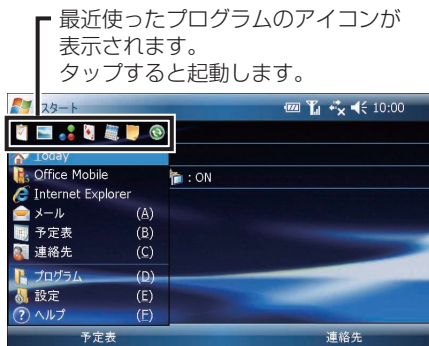
アプリケーションプログラムを起動／終了する

アプリケーションプログラムの起動は、次のようにします。
・スタートメニューから起動します。
・プログラム画面のアイコンをタップして起動します。
・タブレットキーから起動します。

スタートメニューから起動する

1 画面左上の スタート をタップします。

2 スタート メニューの “メール” などをタップします。

最近使ったプログラムのアイコンが表示されます。
タップすると起動します。

最近使ったプログラムが表示されます。

MEMO
● スタートメニューに表示される内容を変更できます。
変更のしかたについて、くわしくは 10-7 ページをご覧ください。

プログラム画面から起動する

1 **画面左上の スタート をタップします。**

2 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

プログラム画面が表示されます（☞1-45 ページ）。

3 **プログラム画面で起動したいプログラム（ “DicLand” など）をタップします。**

タブレットキーから起動する

1 **タブレットキー（☞1-15 ページ）の などをタップして起動します。**

ご購入時の設定では、“Internet Explorer Mobile” が起動します。

MEMO ● タブレットキーの設定は変更することができます（☞10-6 ページ）。

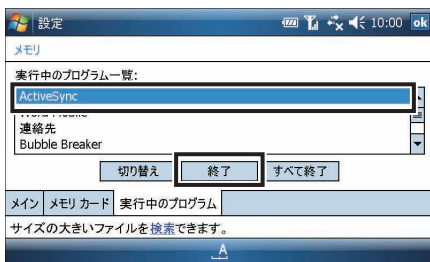
アプリケーションプログラムを終了する

プログラム表示中に画面右上の ✕ や ok をタップして画面が消えてもそのプログラムは終了していません。プログラムを終了するために、以下のどちらかの操作を行ってください。

1 **以下のどちらかの方法でメモリ画面（ 実行中のプログラム タブ）を表示します。**

・Today 画面で、 アイコンをタップします。
・ スタート メニューの “設定” − システム タブ− “メモリ” − 実行中のプログラム タブをタップします。

2 実行中のプログラム一覧から終了したいプログラム名を選び、終了をタップします。

設定 10:00 ok
メモリ
実行中のプログラム一覧:
ActiveSync
連絡先
Bubble Breaker
切り替え 終了 すべて終了
メイン メモリ カード 実行中のプログラム
サイズの大きいファイルを検索できます。

ご注意 ● プログラムの状態によっては、「このプログラムはビジー状態にあるか、ユーザーからの応答を待っている…」というメッセージ（画面）が表示されることがあります。このようなとき、終了してもよければ、タスクの終了をタップします。ただし、このプログラムで保存していないデータは削除されますのでご注意ください。

メモリ不足を解消する

動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、メモリ不足を解消してください。

データ記憶用メモリの不足を解消する

“Internet Explorer Mobile”や“Opera Browser”を使っているとキャッシュに画像データなどを一時保存しデータ記憶用メモリを使っていることがありますので、3-11ページ、3-23ページに記載している方法でキャッシュを削除してください。

プログラム実行用メモリの不足を解消する

動作が遅くなったときなどは、前ページからこのページをご覧になり、使っていないプログラムを終了してください。

減光したバックライトを点灯する

自動節電機能（☞10-18 ページ）によって最小輝度になった画面のバックライトを点灯（元の明るさ）します。

1 画面をタップしたりキーボードのキーを押します。

バックライトが点灯します。

MEMO

- しばらく操作しないと自動的にバックライトが最小輝度になります。この設定は変えることができます（☞10-18 ページ）。
- バックライトを点灯して使用すると、使用時間が短くなります。
  必要なとき以外は、明るさを調整して使用することをおすすめします（☞10-19 ページ）。
- 「ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける」設定のチェックを外しているときは、点灯しません（☞10-19 ページ）。
- バックライトの特性上、バックライト点灯時には濃淡のラインが見えますが、故障ではありません。

メモリカード（miniSD カード）を使う

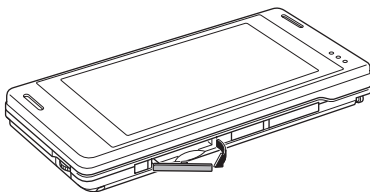
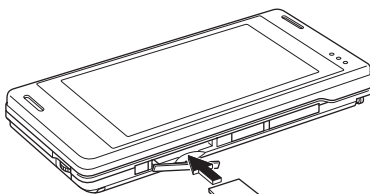
本製品には、市販の miniSD カードを取り付けることができます。

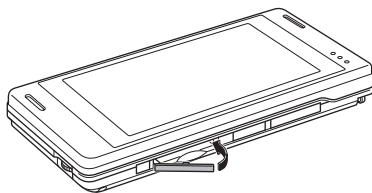
ご注意 ● miniSD カードによっては、認識しないものがあります。

MEMO
- 本製品ではメモリカードをフォーマットできません。
  パソコンでフォーマット（FAT）してください。
- メモリカードにファイルとして以下のものが保存できます。
  - ・画像／音楽ファイル
  - ・ボイスメモ
  - ・メモ
  - ・Word Mobile ／ Excel Mobile で作成したファイル
  - ・メールに添付されているファイル
  - ・バックアップファイルなど
- “予定表”、“連絡先”、メール本文は、メモリカードに保存できません。
- miniSD カードに保存するときに暗号化（☞10-35 ページ）したファイルは、他の機器（別の S01SH Ⅱやパソコン）などでは表示されません。

カードを取り付ける

1 本製品の電源を切ります（☞1-13 ページ）。

2 miniSD カードスロットのカバーを開きます。

3 カードの表面が上を向くようにして、端子側から奥まで確実に挿入します。

表面を上にする

4 カバーを閉じます。

5 電源を入れます。

ご注意
- カードの端子部を指などで触れないでください。
- 表裏をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。
- カードに強い力を加えないでください。
- カードは、スロットに確実に挿入してください。
- 本製品やminiSDカードを落とさないでください。破損したり故障の原因となります。

MEMO
- カードを取り付けているときは、取り付けていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、システムがカードをチェックするためです。

miniSDカードのファイルを確認する

1 ファイルエクスプローラ画面（☞9-14ページ）を表示し、画面左上の「My Documents ▼」などをタップします。

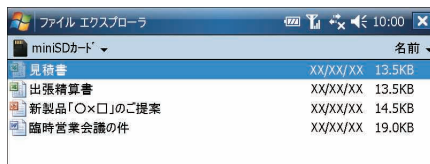
タップします。

ファイル エクスプローラ　10:00
My Documents ▾　名前 ▾
テンプレート
ブンコピューア
マイ ピクチャ
マイ ミュージック

2 表示されたメニューから「miniSDカード」をタップします。

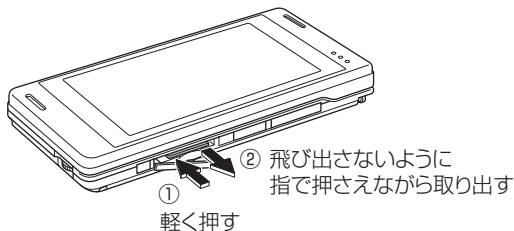
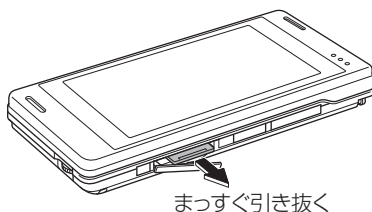
miniSDカード内のフォルダやファイルが表示されます。

ファイル エクスプローラ　10:00
miniSDカード ▾　名前 ▾

見積書	XX/XX/XX	13.5KB
出張精算書	XX/XX/XX	13.5KB
新製品「○×□」のご提案	XX/XX/XX	14.5KB
臨時営業会議の件	XX/XX/XX	19.0KB

カードを取り外す

1 本製品の電源を切ります（☞1-13 ページ）。

2 miniSD カードスロットのカバーを開きます。

3 カードの端を指で押し込みます。

4 スロットから外れたカードを抜き取り、カバーを閉じます。

5 電源を入れます。

ご注意 ● カードスロットからカードを取り外すときは、カードが飛び出さないように、指で軽く押さえながら出してください。

ファイルやフォルダをコピー／移動する

miniSD カードに保存しているファイルやフォルダを本体にコピー／移動する

1 **miniSD カードを取り付け、ファイルエクスプローラ画面（☞9-14 ページ）を表示して、「My Documents ▼」などをタップし「 miniSD カード」をタップします。**

miniSD カード内のフォルダやファイルが表示されます。

2 **目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューをタップします。**

・コピーするときは コピー をタップします。
・移動するときは 切り取り をタップします。

3 **画面左上の「 miniSD カード」をタップし、マイデバイス をタップします。**

本体側のファイルやフォルダなどが表示されます。

4 **コピー先または移動先のフォルダを開いた後、画面右下の メニュー － 編集 － 貼り付け をタップします。**

手順 **2** でコピー／切り取りしたファイルが貼り付けされます。

MEMO

- 手順 **2** で、目的のファイルを選択して画面右下の メニュー － 編集 － コピー ／ 切り取り をタップしてもコピー／移動できます。
- 手順 **4** で、画面をタップしたままにして表示されたメニューから貼り付けをタップしても貼り付け／移動ができます。ただし、ファイルやフォルダが表示されている場所で画面をタップしたままにするとそのファイルやフォルダが対象となりますので、ご注意ください。
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- 「コピー」「切り取り」したフォルダやファイルを貼り付けず、別のフォルダやファイルを「コピー」「切り取り」すると、前の「コピー」「切り取り」は解除されます。
- 本体に保存しているファイルやフォルダを別の階層にコピー／移動するときなどは、「My Documents ▼」をタップして、フォルダを選んでください。
- コピー元と同じ階層に「コピー」するとファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されます。
- コピーや移動をやめるときは、画面右下の メニュー － 編集 － 元に戻す　コピー （ 元に戻す　移動 ）をタップして、元に戻します。

本体のファイルやフォルダを miniSD カードにコピー／移動する

1 前ページと同様にファイルエクスプローラ画面（☞9-14 ページ）で本体メモリを開きます。

2 目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューの [コピー] または [切り取り] をタップします。

3 miniSD カード側に切り替え、画面右下の [メニュー] － [編集] － [貼り付け] をタップします。

手順 **2** でコピー／切り取りしたファイルが貼り付けされます。

保存しているファイルや情報を検索する

目的の情報をすばやく見つけ出せます。
My Documents フォルダや miniSD カード内のファイルや予定表、連絡先、仕事、メモに含まれている文字を検索します。

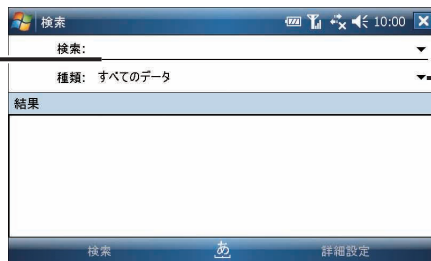
1 スタート メニューの "プログラム" をタップします。

2 プログラム画面で "検索" をタップします。

検索画面が表示されます。

3 「検索」欄に検索したい語句を入力します。

ファイル名や連絡先などのデータ内に含まれる文字列を入力します。
▼をタップすると、以前に検索した文字列が表示されます。再度同じ文字列で検索する場合に利用します。

検索
10:00
検索:
種類: すべてのデータ
結果
検索
あ
詳細設定

データの種類を選択して検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

4 画面左下の 検索 をタップします。

検索が開始され検索結果が表示されます。

5 見たいファイルやデータをタップします。

ファイルやデータが表示されます。

MEMO
- miniSD カードに保存されたファイルには、miniSD カードの記号 " " が表示されます。

6 検索画面に戻るときは、 をタップします。

ご注意
- ファイルやデータによっては、その内に含まれる文字列が検索されないものもあります。

本製品の使いかたを調べる（ヘルプ）

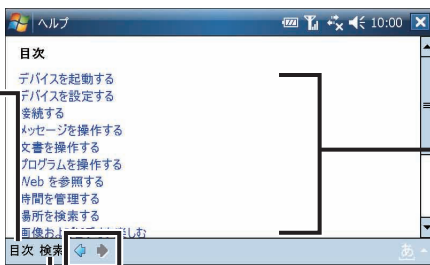
本製品に内蔵されているプログラムの操作方法はヘルプで確認できます。

1 スタート メニューの "ヘルプ" をタップします。

そのときに表示されているプログラムのヘルプ画面が表示されます。

2 見たい項目をタップします。

タップするとヘルプの全目次が表示されます。

タップすると検索画面が表示され、検索したい語句を入力して検索できます(☞前ページ)。

タップするとその項目のヘルプが表示されます。

◀をタップすると、これまで表示したヘルプ画面をさかのぼって表示します。

▶をタップすると、さかのぼったヘルプ画面を元の画面に戻します。

PDF マニュアルの見かた

PDF マニュアルは、パソコンで見る PDF 形式の電子マニュアルです。
以下のマニュアルは、PDF マニュアルとして付属の CD-ROM に収録されています。

Office PDF マニュアル	Picsel PDF Viewer
・Excel Mobile ・Word Mobile ・PowerPoint Mobile	

PDF マニュアルをお読みになるには、パソコンに Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader がインストールされている必要があります（Adobe Acrobat Reader5.0 以上を推奨）。
Adobe Reader は付属の CD-ROM からインストールできます。
以下の手順 **1**、**2** を行い、表示された画面で「Adobe Reader」をクリックしてください)。

1 **パソコンに、付属の CD-ROM をセットします。**

画面にメニューが表示されます。

2 **画面内の「Windows Mobile デバイスハンドブック」をクリックし、さらに、「ユーザーマニュアル」をクリックして、画面左側の「オンラインマニュアル」をクリックします。**

3 **ご覧になるマニュアルをクリックします。**

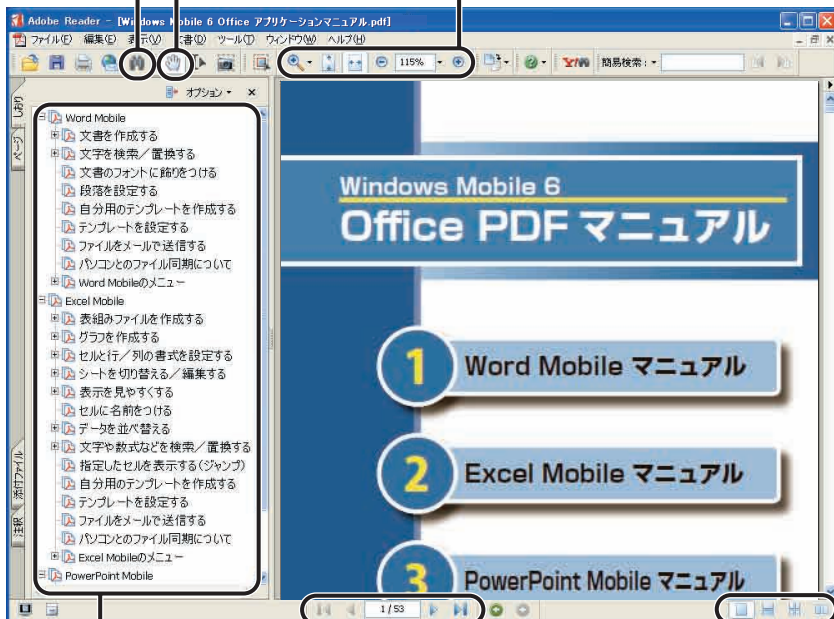
PDF マニュアルが表示されます。

4 **次のような方法などで、見たいページを表示します。**

プログラムなどの説明全体を見るとき　：しおりを使うと便利です。
調べたい言葉があるとき　：検索を使うと便利です。
ページを順番に見るとき　：ページ移動のアイコンを使うと便利です。

検索
クリックして検索したい言葉を入力します。検索した言葉が含まれるページ（またはその一覧）が表示されます。

手のひらツール（移動）
クリックしてページをドラッグするとスクロールバーを使わずにページの移動ができます。斜め方向の移動に便利です。

拡大縮小
特定の部分を拡大するときは、🔍をクリックしてから拡大したい部分をドラッグして囲みます。

しおり
見出しをクリックすると、そのページへジャンプします。
⊞をクリックするとしおりに詳細な見出しが表示されます。

ページ移動
ページ番号を入力し Enter キーを押すとそのページへジャンプします。
・⏮:最初のページへ
・⏭:最後のページへ
・◀:前のページへ
・▶:次のページへ

表示レイアウト
単一ページ表示、連続表示、見開き表示など、ページの表示レイアウトを変更できます。

MEMO
- お使いの Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader のバージョンによって、アイコンの形状や表示位置が異なります。アイコンにカーソルを合わせると、そのアイコンの機能が表示されます。
- くわしい使いかたは、Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

インターネットやメールを使うための準備

2

ネットワークに接続する方法

ホームページを閲覧したりメールの送受信を行うには、インターネットに接続する必要があります。
本製品では、次の方法のどちらかで接続します。
・HSDPA 通信を使って接続する
・ワイヤレス LAN を使って接続する

■ HSDPA 通信

HSDPA の設定はご購入時に設定されていますので、その設定を使ってインターネットに接続できます。
HSDPA が有効（オン）になっていることを確認した（次ページの手順 **1** ～ **3**）のち、ホームページの閲覧（☞3-4 ページ、3-14 ページ）やメールの送受信（☞4-7 ページ、4-40 ページ）を行ってください。
また、HSDPA 通信を無効（オフ）にするときは、2-4 ページをご覧ください。

■ワイヤレス LAN

アクセスポイントに接続する設定が必要になります。
2-5 ページをご覧になり、ワイヤレス LAN の設定を行ってください。
ワイヤレス LAN の設定を行ったのち、ホームページの閲覧（☞3-4 ページ、3-14 ページ）やメールの送受信（☞4-7 ページ、4-40 ページ）を行ってください。
ワイヤレス LAN を使用しないときは、電池残量の消耗を防ぐため無効（オフ）にすることをおすすめします（☞2-15 ページ）。

MEMO
- ネットワークに接続できないときは、2-17 ページや困ったときは（☞11-5 ページ）をご覧ください。

HSDPA を使って インターネットに接続する

ご購入時、本製品には HSDPA 通信を使ってインターネットに接続する情報が設定されています。この設定を使って、インターネットに接続しホームページの閲覧ができます。
以下に記載している HSDPA 通信が有効（オン）になっていることを確認した後、3-4 ページや 3-14 ページに記載されている操作を行うと、ホームページの閲覧ができます。
メールの送受信を行う場合は、最初にメールアカウントの設定が必要になります。
メール（Outlook）を使う場合は4-7 ページを、また SH メールを使う場合は4-40 ページをご覧になって設定を行った後、メールの送信や受信を行ってください。

HSDPA 通信が有効（オン）になっていることを確認する

1 スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブをタップします。

2 “HSDPA 設定” をタップし、無線 ON/OFF タブをタップします。

3 画面に「HSDPA は ON です」が表示されていることを確認します。「HSDPA は OFF です」になっているときは、HSDPA ON をタップして、表示された確認画面で OK をタップします。

設定 10:00
HSDPA設定
HSDPAはONです。
HSDPA OFF
HSDPA ON
情報 | PIN認証設定 | PIN変更 | APN設定 | 無線ON/OFF

MEMO
- HSDPA 通信の有効（オン）／無効（オフ）は、2-15 ページのワイヤレスマネージャ画面からも設定できます。上記の画面と 2-15 ページのワイヤレスマネージャ画面は連動しています。

HSDPA 通信を無効（オフ）にする

無効（オフ）にすると、HSDPA による通信はできなくなります。
通信中は無効（オフ）にできません。通信を終了してから操作してください。

1 スタート メニューの "設定" をタップし、接続 タブをタップします。

2 "HSDPA 設定" をタップし、無線 ON/OFF タブをタップします。

3 HSDPA OFF をタップして、表示された確認画面で OK をタップします。

HSDPA 通信が無効（オフ）になります。

ご購入時、設定されている接続情報について

ご購入時には、イー・モバイル株式会社が提供するインターネット接続サービスである以下の情報（APN 設定、接続設定）が設定されており、この情報を使ってインターネットに接続します。これらの内容を変更したり削除しないでください。変更や削除すると、インターネットに接続できなくなります。

■ APN 設定

HSDPA 設定画面（ APN 設定 タブ）に「w1.emb.ne.jp」が設定されています。

■接続設定

規定のインターネット設定に次の内容が設定されています。

・ 接続名　　：EM モバイルブロードバンド
・ モデム　　：GlobeTrotter Module 3G+ Modem
・ 電話番号　：＊ 99 ＊＊＊ 1#
・ ユーザー名：em
・ パスワード：em
・ ドメイン　：（空白）

ワイヤレス LAN の接続設定をする

内蔵のワイヤレス LAN を利用する場合はお使いの環境により設定する内容が異なります。
お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。

①自宅のワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するときは

以下の設定をしてください
・「内蔵ワイヤレス LAN を有効（オン）にする」（☞2-8 ページ）
・「アクセスポイントの設定をする」（☞2-9 ページ）
・「ネットワークに接続する」（☞2-13 ページ）

MEMO
● **IP アドレスやネームサーバーの設定が必要なときは**
上記の設定の他に「IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う」（☞ 次ページ）をご覧になり設定してください。

②公衆ワイヤレス LAN に接続するときは

ワイヤレス LAN サービスを提供している店舗などから、インターネットに接続することができます。
公衆ワイヤレス LAN を利用するための申し込みが必要な場合があります。
申し込みや接続に必要な情報など、お使いの公衆ワイヤレス LAN サービスについてあらかじめ確認したあと、以下の設定をしてください。
・「内蔵ワイヤレス LAN を有効（オン）にする」（☞2-8 ページ）
・「アクセスポイントの設定をする」（☞2-9 ページ）
・「ネットワークに接続する」（☞2-13 ページ）

③社内のワイヤレス LAN に接続する

社内のワイヤレス LAN に接続するときは、IP アドレスが決められていたり、ネームサーバーやプロキシサーバーが設定されている場合がほとんどです。これらの情報をネットワーク管理者に確認したあと、以下の設定をしてください。
・「IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う」（☞ 次ページ）
・「内蔵ワイヤレス LAN を有効（オン）にする」（☞2-8 ページ）
・「アクセスポイントの設定をする」（☞2-9 ページ）
・「ネットワークに接続する」（☞2-13 ページ）

IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う

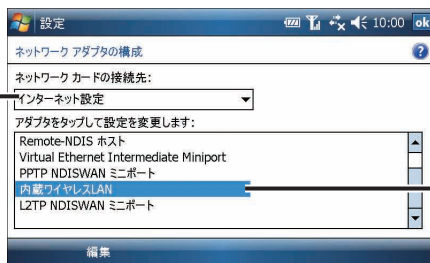
社内のネットワークに接続する場合などでは、IP アドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定が必要になることが多くあります。
ここでは、IP アドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定を行います。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、設定画面（接続 タブ）で “ネットワークカード” をタップします。**

2 **ネットワークアダプタの構成画面で、次の①と②を行います。**

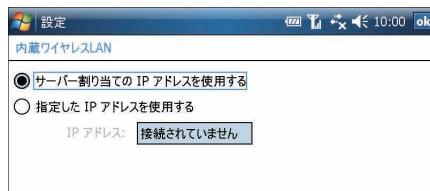
①「ネットワークカードの接続先」を選択します。

②「内蔵ワイヤレス LAN」をタップします。

① 社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択し、自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。

②「内蔵ワイヤレス LAN」をタップします。

3 **表示された画面で、IP アドレスの設定を行います。**

- DHCP サーバーを使用する場合は、「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」にチェックを付けます。
- 固定の IP アドレスを使用する場合は、「指定した IP アドレスを使用する」にチェックを付け、IP アドレスやサブネットマスクなどを入力します。

  IP アドレスなどを入力するときは、社内のネットワーク管理者におたずねください。

4 **ネームサーバー タブをタップし、DNS サーバーアドレスおよび WINS サーバーアドレスの情報を入力します。**

サーバーアドレスについても、社内のネットワーク管理者におたずねください。

5 **ok をタップします。**

「ネットワークアダプタの構成」画面に戻ります。

6 **ok をタップします。**

設定画面（接続 タブ）に戻ります。
社内のネットワークに接続するとき、プロキシの設定が必要な場合があります。手順 **7** 以降をご覧になりプロキシの設定を行ってください。
プロキシの設定が不要な場合は「内蔵ワイヤレス LAN を有効（オン）にする」（☞ 次ページ）に進みます。

7 **設定画面（ 接続 タブ）で、 “接続” をタップします。**

8 **接続画面（ 設定 タブ）で、既定の社内ネットワーク設定の「プロキシサーバーの設定」をタップします。**

9 **表示された画面で、「このネットワークをインターネットに接続する」にチェックを付けます。**

10 **さらに「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」にチェックを付け、プロキシサーバーを入力します。**
必要に応じて、詳細設定 をタップし、HTTP プロキシサーバーのポートやユーザー名、パスワードを入力します。

プロキシサーバーなどについては、社内のネットワーク管理者におたずねください。

11 **ok を数回タップし、設定画面（ 接続 タブ）に戻ります。**

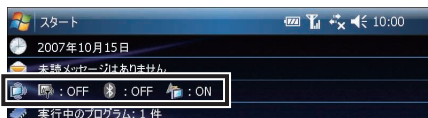
「内蔵ワイヤレス LAN を有効（オン）にする 」（☞ 次ページ）に進みます。

内蔵ワイヤレスLANを有効（オン）にする

1 スタート メニューの “設定” をタップし、設定画面（接続 タブ）で “ワイヤレスマネージャ” をタップします。

ワイヤレスマネージャ画面が表示されます。

Today画面の :OFF :OFF :ON をタップしても表示されます。

スタート 10:00
2007年10月15日
未読メッセージはありません
:OFF :OFF :ON
実行中のプログラム: 1 件

MEMO

- Fn キーを押したまま キーを押してもオン／オフを切り替えることができます。

2 内蔵ワイヤレスLANの「ON」にチェックを付けます。

設定 10:00 ok
ワイヤレス マネージャ
無線機能を設定します。
内蔵ワイヤレスLAN: ON OFF
MACアドレス: XXXXX

しばらくするとMACアドレスが表示されます。

MEMO

- **MACアドレスについて**
  ワイヤレスLANを「ON」にしてしばらくすると、MACアドレスが表示されます。また、ワイヤレスLANアクセスポイントの設定で、MACアドレスを登録している機器のみ接続できるように設定しているときは、上記画面のMACアドレスをワイヤレスLANアクセスポイントに設定してください。
- 内蔵ワイヤレスLANの有効（オン）時にBluetoothを有効（オン）にすると、通信速度／通信距離が低下するほか、Bluetooth対応ヘッドセットなどを使って音楽を聴くときに音が途切れたり、音程が変わることがあります。
  どちらかを有効（オン）にしたときは、もう一方を無効（オフ）にすることをおすすめします。

3 ok をタップします。

ワイヤレスLANランプが点灯します。また、タイトルバーに が表示され、近くのアクセスポイントを自動的に検出します。

アクセスポイントを自動的に検出した場合

「ネットワークに接続する」（☞2-13ページ）に進んでください。

アクセスポイントを自動的に検出しなかった場合

「アクセスポイントの設定をする」（☞ 次ページ）に進んでください。

アクセスポイントの設定をする

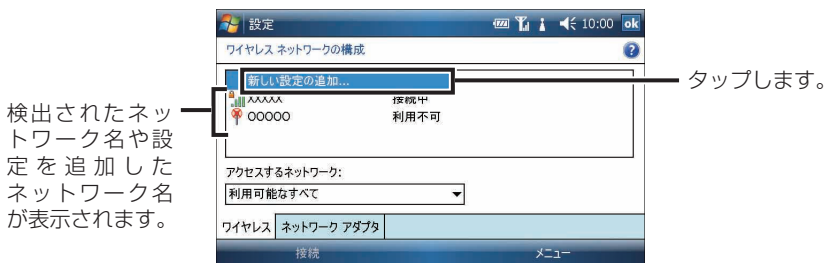
ワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するための情報を設定します。

ご注意
- 本製品は、一部のワイヤレス LAN アクセスポイントが持つ自動設定機能には対応していません。お使いのワイヤレス LAN アクセスポイントがワイヤレス LAN の設定を自動で行うように設定している場合、この設定を無効にして、手動で設定しておいてください。

MEMO
- **アクセスポイントの情報を確認しておく**
「ネットワーク名（SSID）」、「データ暗号化」、「ネットワークキー（WEP キー）」など、ワイヤレス LAN アクセスポイントの情報が必要になることがあります。お使いのワイヤレス LAN アクセスポイントの説明書もあわせてお読みください。パソコンからアクセスポイントの設定ページなどを表示して調べることもできます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、設定画面（接続 タブ）で、“ネットワークカード” をタップします。**

2 **ワイヤレス タブが選択されていることを確認して、「新しい設定の追加」をタップします。**

近くにワイヤレス LAN アクセスポイントを検出した場合は、ネットワーク名（SSID）が表示されます。

ご注意
- ワイヤレス タブは内蔵ワイヤレス LAN を有効（オン）（☞ 前ページ）にしないと表示されません。
- ワイヤレス LAN を有効（オン）にしている状態で電源を切った場合、次に電源を入れたときは、ワイヤレス LAN を有効（オン）にするための処理が必要なため約 5 秒以内には電源を切らないようにしてください。

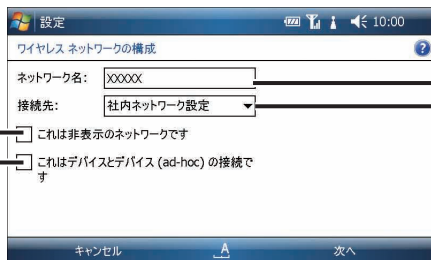
3 ネットワーク名を入力し、接続先を選択し、次へ をタップします。

・「インターネット設定」　：自宅などからプロバイダーに接続するときに選びます。

・「社内ネットワーク設定」：社内のネットワークに接続するときに選びます。

設定	10:00
ワイヤレス ネットワークの構成	
ネットワーク名:	XXXXX
接続先:	社内ネットワーク設定
□ これは非表示のネットワークです	
□ これはデバイスとデバイス (ad-hoc) の接続です	
キャンセル	次へ

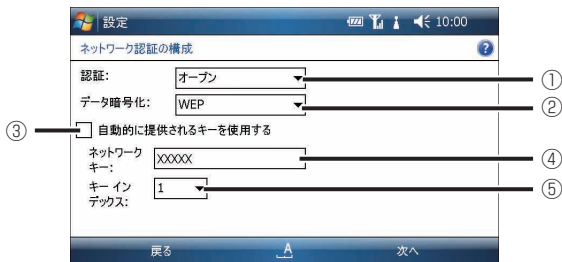
ネットワーク名（SSID）を表示しないようにしているアクセスポイントに接続する場合、チェックを付けます。

チェックがないことを確認します（インフラストラクチャ通信）。
アクセスポイントを使用しないアドホック通信を利用する場合は、チェックを付けます。

アクセスポイントに設定されているネットワーク名を入力します。

自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択します。

MEMO

- **ワイヤレス LAN の通信形態について**
  ワイヤレス LAN の通信形態には、次の 2 つがあります。
  - **インフラストラクチャ通信**
    ワイヤレス LAN アクセスポイントを介して通信します。
  - **アドホック通信**
    ワイヤレス LAN アクセスポイントを介さず、ワイヤレスで接続できる機器同士で直接通信を行います。
- ワイヤレスネットワークの構成画面（☞ 上記）では、「これはデバイスとデバイス（ad-hoc）の接続です」にチェックを付けないようにしてください。チェックを付けるとアドホック通信になります。本製品ではアクセスポイントを介して（インフラストラクチャ通信）、インターネットに接続します。

4 セキュリティ関連の設定を行い、[次へ] をタップします。

①ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて認証方式を選択します。

②ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて暗号化方式を選択します。暗号化方式が異なると接続できません。
ワイヤレス LAN アクセスポイント側でネットワークキー（WEP キー）が設定されている場合は、「WEP」を選択します。また、ネットワークキーが設定されていない場合は、「無効」を選択します。
※①認証で「WPA」、「WPA-PSK」、「WPA2」、「WPA2-PSK」を選択している場合は、「TKIP」または「AES」を選択します。

③ネットワークキーを入力するときなどは、チェックを外し④のネットワークキーを入力します。

④ワイヤレス LAN アクセスポイントと同じネットワークキーを設定してください。
暗号化キーに使用可能な文字種および文字数は、以下のとおりです。

・暗号化方式で「WEP」を選んだ場合

ASCII 文字　：5 文字または 13 文字
16 進数　：10 桁または 26 桁

・認証方式で「WPA-PSK」／「WPA2-PSK」を選び、データ暗号化方式で「TKIP」／「AES」を選んだ場合

ASCII 文字　：8 文字～ 63 文字
16 進数　：64 桁（ワイヤレス LAN アクセスポイントによっては対応していません。）

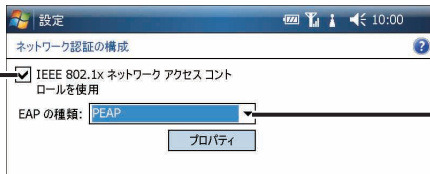
※ASCII 文字で入力できる文字種は 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z の英数字です。（大文字と小文字は別の文字として区別されます。）
※16 進数で入力できる文字種は 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F の英数字です。（大文字と小文字は同一文字として認識されます。）

⑤ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて「キーインデックス」を選択します。必要に応じてキーのインデックスを変更します。
本製品は、1 ～ 4 までの間でキーのインデックスを設定します。

ご注意 ● 通信データを暗号化することを強く推奨します。
通信データの暗号化を設定していない場合、ワイヤレス LAN 機能を搭載した装置から本製品を検索できるため、データを盗まれたり、データを破壊されたりする危険性があります。

5 **アクセスポイントの設定に合わせて、IEEE802.1X 認証を使用する場合は、暗号化の方法などを設定します。**

IEEE802.1X 認証を使用しない場合は、チェックが付いていないことを確認してください。

設定
ネットワーク認証の構成
IEEE 802.1x ネットワーク アクセス コントロールを使用
EAP の種類: PEAP
プロパティ

暗号化の方法を選択します。

6 **完了 をタップします。**

「ワイヤレスネットワークの構成」画面に戻ります。
アクセスポイントを自動的に検出し、接続されます。
自動的に接続されない場合は「アクセスポイントを指定して接続する」（☞2-14 ページ）をご覧になり接続してください。

内蔵ワイヤレス LAN の接続設定を変更する

1 **ワイヤレスネットワークの構成画面（ワイヤレス タブ）で変更するネットワーク名をタップしたままにし、表示されたメニューから 編集 をタップします。**

2 **設定内容を変更します。**

画面の内容についてくわしくは 2-10 ページ～このページの手順 **3** ～ **5** をご覧ください。

内蔵ワイヤレス LAN の接続設定を削除する

1 **ワイヤレスネットワークの構成画面（ワイヤレス タブ）で削除するネットワーク名をタップしたままにし、表示されたメニューから 設定の削除 をタップします。**

ご注意 ● 接続設定を削除すると、取り消しはできません。よく確認してから削除してください。

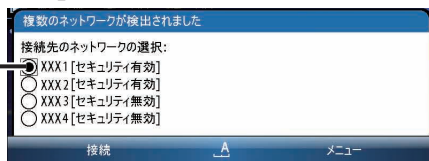
ネットワークに接続する

内蔵ワイヤレス LAN を有効にしてアクセスポイントを検出したときや、アクセスポイントを設定したあと手動でネットワークに接続する方法を説明します。
公衆ワイヤレス LAN のアクセスポイントに接続するときは以下の方法で接続を行ったあと Internet Explorer Mobile を起動して認証操作を行う必要がある場合があります。くわしくはお使いのワイヤレス LAN サービスを提供している会社におたずねください。

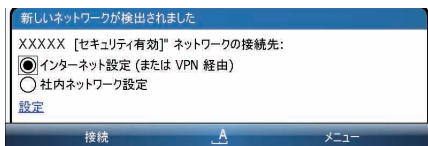
アクセスポイントを自動的に検出したとき

近くにアクセスポイントがあるときは、タイトルバーに が表示され、画面下部に「ネットワークが検出されました」のメッセージが表示されます。

「XXXX」はネットワーク名が表示されます。

複数のネットワークが検出されました
接続先のネットワークの選択:
XXX1 [セキュリティ有効]
XXX2 [セキュリティ有効]
XXX3 [セキュリティ無効]
XXX4 [セキュリティ無効]
接続　メニュー

表示が消えた場合は、タイトルバーの をタップし、さらに をタップすると再度表示されます。以下の手順でネットワークに接続してください。

MEMO
- **複数のアクセスポイントを検出したときは**
  アクセスポイントを選択して、画面左下の OK をタップします。

1 **ネットワークの接続先を選択する画面で接続先を選択します。**

新しいネットワークが検出されました
XXXXX [セキュリティ有効]" ネットワークの接続先:
インターネット設定 (または VPN 経由)
社内ネットワーク設定
設定
接続　メニュー

・「インターネット設定」　：自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレス LAN に接続するときに選びます。
・「社内ネットワーク設定」：社内のネットワークに接続するときに選びます。

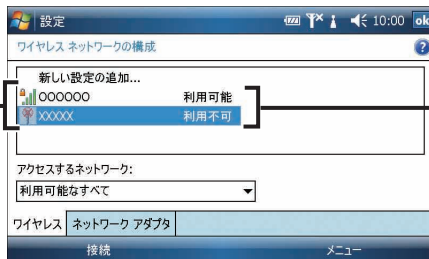
2 **画面左下の 接続 をタップします。**

ネットワークキーが必要な場合は、ネットワークキーの入力画面が表示されますので、アクセスポイントに設定されているネットワークキーを入力してください。
タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続されます。

アクセスポイントを指定して接続する

目的のアクセスポイントに接続できないときなど、アクセスポイントを指定してネットワークに接続します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、設定画面（接続 タブ）で、“ネットワークカード” をタップします。**

検出されたネットワーク名や設定を追加したネットワーク名が表示されます。

接続状態が表示されます。

MEMO

● **接続状態の表示について**

・利用可能　：接続して利用できるネットワークがあるとき表示されます。
・利用不可　：設定したネットワークに接続を試みたが接続できなかったときに表示されます。
・接続中　　：利用可能なネットワークに接続を試みているときに表示されます。
・接続済み　：利用可能なネットワークへの接続が確立されているときに表示されます。

2 **ネットワーク名をタップしたままにして表示されたメニューから 接続 をタップします。**

タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続されます。

内蔵ワイヤレス LAN を無効（オフ）にする

ワイヤレス LAN を使用しない場合は、内蔵ワイヤレス LAN 機能を無効（オフ）にすることをおすすめします。
内蔵ワイヤレス LAN 機能が有効（オン）の場合は、通常より電池残量が減り、動作時間が非常に短くなります。

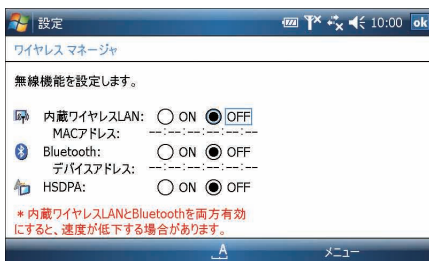
1 **スタート メニューの “設定” をタップし、設定画面（接続 タブ）で “ワイヤレスマネージャ” をタップします。**

ワイヤレスマネージャ画面が表示されます。
Today 画面の : ON : OFF : OFF をタップしても表示されます。

スタート 10:00
2007年10月15日
: ON : OFF : OFF
予定表 連絡先

MEMO ● Fn キーを押したまま キーを押してもオン／オフを切り替えることができます。

2 **内蔵ワイヤレス LAN の「OFF」にチェックを付け、ok をタップします。**

設定 10:00 ok
ワイヤレス マネージャ
無線機能を設定します。
内蔵ワイヤレスLAN: ON OFF
MACアドレス: --:--:--:--:--:--
Bluetooth: ON OFF
デバイスアドレス: --:--:--:--:--:--
HSDPA: ON OFF
＊内蔵ワイヤレスLANとBluetoothを両方有効にすると、速度が低下する場合があります。
メニュー

3 **ワイヤレス LAN ランプが消灯します。また、タイトルバーの が消えます。**

APN 設定を追加／変更する

APN 設定を追加する

ご購入時、APN 設定には「w1.emb.ne.jp」が設定されています。この情報を使って、「EM モバイルブロードバンド」に接続します。この内容は変更しないでください。変更すると接続できなくなります。変更したときは、初期設定に戻す をタップまたは APN 入力欄で「w1.emb.ne.jp」を選択すると、ご購入時の状態に戻ります。

1 **HSDPA 設定画面で APN 設定 タブをタップします。**

2 **APN 入力欄に入っている文字を削除して、新しい APN を入力します。**

入力できる文字は、半角英数字、“.”（ピリオド）、“-”（ハイフン）のみです（英字の大文字と小文字は区別されます）。

ご注意
- 「EM モバイルブロードバンド」に接続するときは、APN 入力欄に「w1.emb.ne.jp」が表示されていることを確認してください。

3 **設定 をタップします。**

手順 **2** で入力した APN が設定されます。

MEMO
- 「EM モバイルブロードバンド」とは、イー・モバイル株式会社が提供する通信サービスの名称です。

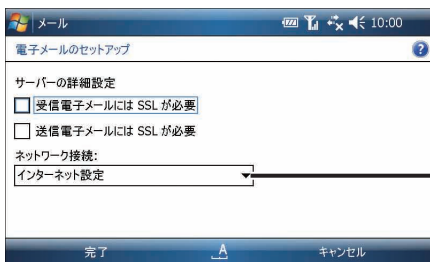
メールの送受信やインターネットへの接続がうまくいかないときは

メールの送受信やインターネットに接続できない場合、インターネットに接続する方法が正しく設定されていないことが考えられます。
以下のことを確認してください。

◇ メール（Outlook）◇

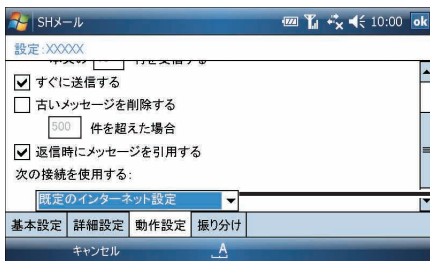
EM モバイルブロードバンドに接続するとき、「接続」欄に表示されている設定が「インターネット設定」になっていることを確認してください。（☞4-10 ページ）

メール 10:00
電子メールのセットアップ
サーバーの詳細設定
受信電子メールには SSL が必要
送信電子メールには SSL が必要
ネットワーク接続:
インターネット設定
完了 キャンセル

「インターネット設定」になっていることを確認してください。

◇ SH メール ◇

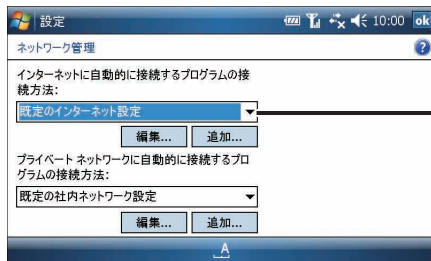
EM モバイルブロードバンドに接続するとき、「接続」欄に表示されている設定が「既定のインターネット設定」になっていることを確認してください。（☞4-44 ページ）

SHメール 10:00 ok
設定：XXXXX
すぐに送信する
古いメッセージを削除する
500 件を超えた場合
返信時にメッセージを引用する
次の接続を使用する：
既定のインターネット設定
基本設定 詳細設定 動作設定 振り分け
キャンセル

「既定のインターネット設定」になっていることを確認してください。

MEMO
- 「EM モバイルブロードバンド」とは、イー・モバイル株式会社が提供する通信サービスの名称です。

◇ ネットワーク管理画面 ◇

EM モバイルブロードバンドに接続するとき、「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」欄に表示されている設定が「既定のインターネット設定」になっていることを確認してください。
ネットワーク管理画面は、スタート メニューの "設定" をタップし、設定画面（接続 タブ）で "接続" をタップします。さらに表示された接続画面で 詳細設定 タブをタップし、ネットワークの選択 をタップすると表示されます。

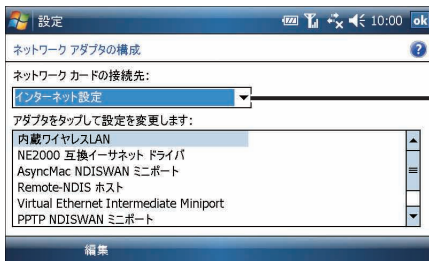
設定 10:00 ok
ネットワーク管理
インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法:
既定のインターネット設定
編集... 追加...
プライベート ネットワークに自動的に接続するプログラムの接続方法:
既定の社内ネットワーク設定
編集... 追加...

「既定のインターネット設定」になっていることを確認してください。

内蔵ワイヤレス LAN をお使いの場合は

以下の画面も確認してください。

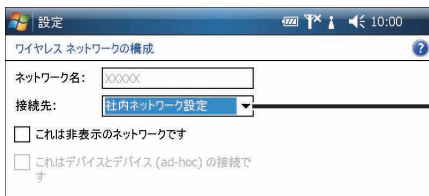
◇ ネットワークアダプタの構成画面 ◇

「ネットワークカードの接続先」欄に表示されている設定を確認してください（☞2-6 ページ）。

設定 10:00 ok
ネットワーク アダプタの構成
ネットワーク カードの接続先：
インターネット設定
アダプタをタップして設定を変更します：
内蔵ワイヤレスLAN
NE2000 互換イーサネット ドライバ
AsyncMac NDISWAN ミニポート
Remote-NDIS ホスト
Virtual Ethernet Intermediate Miniport
PPTP NDISWAN ミニポート
編集

タップして接続を切り替えます。表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

◇ ワイヤレスネットワークの構成画面 ◇

「接続先」欄に表示されている設定を確認してください（☞2-10 ページ）。

設定 10:00
ワイヤレス ネットワークの構成
ネットワーク名： XXXXX
接続先： 社内ネットワーク設定
これは非表示のネットワークです
これはデバイスとデバイス (ad-hoc) の接続です

タップして接続を切り替えます。表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

表示されるメニューについて

・「インターネット設定」　：自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレス LAN に接続するときに選びます。

・「社内ネットワーク設定」　：社内のネットワークに接続するときに選びます。

インターネット

3

Web ブラウザの概要 3-2

ホームページを見る（Internet Explorer Mobile） 3-4

ホームページを見る（Opera Browser） 3-14

ネットウォーカー（お気に入りめぐりをする） 3-27

Web ブラウザの概要

あらかじめ必要な情報（APN 設定／接続設定 ☞2-4 ページ）は本製品に登録されていますので、ご購入後すぐに HSDPA 通信を使ってインターネットに接続し、ホームページの閲覧ができます。
ワイヤレス LAN を使う場合は、2-5 ページをご覧になり設定を行いインターネットに接続してください。
ここでは、HSDPA 通信を使ってインターネットに接続する方法を説明しています。
HSDPA 通信が有効（オン）になっていることを確認してください（☞2-3 ページ）。
本製品で利用できる Web ブラウザには、次の 2 つがあります。
・Internet Explorer Mobile　☞3-4 ページ
・Opera Browser　☞3-14 ページ

2 種類の Web ブラウザの違いについて

- Internet Explorer Mobile の特徴は、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコンの Internet Explorer と「お気に入り」を同期できることです。
- Opera Browser の特徴は、複数のホームページをタブ画面で切り替えて表示できることです（タブブラウザ）。

	Internet Explorer Mobile	Opera Browser
パソコンの Internet Explorer と「お気に入り」を同期	○	×
複数のホームページをタブ画面で切り替えて表示	×	○

通常使用する Web ブラウザに設定する

本製品には“Internet Explorer Mobile”と“Opera Browser”の 2 つの Web ブラウザが入っています。どちらかを通常使用する Web ブラウザに設定します（ご購入時は、“Internet Explorer Mobile”が設定されています）。

1 スタート メニューの “プログラム”をタップします。

2 プログラム画面で “Opera Browser” をタップします。

MEMO
- 「Opera は標準のウェブブラウザとして設定されていません。」と表示されたときは、「はい」をタップしてください。

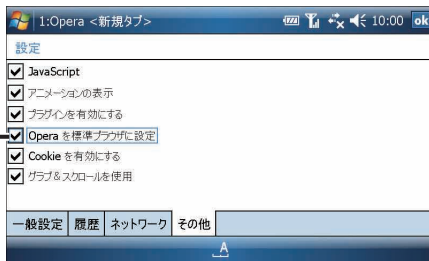
3 画面右下の メニュー － ツール － 設定 － その他 タブをタップします。

設定画面が表示されます。

4 「Opera を標準ブラウザに設定」にチェックを付けたり、外したりします。

チェックを付けると、“Opera Browser”が通常使用する Web ブラウザになります。
チェックを外すと、“Internet Explorer Mobile”が通常使用する Web ブラウザになります。

1:Opera <新規タブ> 10:00 ok
設定
- JavaScript
- アニメーションの表示
- プラグインを有効にする
- Opera を標準ブラウザに設定
- Cookie を有効にする
- グラブ＆スクロールを使用

一般設定 | 履歴 | ネットワーク | その他

MEMO
- 通常使用する Web ブラウザを変更すると、タブレットキーからの起動およびホームメニューからの起動も連動して切り替わります。

ホームページを見る（Internet Explorer Mobile）

Internet Explorer Mobile を使って、ホームページの閲覧ができます。
ここでは、Internet Explorer Mobile の基本的な使いかたについて説明します。
あわせてヘルプもご覧ください。

アクセスリストに登録したホームページを順番に閲覧することができます。くわしくは、“ネットウォーカー（お気に入りめぐりをする）”（☞3-27 ページ）をご覧ください。

MEMO

- Internet Explorer Mobile は、パソコンなどで広く使われている Web ブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。
- Internet Explorer Mobile は Flash コンテンツの再生に対応していますがパソコンで広く使われているブラウザによる再生に比べて、一部異なる部分や制限があります。
  また、ホームページによっては、Flash コンテンツの再生は行わないように設定されている場合があります。
  Internet Explorer Mobile の Flash Player は、ペンによる操作に最適化しています。ポインタによる操作では、数回クリックしないとコンテンツが反応しないなど、一部制限があります。

ホームページを見る

1 **スタート メニューの “Internet Explorer” をタップします。**

Internet Explorer Mobile が起動します。
接続を開始し、接続が完了すると、タイトルバーに が表示されます。

アドレスバー
移動ボタン

※この画面は、実際に接続したときに表示される画面とは異なります。

2 アドレスバーに URL を入力し、（移動ボタン）をタップします。

入力した URL のホームページに移動します。

MEMO

- 接続途中で接続を切断するときは、画面左下の 中止 をタップしてから切断してください。
- 「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、OK をタップしてください。

ご注意

- ホームページがうまく表示されないときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除してください。
キャッシュの削除は、画面右下の メニュー － ツール － オプション － メモリ タブから ファイルを削除 をタップします。

Internet Explorer Mobile の画面について

ワイヤレス LAN で接続しているときは が表示されます。

閲覧しているホームページの URL が表示されます。
また、閲覧したいホームページの URL を入力し、をタップすると、入力した URL のホームページが閲覧できます。

タップすると、アドレスバーで指定された URL のホームページへ移動します。

リンク先をタップすると、そのホームページへ移動します。

戻る が表示されているとき、タップすると直前に表示していたホームページに戻ります。
中止 が表示されているとき、タップすると開いているページの表示を中止します。
お気に入り が表示されているときにタップするとお気に入りに登録したリンク先一覧が表示されます。

タップすると、メニューが表示されます（☞3-13 ページ）。

MEMO

- スクロールホイールを回すと画面がスクロールします。
- ページを画面に表示する方法を変更することができます。
表示方法の変更方法は、画面右下の メニュー － 表示 をタップして選択します。全画面表示を元にもどすときは、画面をタップしたままにし「全画面表示」のチェックを外します。

ネットワークを切断する

1 **タイトルバーの をタップし、切断 をタップします。**

タイトルバーの が になります。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合
2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

お気に入りを使用する

何度も見たいホームページはお気に入りに登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するとき便利です。
また、そのホームページを起動時に接続するページとして設定することができます(☞3-11 ページ)。

お気に入りに追加する

1 **お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにします。**

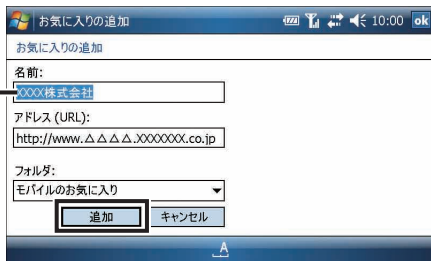
ポップアップメニューが表示されます。

2 **お気に入りに追加 をタップします。**

お気に入りの追加画面が表示されます。

MEMO
- お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面右下の メニュー － お気に入りに追加 をタップしてもお気に入りの追加画面が表示されます。

3 名前を確認または変更し、追加 をタップします。

タップすると、名前を変更できます。

お気に入りのページを見る

1 ホームページが表示されている画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから お気に入り をタップします。

お気に入り画面が表示されます。

MEMO
- ホームページを表示しているときに、画面左下の お気に入り または画面右下の メニュー － お気に入り をタップしてもお気に入り画面が表示されます。

2 お気に入り画面の 開く タブをタップし、目的のページをタップします。

目的のページが表示されます。

お気に入りにフォルダを追加する

1 画面右下の メニュー － お気に入り － 追加／削除 タブをタップし、新しいフォルダ をタップします。

2 名前を確認または変更し、追加 をタップします。

お気に入りから削除する

1 **画面右下の [メニュー] − [お気に入り] − [追加／削除] タブをタップし、削除したいお気に入りのページを選択します。**

2 **[削除] をタップします。**

削除の確認画面が表示されます。

3 **[はい] をタップします。**

MEMO
- フォルダを削除するときは、削除したいフォルダを選択して、[削除] をタップします。

履歴を使ってホームページを表示する

一度表示したホームページの URL は履歴として残っています。この履歴を利用して、一度開いたホームページをすぐに表示できます。

1 **ホームページを表示中に [メニュー] − [履歴] をタップします。**

履歴画面が表示されます。

2 **履歴画面でページタイトルのリストから表示したいタイトルをタップします。**

そのページが表示されます。

MEMO
- 履歴画面で画面左上の [ページタイトル] をタップし表示されたメニューから [アドレス] をタップすると履歴画面のリストが URL に変わります。
- 履歴を削除する方法は、3-11 ページをご覧ください。

ホームページの画像を保存する／テキストをコピーする

ホームページの画像を保存したり、テキストをコピーしたりできます。

ご注意 ● Web ページの保存はできません。

ホームページの画像を保存する

1 **保存したいホームページの画像をタップしたままにし、ポップアップメニューから イメージの保存 をタップします。**

ダウンロード画面が表示されます。

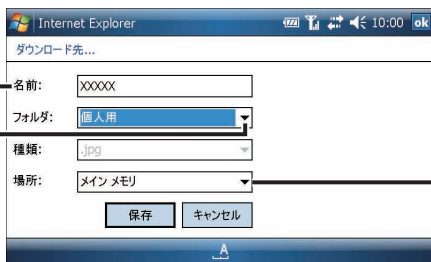
2 **はい をタップします。**

「My Documents」の下の「My Pictures」フォルダに保存されます。

MEMO

- **「My Pictures」フォルダ以外に画像を保存したいときは**
  1 ダウンロード画面で 名前を付けて保存 をタップします。
  ダウンロード先画面が表示されます。
  2 名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

画像の名前を入力します。

画像を保存するフォルダを選択します。

画像を格納する場所として「メインメモリ」（「My Documents」の下）、または「miniSD カード」を選択します。

3 保存 をタップします。

ホームページのテキストをコピーする

1 コピーしたいテキストが表示されているホームページの画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから [すべてのテキストを選択] をタップします。

2 もう一度ホームページの画面をタップしたままにし、[コピー] をタップします。

MEMO
- 手順 **1** は、画面右下の [メニュー] – [編集] – [すべてのテキストを選択] をタップしても選択できます。
- 手順 **2** は、画面右下の [メニュー] – [編集] – [コピー] でもコピーできます。

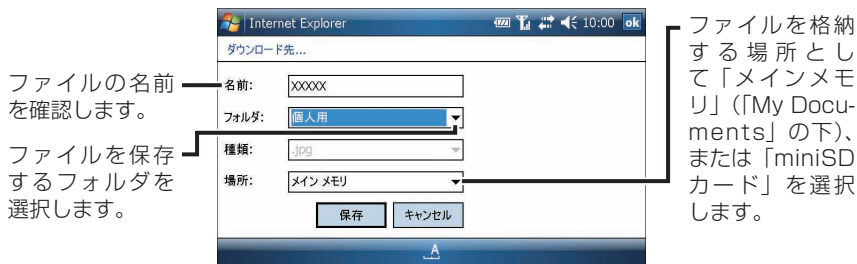
ファイルをダウンロードして保存する

1 保存するファイルが組み込まれているホームページから [ダウンロード] などをタップして、ファイルをダウンロードします。

2 [名前を付けて保存] をタップします。

ダウンロード先画面が表示されます。

MEMO
- [はい] をタップすると「My Documents」フォルダに保存されます。

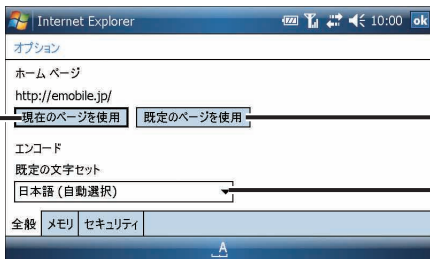
3 名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

ご注意
- ダウンロード中は、USB ケーブルを使ってパソコンなどと接続しないでください。通信中に USB デバイスの抜き差しをすると、ダウンロード処理が停止する場合があります。

4 保存 をタップします。

プログラムファイルなどをダウンロードすると、ダウンロード後、インストールが始まることがあります。このようなときは、画面に表示される内容にしたがって操作してください。

表示しているページをホームページ（起動時のページ）に設定する

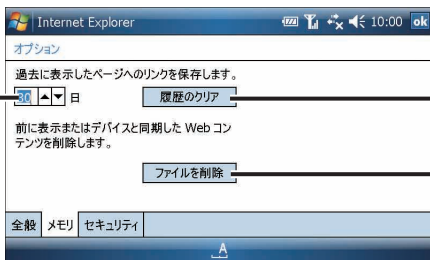
画面右下の メニュー － ツール － オプション － 全般 タブで表示しているページを“Internet Explorer Mobile”を起動したときに最初に表示されるページに設定できます。設定が終わったら ok をタップしてください。

現在表示中のページが「ホームページ」として設定されます。

ホームページの設定を初期設定に戻します。

表示言語を設定します。
通常は、日本語（自動選択）にしておいてください。

キャッシュや履歴を削除する

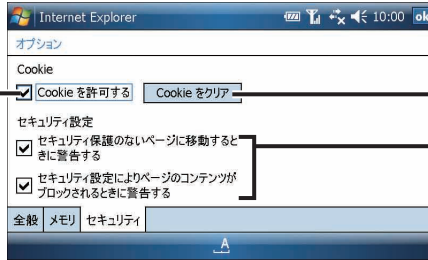
画面右下の メニュー － ツール － オプション － メモリ タブでキャッシュの削除や履歴の削除ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

履歴を何日間保存するか設定します。

履歴を消去します。

インターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除します。

Cookie やセキュリティの設定をする

画面右下の メニュー － ツール － オプション － セキュリティ タブで Cookie の設定や消去、セキュリティの設定ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

Cookie を許可しない場合はチェックを外します。

Cookie を消去します。

セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをおすすめします。

Internet Explorer Mobile のメニュー

ホーム		「ホームページ」として設定されているページに戻る。
アドレスバー		アドレスバーにカーソルを移動する。
お気に入り		お気に入りに登録したリンク先一覧（お気に入り画面）を表示する。 移動したいリンク先をタップすると、そのホームページへ移動する（☞3-7ページ）。
お気に入りに追加		表示中のホームページをお気に入りに追加する（☞3-6ページ）。
次へ		「戻る」でページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進む。
最新の情報に更新		再読み込みを行う。
履歴		過去に表示したリンク先の一覧を表示する。
表示	**文字サイズ**	表示している文字サイズを変更する。
	一列に表示する	画面の幅と同じ幅に合わせて、コンテンツを表示する。
	画面に合わせる	各コンテンツを小さくして、できるだけ画面の横幅におさまるように表示する。
	表示調整しない	パソコンと同じようなレイアウトになる。縦方向と横方向へスクロールして、見えていない部分を表示する。
	高解像度を使用	チェックが付いているとき、本体の解像度（WVGA）に合わせて表示する。
	全画面表示	表示範囲を全画面にする。元の画面に戻すには、画面をタップしたままにし、「全画面表示」のチェックを外す。
	画像を表示する	画像を表示する。チェックを外すと画像は表示しない。
編集	**切り取り**	文字を切り取る。
	コピー	文字をコピーする。
	貼り付け	コピーおよび切り取った文字を貼り付ける。
	すべてのテキストを選択	すべての文字を選択する。
ツール	**リンクを送る**	タップすると表示しているホームページのURLを載せた新規メールを作成する。
	プロパティ	表示しているホームページの情報を表示する。
	オプション	オプション設定画面を表示する（☞3-11～12ページ）。

ホームページを見る
（Opera Browser）

Opera Browser を使って、ホームページの閲覧ができます。

アクセスリストに登録したホームページ（☞3-32 ページ）を順番に閲覧することができます。くわしくは、“ネットウォーカー（お気に入りめぐりをする）”（☞3-27 ページ）をご覧ください。

MEMO

- Opera Browser は、パソコンなどで広く使われている Web ブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。
- Opera Browser は Flash コンテンツの再生に対応していますがパソコンで広く使われているブラウザによる再生に比べて、一部異なる部分や制限があります。
  また、ホームページによっては、Flash コンテンツの再生は行わないように設定されている場合があります。
  Opera Browser の Flash Player は、ペンによる操作に最適化しています。ポインタによる操作では、数回クリックしないとコンテンツが反応しないなど、一部制限があります。

ホームページを見る

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “Opera Browser” をタップします。**

Opera Browser が起動します。

接続を開始し、接続が完了すると、タイトルバーに が表示されます。

アドレスバー

移動ボタン

1:emobile.jp 10:00 ok
http://emobile.jp/

※この画面は、実際に接続したときに表示される画面とは異なります。

3 アドレスバーに URL を入力し、（移動ボタン）をタップします。

入力した URL のホームページに移動します。

MEMO ●「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、OK をタップしてください。

ご注意 ● ホームページがうまく表示されないときは、Opera Browser のキャッシュを削除してください。
キャッシュの削除は、画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 履歴 タブから キャッシュ削除 をタップし、確認画面で はい をタップします。

Opera Browser の画面について

表示しているホームページを再読み込みします。

ワイヤレス LAN で接続しているときは が表示されます。

セキュリティで保護されているページでは などになります。数字はセキュリティの強さによって変わります。

直前に表示していたホームページに戻ります。

ページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進みます。

閲覧しているホームページの URL が表示されます。また、閲覧したいホームページの URL を入力し、を タップすると、入力した URL のホームページが閲覧できます。

表示しているホームページを戻したり、ブックマークを表示するメニューが表示されます（☞3-25 ページ）。

各種メニューが表示されます（☞3-26 ページ）。

MEMO ● スクロールホイールを回すと画面がスクロールします。
また、画面をタップし、なぞって画面をスクロールすることもできます。
なぞって画面をスクロールするときは、画面右下の メニュー － ツール － 設定 － その他 タブの「グラブ＆スクロールを使用」にチェックを付けておいてください。
● 表示しているホームページの文字の最小サイズを設定できます。
画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 一般設定 タブで、「最小フォントサイズ」欄▼をタップし、表示されたメニューからサイズを選択します。

ネットワークを切断する

1 **タイトルバーの をタップし、切断 をタップします。**

タイトルバーの が になります。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合
2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

ホームページの表示を切り替える

ホームページを拡大／縮小表示したり、画面幅に合わせたり、フルスクリーンで表示する設定をします。

ホームページを拡大／縮小して表示する

表示しているホームページを拡大または、縮小して表示します。

1 **ホームページ表示中、画面右下の メニュー － ディスプレイ － 拡大・縮小 をタップし、表示されたメニューから拡大／縮小率を選びます。**

選択した比率でホームページが表示されます。

ホームページを画面幅に合わせて表示／画面幅をこえて表示する

表示しているホームページを画面幅に合わせて表示したり、合わせないで表示します。

1 **ホームページ表示中、画面右下の メニュー － ディスプレイ － 画面幅で表示 をタップします。**

本製品の画面幅に収まるようにホームページを表示します。

2 **画面右下の メニュー － ディスプレイ － PC モード をタップします。**

ホームページの設定どおりにページを表示します。

フルスクリーンでホームページを表示する

画面からタイトルバーなどを消して、フルスクリーンでホームページを表示します。

1 **ホームページを表示している状態で、画面右下の [メニュー] － [ディスプレイ] － [フルスクリーン表示] をタップします。**

ホームページがフルスクリーンで表示されます。

2 **画面をタップしたままにして表示されるメニューから [フルスクリーン表示] をタップします。**

元の画面に戻ります。

MEMO
- 手順 **1** で、画面をタップしたままにして表示されるメニューから [フルスクリーン表示] をタップしてもフルスクリーンに切り替わります。

ホームページの画像を表示する／表示しない

ホームページを表示するとき、そのページ内の画像を表示しないようにできます。画像を表示しないようにするとホームページを表示するまでの時間が短くなります。

1 **画面右下の [メニュー] － [ディスプレイ] － [画像を表示] をタップします。**

[画像を表示] の左側のチェックが外れ、画像が表示されなくなります。

2 **ホームページを表示すると、画像がないホームページが表示されます。**

MEMO
- **画像を表示するときは**
  再度、画面右下の [メニュー] － [ディスプレイ] － [画像を表示] をタップします。
  [画像を表示] の左側にチェックが付き、ホームページ内の画像を表示するようになります。

複数のホームページを表示してページを切り替える

表示しているページとは別のページを表示し、複数のホームページを簡単に切り替えることができます。

1 **ホームページ表示中、画面右下の メニュー － タブ操作 － 新しいタブ をタップします。**

2 **アドレスバーにURLを入力し▶をタップします。または、画面左下の アクション － ブックマーク／履歴 をタップし、さらに ブックマーク または 履歴 をタップし表示されたリストの名称をタップします。**

目的のホームページが表示されます。

ホームページの名称がタブ上に表示され、タップするとそのホームページに切り替わります。

3 **タブ上のホームページ名称をタップしてホームページを切り替えます。**

画面右下の メニュー － タブ操作 － 次のタブ をタップしても次のホームページに切り替えることができます。

MEMO

- **表示しているホームページを閉じるときは**
  画面右下の メニュー － タブ操作 － タブを閉じる をタップします。

ブックマークを使用する

何度も見たいホームページはブックマークとして登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するときに便利です。

ブックマークに追加する

1 **ブックマークに追加したいホームページを表示しているときに、画面左下の アクション － ページをブックマークに追加 をタップします。**

2 **表示された画面で、ホームページの名前とアドレスを確認し、画面右上の ok または画面左下の OK をタップします。**

フォルダを指定するときは、フォルダ欄の ◀▶ をタップしてフォルダ名を表示します。
ブックマークに追加されます。

ブックマークのページを見る

1 **ホームページを表示しているときに、画面左下の アクション － ブックマーク／履歴 をタップします。**

MEMO
- ホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにして表示されるメニューから ブックマーク／履歴 をタップして表示することもできます。

インターネット
Opera Browser

2 ブックマーク をタップします。

ブックマークに登録しているホームページの名前やフォルダがリスト表示されます。

MEMO
- **ブックマーク／履歴画面を消してホームページ表示画面に戻るには**
  画面右下の キャンセル をタップします。
- 手順 **2** で 履歴 をタップすると履歴のリストが表示されます。
- **1 つ上の状態に戻るとき（1 つ上の階層に戻るとき）**
  をタップします。
- 履歴を削除するときは、3-23 ページをご覧になり削除してください。

3 フォルダを開くなどしてリストから目的のホームページの名前をタップします。

目的のホームページが表示されます。

ブックマークを編集する

追加したブックマークを編集したり、関係しているホームページを1つのフォルダにまとめることができます。

フォルダを作成し、フォルダにブックマークを移動してまとめる

1 画面右下の メニュー － ツール － ブックマークの編集 をタップします。

ブックマーク編集画面を表示します。

2 ブックマーク編集画面で画面右下の メニュー － フォルダ作成 をタップします。

3 表示された画面で、名前の項目にフォルダ名を入力し、ok をタップします。

ブックマーク編集画面に戻り、入力した名前のフォルダが表示されます。

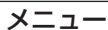
4 フォルダにブックマークを移動してまとめます。

目的のブックマークを選択して画面右下の メニュー － 編集 をタップします。

5 フォルダ欄の ◀▶ をタップして作成したフォルダ名を表示し、ok をタップします。

ブックマークがフォルダに入ります。

MEMO
- **ブックマークに登録したいホームページをフォルダに入れるときは**
  1 ブックマークに登録したいホームページを表示しているときに画面左下の アクション － ページをブックマークに追加 をタップします。
  2 フォルダ欄の ◀▶ をタップしてフォルダ名を表示し、ok をタップします。

ブックマーク編集画面を閉じる

1 ブックマーク編集画面で画面右下の メニュー － 閉じる をタップします。

ブックマーク編集画面が閉じ、前の画面に戻ります。

ブックマークを新規作成する

1 ブックマーク編集画面を表示します。

2 画面右下の メニュー － 新規作成 をタップします。

3 表示された画面で名前とホームページアドレス(URL)を入力し、ブックマークを保存するフォルダを選択して、ok をタップします。

ブックマークを編集／削除する

1 ブックマーク編集画面を表示します。

2 編集または、削除するブックマークを選択し、画面右下の メニュー － 編集 または 削除 をタップします。

3
- 編集を選択したときは、表示された画面で名前、ホームページアドレス（URL）を修正して ok をタップします。

  ブックマークが編集されます。
- 削除を選択したときは、表示された確認画面で はい をタップします。

  ブックマークが削除されます。

ホームページの画像を保存する

ホームページの画像を本製品に保存できます。

1 **保存したいホームページの画像をタップしたままにし、表示されたメニューから 画像を保存 をタップします。**

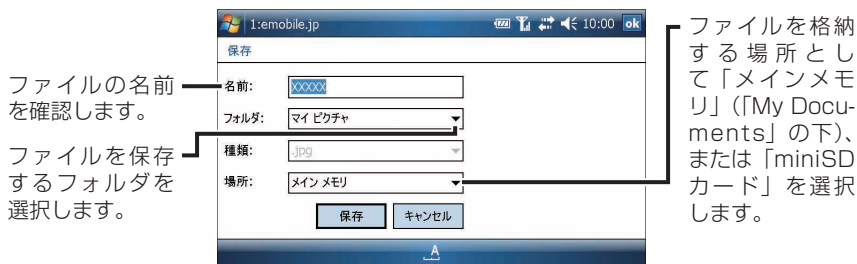
保存画面が表示されます。

2 **保存画面で名前を確認または変更し、保存するフォルダや保存する場所を選択します。**

ファイルの名前を確認します。

ファイルを保存するフォルダを選択します。

1:emobile.jp 10:00 ok
保存
名前: XXXXX
フォルダ: マイ ピクチャ
種類: .jpg
場所: メイン メモリ
保存 キャンセル

ファイルを格納する場所として「メインメモリ」(「My Documents」の下)、または「miniSDカード」を選択します。

3 **保存 をタップします。**

ファイルをダウンロードして保存する

1 **保存するファイルが組み込まれているホームページから ダウンロード などをタップして、ファイルをダウンロードします。**

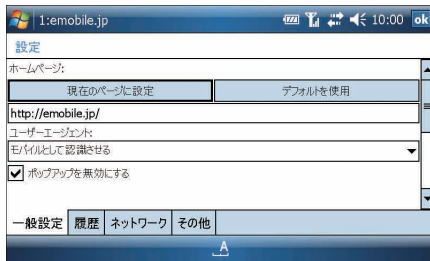
画面に表示される内容にしたがって操作します。

2 **表示された保存画面で名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択し、保存 をタップします。**

ファイルのダウンロード画面が表示され、ダウンロードが始まります。
本製品で動作するソフトウェアの場合、インストール方法などは、ホームページに掲載されている説明をご覧ください。

ご注意 ● ダウンロード中は、USB ケーブルを使ってパソコンなどと接続しないでください。通信中に USB デバイスの抜き差しをすると、ダウンロード処理が停止する場合があります。

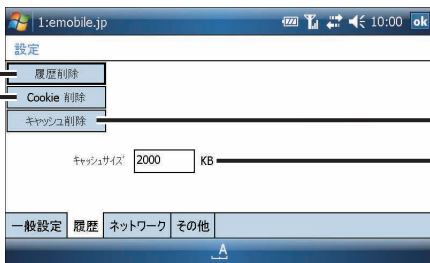
表示しているページをホームページ（起動時のページ）に設定する

“Opera Browser”を起動したときに最初に表示されるページを設定します。起動時に表示するホームページを表示した状態で、画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 一般設定 タブで、現在のページに設定 をタップします。設定が終わったら ok をタップします。

MEMO ● ご購入時の設定に戻すときは、デフォルトを使用 をタップします。

キャッシュ／ Cookie ／履歴を削除する

画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 履歴 タブで、キャッシュ削除 、Cookie 削除 、履歴削除 のいずれかをタップします。

閲覧してきたホームページの履歴を削除します。履歴を削除すると履歴は表示されません。

ホームページ閲覧時に保存されたCookieを削除します。

一時ファイルとして保存している画像データなどを削除します。

キャッシュサイズを変更します。

ポップアップを無効にする

1 **画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 一般設定 タブで「ポップアップを無効にする」のチェックを付けます。**

プロキシサーバーやセキュリティプロトコルを設定する

1 **画面右下の メニュー − ツール − 設定 − ネットワーク タブでプロキシサーバーやセキュリティプロトコルの設定を行います。**

- **プロキシサーバーを設定するときは**

  「HTTP」や「HTTPS」にチェックを付け、サーバーを入力します。

- **セキュリティプロトコルを設定するときは**

  「SSL2 を有効にする」などにチェックを付けます。

JavaScript/ アニメーション GIF/ プラグインなどを有効にする

1 **画面右下の メニュー − ツール − 設定 − その他 タブで、「JavaScript」、「アニメーションの表示」、「プラグインを有効にする」、「Cookie を有効にする」のチェックを付けます。**

- 「JavaScript」を有効にすると、ホームページに埋め込まれている JavaScript を認識し表示します。
- 「アニメーションの表示」を有効にすると、アニメーション GIF を表示します。
- 「プラグイン」を有効にすると、Opera Browser に追加されているプラグインを実行できます。ご購入時に用意されているプラグインは「Flash」です。
- 「Cookie」を有効にすると、ホームページ閲覧時に Cookie を保存します。

Opera Browser のメニュー

アクション

ブックマーク／履歴	直接URLを入力してホームページを表示したり、ブックマークや履歴からホームページを表示する(☞3-19ページ)。
ホームページを開く	起動時に表示するホームページ(☞3-23ページ)を表示する。
ページをブックマークに追加	開いているホームページをブックマークに追加する(☞3-19ページ)。
中止	開いている途中のホームページの読み込みを中止する。
戻る	直前に表示していたホームページに戻る。
進む	次のホームページを表示する。戻る でページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進む。
更新	再読み込みを行う。
最上部に移動	表示しているホームページの先頭を表示する。

メニュー

タブ操作	新しいタブ	新しい(別の)ホームページを開く(☞3-18ページ)。
	次のタブ	ホームページを複数表示しているとき、次の画面(ホームページ)を表示する(☞3-18ページ)。
	タブを閉じる	表示している画面を閉じる(☞3-18ページ)。
	タブ一覧	開いている画面のホームページ名をリスト表示する。リストから表示したいホームページの名前を選択し画面左下の OK をタップして、選択したホームページを表示する。
ディスプレイ	拡大・縮小	ホームページを拡大/縮小して表示する(☞3-16ページ)。
	フルスクリーン表示	ホームページをフルスクリーンで表示する。元の画面に戻すには、画面をタップしたままにして表示されたメニューから フルスクリーン表示 をタップする(☞3-17ページ)。
	画像を表示	表示するホームページにある画像ファイルを表示するかどうかを設定する。チェックが付いているときは、画像を読み込み表示する。チェックを外した(画像を読み込まない設定にした)方が、早くホームページを表示できる(☞3-17ページ)。
	PCモード	表示するホームページをホームページの設定どおりに表示する(☞3-16ページ)。
	画面幅で表示	表示するホームページを画面の横幅に合わせてホームページを表示する(☞3-16ページ)。
	エンコード	表示するホームページに合った言語を選択する。
	縦横切り替え	横表示でホームページを表示するかどうかを設定する。チェックが付いているときは、横表示でホームページを表示する。
ツール	ブックマークの編集	登録しているブックマークを編集する(☞3-20ページ)。
	ダウンロード履歴	ファイルなどをダウンロードした場合、その履歴を表示する。
	設定	起動時に表示するホームページの設定やキャッシュ/cookie/履歴の削除やJavaScript/アニメーション表示の設定などを行う(☞3-23~24ページ)。
	ページ情報を表示	表示しているホームページのURLなどを表示する。
	ヘルプ	ヘルプを表示する。
	Operaについて	Opera Browserの著作権などの情報を表示する。
終了		Opera Browserを終了する。

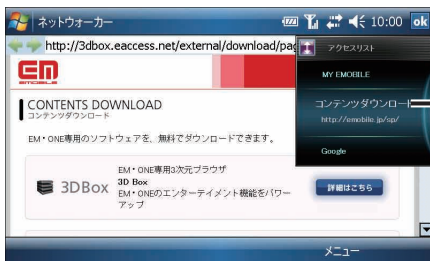
ネットウォーカー
（お気に入りめぐりをする）

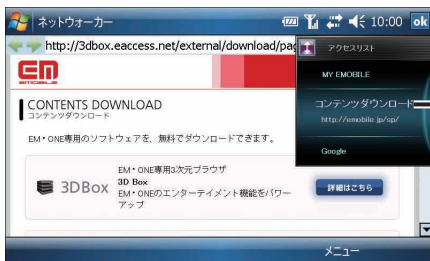
スクロールホイールを回してホームページを順番に閲覧することができます。
Internet Explorer Mobile の「お気に入り」や Opera Browser の「ブックマーク」を“ネットウォーカー”に取り込んで利用することもできます。

ホームページを見る

あらかじめ“ネットウォーカー”に登録されているホームページを順番に見てみましょう。ここでは、Internet Explorer Mobile での画面例で説明します。

1 **タブレットキーの をタップし、 “ネットウォーカー”をタップします。**

自動的に通常使うブラウザに設定されている Web ブラウザも起動します。

ネットウォーカーで選択しているページ

2 **別のホームページを見るときは、本体右側面のスクロールホイールを回し、閲覧したいホームページを選択します。**

スクロールホイールを回すと、リストが切り替わります。
1 秒程度スクロールを止めると、選んだホームページが表示されます。

MEMO

- しばらくスクロールホイールを止めると、ネットウォーカーの表示モードがタイトルモード JP.AOL.COMホーム...（☞ 次ページ）に切り替わります。
- 表示しているホームページやホームページ上のリンク／ボタンなどをタップすると、ネットウォーカーの表示モードがブラウザモード（☞ 次ページ）に切り替わります（画面右下のメニューは、Web ブラウザのメニューになります）。
- Web ブラウザの使いかたについてくわしくは、“Internet Explorer Mobile”（☞3-4 ページ）または “Opera Browser”（☞3-14 ページ）をご覧ください。

3 “ネットウォーカー” を終了するには

- **アクセスリストモードやタイトルモードのときは、画面右上の ok をタップします。**
- **ブラウザモードのときは、 の をタップします。**

ネットワークを切断する

1 タイトルバーの をタップし、切断 をタップします。

タイトルバーの が になります。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

“ネットウォーカー”の表示モードについて

ネットウォーカーの表示モードには、
・アクセスリストモード
・タイトルモード
・ブラウザモード
があり、操作によって以下のように表示モードが切り替わります。

アクセスリストモード

アクセスリスト
Windows Live
JP.AOL.COMホーム...
http://www.jp.aol.com/
MY EMOBILE

現在表示しているページ

・ をタップします。
・ホームページをタップします。

ブラウザモード

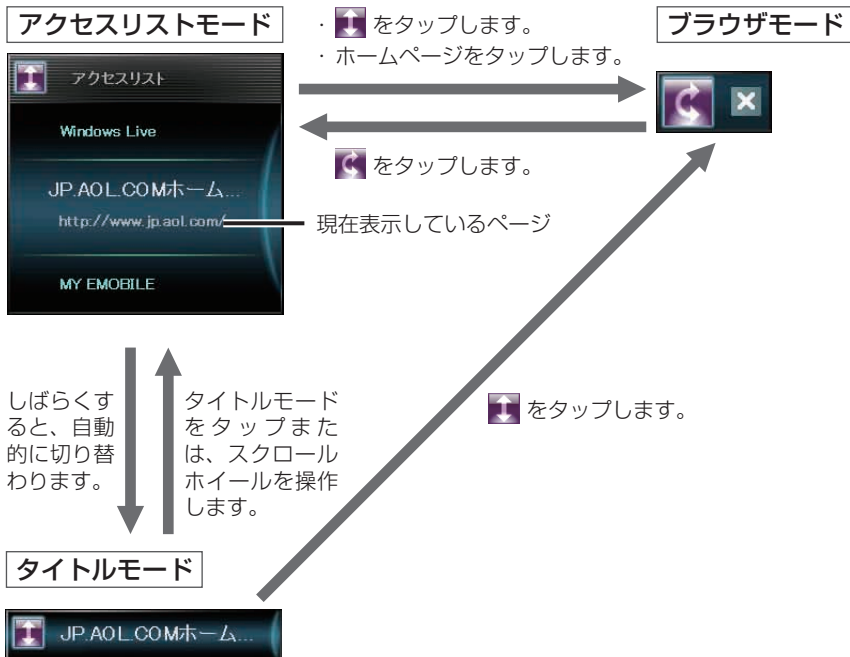
をタップします。

しばらくすると、自動的に切り替わります。

タイトルモードをタップまたは、スクロールホイールを操作します。

をタップします。

タイトルモード

JP.AOL.COMホーム...

・アクセスリストモードとタイトルモードでは、画面全体が“ネットウォーカー”になっていますので、画面右下の メニュー をタップすると“ネットウォーカー”のメニューが表示され、画面右上の ok をタップすると“ネットウォーカー”が終了します。

・ブラウザモードでは、画面全体は、Web ブラウザになっていますので、画面右下の メニュー をタップすると Web ブラウザのメニューが表示され、画面右上の をタップすると Web ブラウザの画面が消えます。ブラウザモード の をタップすると“ネットウォーカー”が終了します。

ホームページ（アクセスリスト）の一覧から見る

アクセスリストに登録されているホームページの一覧からホームページを閲覧することができます。

1 **画面右下の メニュー － 一覧 をタップします。**

リストメニュー画面が表示されます。

ネットワォーカー 10:00 ok
コンテンツダウンロード
Google
アクセスリスト
Windows Live
JP.AOL.COMホームページ
MY EMOBILE
メニュー

2 **スクロールホイールを回すか、画面の ▼ または ▲ をタップしてリストを切り替え、Enter キーを押します。**

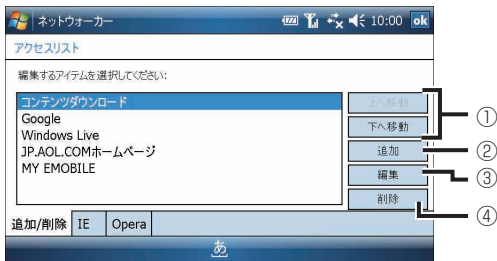
画面の ● をタップしても選んだホームページが表示されます。

ホームページ（アクセスリスト）の一覧を編集する

1 **画面右下の メニュー － 設定 をタップします。**

アクセスリスト画面が表示されます。

2 **追加／削除 タブをタップし、編集します。**

ネットワーカー 10:00 ok
アクセスリスト
編集するアイテムを選択してください:
コンテンツダウンロード
Google
Windows Live
JP.AOL.COMホームページ
MY EMOBILE
上へ移動
下へ移動
追加
編集
削除
追加/削除 IE Opera
①
②
③
④

①選んだアイテムが上（または下）へ移動します。

②アイテムを追加するときは、タップして表示された画面で「タイトル」と「URL」を入力し、OK をタップします。

③アイテムを編集するときは、タップして表示された画面で「タイトル」と「URL」を編集し、OK をタップします。

④選んだアイテムが削除されます。

3 **編集を終えたら、ok をタップします。**

“ネットウォーカー”の画面に戻ります。

Web ブラウザの「お気に入り」／「ブックマーク」を取り込む

Internet Explorer Mobile の「お気に入り」や Opera Browser の「ブックマーク」に登録されているホームページを“ネットウォーカー”のアクセスリストに取り込むことができます。
ここでは、Internet Explorer Mobile を例に説明します。

1　画面右下の メニュー － 設定 － IE タブをタップします。

アクセスリスト（インポート）画面が表示されます。

MEMO
- Opera Browser の「ブックマーク」を取り込むときは、メニュー － 設定 － Opera タブをタップします。

2　取り込むアイテムにチェックを付け、追加 をタップします。

ネットウォーカー　10:00　ok
アクセスリスト(インポート)
チェックしたアイテムをリストに追加します
Explore Windows Mobile
Windows Live
WindowsMedia.com
emobile.jp
追加
全てを選択
追加/削除　IE　Opera

追加／削除 タブ画面でアイテムが追加されていることを確認できます。

3　ok をタップします。

“ネットウォーカー”の画面に戻ります。

メール

メールの概要 4-2

メール（Outlook） 4-5

SH メール 4-40

メールの概要

インターネットを経由して、パソコンなどとメールを送信／受信します。すでにインターネットプロバイダーに加入しているときは、そのプロバイダーの情報を使ってメールができます。本製品で利用できるメールには、次の 2 つがあります。

■メール（Outlook）

メール（Outlook）で送受信するためのアカウントを設定する

送受信するためのアカウントを設定する場合は、4-7 ページをご覧ください。

メール（Outlook）を通常使用するメールソフトに設定する

通常使用するメールソフトを設定する場合は、4-4 ページをご覧ください。

■ SH メール

SH メールで送受信するためのアカウントを設定する

送受信するためのアカウントを設定する場合は、4-40 ページをご覧ください。

SH メールを通常使用するメールソフトに設定する

通常使用するメールソフトを設定する場合は、4-4 ページをご覧ください。

2 種類のメールソフトの違いについて

- メール（Outlook）の特徴は、パソコンの Outlook と同期できることです。また、メール（Outlook）は、メッセージを多階層のフォルダで管理することができます。
- SH メールの特徴は、メッセージの自動振り分け機能です。受信したメールを、指定したフォルダに振り分けることができます。また、SH メールは、残しておきたいメールを“保護”することができます。

		メール（Outlook）	SHメール
送信	送信後、自動切断する	×	○
受信	定期的に受信する	○	○
	サーバーからメールを削除する設定	×※1	○
その他	ゴミ箱（「削除済みアイテム」フォルダ）へ移動する	○	×
	メールの保護	×	○
	フォルダの構造（多階層）	○	×
	自動振り分け設定	×	○
	パソコンのOutlookと同期する	○	×
	POP対応	○	○
	IMAP対応	○※2	×
	SSL接続	○	×※3
HTMLメールの送受信		○	×

※1「削除済みアイテム」フォルダから削除した後、メールの送受信を行うとサーバーから削除されます。
※2 サーバーの仕様によっては、使用できない場合もあります。
※3 標準のポートを使用する一部のプロバイダーにのみ対応しています。

MEMO
- 携帯電話などから送られてきた絵文字には対応していません。
- 絵文字が含まれるメールを受信したときは絵文字が他の記号などに置き換わる場合があります。また、受信したメールの種類によっては、本文ではなく添付ファイルとして受信します（添付ファイルの内容は表示できません）。

通常使用するメールソフトに設定する

本製品には“メール（Outlook)”と“SH メール”の 2 つのメールソフトが入っています。どちらかを通常使用するメールソフトに設定します（ご購入時は、“メール（Outlook)”が設定されています）。このページの手順 **1** ～ **4** を行うためには、4-40 ページをご覧になり、先に“SH メール”のアカウントを設定してください。

1 **スタート メニューの “プログラム”をタップします。**

2 **プログラム画面で “SH メール”をタップします。**

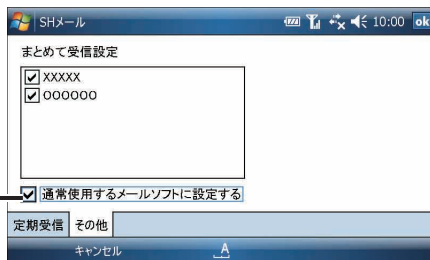
3 **画面右下の メニュー － その他 － オプション － その他 タブをタップします。**

通常使用するメールソフトの設定画面が表示されます。

4 **「通常使用するメールソフトに設定する」にチェックを付けたり、外したりします。**

チェックを付けると、“SH メール”が通常使用するメールソフトになります。

チェックを外すと“メール(Outlook)”が通常使用するメールソフトになります。

SHメール
10:00 ok
まとめて受信設定
XXXXX
OOOOOO
通常使用するメールソフトに設定する
定期受信 その他
キャンセル

MEMO
- タブレットキーからの起動およびホームメニューからの起動も連動して切り替わります。

メール（Outlook）

メール（Outlook）の基本動作について

メール（Outlook）はメールの送受信を行うと、サーバーとの間で同期（※ 1）を行うように設計されています。
つまり、メール送受信時、本製品の“メール”内の「受信トレイ」（※ 2）／「削除済みアイテム」とサーバーを同じ状態に保つようになっています。

※ 1 この同期は ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンター（☞8-2 ページ）を使った同期とは異なります。

※ 2「受信トレイ」のみ同期の対象になります。「受信トレイ」内に新しくフォルダを作るとそのフォルダは同期の対象にはなりません。

サーバーとの同期によって、次のようなことが起こります。

・本製品の「受信トレイ」のメールが削除される
（「本製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき」（☞ 下記））

・サーバーからメールが削除される
（「本製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき」（☞ 次ページ））

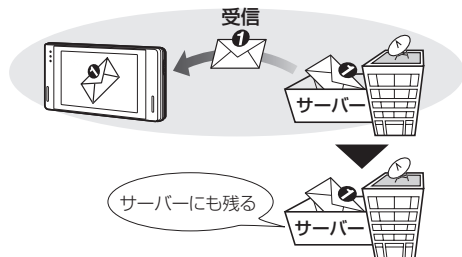
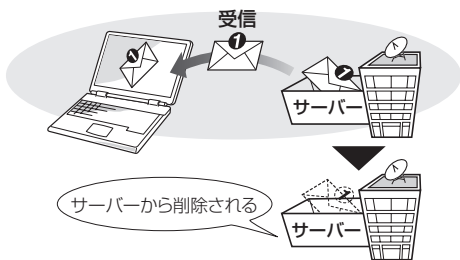
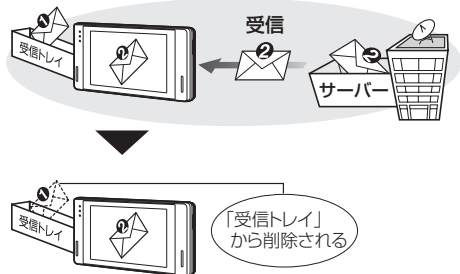
これらについて、以下から次ページに詳細を説明していますのでご覧ください。

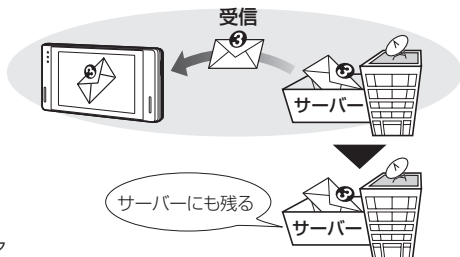
本製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき

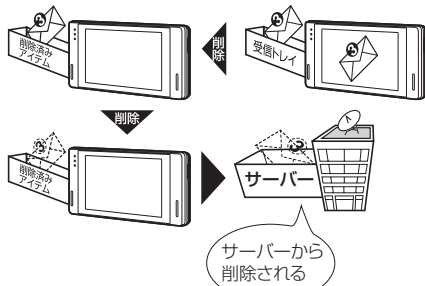
本製品の「受信トレイ」のメールが自動的に削除されますのでご注意ください。

①本製品でメールを受信します。

受信
サーバー
サーバーにも残る
サーバー

（次ページへ）

②パソコンでメールを受信（パソコンの設定は、「メール受信時、サーバーからメールを削除する」）。サーバーからメールが削除されます。

③本製品でメールを送受信します。サーバーと本製品の間で同期が行われます。本製品には残っているがサーバーからは削除されているメールは同期がとられ、本製品の「受信トレイ」から削除されます。

本製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき

サーバーのメールが自動的に削除されますのでご注意ください。

①本製品でメールを受信します。

②本製品で受信メールを「削除済みアイテム」フォルダから削除します（☞4-29 ページ）。

③本製品でメールを送受信します。サーバーと本製品の間で同期が行われます。サーバーには残っているが、本製品の「削除済みアイテム」フォルダから削除されたメールは同期がとられ、サーバーから削除されます。

MEMO • メールをサーバーに残しておくこともできます（☞4-11 ページ）。

送受信するためのアカウントを設定する

すでに加入しているインターネットプロバイダーのメールに関する情報を設定します。この設定を行うと、すでに加入しているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。
アカウントは 7 つまで設定できます。

本製品に設定するメールの情報を確認する

以下に本製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。
・電子メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・受信メールサーバー　・送信メールサーバー
※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。
・“SH メール”の設定を行うときは、4-40 ページをご覧になり設定してください。

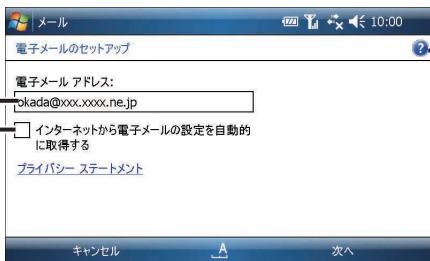
1 **スタート メニューの “メール”をタップします。**

2 **新しい電子メールアカウント をタップします。**

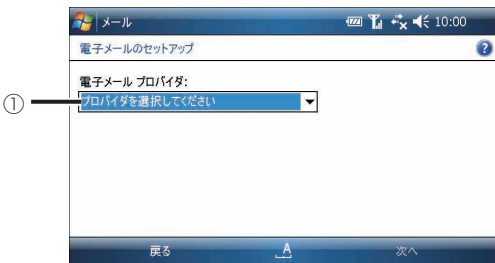
電子メールのセットアップ画面が表示されます。

3 **お使いのメールアドレスを入力し、次へ をタップします。**

メールアドレスを入力します。

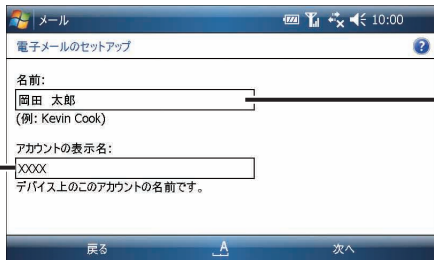
ここではチェックを外します。

タップするとヘルプが表示されます。

4 「インターネット電子メール」を選択し、次へ をタップします。

メール 10:00
電子メールのセットアップ
電子メール プロバイダ:
① プロバイダを選択してください
戻る 次へ

①「インターネット電子メール」または「Exchange サーバー」を選択します。
- インターネット電子メール：プロバイダーのアカウントを作成するときに選択します。
- Exchange サーバー：Microsoft Exchange サーバーを使用するアカウントを作成するときに選択します。
  詳細についてくわしくは、ネットワーク管理者におたずねください。

5 名前、アカウントの表示名を入力し、次へ をタップします。

メール 10:00
電子メールのセットアップ
名前:
岡田 太郎
(例: Kevin Cook)
アカウントの表示名:
XXXX
デバイス上のこのアカウントの名前です。
戻る 次へ

本製品に表示されるアカウント名を入力します。

メールの送信者として相手に表示される名前を入力します。

6 受信メールのサーバー情報を入力し、次へ をタップします。

アカウントの種類が分からないときは、プロバイダにお問い合わせください。

メールを受信するための受信メールサーバーの情報を入力します。

「POP3」または「IMAP4」を選択します。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
受信メールサーバー	POP サーバー、受信メールサーバー、メールサーバー
送信メール（SMTP）サーバー	SMTP サーバー、送信メールサーバー

7 ユーザー名、パスワードを入力し、次へ をタップします。

メールサーバーに接続するためのユーザー名を入力します。

入力したパスワードを保存するときは、チェックを付けます。

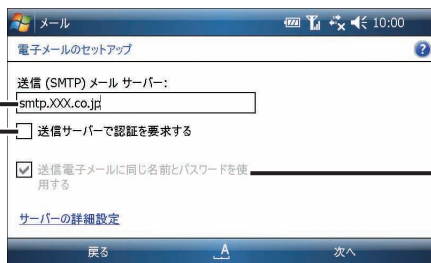
メールサーバーに接続するためのパスワードを入力します。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mail アカウント名、メールアカウント、メールボックス名、メールボックスアカウント名、Mail アカウント
パスワード	Mail パスワード、メールパスワード、初期パスワード

8 送信メールのサーバー情報を入力し、「サーバーの詳細設定」をタップします。

メールを送信するためのサーバー情報を入力します。

送信メールに認証が必要なときにタップしてチェックを付けます。

メール
10:00
電子メールのセットアップ
送信 (SMTP) メール サーバー:
smtp.XXX.co.jp
送信サーバーで認証を要求する
送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する
サーバーの詳細設定
戻る
次へ

「送信サーバーで認証を要求する」にチェックを付けたときに設定できます。

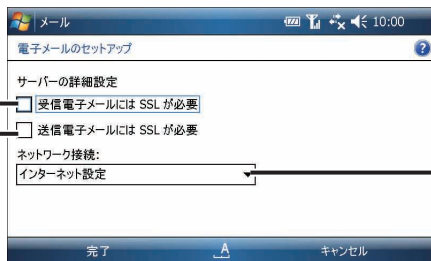
9 サーバーの詳細設定を行います。

・EM モバイルブロードバンドに接続しメール送受信するときは、ネットワーク接続欄が「インターネット設定」になっていることを確認します。

設定が終われば、完了 をタップして 次へ をタップします。

受信メールにSSL認証を使用するときにチェックを付けます。

送信メールにSSL認証を使用するときにチェックを付けます。

メール
10:00
電子メールのセットアップ
サーバーの詳細設定
受信電子メールには SSL が必要
送信電子メールには SSL が必要
ネットワーク接続:
インターネット設定
完了
キャンセル

EM モバイルブロードバンドに接続するときは、「インターネット設定」にします。

MEMO

● **接続を選択する**

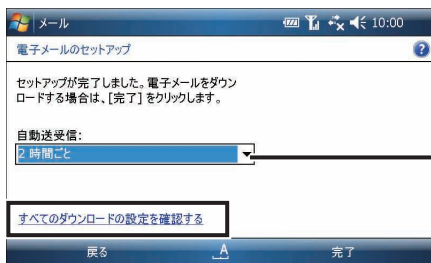
お使いの状態にあわせて接続を選択してください。

・「インターネット設定」や「社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。

・ご自分で新規に接続／接続設定を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。

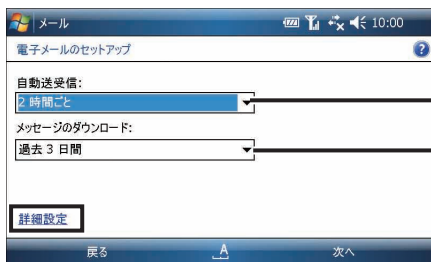
※この取扱説明書では、「インターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「インターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「社内ネットワーク設定」を選択してください。

10 自動送受信の設定を行い、「すべてのダウンロードの設定を確認する」をタップします。

メール 10:00
電子メールのセットアップ
セットアップが完了しました。電子メールをダウンロードする場合は、[完了] をクリックします。
自動送受信:
2 時間ごと
すべてのダウンロードの設定を確認する
戻る 完了

自動接続し、メールを定期的にチェックする間隔を設定したり、手動で実行する設定をします。

ご注意 ● 自動接続し、メールを定期的にチェックする場合、一度メールチェックを行った後は回線を切断せずにインターネットに接続した状態のままになります。「手動実行」にすることをおすすめします。

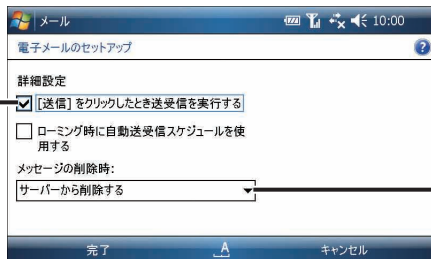
11 受信するメッセージの設定を行い、「詳細設定」をタップします。

メール 10:00
電子メールのセットアップ
自動送受信:
2 時間ごと
メッセージのダウンロード:
過去 3 日間
詳細設定
戻る 次へ

手順 **10** で設定した内容が表示されます。

タップして過去何日分のメッセージを受信するかを設定します。

12 送信 をタップしたときの動作やサーバーから削除するかの設定を行い、完了 をタップして 次へ をタップします。

メール 10:00
電子メールのセットアップ
詳細設定
☑ [送信] をクリックしたとき送受信を実行する
☐ ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する
メッセージの削除時:
サーバーから削除する
完了 キャンセル

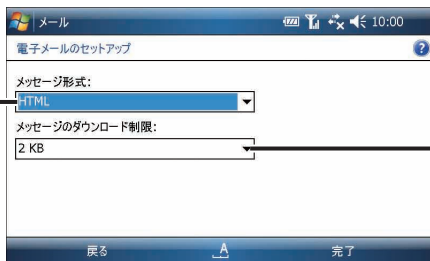
チェックを外すと、送信をタップしたときに送受信を行いません。

この製品からメールを削除したとき、サーバーから削除しないときは、「サーバーに残しておく」を選択します。

メール

メール（Outlook）

13 メールの形式や受信メールの容量の制限を設定して 完了 をタップします。

「HTML」または「テキスト形式」を選択できますが、「テキスト形式」を選択することをおすすめします。

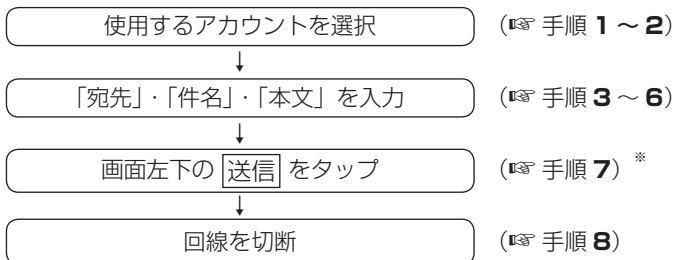
メール
10:00
電子メールのセットアップ
メッセージ形式:
HTML
メッセージのダウンロード制限:
2 KB
戻る
完了

タップして受信メールの容量の制限を選択します。

14 表示された画面で いいえ をタップします。

メールを作って送る

メールを作って送信します。

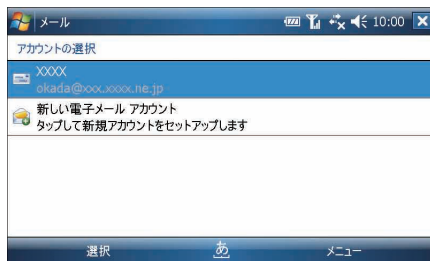
メールを送るまでの流れ

手順	参照
使用するアカウントを選択	（☞ 手順 **1** ～ **2**）
↓	
「宛先」・「件名」・「本文」を入力	（☞ 手順 **3** ～ **6**）
↓	
画面左下の 送信 をタップ	（☞ 手順 **7**）※
↓	
回線を切断	（☞ 手順 **8**）

※送受信を行い、正常に送信されたことを確認してください。

1 タブレットキーの ✉ をタップします。

MEMO
- 通常使用するメールソフトとして“メール（Outlook）”を設定しておいてください（☞4-4 ページ）。

2 メールを送りたいアカウントを選択します。

メール 10:00
アカウントの選択
XXXX
okada@xxx.xxxx.ne.jp
新しい電子メール アカウント
タップして新規アカウントをセットアップします
選択　あ　メニュー

3 画面右下の メニュー － 新規 をタップします。

新規メールの作成画面が表示されます。

手順 **2** で選択したアカウント名が表示されます。

XXXX 10:00 ok
差出人: 岡田 太郎 <okada@xxx.xxxx.ne.jp> (XXXX)
宛先:
件名:
送信 あ メニュー

4 宛先を入力します。

宛先の項目にカーソルがあることを確認し、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

XXXX 10:00 ok
BCC:
CC:
差出人: 岡田 太郎 <okada@xxx.xxxx.ne.jp> (XXXX)
宛先:
件名:
送信 あ メニュー

スクロールバーを上に移動すると「CC:」、「BCC:」の宛先を入力できます。

「本文」欄

・宛先に直接、キーボードを使って入力します。
・メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン（；）で区切って入力します。
・本製品の“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用して、宛先を入力することができます（あらかじめ“連絡先”に相手の名前やメールアドレスを登録しておきます）。くわしくは、4-16 ページの「宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する」をご覧ください。

MEMO

● 「CC：」や「BCC：」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。「BCC：」に入れたアドレスは、BCC：で受信した人以外から見えないように送信されます。

5 「件名」欄をタップし、件名を入力します。

ご注意 ● 送受信するメールの件名が全角で 19 文字以上になると件名が文字化けする場合があります。
件名は、全角 18 文字 (半角 36 文字) までにしてお使いください。

6 「本文」欄をタップし、本文を入力します。

MEMO ● よく使う文章をマイ テキストから選択して、入力できます。 画面右下の [メニュー] − [マイ テキスト] をタップするとマイ テキストに登録されている文章一覧が表示されます。
文章をタップすると、その文章が入力されます。
また、[マイ テキスト メッセージの編集] をタップし、メッセージを編集したり、新しいテキストを作成することができます（☞4-37 ページ）。

7 画面左下の [送信] をタップします。

設定によって（☞4-11 ページの手順 **12**）、以下のいずれかが行われます。
・自動的にネットワークに接続しメールを送信します。
・「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、以下のメモをご覧ください。

8 ネットワークを切断します。

タイトルバーの ⇄ をタップし、[切断] をタップします。
タイトルバーの ⇄ が ⇄x になります。
ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合
2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

MEMO ● 「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、「受信トレイ」などで、[メニュー] − [送受信] をタップします。インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。
● 「下書き」フォルダに保存するときは、ok をタップし確認画面で [はい] をタップするか、画面右下の [メニュー] − [下書きに保存] をタップします。

宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する

1 新規メールの作成画面で宛先にカーソルがあることを確認します。

2 以下のいずれかの方法で宛先を選択します。

- **画面右下の [メニュー] ー [受信者の追加] をタップします。**

  メールアドレスを入力している“連絡先”が一覧表示されますので、宛先にしたい連絡先をタップします。

- **宛先の項目に名前やメールアドレスの先頭の数文字を入力（1 文字だけでも可能です）し、[メニュー] ー [宛先の確認] をタップします。**

  “連絡先”に登録している名前やメールアドレスを検索して結果を表示しますので、目的の宛先をタップします。

  ※ この方法を使うときは、あらかじめオプション画面（ [アドレス] タブ）で、「送信先に設定する連絡先のフィールド」が「すべての電子メールのフィールド」になっていることを確認してください（☞4-36 ページ）。

画像ファイルなどを添付してメールを送る

メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

1 4-13～15ページの手順1～6の方法で、メールを作成します。

2 画面右下の メニュー － 挿入 をタップし、表示されたメニューから 画像 、ボイスメモ 、ファイル のいずれかをタップします。

画像を添付する場合

1「マイ ピクチャ」フォルダ内の画像ファイルが表示されます。
フォルダを切り替えるときは、「マイ ピクチャ」をタップし、表示されたメニューから別のフォルダをタップします。

「マイ ピクチャ」をタップし､表示されたメニューから別のフォルダをタップします。

「日付順」をタップし、並び順を変えることができます。

2画像をタップします。

3メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル：xxxxx.jpg(xxKB)」などが表示されます。

ボイスメモを添付する場合

1 メールの新規作成画面の下部に録音ツールバーが表示されます。

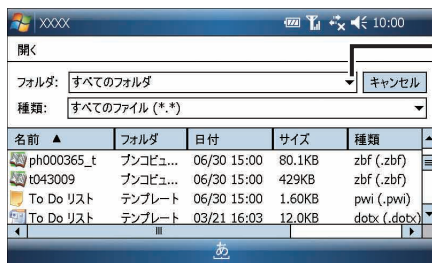
録音ツールバー

2 ● ボタンをタップすると録音が始まります。

3 本製品のマイクに自分の声などを録音します。

4 ■ ボタンをタップすると録音が終了し、録音したファイルが自動的に添付されます（「添付ファイル： xxxxx.wav(xxKB)」など)。

ファイルを添付する場合

1 ファイル選択画面が表示されます。

フォルダ欄をタップし、別のフォルダに切り替えます。
画面左上の「すべてのフォルダ」は「My Documents」フォルダのことで、本製品内のすべてのフォルダではありません。

2 リストから目的のファイルをタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル： xxxxx.xlsx(xxKB)」などが表示されます。

3 画面左下の 送信 をタップします。

設定によって（☞4-11 ページの手順 **12**)、以下のいずれかが行われます。

・自動的にネットワークに接続しメールを送信します。
・「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません)。「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、次ページのメモをご覧ください。

4 ネットワークを切断します。

タイトルバーの ⇄ をタップし、切断 をタップします。
タイトルバーの ⇄ が ⇄x になります。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

MEMO

- 「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは､「受信トレイ」などで､メニュー － 送受信 をタップします。インターネットに接続し､「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。
- 「下書き」フォルダに保存するときは、ok をタップし確認画面で はい をタップするか､画面右下の メニュー － 下書きに保存 をタップします。

送信トレイに保存しているメールをまとめて送る

「送信トレイ」フォルダに保存しているメールを、あとでまとめて送信できます。

1 送信トレイを表示します。

XXXX 10:00
送信トレイ ▾ 受信日時 ▾
akita@xxxx.xxx.ne.jp 9:46 1KB
秋田さんへ
tanaka@xxxx.xxx.ne.jp 9:46 1KB
田中さんへ
XXXX 2 件、2 件未読
削除 メニュー

「送信トレイ」フォルダに保存されているメール。

2 画面右下の メニュー － 送受信 をタップします。

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールをすべて送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。

3 **ネットワークを切断します。**

タイトルバーの ⇄ をタップし、[切断] をタップします。
タイトルバーの ⇄ が ⇄x になります。
ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合
2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

メールを受信する

手動でインターネットに接続して、受信後に手動で切断します。

1 **タブレットキーの ✉ をタップします。**

2 **メールを受信したいアカウントを選択します。**

3 **画面右下の [メニュー] − [送受信] をタップします。**

ネットワークに接続され、センター（サーバー）にある未受信のメールが受信されます。

4 **ネットワークを切断します。**

タイトルバーの ⇄ をタップし、[切断] をタップします。
タイトルバーの ⇄ が ⇄x になります。
ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合
2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

MEMO ● **一定間隔で送受信を行ってメールを受信することもできます。**

「送受信するためのアカウントを設定する」の手順 **10** の画面（☞4-11 ページ）で何分間隔で行うかを選択して設定すると、一定間隔で“メール”を起動して自動的にネットワークに接続し、センター（サーバー）にある未受信のメールを受信します。

※ この方法は一定間隔でメールが受信されますが、一度、ネットワークに接続した後はネットワークから切断されないため、電池残量が消耗してしまいます。この設定は手動設定にすることをおすすめします。

ご注意 ● **「受信トレイ」に入ったメールが消えるときは、以下のことが考えられます。**

・サーバーとこの製品の間で同期が行われ、削除されている可能性があります（☞4-5 ページ）。
「受信トレイ」に入っているメールを消したくないときは、「受信トレイ」から別のフォルダに移してください（☞4-32 ページ）。

・「送受信するためのアカウントを設定する」の手順 **11** の画面（☞4-11 ページ）でメッセージのダウンロードを「すべてのメッセージ」以外に設定している場合、設定した日数分のメッセージしか表示されません。「すべてのメッセージ」に変更してください。

受信メールを見る

受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

「受信トレイ」一覧画面などで表示されるアイコンについて

	未読メール	既読メール
全文取得されている場合		
全文取得され、添付ファイルがある場合		
全文または添付ファイルが取得されていない場合		
次に送受信を行って全文または添付ファイルを取得する場合		

1 **画面左上の「送信トレイ」などをタップし、「受信トレイ」を選択します。**

受信したメールが表示されます。

タップすると、メッセージの並べ替え順の項目が表示されます。並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

MEMO ● 別のアカウントの受信メールを見るときは、以下のようにします。

① ここをタップします。

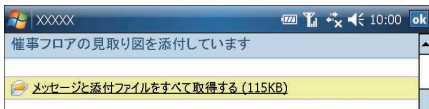
② 見たいメールのアカウントを ［－］ にします。

2 見たいメールをタップします。

メールの詳細が表示されます。

MEMO

- メールの詳細画面最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信したメッセージが途中で切れているか、添付ファイルがあることを知らせています。

XXXXX 10:00 ok
催事フロアの見取り図を添付しています
メッセージと添付ファイルをすべて取得する (115KB)

- **続きのメッセージや添付ファイルを取得したいときは**
  1「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」をタップします。
  「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」になります。
  2 ok をタップします。
  「受信トレイ」一覧画面で選択したメッセージのアイコンがになります。
  3「メール（メッセージ）の全文／添付ファイルを取得する」（☞下記）の手順**2**以降をご覧になりメールを送受信します。
  メール（メッセージ）と添付ファイルがダウンロードされます。

メール（メッセージ）の全文／添付ファイルを取得する

1 「受信トレイ」一覧画面で、続きのメッセージや添付ファイルを取得したいメール（メッセージ）をタップしたままにし、表示されたメニューから メッセージのダウンロード をタップします。

選択したメール（メッセージ）のアイコンがになります。

XXXXX 10:00
受信トレイ 受信日時
XXXXXXXXXX XX/XX/XX 3/116KB 催事フロアの見取り図を添付しています
XXXXXXXXXX XX/XX/XX 3/5KB キャンペーンの素材収集
XXXXXXXXXX XX/XX/XX 3/4KB Fwd: 見本市開催のお知らせ
XXXXXXXXXX XX/XX/XX 3/4KB 企画会議の日程を変更します
XXXXXXXXXX XX/XX/XX 4/78KB 愛犬の写真を添付
XXXXX 5 件、4 件未読
削除 メニュー

2 画面右下の メニュー － 送受信 をタップします。

手順 **1** で が表示されたメッセージの全文と添付ファイルがダウンロードされます。

添付ファイルがダウンロードされると、が表示され添付ファイルがダウンロードされたことを知らせます。

XXXXXXXXXX	催事フロアの見取り図を添付しています	XX/XX/XX	85KB
XXXXXXXXXX	キャンペーンの素材収集	XX/XX/XX	3/5KB
XXXXXXXXXX	Fwd: 見本市開催のお知らせ	XX/XX/XX	3/4KB
XXXXXXXXXX	企画会議の日程を変更します	XX/XX/XX	3/4KB
XXXXXXXXXX	愛犬の写真を添付	XX/XX/XX	4/78KB

XXXXX 5 件、4 件未読

削除 メニュー

3 ネットワークを切断します。

タイトルバーの をタップし、切断 をタップします。
タイトルバーの が になります。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

添付ファイルを見る／保存する

メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

添付ファイルを見る

1 「受信トレイ」一覧画面などで、添付ファイルを取得したメールをタップします。

2 添付ファイルをタップします。

MEMO

- 手順 **2** で添付ファイルをタップしても、正しく表示されない場合があります。このようなときは一旦保存（☞ 次ページ）してから見るか、1-54 ページをご覧になり、使用していないプログラムを終了してください。
  ※ファイルによってはすべてのプログラムを終了しても、正しく表示されない場合があります。

添付ファイルを保存する

1 添付ファイルをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前を付けて保存 をタップします。

2 ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

格納場所として「メインメモリ」を選択された場合は、「My Documents」フォルダの選択されたフォルダに保存されます。

3 保存 をタップします。

指定したフォルダ、場所に保存されます。

MEMO

- 保存した添付ファイルは、"ファイルエクスプローラ"から開くことができます。くわしくは、9-14 ページをご覧ください。

メールを返信する／転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、返信または転送するメールをタップします。**

2 **画面右下の［メニュー］－［返信］、［全員へ返信］または［転送］をタップします。**

- ［返信］を選択した場合　：メールを送信してきた人のみに返信します。
- ［全員へ返信］を選択した場合　：送信者も含めて全員に返信します。
- ［転送］を選択した場合　：元のメッセージを含めて、指定した宛先へ送信します。

MEMO

- **返信または全員へ返信する場合**
「受信トレイ」一覧画面などで、返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［返信］または［全員へ返信］をタップしても返信できます。
- **転送する場合**
「受信トレイ」一覧画面などで、転送するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［転送］をタップしても転送できます。

3 **返信内容の入力または転送先（宛先）／転送内容を入力します。**

4 **画面左下の［送信］をタップします。**

設定によって（☞ 4-11 ページの手順 **12**）、以下のいずれかが行われます。

- 自動的にネットワークに接続しメールを送信します。
- 「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、「受信トレイ」などで、［メニュー］－［送受信］をタップします。インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。そのあと、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。

5 **ネットワークを切断します。**

タイトルバーの⇄をタップし、［切断］をタップします。

タイトルバーの⇄が⇄xになります。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

メールを削除する

「受信トレイ」などで削除し、「削除済みアイテム」フォルダに移ったメールを削除すると、本製品から完全に削除されます。また、「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを削除するとき、すべて削除する方法と 1 件ずつ削除する方法があります。
「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすぐに空にしたり、接続または切断するときに空にするなどの設定ができます（☞4-36 ページ）。

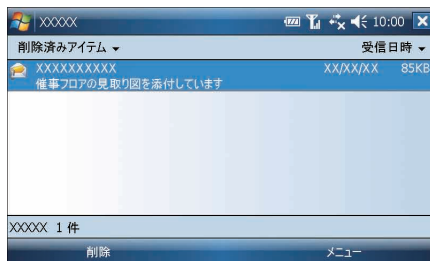
ご注意
- 「削除済みアイテム」フォルダから削除すると、次回のメール送受信によってサーバーと同期が行われサーバーに残っていたメールも削除されます。
  メールをサーバーに残しておくこともできます（☞4-11 ページ）。

受信メールを削除する（「削除済みアイテム」フォルダに移す）

1 「受信トレイ」一覧画面などで削除するメールを選択し、画面左下の 削除 をタップします。

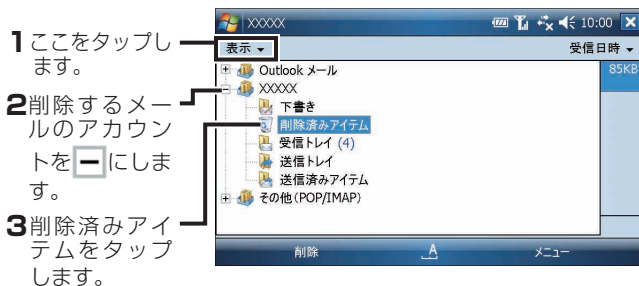
2 表示された確認画面で はい をタップします。

削除したメールは、「削除済みアイテム」フォルダに移ります。

XXXXX 10:00
削除済みアイテム ▾ 受信日時 ▾
XXXXXXXXXX XX/XX/XX 85KB
催事フロアの見取り図を添付しています
XXXXX 1 件
削除 メニュー

この操作では「削除済みアイテム」フォルダに移っただけで、本製品からは削除されていません。本製品から削除するときは、「「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する」（☞ 次ページ）の操作を行います。

MEMO
- 「受信トレイ」一覧画面で削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップしても削除できます（「削除済みアイテム」フォルダに移ります）。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する

1 「削除済みアイテム」フォルダを表示します。

「削除済みアイテム」フォルダ内が表示されます。

2 画面右下の [メニュー] − [ツール] − [[削除済みアイテム]を空にする] をタップします。

3 表示された確認画面で [はい] をタップします。

手順 **1** で選択したアカウント内の「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールが削除されます。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを 1 件だけ削除する

1 「削除済みアイテム」フォルダを表示し、削除するメールを選択します。

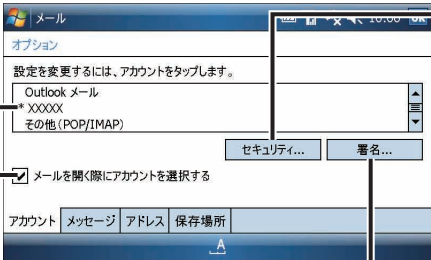
2 画面左下の [削除] をタップします。

3 表示された確認画面で [はい] をタップします。

手順 **1** で選択したメールのみ削除されます。

MEMO
- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから [削除] を選択し確認画面で [はい] をタップしても削除できます。

アカウントを修正する／削除する

アカウントを修正する

1　タブレットキーの ✉ をタップします。

MEMO
- 通常使用するメールソフトとして“メール（Outlook）”を設定しておいてください（☞4-4 ページ）。

2　画面右下の メニュー － オプション をタップします。

MEMO
- 「受信トレイ」の一覧画面が表示されたときは、画面右下の メニュー － ツール － オプション をタップします。

3　修正するアカウントをタップします。

ご自分で設定したアカウント

チェックを外すと“メール”を起動したときに、アカウントの選択画面を表示しないようにできます。

タップすると、インターネットに接続してホームページなどに接続する前に警告画面を表示することができます（☞4-34 ページ）。

署名を作成することができます（☞4-34 ページ）。

MEMO
- **アカウントの設定を確認するときは**

  1 オプション画面で、設定を確認するアカウントをタップします。

  電子メールのセットアップ画面が表示されます。次へ をタップし、画面を切り替えて確認してください。

4　次へ をタップして画面を切り替えて修正します。

4-7 ～ 12 ページをご覧になり、修正してください。

5　修正を終えた後、完了 をタップします。

アカウントを削除する

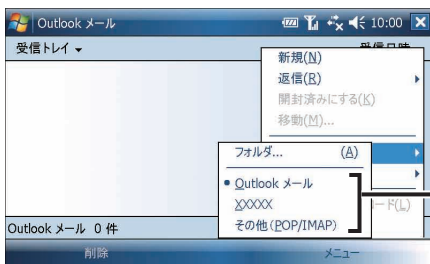
作成したアカウントを削除するときは、前ページの「アカウントを修正する」の手順 **3** の画面でアカウントをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。

メールを整理する

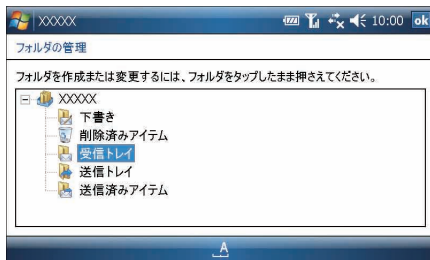
新しくフォルダを作って、受信メールを関連した仕事ごとなどに振り分けて整理できます。

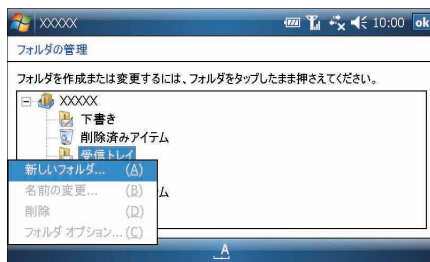
新しくフォルダを作成する

まず、振り分けるためのフォルダを作成します。

1 **「受信トレイ」一覧画面などで画面右下の メニュー － 切り替え をタップし、フォルダを作る「アカウント」を選択します。**

アカウントを選択します。

2 **画面右下の メニュー － ツール － フォルダの管理 をタップします。**

フォルダの管理画面が表示されます。

3 「フォルダの管理」画面内のフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 新しいフォルダ をタップします。

「受信トレイ」フォルダの下に新しくフォルダを作るときは、「受信トレイ」フォルダをタップしたままにします。

MEMO
- 「受信トレイ」フォルダや「送信トレイ」フォルダと同じ階層にフォルダを作るときは、アカウント名をタップしたままにします。

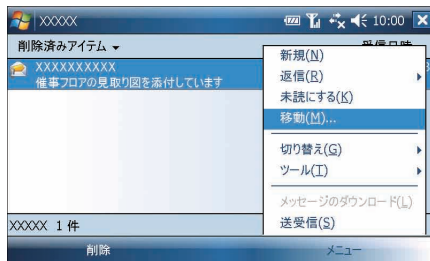
4 「新しいフォルダ」画面でフォルダの名前を入力し、 ok をタップします。

入力した名前のフォルダが、手順 **3** で選択した（タップしたままにした）フォルダの下に表示されます。フォルダの中にフォルダを作成すると、 ＋ が表示されます。

＋ をタップすると中のフォルダが見えます。

メールを別のフォルダに移動する

受信したメールなどを新しく作ったフォルダに移動します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで移動するメールを選択し、画面右下の メニュー － 移動 をタップします。

2 **移動画面で、移動先のフォルダを選択（反転）し、画面左下の 選択 をタップします。**

移動先のフォルダに移動します。

移動先のフォルダとして、別のアカウント内のフォルダを選択することはできません。

MEMO
- 移動するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 移動 をタップしても移動できます。

フォルダの名前を変更する

1 **画面右下の メニュー － ツール － フォルダの管理 をタップし、「フォルダの管理」画面を表示させます。**

2 **名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前の変更 をタップします。**

フォルダ名の変更画面が表示されます。

3 **名前を変更して ok をタップします。**

・既定のフォルダの名前は変更できません。
名前を変更できるのは、新しく作成したフォルダのみです。

フォルダを削除する

1 **画面右下の メニュー － ツール － フォルダの管理 をタップし、「フォルダの管理」画面を表示させます。**

2 **削除したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。**

3 **表示された確認画面で はい をタップします。**

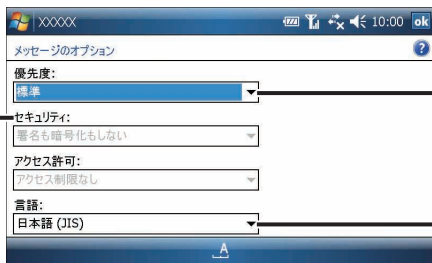
フォルダとフォルダ内のメールはすべて削除されます。「削除済みアイテム」フォルダには入りませんのでご注意ください。

・既定のフォルダは削除できません。
削除できるのは、新しく作成したフォルダのみです。

メッセージのオプション設定について

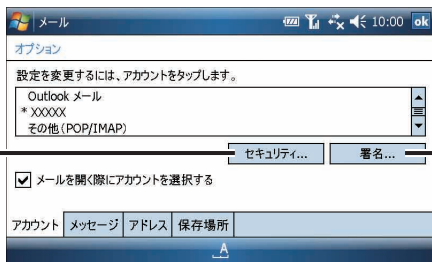
メールの新規作成画面などで、画面右下の メニュー － メッセージのオプション をタップします。
設定が終わったら ok をタップしてください。

メッセージの優先度を設定します。

デジタル署名を登録しているとき、セキュリティやアクセス許可を設定します。

表示言語を設定します。
通常は、日本語（JIS）にしておいてください。

警告画面の設定や署名を作成する

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － アカウント タブをタップします。

警告画面の設定をします。

署名を作成します。

警告画面の設定をする

メール本文中の文字列を認識してホームページを表示するときに警告画面を表示する／しないの設定をします。

1 セキュリティ をタップします。

2 「デバイス外部のURLまたはリンク先に移動する前に警告する」にチェックを付けます。

3 ok をタップします。
オプション設定の アカウント タブに戻ります。

署名を作成する

1 署名 をタップします。

署名画面が表示されます。

2 署名に使用するアカウントを選択し、「このアカウントで署名を使用する」にチェックを付けます。

「返信／転送時に使用する」にチェックを付けると返信や転送時に署名が付きます。

3 署名を入力し、ok をタップします。

オプション設定の アカウント タブに戻ります。

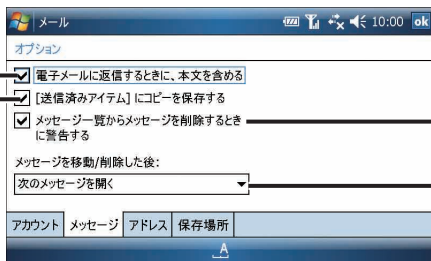
2 設定が終わったら ok をタップします。

返信や送信時の動作を設定する

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － メッセージ タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

返信するとき本文を含める場合は、タップしてチェックを付けます。

［送信済みアイテム］にコピーを保存する場合、タップしてチェックを付けます。

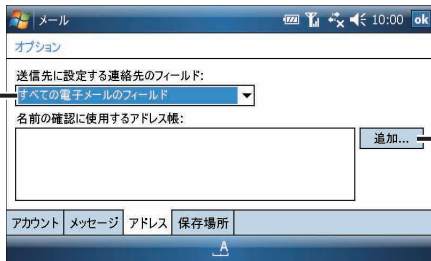
メール 10:00 ok
オプション
電子メールに返信するときに、本文を含める
［送信済みアイテム］にコピーを保存する
メッセージ一覧からメッセージを削除するときに警告する
メッセージを移動/削除した後:
次のメッセージを開く
アカウント メッセージ アドレス 保存場所

メッセージの一覧からメッセージを削除するときに警告画面を表示する／しないの設定をします。

メッセージを移動／削除した後の動作を設定します。

連絡先のメールアドレスを宛先に使用する設定をする

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー − ツール − オプション − アドレス タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

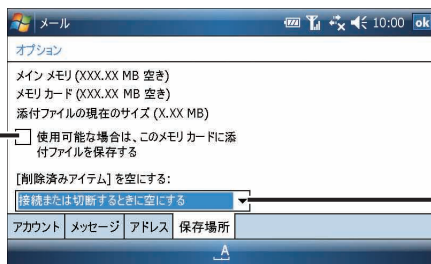
「すべての電子メールのフィールド」にしておくと、連絡先に登録している名前からその人のメールアドレスを参照します。
メールの新規作成時、宛先に名前を入力すると、メールアドレスが入ります（☞4-16 ページ）。

メール 10:00 ok
オプション
送信先に設定する連絡先のフィールド:
すべての電子メールのフィールド
名前の確認に使用するアドレス帳:
追加...
アカウント メッセージ アドレス 保存場所

Exchange Server にあるアドレス帳を参照するときに設定します。

添付ファイルの作業先や削除済みアイテムの削除方法を設定する

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー − ツール − オプション − 保存場所 タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

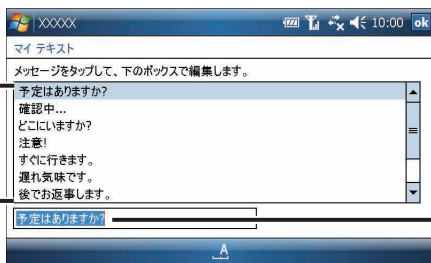
メモリカード側に作業用として添付ファイルを保存し、本体メモリの空きを作ります。
チェックを付けているときはメモリカードを取り付けてください。

メール 10:00 ok
オプション
メイン メモリ (XXX.XX MB 空き)
メモリ カード (XXX.XX MB 空き)
添付ファイルの現在のサイズ (X.XX MB)
使用可能な場合は、このメモリ カードに添付ファイルを保存する
[削除済みアイテム] を空にする:
接続または切断するときに空にする
アカウント メッセージ アドレス 保存場所

［削除済みアイテム］を空にする方法を設定します。

ご注意 ● 使用可能な場合は、この「メモリカードに添付ファイルを保存する」にチェックしても、miniSD カードに保存されたファイルは“メール”以外（ファイルエクスプローラなど）から開けません。またこのファイルを削除したり、miniSD カードを取り外すと、添付ファイルが開けなくなります。

マイテキストメッセージを編集する

新規メールの作成画面の「本文」欄で画面右下の メニュー － マイテキスト － マイテキスト メッセージの編集 をタップします。
編集が終わったら ok をタップしてください。

編集したいメッセージをタップします。

メッセージを編集します。

メールのメニュー

新規作成／返信／転送画面のメニュー

受信者の追加		連絡先に登録しているメールアドレスを入力する(☞4-16ページ)。
宛先の確認		宛先欄に入力した文字から、連絡先に登録している名前を検索する(☞4-16ページ)。
挿入	**画像**	画像を添付ファイルとして添付する(☞4-17ページ)。
	ボイス メモ	録音したファイルを添付ファイルとして添付する(☞4-18ページ)。
	ファイル	ファイルを添付ファイルとして添付する(☞4-18ページ)。
マイ テキスト		よく使う文書を入力する(☞4-15ページ)。
下書きに保存		下書きに保存する(☞4-15ページ)。
スペルチェック		英単語のスペルをチェックする。
メッセージの取り消し		メールの作成を取り消す。
メッセージのオプション		メッセージのオプションを設定する(☞4-34ページ)。

「受信トレイ」／「送信トレイ」／「下書き」／「送信済みアイテム」／「削除済みアイテム」フォルダのメニュー

新規			新規メールの作成画面を表示する。
返信	**返信**		メールを送信してきた人のみに返信する(☞4-27ページ)。
	全員へ返信		メールを全員に返信する(☞4-27ページ)。
	転送		メールを転送する(☞4-27ページ)。
開封済みにする／未読にする			未読メールを開封済みに、開封済みメールを未読にする。
フラグ			フラグには、設定／終了／クリアのメニューがあり、フラグの設定や終了、クリアができます。
移動			メールを他のフォルダに移動する(☞4-32ページ)。
切り替え			フォルダやアカウントを切り替える。
ツール	**並べ替え**	**メッセージの種類**	メッセージの種類別で表示する。
		差出人	差出人順で表示する。
		受信日時	受信日時順で表示する。
		件名	件名順で表示する。
	フォルダの管理		フォルダを作成／変更する(☞4-31、4-33ページ)。
	[削除済みアイテム]を空にする		「削除済みアイテム」フォルダ内のすべてを削除する(☞4-29ページ)。
	クリア		選択中のアカウントの「受信トレイ」、「送信済みアイテム」フォルダ内のメッセージをすべて削除する。
	新しいアカウント		新しいアカウントを設定する。
	オプション		オプション設定画面を表示する(☞4-34ページ)。
メッセージのダウンロード			メッセージの全文／添付ファイルを取得する(☞4-23ページ)。
送受信			メールの送受信をする。

受信メール詳細画面のメニュー

削除		メールを削除する(☞4-28ページ)。
返信	返信	メールを送信してきた人のみに返信する(☞4-27ページ)。
	全員へ返信	メールを全員に返信する(☞4-27ページ)。
	転送	メールを転送する(☞4-27ページ)。
未読にする		開封済みメールを未読メールにする。
フラグ		フラグには、設定／終了／クリアのメニューがあり、フラグの設定や終了、クリアができます。
移動		メールを他のフォルダに移動する(☞4-32ページ)。
表示	文字サイズ	文字サイズを変更する。
	言語	言語を切り替える。
メッセージのダウンロード		メッセージの全文／添付ファイルを取得する(☞4-23ページ)。
送受信		メールの送受信をする。

SH メール

送受信するためのアカウントを設定する

すでに加入しているインターネットプロバイダーのメールに関する情報を設定します。この設定を行うと、すでに加入しているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。
アカウントは 10 個まで設定できます。

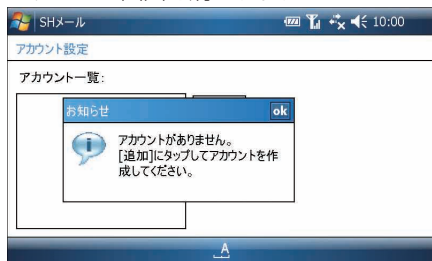
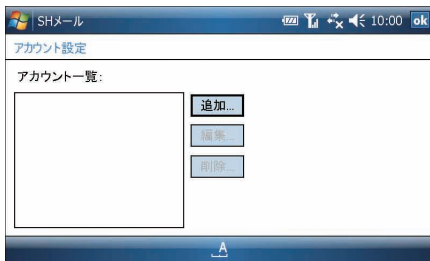
本製品に設定するメールの情報を確認する

以下に本製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。
・電子メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・受信メールサーバー　・送信メールサーバー
※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。
・“メール（Outlook）”の設定を行うときは、4-7 ページをご覧になり設定してください。

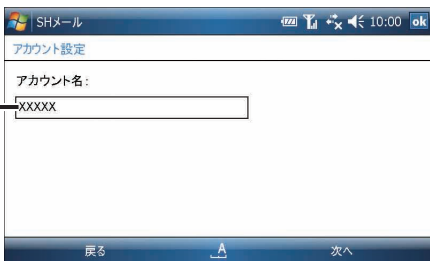
1 スタート メニューの “プログラム”をタップします。

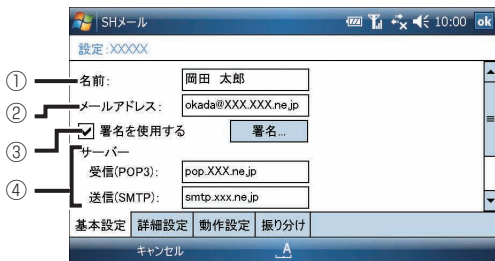
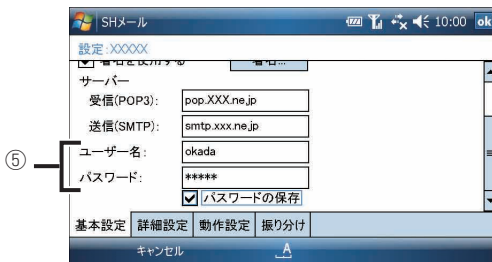
2 プログラム画面で “SH メール”をタップします。

アカウント設定（アカウント一覧）画面が表示されます。
アカウント設定画面が表示されていない場合は、受信メール一覧画面などで、画面右下の メニュー － その他 － アカウント設定 をタップしてください。
アカウントがない場合は、アカウントの作成を促すお知らせ画面が表示されます。 ok をタップして画面を消します。

SHメール 10:00
アカウント設定
アカウント一覧:
お知らせ ok
アカウントがありません。
[追加]にタップしてアカウントを作成してください。

3 追加 をタップします。

アカウント入力画面が表示されます。

4 設定するアカウントの名前を入力し、次へ または ok をタップします。

加入しているプロバイダー名などを入力します（半角文字、全角文字いずれの場合でも、最大10文字）。

5 基本設定を入力し、詳細設定 タブをタップします。

①
②
③
④

※左の画面は、画面を下にスクロールし、見えていない部分を表示したものです。

① メールの送信者として相手に表示する名前を入力します。

② メールアドレスを入力します。

③ 自分の名前やメールアドレスなどを登録しておくと、送信メールの本文に追加できます。くわしくは、4-45 ページをご覧ください。

④ メールを受信したり送信するためのサーバー情報を入力します。

⑤ メールサーバーに接続するための情報を入力します。パスワードを保存しておくときは、「パスワードの保存」にチェックを付けます。

※受信（POP3）、送信（SMTP）、ユーザー名、パスワードについて、代表的な用語例を記載していますので、参考にしてください。

ご注意 ● SH メールには、メールを定期的に受信する機能があります（☞4-53 ページ）。定期受信でメールを受信するときは、パスワードを入力し、「パスワードの保存」にチェックを付けておいてください。チェックを外していると、定期受信できません。

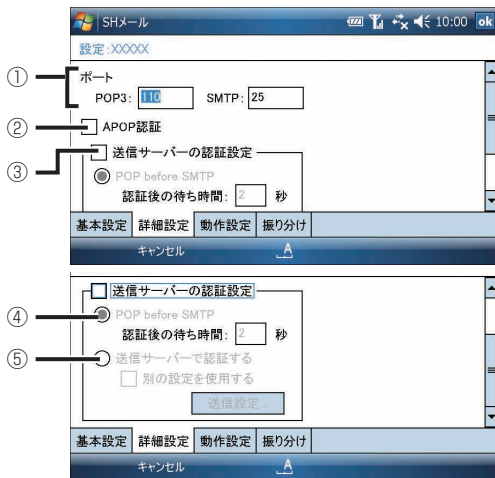
受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーについて

加入しているプロバイダーによっては、受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーがそれぞれ別になっているプロバイダーと、同じになっているプロバイダーがあります。

・別々になっているプロバイダーは、受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーの両方を入力します。
・メールサーバーが同じになっている（1 つになっている）ときは、両方に同じものを入力します。

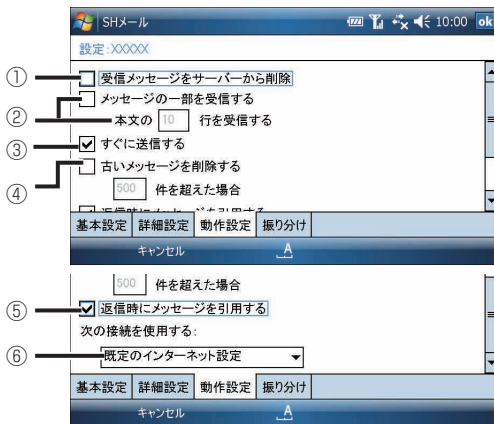
画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mail アカウント名、メールアカウント、メールボックス名、メールボックスアカウント名、Mail アカウント
パスワード	Mail パスワード、メールパスワード、初期パスワード
受信（POP3）	POP サーバー、受信メールサーバー、メールサーバー
送信（SMTP）	SMTP サーバー、送信メールサーバー

6 詳細設定を入力し、動作設定 タブをタップします。

①
②
③
④
⑤

※ 左の画面は、画面を下にスクロールし、見えていない部分を表示したものです。

①	メールサーバーのポート番号を入力します。通常は変更する必要はありません。 加入しているプロバイダーによっては、ポート番号が指定されている場合があります。この場合は、指定のポート番号を入力してください。
②	APOP 認証を行うときは、チェックを付けます。
③	④または⑤の設定を行う場合、チェックを付けます。
④	POP before SMTP を行うときは、チェックを付け、認証後の待ち時間を入力します。
⑤	加入しているプロバイダーによってはメール送信時にユーザー名（ユーザー ID）とパスワードが必要な場合があります。このような場合にチェックを付けます。 ユーザー名とパスワードが前ページ手順 **5** の⑤と同じ場合は、「送信サーバーで認証する」にだけチェックを付けます。ユーザー名とパスワードが違う場合は、「別の設定を使用する」にもチェックを付け、送信設定 をタップしてユーザー名とパスワードを入力します。 この設定が必要かどうかは、加入しているプロバイダーにおたずねください。

7 動作設定を入力し、ok をタップします。

メールの送受信は、⑥「次の接続を使用する」欄に表示されている名称に保存されている接続先の設定を使ってインターネットに接続します。この接続先の設定が異なっているとメールの送受信はできませんのでご注意ください。

※ 左の画面は、画面を下にスクロールし、見えていない部分を表示したものです。

①本製品で受信したメールをサーバーから削除するときは、チェックを付けます。

②受信するメールを、本文の指定した行数のみ受信（部分受信）するときはチェックを付け、行数を入力します（☞4-57 ページ）。
※送信側のメールソフトによっては、指定した行数どおり受信できないことがあります。

③メールを作成し、送信 をタップしてすぐに送信するときはチェックを付けます。チェックを外した状態で、送信 をタップすると送信待ちトレイに入ります。送信待ちトレイに入ったメールはまだ送信されていません。送信待ちトレイに入ったメールは、送信待ちトレイ一覧画面などで、メニュー － 送受信 － 送信 または 送受信 をタップします。

④メールの保存件数が指定した件数を超えたときに、古いメールから自動的に削除するにはチェックを付けます。

⑤メール返信時に、本文を引用するときはチェックを付けます。

⑥「既定のインターネット設定」になっていることを確認します（EM モバイルブロードバンドに接続し、メールの送受信を行います）。

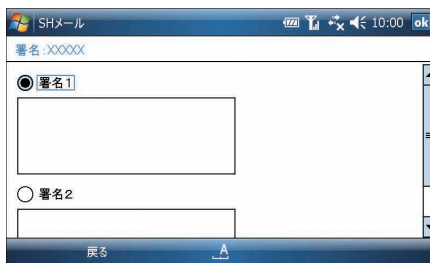
ご注意 ● ②の指定した行数のみ受信（部分受信）にチェックを付けてさらに①のサーバーから削除にチェックを付けている場合、部分受信したメールはサーバーから削除され全文受信ができなくなります。
②にチェックを付けたときは①のチェックを外すようにしてください。

署名を作成する

メール作成時、メール本文に自分の名前やメールアドレスなどの文章（署名）を自動的に入れることができます。

1 **4-41 ページの手順 5 で③の「署名を使用する」にチェックを付け、署名 をタップします。**

署名の設定画面が表示されます。

SHメール 10:00 ok
署名：XXXXX
署名1
署名2
戻る

2 **署名 1 または署名 2 を選択します。**

選択した署名の内容が、メール本文に入ります。

3 **署名を入力し、ok をタップします。**

設定画面の 基本設定 タブが表示されます。

メールを作って送る

メールを作って送信します。

メールを送るまでの流れ

手順	参照
画面左下の メッセージ作成 をタップ	(☞ 手順 **2**)
↓	
「宛先」・「件名」・「本文」を入力	(☞ 手順 **3** ～ **5**)
↓	
画面左下の 送信 をタップ	(☞ 手順 **6**)

1 **タブレットキーの ✉ をタップします。**

「受信トレイ」一覧画面が表示されます。

MEMO

- 通常使用するメールソフトとして“SH メール”を設定しておいてください(☞4-4 ページ)。
- アカウントを複数設定している場合は、メールを送りたいアカウントを選択します。くわしくは、「アカウントを切り替える」(☞4-55 ページ)をご覧ください。

2 **画面左下の メッセージ作成 をタップします。**

メールの新規作成画面が表示されます。

3 宛先を入力します。

宛先欄をタップし、カーソルがあることを確認してから、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

・宛先に直接、キーボードを使って入力します。
・本製品の"連絡先"に登録しているメールアドレスを利用して、宛先を入力します（あらかじめ"連絡先"に相手の名前やメールアドレスを登録しておきます）。くわしくは、次ページの「宛先入力時、"連絡先"に登録しているメールアドレスを利用する」をご覧ください。
※メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン（;）または半角のコンマ（,）で区切って入力します。

MEMO

- アカウント設定時、設定画面（基本設定タブ）で署名を作成し、「署名を使用する」にチェックを付けていると、新規作成画面で自動的に署名が入力されます。チェックを付けていないときは、画面右下のメニュー－その他－署名挿入をタップすると署名を入力することができます。
  署名についてくわしくは、4-45 ページをご覧ください。
- 「Cc:」や「Bcc:」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。
  「Bcc:」に入れたアドレスは、Bcc: で受信した人以外から見えないように送信されます。

4 「件名」欄をタップし、件名を入力します。

5 「本文」欄をタップし、本文を入力します。

6 画面左下の 送信 をタップします。

設定によって（☞4-44 ページの手順 **7**）、次のいずれかが行われます。

・自動的にインターネットに接続し、メールを送信します。

　正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
　送信が終わると自動的に回線を切断します。

・「送信待ちトレイ」に保存されます。メールは送信されません。

　送信待ちトレイのメールを送信するときは、「まとめてメールを送る」（☞4-50 ページ）の手順 **3** をご覧ください。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

MEMO

- 送信したメールは、「送信済みトレイ」に保存されます。
- 送信中画面の 中止 または画面左下の 中止 をタップするとメールの送信が中止されます。送信を中止したメールは、「送信待ちトレイ」に保存されます。

宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する

1 メールの新規作成画面で宛先にカーソルがあることを確認します。

2 画面右下の メニュー － 連絡先参照 をタップします。または、宛先をタップして表示されたメニューから 連絡先を開く をタップします。

3 メールアドレスを入力している“連絡先”が一覧表示されますので、宛先にしたい連絡先をタップします。

MEMO

- 連絡先に登録しているメールアドレスの利用をやめてメールの作成画面に戻るときは、画面右下の メニュー － キャンセル をタップします。

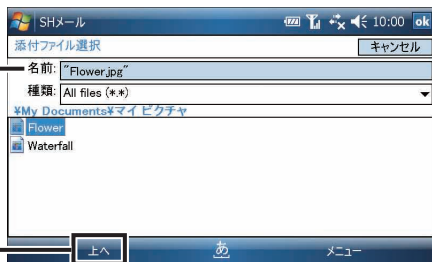
画像ファイルなどを添付してメールを送る

メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

1 **4-46 ～ 47 ページの手順 1 ～ 5 の方法で、メールを作成します。**

2 **画面右下の メニュー － その他 － 添付ファイル挿入 をタップし、表示された画面でフォルダを切り替え、添付するファイルをタップします。**

リストから選択したファイルが表示されます。

現在表示中のフォルダ階層より１つ上のフォルダ階層へ移動します。

目的のファイルがリスト表示されます。

3 **画面右上の ok をタップします。**

メールの新規作成画面に戻り、添付欄に XXXX.jpg など添付したファイルが表示されます。

続けて添付ファイルを追加するときは、手順 **2** ～ **3** を繰り返します。

4 **画面左下の 送信 をタップします。**

設定によって（☞4-44 ページの手順 **7**）、次のいずれかが行われます。

・自動的にインターネットに接続し、メールを送信します。

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。送信が終わると自動的に回線を切断します。

・「送信待ちトレイ」に保存されます。メールは送信されません。

送信待ちトレイのメールを送信するときは、「まとめてメールを送る」（☞次ページ）の手順 **3** をご覧ください。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

MEMO
- 添付ファイルをやめるときは、添付をやめるファイルをタップし、削除 をタップします。
- miniSD カードに保存されているファイルを添付して送信するときは、miniSD カードを取り付けたまま送信してください。
- 送信したメールは、「送信済みトレイ」に保存されます。

まとめてメールを送る

送信待ちトレイに未送信メールを保存しておき、あとでまとめて送信できます。
※まとめてメールを送信するときは、アカウント設定時、設定画面（動作設定 タブ）で「すぐに送信する」のチェックを外しておいてください。アカウントの設定についてくわしくは 4-40 ページをご覧ください。

1　4-46 ～ 47 ページの手順 1 ～ 5 の方法でメールを作成し、画面左下の 送信 をタップします。

アカウント設定画面の「すぐに送信する」のチェックを外しているので、送信されずに「送信待ちトレイ」フォルダに保存されます。

2　引き続き別のメールを作成し、画面左下の 送信 をタップします。

作成したメールは、「送信待ちトレイ」フォルダに保存されていきます。

3　画面右下の メニュー － 送受信 － 送信、または 送受信 をタップします。

インターネットに接続し、「送信待ちトレイ」フォルダに入っているメールをすべて送信します。

送受信 をタップしたときは、引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

メールを「下書きトレイ」に保存する

メールを途中まで作成してあとで追加／修正したいときなどは、いったん「下書きトレイ」に保存してあとで追加／修正し送信することができます。

1 4-46 ～ 47 ページの手順 1 ～ 5 の方法で、メールを作成します。

2 画面右上の ok をタップし、メッセージ画面で はい をタップします。

作成したメールは、「下書きトレイ」フォルダに保存されます。
あとで追加／修正するときは、このメールを表示し内容を変更します。そして、送信操作（☞4-48 ページ）を行うと送信できます。

メールを受信する

手動でインターネットに接続して、メールを受信すると、自動的に回線を切断します。
メールを受信時、メールの一部を受信／全部（全体）を受信する 2 つの設定があります（☞4-57 ページ）。
ご購入時の設定は、メール全部（全体）を受信するようになっています。一部を受信した後、メール全体を受信するときは 4-58 ページをご覧ください。

1 「受信トレイ」一覧画面などを表示します。

2 画面右下の メニュー － アカウント切替 をタップし、メールを受信したいアカウントを選択します（☞4-55 ページ）。

3 画面右下の メニュー － 送受信 － 受信、または 送受信 をタップします。

ネットワークに接続し、サーバーにある未受信のメールを受信します。
受信したメールは「受信トレイ」に入ります。
受信が終わると自動的に回線を切断します。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

MEMO

- 複数のアカウントを設定しているとき、一度のメール受信で複数のアカウントのメールを受信することができます（☞ 下記）。
- 受信後にサーバーからメールを削除する設定（☞4-44 ページ）にされることをおすすめします。
- 受信中画面の 中止 または画面左下の 中止 をタップするとメールの受信が中止されます。
- 「受信トレイ」および作成した一つのフォルダに保存できるメールの件数は1,000 件です。

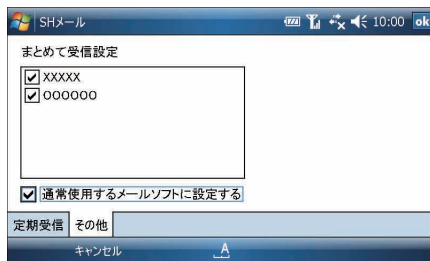
複数のアカウントのメールを一度に手動受信する

複数のアカウントを設定しているとき、一度にそれらのアカウントのメールを受信することができます。

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － その他 － オプション － その他 タブをタップします。

メールを受信するアカウントの選択設定画面が表示されます。

2 メールを受信するアカウントにチェックを付け、ok をタップします。

SHメール 10:00 ok
まとめて受信設定
☑ XXXXX
☑ OOOOOO
☑ 通常使用するメールソフトに設定する
定期受信 その他
キャンセル

3 画面右下の メニュー － 送受信 － まとめて受信 をタップします。

インターネットに接続し、手順 **2** でチェックを付けたアカウントのメールを受信します。

受信したメールは各アカウントの「受信トレイ」に入ります。

受信が終わると自動的に回線を切断します。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

定期受信する

一定間隔で自動的に“SH メール”が起動してネットワークに接続し、未受信のメールを受信します。受信が終わると自動的に回線を切断します。

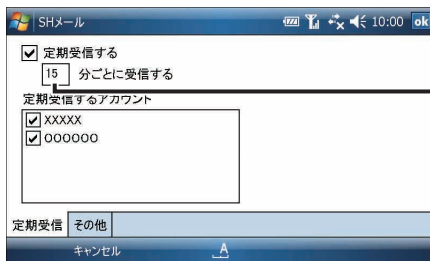
ご注意 ● 定期受信でメールを受信するときは、「送受信するためのアカウントを設定する」の設定画面（基本設定 タブ）（☞4-42 ページ）でパスワードを入力し、「パスワードの保存」にチェックを付けておいてください。

定期受信するアカウントを設定する

1 「受信トレイ」一覧画面などを表示します。

2 画面右下の メニュー － その他 － オプション － 定期受信 タブをタップします。

定期受信の設定画面が表示されます。

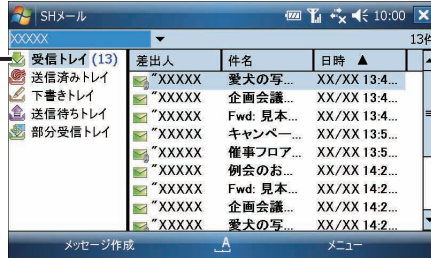
3 「定期受信する」と「定期受信するアカウント」にチェックを付けます。

10 ～ 99 の数字を入力できます。

4 ok をタップします。

受信メールを見る

受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

1 「受信トレイ」をタップします。

「受信トレイ」をタップ

選択したフォルダの中のメール件数が表示されます。

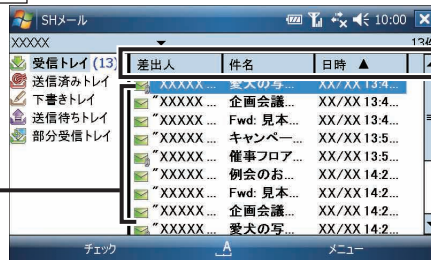
「受信トレイ」／「部分受信トレイ」一覧画面で表示されるアイコンについて

	未読メール	既読メール
全文取得されている場合		
全文取得され、添付ファイルがある場合		
全文または添付ファイルが取得されていない場合	（ ）※1	（ ）※1

※1　部分受信トレイで表示されるアイコン

2 見たいメールをタップします。

別のアカウントの受信メールを見るときは、画面右下の メニュー － アカウント切替 をタップし、アカウントを切り替えます（☞ 次ページ）。

見たいメールをタップ

並べ替え順（差出人／件名／日時）をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

MEMO

- 連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前で表示されます。ただし、連絡先の名前を変更された場合は、自動的に更新されませんので、SH メールを一度終了させてから再度、起動させてください。

MEMO

- **メール本文の URL / E メールアドレス / 電話番号を利用する**

  メール本文中の文字列を以下のように認識し、ホームページの表示や E メールの作成、連絡先への登録ができます。

  1 URL / E メールアドレス / 電話番号をタップします。

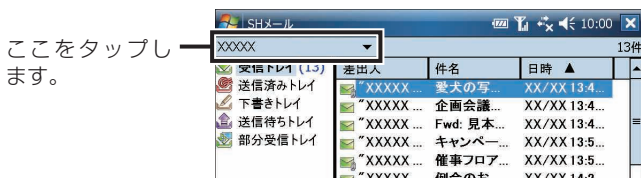
  2 表示されたメニューから実行したい項目をタップします。

URLと認識する文字列	http://www.△△△△△△.xxxxxxxx.co.jp/ など 「http://」や「https://」で始まる半角英数字の文字
Eメールアドレスと認識する文字列	○○○○@△△.xxx.ne.jp など 「@」があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合
電話番号として認識する文字列	080XXXXXXXX など 0で始まる10～32桁の数字、#、*などの記号 「tel:」または、「TEL:」に続く32桁までの数字、#、*などの記号

アカウントを切り替える

複数のアカウントを作成しているとき、受信メールなどは各アカウントの受信トレイに入ります。
これらのメールを見るときは、アカウントを切り替えて表示します。

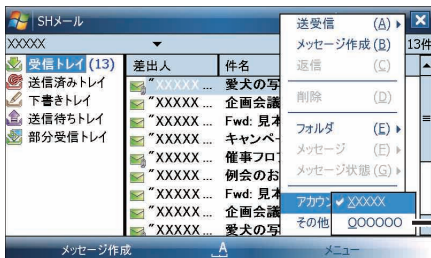
1 「受信トレイ」一覧画面などを表示します。

2 アカウントを選択します。

ここをタップします。

画面右下の メニュー － アカウント切替 をタップしてもアカウントを切り替えることができます。

ここをタップします。

メール

SHメール

宛先（メールアドレス）を“連絡先”に登録する

受信メールや送信メールのメールアドレス（差出人：/ 宛先：/Cc：/Bcc：）を“連絡先”に登録し活用できます。

受信メールの送信者（メールアドレス）を“連絡先”に登録する

1 **受信トレイ画面で、連絡先に登録したい宛先のメールをタップします。**

2 **連絡先に登録したいメールアドレスをタップし、表示されたメニューから［連絡先に登録］－［新規登録］をタップします。**

MEMO
- メールアドレスが選択されているとき、画面右下の［メニュー］－［連絡先に登録］－［新規登録］をタップしても登録画面が表示されます。

3 **メールアドレスを登録する項目として電子メール（電子メール 2/ 電子メール 3）を選択して、ok または画面右下の［決定］をタップします。**

4 **名前の項目に姓名などを入力します。**

電子メール（電子メール 2/ 電子メール 3）の項目には、手順 **2** で選択したメールアドレスが入っています。

5 **ok をタップします。**

確認メッセージが表示されますので ok をタップします。
手順 **4** で入力した姓や名前で“連絡先”に登録されます。

送信メールの宛先（メールアドレス）を“連絡先”に登録する

1 **送信済みトレイ画面などで、連絡先に登録したい宛先のメールをタップします。**

2 **連絡先に登録したいメールアドレスをタップし、表示されたメニューから［連絡先に登録］－［新規登録］をタップします。**

3 **これ以降、前記と同様の操作を行い“連絡先”に登録します。**

MEMO

- 手順 **2** で 連絡先に登録 － 追加登録 をタップすると追加したい連絡先を選択して登録することができます。元の画面に戻すときは、メニュー － キャンセル をタップします。
- 受信トレイ画面で選んだメールの本文の URL や電話番号をタップしても連絡先の Web ページや電話番号の項目に登録することができます。また、URL はホームページに接続したりブックマークに登録できます。

メールの一部／全部を受信する

メールを受信時、メールの一部を受信して、あとで全体を受信することができます。ご購入時の設定は、メール全部（全体）を受信するようになっています。

ご注意

- アカウント設定画面（ 動作設定 タブ）（☞4-44 ページ）で「受信メッセージをサーバーから削除」にチェックを付けている場合、部分受信をするとサーバーからメールが削除され全部受信ができません。部分受信を行う前に必ず「受信メッセージをサーバーから削除」のチェックを外しておいてください。

メールの一部を受信するように設定する

1 **アカウント設定画面（ 動作設定 タブ）（☞4-44 ページ）を表示します。**

2 **「メッセージの一部を受信する」にチェックを付け、受信する本文の行数を設定します。**

メールの全部を受信するときは、「メッセージの一部を受信する」のチェックを外します（☞4-44 ページ）。次のメール受信から、メールの全部を受信します。

MEMO

- 一部を受信したときと全部を受信したときの違いは、受信トレイなどのリストに表示されるアイコンで区別できます（☞4-54 ページ）。
- 一部受信したメール、全部受信したメール共に「受信トレイ」に入ります。さらに「部分受信トレイ」では一部受信したメールだけを参照することができ、一部受信メールが何件あるかわかります。
- 一部受信にしている場合は、設定している受信行数によって、メール全体を受信することがあります。全体を受信したメールは「受信トレイ」にのみ表示されますが、加入しているプロバイダーのメールサーバーなどによっては、「部分受信トレイ」にも表示されます。
  また、部分受信したメールの全体を受信（☞ 次ページ）すると、前述の全体を受信したメールも再度受信します。

メールの全部（全体）を受信する

1 「部分受信トレイ」一覧画面で、全部を受信するメールを選択します。

2 画面右下の メニュー － メッセージ － ダウンロード をタップします。

3 自動的に回線に接続しメール全体を受信します。

メール全体を受信したメールは、「部分受信トレイ」から消え、参照されなくなります。
受信した後、自動的に回線を切断します。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

MEMO
- 部分受信メールが複数件あるとき、アイコンをタップするとに変わり、メニュー － メッセージ － チェックをダウンロード をタップするとアイコンのメールのみ全体を受信できます。

添付ファイルを見る／保存する

メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

添付ファイルを見る

1 「受信トレイ」一覧画面などで、添付ファイルを取得したメールをタップします。

2 添付ファイルをタップし、表示されたメニューから 開く をタップします。

確認メッセージが表示されます。

画面右下の メニュー － 添付ファイル － 開く をタップしても確認画面が表示されます。

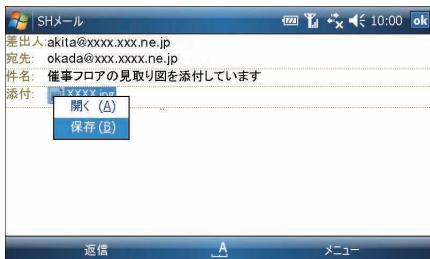
3 確認メッセージで [はい] をタップします。

MEMO
- 添付ファイルが正しく表示されない場合があります。
  このようなときは一旦保存（☞下記）してから見るか、1-54 ページをご覧になり、使用していないプログラムを終了してください。
  ※ファイルによってはすべてのプログラムを終了しても、正しく表示されない場合があります。

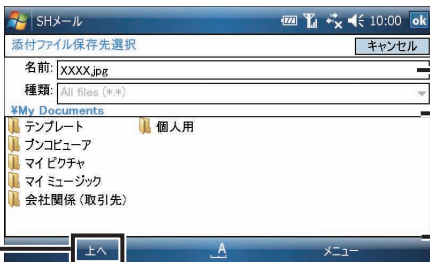
添付ファイルを保存する

1 添付ファイルをタップし、表示されたメニューから [保存] をタップします。

添付ファイル保存先選択画面が表示されます。

画面右下の [メニュー] － [添付ファイル] － [保存] をタップしても添付ファイル保存先選択画面が表示されます。

2 ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

メール

SHメール

3 **画面右上の ok をタップします。**

ファイルが保存されます。

MEMO ● 保存した添付ファイルは、“ファイルエクスプローラ”から開くことができます。くわしくは 9-14 ページをご覧ください。

4 **表示された確認画面で ok をタップします。**

メールを返信する／転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

メールを返信する

1 **返信するメールを 1 件表示します。**

2 **画面左下の 返信 をタップします。**

メールを送信してきた人のみに返信します。

全員へ返信するときは、1 件表示で画面右下の メニュー － 全員へ返信 をタップします。
送信者を含めて全員に返信します。

3 **返信内容を入力します。**

4 **画面左下の 送信 をタップします。**

設定によって（☞4-44 ページの手順 **7**）、次のいずれかが行われます。

・自動的にインターネットに接続し、メールを送信します。
正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

・「送信待ちトレイ」に保存されます。メールは送信されません。
送信待ちトレイのメールを送信するときは、「まとめてメールを送る」（☞4-50 ページ）の手順 **3** をご覧ください。

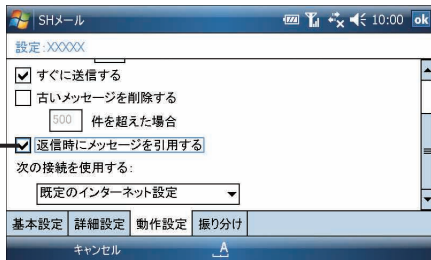
ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

返信時の引用設定について

メールを返信するとき、受信したメール本文を引用するか／引用しないかの選択ができます。
アカウント設定画面の 動作設定 タブで選択します。くわしくは 4-44 ページをご覧ください。

「返信時にメッセージを引用する」のチェックを外していると、返信時に受信メールの本文を引用しません（受信メールの本文は入りません）。チェックを付けると、本文を引用します。

SHメール 10:00 ok
設定：XXXXX
すぐに送信する
古いメッセージを削除する
500 件を超えた場合
返信時にメッセージを引用する
次の接続を使用する：
既定のインターネット設定
基本設定 詳細設定 動作設定 振り分け
キャンセル

MEMO
- 返信時にメッセージを引用しないに設定（チェックを付けていない）していても返信画面右下の メニュー － その他 － 返信元メッセージ挿入 をタップするとメール本文の最後に返信元メッセージが挿入されます。
また、送信済みトレイに入っているメールを返信するときは、設定に関係なくメッセージが挿入されます。

メールを転送する

1 **転送するメールを 1 件表示します。**

2 **画面右下の メニュー － 転送 をタップします。**

3 **宛先を入力します。**

4 **画面左下の 送信 をタップします。**

設定によって（☞4-44 ページの手順 **7**）、次のいずれかが行われます。
・自動的にインターネットに接続し、メールを送信します。
正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。
・「送信待ちトレイ」に保存されます。メールは送信されません。
送信待ちトレイのメールを送信するときは、「まとめてメールを送る」（☞4-50 ページ）の手順 **3** をご覧ください。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合
2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

メールを未読／既読にする

未読メールを既読メールに、既読メールを未読メールに変更できます。

メールを 1 件だけ未読／既読に変更する

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、未読／既読を変更するメールを選択します。**

2 **画面右下の メニュー － メッセージ状態 － 未読にする または 既読にする をタップします。**

メールを複数件選択して未読／既読に変更する

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、未読／既読を変更するメールのアイコンをタップして、チェックを付けます。**

チェックマーク ☑ が付きます。
複数のメールを選択することができます。

MEMO
- メールを選択して、画面左下の「チェック」をタップしてもチェックマーク ☑ が付きます。この手順を繰り返し、メールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。チェックを外すときは、☑ をタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の「チェック」をタップします。

2 **画面右下の メニュー － メッセージ状態 － チェックを未読にする または チェックを既読にする をタップします。**

フォルダの中のメールをすべて既読にする

1 「受信トレイ」など、フォルダ内のメールをすべて既読メールにしたいフォルダを選択します。

2 画面右下の [メニュー] ー [フォルダ] ー [すべて既読にする] をタップします。

MEMO
- フォルダの中のメールをすべて未読にするときは、未読にしたいメールをすべて選択して未読メールにしてください。（「メールを複数件選択して未読／既読に変更する」（☞ 前ページ））

メールを削除する

メールを削除すると、本製品から完全に削除されます。
メールの削除は詳細表示画面で行えるほか、1 件ずつ削除する方法とチェックを付け複数のメールをまとめて削除する方法、ご自分で作ったフォルダのメールをフォルダごと削除する方法などがあります。

ご注意
- 以下の方法でメールを削除すると本製品から削除され、見ることができなくなります。削除するときは、ご注意ください。

メールを詳細表示画面で削除する

1 詳細表示画面右下の [メニュー] ー [その他] ー [削除] をタップします。

2 表示された確認画面で [はい] をタップします。

メールを 1 件だけ削除する

1 「受信トレイ」一覧画面などで、削除するメールを選択します。

2 画面右下の メニュー － 削除 をタップします。

3 表示された確認画面で はい をタップします。

手順 **1** で選択したメールのみが削除されます。

MEMO

- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 を選択しても削除できます。

メールを複数件選択して削除する

1 削除するメールのアイコンをタップして、チェックを付けます。

チェックマーク ☑ が付きます。
複数のメールを選択することができます。

MEMO

- 削除するメールを選択して、画面左下の チェック をタップしてもチェックマーク ☑ が付きます。
この手順を繰り返し、削除するメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑ をタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の チェック をタップします。

2 画面右下の メニュー － チェックを削除 をタップします。

3 表示された確認画面で はい をタップします。

手順 **1** で選択した（チェックを付けた）メールが削除されます。

自分で作ったフォルダとその中のメールをすべて削除する

1 **削除するフォルダ（ご自分で作ったフォルダ）を表示し、さらにそのフォルダを選択します。**

新しいフォルダの作成方法については 4-72 ページをご覧ください。

2 **画面右下の メニュー － 削除 をタップします。**

3 **表示された確認画面で はい をタップします。**

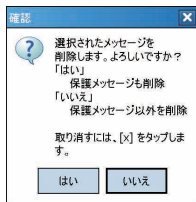
手順 **1** で選択したフォルダとその中に入っているメールがすべて削除されます。

MEMO
- この方法で削除できるのはご自分で作ったフォルダだけです。「受信トレイ」や「送信済みトレイ」などは、削除できません。

保護されたメールの削除について

メールを削除するときに、保護されたメールだけ残せます。削除の操作をすると、以下の確認画面が表示されます。
メールの保護設定については、4-75 ページをご覧ください。

確認
選択されたメッセージを削除します。よろしいですか？
「はい」
保護メッセージも削除
「いいえ」
保護メッセージ以外を削除

取り消すには、[x] をタップします。
はい　いいえ

保護されたメールもすべて削除するとき	： はい をタップする
保護されたメール以外すべて削除するとき	： いいえ をタップする
選択したメールの削除を中止するとき	： ✕ をタップする

MEMO
- 1 件表示画面でメールを削除するときは、削除の操作をした後の確認画面で はい をタップするとそのメールを削除し、いいえ をタップするとそのメールの削除を中止します。

サーバーに残っている受信済みメールを削除する

アカウント設定画面（動作設定 タブ）（☞4-44 ページ）で「受信メッセージをサーバーから削除」のチェックを外しておくと、メールを受信後もサーバーにメールが溜まっていきます。
このようなときは、本製品からサーバーに接続しサーバーに残っている受信済みのメールを削除します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで、メニュー － 送受信 － サーバーから削除 をタップします。

インターネットに接続し、サーバーに残っている既読メールを削除します。削除後、自動的に回線を切断します。

ワイヤレス LAN を使ってのインターネット接続を終了する場合

2-15 ページをご覧になりワイヤレス LAN を無効（オフ）にします。ワイヤレス LAN が有効（オン）の状態では、通常より早く電池残量が少なくなりますので、無効（オフ）にすることをおすすめします。

MEMO

- この操作でサーバーから削除されるメールは、受信済みのメール（部分受信したメールも含む）のみです。
  まだ、受信していないメールは削除されません。

アカウントを修正する／削除する

アカウントを修正する

1 **タブレットキーの ✉ をタップします。**

「受信トレイ」一覧画面が表示されます。

MEMO ● 通常使用するメールソフトとして“SH メール”を設定しておいてください（☞4-4 ページ）。

2 **画面右下の メニュー － その他 － アカウント設定 をタップします。**

アカウント設定画面が表示されます。

アカウント名の左側の「●」は、現在選択されているアカウントです。
「●」が付いているアカウントは削除できません。

3 **修正するアカウントを選択し、編集 をタップします。**

4 **4-41 ～ 44 ページの各タブで修正します。**

5 **修正を終えた後、ok をタップします。**

MEMO ● アカウント名の修正はできません。

アカウントを削除する

作成したアカウントを削除するときは、上記「アカウントを修正する」の手順 **2** の画面でアカウントを選択し、削除 をタップします。

!ご注意 ● アカウントを削除すると、そのアカウント内のメールはすべて削除されます。

振り分け条件を設定しメールを振り分ける

振り分け条件を設定し、受信したメールを自動的に指定したフォルダに入れる（振り分ける）ことができます。
※振り分けができるのは、受信したメール（受信トレイに入るメール）だけです。

メールを自動で振り分ける

受信メールを設定した振り分け条件に従って、自動的に指定したフォルダに入れる（振り分ける）ことができます。

1 **受信トレイの中にメールを振り分けるフォルダを作成します。フォルダの作成については、4-72 ページをご覧ください。**

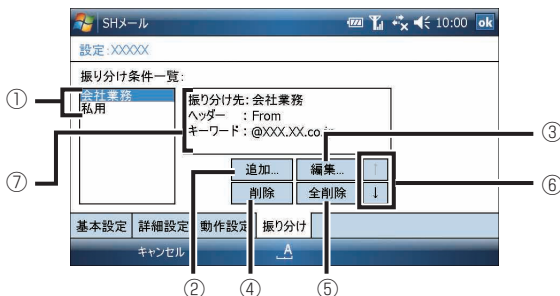
2 **受信トレイなどをタップし、画面右下の メニュー － その他 － アカウント設定 をタップします。**

アカウント設定画面が表示されます。

3 **メールを振り分ける条件を設定するアカウントを選択し、編集 をタップします。**

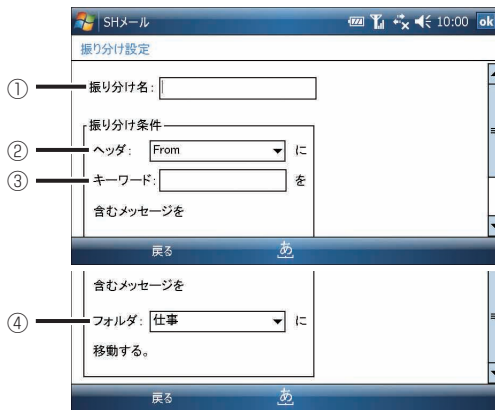
MEMO
- 新しいアカウントにメールの振り分け条件を設定するときは、追加 をタップし新しいアカウントを設定（作成）します。アカウントの設定についてくわしくは、4-40 ページをご覧ください。

4 **振り分け タブをタップします。**

振り分け条件一覧画面が表示されます。

① 振り分け条件を設定した、振り分け名が表示されます。リストの上部に表示されている振り分け名が優先されます。
② 振り分けの条件を追加します（☞ 下記）。
③ 選択している振り分け条件を編集します。
④ 選択している振り分け条件を削除します。
⑤ 振り分け条件をすべて削除します。
⑥ ①のリストで表示されている順番を変更します。振り分け名を選択し、↑や↓をタップし順番を変更します。
⑦ ①で選択している振り分け条件の内容を表示します。

5 追加 をタップします。

振り分け条件設定画面が表示されます。

6 振り分け名や振り分け条件を設定します。

① 振り分け条件の名前を入力します。
②「キーワード」欄で入力した文字列を条件とするヘッダーを選択します。
③「ヘッダ」欄で選択した項目に対して、条件として指定する文字列を入力します。
④ 振り分け先となる受信トレイ内にあるフォルダを選択します。選択したフォルダの中に、振り分けられたメールが入ります。

MEMO

- ④で選択できるフォルダは 1 つだけです。
  複数のフォルダを選択することはできません。
- 振り分け先として指定するフォルダは、別の振り分け条件でも選択できます。
  たとえば、●● @xxx.co.jp の振り分け先に「フォルダ 1」を選択し、○○ @xxx.co.jp の振り分け先にも「フォルダ 1」を選択できます。
  「フォルダ 1」には、両方から送信されたメールが振り分けられます。

7 **ok をタップします。**

設定画面の 振り分け タブに戻ります。

8 **ok をタップします。**

メールを受信すると、設定した振り分け条件にしたがって振り分けられます。

メールを手動で振り分ける

振り分けたいメールが保存されているフォルダを選択して、手動で振り分けすることができます。

1 **「受信トレイ」など振り分けしたいメールが保存されているフォルダを選択し、画面右下の メニュー － フォルダ － 振り分け実行 をタップします。**

振り分け条件を設定したフォルダにメールが振り分けられます。

MEMO
- 振り分け条件を設定したフォルダの条件を変更して、再度振り分けすることもできます。

設定した振り分け条件を修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 **4-68 ページの手順 2 ～ 4 の方法で振り分け条件一覧画面を表示し、修正したい振り分け名をタップします。**

2 **編集 をタップし、修正したい振り分け条件（キーワードなど）を変更します。**

3 **ok をタップします。**

変更した内容を保存し、設定画面の 振り分け タブに戻ります。

設定した振り分け条件を削除する

設定した振り分け条件を削除します。

1 つの設定を削除します（1 件削除）

1 4-68 ページの手順 **2** ～ **4** の方法で振り分け条件一覧画面を表示し、削除したい振り分け名をタップします。

2 削除 をタップします。

3 確認画面で はい をタップします。

手順 **1** で選択した振り分け設定が削除されます。
削除されるのは、振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

すべての設定を削除します（全削除）

1 4-68 ページの手順 **2** ～ **4** の方法で振り分け条件一覧画面を表示し、全削除 をタップします。

2 確認画面で はい をタップします。

すべての振り分け設定が削除されます。
削除されるのは、振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

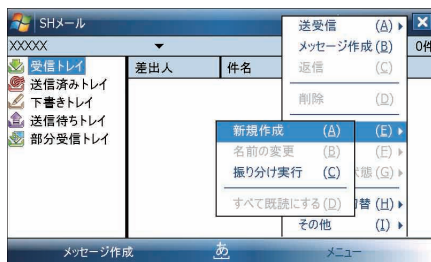
メールを整理する

新しくフォルダを作って、メールを関連した仕事ごとなどに整理できます。
新しくフォルダを作成できるのは、「受信トレイ」フォルダと「送信済みトレイ」フォルダ内のみです。
フォルダは、20 個まで作成できます。

新しくフォルダを作成する

まず、移動するためのフォルダを作成します。

1 受信トレイなどを選択し、画面右下の メニュー － フォルダ － 新規作成 をタップします。

ここでは「受信トレイ」フォルダの下に新しいフォルダを作ります。

MEMO
- 「受信トレイ」フォルダなどをタップしたままにして、表示されたメニューから フォルダの新規作成 をタップしても新しいフォルダを作れます。

2 フォルダ名を入力し、 ok をタップします。

入力した名前のフォルダが、手順 **1** で選択したフォルダの下に表示されます。

メールを別のフォルダに移動する

受信したメールなどを新しく作ったフォルダに移動します。
メールを移動するには、フォルダ内のメールをまとめて（チェックを付けて）移動する方法と 1 件ずつ移動する方法があります。

メールをまとめて別のフォルダに移動する

1 別のフォルダに移動させるメールのアイコンをタップして、チェックを付けます。

複数のメールを選択することができます。

MEMO
- 移動させるメールを選択して、画面左下の [チェック] をタップしてもチェックマークが付きます。
  この手順を繰り返し、移動させるメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑ をタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の [チェック] をタップします。

2 画面右下の [メニュー] － [メッセージ] － [チェックを移動] をタップします。

3 表示された画面で、移動先のフォルダを選択（反転）し、画面左下の [移動] をタップします。

移動先のフォルダに移動します。

メールを 1 件だけ別のフォルダに移動する

1 別のフォルダに移動させるメールを選択します。

2 画面右下の [メニュー] － [メッセージ] － [移動] をタップします。

3 表示された画面で、移動先のフォルダを選択（反転）し、画面左下の [移動] をタップします。

MEMO
- 移動先のフォルダとして、別のアカウント内のフォルダを選択することはできません。
- 移動するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから [移動] をタップしても移動できます。

フォルダの名前を変更する

1 **名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前の変更 をタップします。**

フォルダ名の変更画面が表示されます。

MEMO
- 名前を変更したいフォルダをタップし、画面右下の メニュー － フォルダ － 名前の変更 をタップしても名前を変更できます。

2 **名前を変更して ok をタップします。**

「受信トレイ」や「送信済みトレイ」などのフォルダ名は変更できません。名前を変更できるのは、新しく作成したフォルダのみです。

フォルダを削除する

フォルダを削除すると、そのフォルダ内のメールも削除されますのでご注意ください。

1 **削除したいフォルダをタップし、画面右下の メニュー － 削除 をタップします。**

確認画面が表示されます。

2 **はい をタップします。**

「受信トレイ」や「送信済みトレイ」などのフォルダは削除できません。削除できるのは、新しく作成したフォルダのみです。

メールを保護する／保護を解除する

受信したメールや送信したメールは受信トレイや送信済みトレイなどに入り、本製品に保存されます。
アカウントの設定（動作設定 タブ）で保存するメールの件数に制限を設定（☞4-44 ページ）した場合、この制限を超えてメールを受信したり送信すると古いメールから削除されます。
この保存メールの件数に制限を設定しているとき、削除したくないメールを保護設定することにより、制限を超えても削除されずに残すことができます。
また、未読のメールも削除されずに残ります。

ご注意
- 保護メールと未読メールの件数が保存するメールの制限値（☞4-44 ページ）を超えた場合は、メール受信ができなくなりますのでご注意ください。このようなときは、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。

メールを保護する

メールを保護するには、フォルダ内のメールをまとめて（チェックを付けて）保護する方法と 1 件ずつ保護する方法の 2 つがあります。

メールをまとめて保護する

1 受信トレイ一覧画面または送信済みトレイ一覧画面を表示し、保護するメールのアイコンをタップして、チェックを付けます。

複数のメールを選択することができます。

MEMO
- 保護するメールを選択して、画面左下の チェック をタップしてもチェックマークが付きます。
この手順を繰り返し、保護するメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑ をタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の チェック をタップします。

2 画面右下の メニュー － メッセージ状態 － チェックを保護 をタップします。

保護されたメールのアイコンが になり、 が表示されます。

メール

SH メール

メールを 1 件ずつ保護する

1 **受信トレイ一覧画面または送信済みトレイ一覧画面を表示します。**

2 **保護するメールを選択し、画面右下の [メニュー] − [メッセージ状態] − [保護] をタップします。**

保護されたメールのアイコンが になり、 が表示されます。

MEMO
- 1 件表示しているときは、手順 **2** で画面右下の [メニュー] − [その他] − [保護] をタップします。

保護を解除する

保護しているメールをまとめて解除する

1 **保護しているメールのアイコンをタップしてチェックを付けます。**

複数のメールを選択することができます。

2 **画面右下の [メニュー] − [メッセージ状態] − [チェックを保護解除] をタップします。**

保護が解除され、メールのアイコンに表示されていた が消えます。

保護しているメールを 1 件ずつ解除する

1 **保護しているメールを選択します。**

2 **画面右下の [メニュー] − [メッセージ状態] − [保護解除] をタップします。**

保護が解除され、メールのアイコンに表示されていた が消えます。

MEMO
- 1 件表示しているときは、手順 **2** で画面右下の [メニュー] − [その他] − [保護解除] をタップします。

保存メールの制限について

保存メールの制限は「受信トレイ」／「送信済みトレイ」／「部分受信トレイ」※が対象となり、「受信トレイ」と「送信済みトレイ」のメールの合計が制限値を超えると、送信した日時が一番古いメールから削除されます。
なお、「送信待ちトレイ」、「下書きトレイ」は対象外です。
※部分受信メールは「受信トレイ」に入りますが、「部分受信トレイ」でも参照できるようになっています。すなわち、「受信トレイ」と「部分受信トレイ」の両方で同じ部分受信メールが表示されます。

制限値を超えて受信したり送信した場合

制限値を超えてメール受信または送信すると、保護メール（☞4-75 ページ）と未読メールを除いて送信した日時が一番古いメールから削除されます。
最近受信して「受信トレイ」に入ったメールでも、送られた日時が古いと、そのメールは最近のメールではなく、古いメールとして扱われます。
たとえば、1 週間程度メール受信を行わず今日になって受信したメールでも、送信されたのが 1 週間以上前のメールはその日時（送信された日時）のメールとして扱われます。受信した日時ではなく送信された日時に注意してください。

エクスポート（書き出し）／インポート（読み込み）する

メール本文や添付ファイルを書き出したり（エクスポート）、読み込んだり（インポート）できます。
エクスポートやインポートをすると EML 形式をサポートしているパソコンのアプリケーションなどとファイルのやり取りができます。

エクスポートする

メールの本文（添付ファイルを含む）を書き出します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで、エクスポートするメールを選択します。

MEMO
- メールのアイコンをタップして（チェックを付けて）、複数選択することもできます。

2 画面右下の メニュー － その他 － エクスポート をタップします。

エクスポート画面が表示されます。

3 出力先を指定して画面右上の ok をタップします。

エクスポートが終わるとメッセージが表示されますので ok をタップします。

MEMO
- 出力先の初期設定は¥My Documents に設定されています。
- 出力先に miniSD カードを指定することもできます。

インポートする

メールの本文（添付ファイルを含む）を読み込みます。

1 インポートデータを保存するトレイ（「受信トレイ」など）を選択して、画面右下の メニュー － その他 － インポート をタップします。

インポート元選択画面が表示されます。

2 インポートするデータを選択し、画面右上の ok をタップします。

インポートが終わるとメッセージが表示されますので ok をタップします。

3 インポートしたメールをタップします。

ご注意
- EML 形式のファイルであっても、ファイルによってはインポートできないことがあります。また、本製品でサポートしていない文字コードや添付ファイルを含んだ EML ファイルをインポートしても本製品では正しく表示できません。

SH メールのメニュー

一覧画面のメニュー

送受信	受信	メールを受信する(☞4-51ページ)。
	送信	メールを送信する(☞4-46ページ)。
	送受信	メールの送信と受信を一度に行う(☞4-50、4-51ページ)。
	まとめて受信	複数のアカウントのメールを一度に受信する。受信するアカウントの選択は、まとめて受信設定で行う(☞4-52ページ)。
	サーバーから削除	サーバーに残っている既読のメールを削除する(☞4-66ページ)。
メッセージ作成		メールを作成する(☞4-46ページ)。
返信※1		メールを返信する(☞4-60ページ)。
削除※1		メールを削除する(☞4-63ページ)。
フォルダ	新規作成	新しくフォルダを作成する(☞4-72ページ)。
	名前の変更	フォルダ名を変更する(☞4-74ページ)。
	振り分け実行	設定している条件にしたがって、振り分けを行う(☞4-70ページ)。
	すべて既読にする	フォルダの中にあるメールをすべて既読にする。
メッセージ	全員へ返信※1	全員へ返信する(☞4-60ページ)。
	転送※1	メールを転送する(☞4-61ページ)。
	ダウンロード※1	一部を受信したメールの全部(全体)を受信する。
	移動※1	メールを別のフォルダに移動する。
	並び替え	差出人順、件名順、日時順で並び替える。
	全チェック	フォルダの中にあるメールの全件にチェックを付ける。
	全チェック解除	チェックが付いているメールすべてのチェックを外す。
メッセージ状態	保護※1	削除しないように、メールを保護する。
	保護解除※1	保護しているメールを保護解除する。
	未読にする※1	メールを未読/既読にする。
	既読にする※1	
アカウント切替		アカウントを複数設定している場合、アカウントを切り替える。

その他	振り分け設定一覧	表示しているアカウントの振り分け設定画面を表示する（☞4-68ページ）。
	アカウント設定	アカウントを新しく作成したり、作成しているアカウントの内容を確認／変更する（☞4-40ページ）。
	オプション	まとめて受信するときや定期受信するとき、対象にするアカウントを選択する（☞4-52,4-53ページ）。
	インポート	メール本文を読み込みする（☞4-78ページ）。
	エクスポート※1	メール本文を書き出しする（☞4-77ページ）。
	バージョン情報	SHメールのバージョンを表示する。

※1 アイコンをタップしチェックを付けた場合（☑アイコンが表示されている場合）、返信や転送などはチェックを返信、チェックを転送などになります。

詳細表示画面のメニュー

全員へ返信		全員へメールを返信する（☞4-60ページ）。
転送		メールを転送する（☞4-61ページ）。
連絡先に登録	新規登録	選択しているメールアドレスを連絡先に新規データとして登録する。
	追加登録	選択しているメールアドレスを連絡先にすでに登録しているデータに追加する。
範囲指定モード 範囲指定モード解除		範囲指定する。 範囲指定モード（メニュー－範囲指定モード）で範囲指定を開始する位置をタップして、開始 をタップした後、カーソルボタンを使って範囲指定する。指定された部分は反転表示になる。範囲を指定した後、終了または、メニュー－範囲指定モード解除 をタップする。 そして、メニュー－コピー で、反転した部分をコピーする。
コピー		範囲指定している部分をコピーする。
添付ファイル	開く	選択している添付ファイルを開く（☞4-58ページ）。
	保存	選択している添付ファイルを保存する（☞4-59ページ）。
振り分け設定		振り分け設定画面を表示する（☞4-68ページ）。
その他	削除	メールを削除する。
	ダウンロード	一部を受信したメールの全部（全体）を受信する。
	保護／保護解除	選択しているメールを保護する／保護しているメールを保護解除する（☞4-75ページ）。
	簡略表示	「宛先」、「Cc」、「件名」の各項目4行以上になっている場合（画面上の行数が4行以上になっている場合）、各項目を3行まで表示する。簡略表示 にしている場合、このメニューは すべて表示 になる。すべて表示をタップすると、各項目がすべて表示される。

新規作成画面のメニュー

連絡先参照		連絡先に登録しているメールアドレスを参照する。
連絡先に登録	新規登録	選択しているメールアドレスを連絡先に新規データとして登録する。
	追加登録	選択しているメールアドレスを連絡先にすでに登録しているデータに追加する。
範囲指定モード 範囲指定モード解除		範囲指定する。 範囲指定モード（メニュー－範囲指定モード）で範囲指定を開始する位置をタップして、開始をタップした後、カーソルボタンを使って範囲指定する。指定された部分は反転表示になる。範囲を指定した後、終了または、メニュー－範囲指定モード解除をタップする。 そして、メニュー－コピーで、反転した部分をコピーする。
クリア		選択している部分を削除する。
切り取り		範囲指定している部分を切り取る。
コピー		範囲指定している部分をコピーする。
貼り付け		コピーおよび切り取った部分を貼り付ける。
その他	返信元メッセージ挿入	メール本文の最後に返信元メッセージを挿入する。
	添付ファイル挿入	ファイルを添付する。
	添付ファイル削除	添付しているファイルを削除する。
	署名挿入	本文に署名を挿入する。

ワンセグ TV を見る

ワンセグ TV を見る 5-2

ワンセグ TV を見る

本製品に搭載されているワンセグを視聴するプログラムについて
プログラム画面に表示されているアイコンの名称は「StationMobile」ですが、この取扱説明書では、“ワンセグ TV”と記載しています。
本製品では、地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」が視聴できます。

MEMO
- 地上デジタル放送およびワンセグは、地上波の UHF 帯の電波を利用して放送されています（アナログテレビの受信はできません。）。

地上デジタル放送とワンセグについて

ワンセグは地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスです

ワンセグとは、地上デジタル放送の電波の一部を使用して、携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送の視聴を可能にした、携帯・移動体向けの地上デジタルテレビサービスです。
地上デジタル放送の 6MHz の帯域を 13 分割して送る日本独自の放送方式によって実現したサービスで、13 分割された 1 つの部分（セグメント）だけで放送されるため「**ワンセグ**」と呼ばれるようになりました。

- ワンセグは、2006 年 4 月 1 日から三大広域圏（都市圏）と 13 の県の放送局で開始され、2006 年 12 月には全国に広がり開始されているサービスです。
  受信料などについて詳しくは、下記のホームページなどを参照してください。

■ 社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

ご利用になる前に

ワンセグ TV（StationMobile for S01SH）をご利用になる前に、次のことをご確認ください。
本ソフトウェアで使用している専用フォントは、本ソフトウェアでのみ使用することを許諾します。

- ワンセグ TV をご利用中は、ボタン操作部や電池カバーの温度が上がるため、長時間直接肌に触れさせたり、紙／布／布団などをかぶせたりしないでください。やけどや故障の原因となります。
- 海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため利用できません。

- 自転車やバイク、自動車などの運転中は、利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられるため、交通事故の原因となります。
  また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道などでは、特にご注意ください。

ご注意

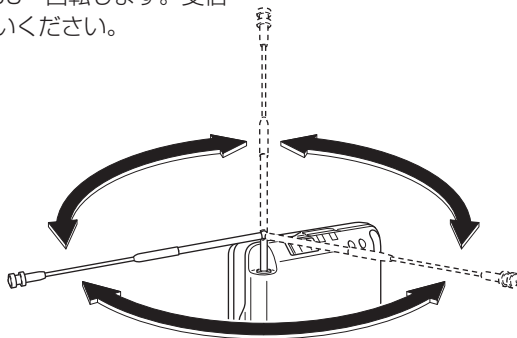
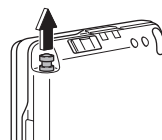
- EM chip が取り付けられていないときは、ワンセグ TV を視聴することはできません。
- ワンセグ TV を起動すると、Bluetooth やワイヤレス LAN は切断されます。
- ワンセグ TV ご利用中は、オートパワーオフ、バックライト、パスワードの各種設定時間が経過しても働きません。
- ワンセグ TV ご利用中は、miniSD カードを取り付けたり、通信（メール受信、ActiveSync など）、USB ポートに他の機器を接続しても動作しません。
  また、ワンセグ TV ご利用中に他のプログラムは起動できません。
- 別売の RGB アダプタは使用できません。
- ワンセグ TV には、録画機能はありません。
- Bluetooth を介して接続したヘッドホンなどに音声を出力することはできません。
- 本取扱説明書のワンセグ TV に記載している画面は、はめ込み合成です。

MEMO

- ワンセグ TV を利用しながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかります。
- ➔□（充電ランプ）が赤色に点滅しているときは、ワンセグ TV を起動（ワンセグ TV を表示）できません。
  また、視聴中はワンセグ TV を終了します。

アンテナについて

- アンテナは、3 段式になっています。固定されるまで十分に引き出してください。
- 収納するときは、アンテナの下の方を持って行ってください。上の方を持って無理に押し込むと、破損の原因となります。先端が収納されるまで、完全に収納してください。
- アンテナは折り曲げると、360°回転します。受信感度のよい方向に向けてお使いください。

まっすぐ引く

電波について

ワンセグのサービスエリア以外では、本プログラムを楽しむことはできません。
また、放送エリア内であっても電波の受信状況が悪い次のような場所では、本プログラムが正しく利用できないことがあります。

- 放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- 山間部やビルの陰
- 移動中の電車や自動車の中
- パソコンやテレビなどの電子機器、高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- 線路や高速道路の近くなど
- 地下街、トンネルの中など
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

ご注意 ● ワンセグは、電波状態によってはブロック形の画像の乱れが発生したり、無音となるなどデジタル特有の現象が発生することがあります。

はじめてワンセグ TV（StationMobile for S01SH）をお使いになるとき

ワンセグ TV をはじめて起動したときは、以下の操作を行い、ソフトウェア製品使用許諾契約書の承諾やチャンネルの設定などを行ってください。

1 **アンテナを引き出します（☞5-4 ページ）。**

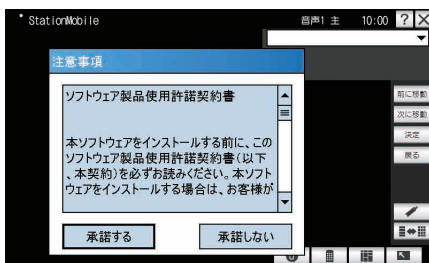
2 **タブレットキーの 🖥 をタップします。**

3 **他アプリケーションの終了確認画面が表示されたら はい をタップします。**

終了確認画面に表示されているアプリケーションが終了します。
他アプリケーションの終了確認画面が表示されないときは、手順 **4** の画面が表示されます。

MEMO

- 手順 **3** の終了確認画面で いいえ をタップすると、ワンセグ TV は起動しません。
- 他のアプリケーションが起動していないときは、手順 **3** の画面は表示されません。また、上記の終了確認画面を表示しないように設定できます（☞5-22 ページ）。

4 **ご購入後はじめての起動時およびアプリケーション初期化（☞5-21 ページ）直後の起動時は、ソフトウェア製品使用許諾契約書の確認画面が表示されますので、表示されている内容を確認の上、承諾する をタップしてください。**

5 メッセージが表示されますので、ok をタップします。

6 チャンネル設定画面で 地域選択 をタップします。

7
・地域選択画面で、地域名を選択し OK をタップします。
・地域選択画面に地域がないときは 5-18 ページの手順 2 ～ 5 を行うと、チャンネルスキャンを行った地域のチャンネルが登録されます。

8 メッセージが表示されますので、OK をタップします。

9 チャンネル設定画面に戻り、手順 7 で選択した地域の放送局が表示されます。

10 画面右上の OK をタップします。

MEMO
● ご購入時、地域ごとのチャンネルが登録されています。
ただし、利用する場所や環境によっては、正しく受信できない場合があります。
この場合は、チャンネルスキャンを行ってください。
● チャンネルリストは後で変更することができます（☞5-17 ページ）。
● 移動先でチャンネルリストを登録するときなどは、新たなチャンネルリストに登録してください。登録済みのチャンネルリストの内容を優先するため、移動先の地域選択で登録しなおしたり、チャンネルスキャンしても、登録されないチャンネルがあります。

画面について

ワンセグ TV には、「BML 表示モード」、「操作表示モード」、「EPG 表示モード」、「全画面表示モード」の４つの表示モードがあります。

BML 表示モード	テレビ映像の表示とともにデータ放送（BML ブラウザ）が利用できます（☞5-9 ページ）。
操作表示モード	テレビ映像の表示とともに各種設定ボタンが表示されます（☞5-10 ページ）。
EPG 表示モード	テレビ映像の表示とともに電子番組表データが表示されます（☞5-11 ページ）。
全画面表示モード	全画面でテレビ映像を表示します（☞5-11 ページ）。

表示モードを切り替えるときは、モードバー（下記⑤）の各モードのボタンをタップして切り替えます。

① インフォメーションバー	：受信強度や現在の設定状態などが表示されます。 （各アイコンについてくわしくは ☞ 次ページ）
② テレビ映像ビュー	：受信しているテレビ映像が表示されます。
③ 字幕ビュー	：受信中のテレビ映像に対する字幕が表示されます。
④ データビュー	：表示モードによって「データ放送（BML ブラウザ）表示」、「チャンネル操作や各種設定表示」、「電子番組表表示」を切り替えて表示します。
⑤ モードバー	：表示モードを切り替えます。 ：BML 表示モードに切り替えます（☞5-9 ページ）。 ：操作表示モードに切り替えます（☞5-10 ページ）。 ：EPG 表示モードに切り替えます（☞5-11 ページ）。 ：全画面表示モードに切り替えます（☞5-11 ページ）。

⑥ 番組名表示欄	：受信しているテレビ映像の番組名が表示されます。 受信中の番組名は、受信状況に応じて以下のように表示されます。 番組名　：受信中の番組名を表示します。 休止中　：放送が終了しているとき表示されます。 無効な放送局指定　：受信できないとき表示されます。 放送確認中　：受信中のとき表示されます。 圏外　：受信に失敗したとき表示されます。
⑦ チャンネルバー	：受信しているテレビ映像のチャンネル番号や放送局名が表示されます。また、▼をタップするとチャンネル設定（☞5-17 ページ）で登録した放送局名の一覧が表示されます。見たい放送局名をタップするとその放送局のチャンネルに切り替わります。

インフォメーションバーについて

① 受信強度アイコン	：受信強度をアイコンで表示します。 良好 ──→ 受信不可
② オフタイマーアイコン	：ワンセグ TV を終了する時間（オフタイマー）をアイコンで表示します（☞5-17 ページ）。
③ 消音アイコン	：操作表示モードで をタップし音声をオフにしている状態をアイコンで表示します（☞5-10 ページ）。
④ 複数音声アイコン	：複数音声の設定をアイコンで表示します（☞5-14 ページ）。
⑤ 多重音声アイコン	：多重音声の設定をアイコンで表示します（☞5-14 ページ）。
⑥ 時刻表示	：現在の時刻を表示します。 ※時刻はワンセグ放送に含まれる時刻情報をもとにして表示しています。
⑦ ヘルプボタン	：ヘルプを表示します。
⑧ 終了ボタン	：ワンセグ TV を終了します。

BML 表示モードの画面について

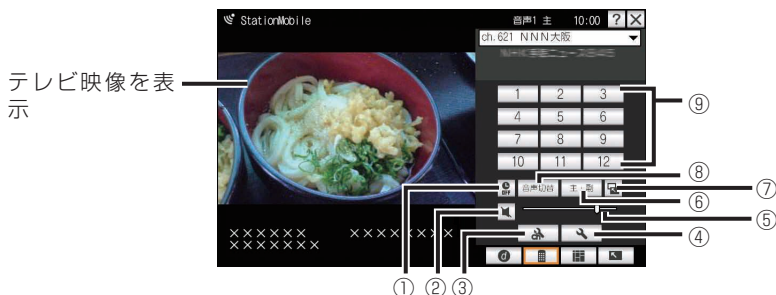
テレビ映像の視聴だけでなく、番組に関する情報を入手するなど、いろいろな情報を利用することができます。
ワンセグ TV を起動したときは、この表示モードになります。

① BML ブラウザ	：データ放送を表示します。
② ボタン切替ボタン	：BML ブラウザに表示している項目を選択する（④〜⑦）ボタンと入力ボタン（☞5-15 ページ）を切り替えます。
③ テレビリンクボタン	：登録したテレビリンクを表示します（☞5-16 ページ）。
④ 戻るボタン	：データ放送（BML ブラウザ）の前のページに戻ります。
⑤ 決定ボタン	：データ放送（BML ブラウザ）の選択している項目を決定し、その内容を表示します。
⑥ 次に移動ボタン	：データ放送（BML ブラウザ）の次の項目を選択します。
⑦ 前に移動ボタン	：データ放送（BML ブラウザ）の前の項目を選択します。

操作表示モードの画面について

テレビ映像の視聴と共に、各種設定などができます。

テレビ映像を表示

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

① オフタイマーボタン	：	オフタイマーの設定（10分／30分／60分／120分／OFF）を切り替えます（☞5-17ページ）。 オフタイマーの設定時間より少し前になると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されたままにすると、しばらくしてワンセグTVが終了します。確認メッセージで 視聴を継続する をタップすると視聴を継続します。
② 消音ボタン	：	音声のオン／オフを切り替えます。
③ チャンネル設定ボタン	：	チャンネル設定画面を表示します（☞5-17ページ）。
④ 詳細情報ボタン	：	詳細情報画面を表示します（☞5-21ページ）。
⑤ 音量スライダ	：	音量を調整します（☞5-13ページ）。
⑥ 多重音声ボタン	：	主音声／副音声／主＋副音声を切り替えます（☞5-14ページ）。
⑦ リサイズボタン	：	映像サイズを切り替えます。
⑧ 複数音声ボタン	：	音声（1～4）を切り替えます（☞5-14ページ）。 複数の音声が放送されているとき音声を切り替えることができます。
⑨ ワンタッチ選局キー	：	チャンネル設定で登録したチャンネルを選局表示します（☞5-17ページ）。

EPG 表示モードの画面について

テレビ映像の視聴と共に、現在表示中の番組および以降の番組表を表示します。
- BML 表示モードなどで [icon] をタップすると、EPG 表示モードになります。

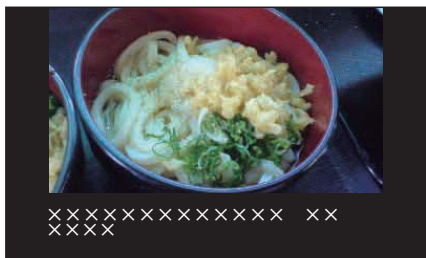
テレビ映像を表示

EPG ビュー
受信中の放送局の番組表を表示

全画面表示モードの画面について

全画面表示モードで、テレビ映像の視聴ができます。
- BML 表示モードなどで [icon] をタップすると、全画面表示モード（字幕非表示）になります。
- 字幕非表示の状態でテレビ画面をタップすると、字幕が表示されます。
- 全画面表示モードから BML 表示モードなどに戻すときは、字幕表示の状態でテレビ画面をタップします。

字幕非表示時

字幕表示時

ワンセグ TV を見る

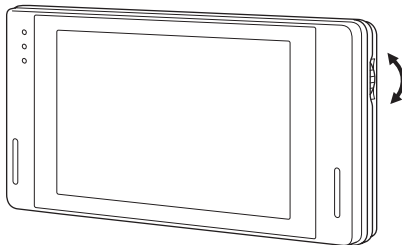
1 **タブレットキーの [TV] をタップします。**

2 **他アプリケーションの終了確認画面が表示されたら はい をタップします。**

終了確認画面に表示されているアプリケーションが終了します。
他アプリケーションの終了確認画面が表示されないときは、テレビ画面が表示されます。

MEMO
- 手順**2**の終了確認画面で いいえ をタップすると、ワンセグTVは起動しません。
- 他のアプリケーションが起動していないときは、手順 **2** の画面は表示されません。また、上記の終了確認画面を表示しないように設定できます（☞5-22ページ）。

3 **テレビ画面（BML 表示モード）が表示されます。**

4 **スクロールホイールを回してチャンネルを選局します。**

MEMO
- 操作表示モード（☞5-10 ページ）に切り替え、ワンタッチ選局キーで選局することもできます。

5 **ワンセグ TV を終了するときは、[×] をタップします。**

6 確認画面で、はい をタップします。

MEMO
- いいえ をタップすると、ワンセグ TV は終了しません。
- (縦横表示切替) ボタン（☞1-2 ページ）を押すと、縦画面でも視聴することができます。
  ただし縦画面で をタップして全画面表示モードにすると横画面で全画面になります。

音量を調整する

テレビを視聴中に音量を調整することができます。

1 操作表示モード（☞5-10 ページ）の音量スライダで調整します。

音量スライダを右に移動すると、音量が大きくなり、左に移動すると、音量が小さくなります。

音声のオン／オフを切り替えることができます。

MEMO
- 本製品の (音量調節) ボタンを押すと、ワンセグ TV（操作表示モード画面）の音量ではなく Windows Mobile のシステム音量（Today 画面などでタイトルバーの をタップして設定した音量）が変わります。ワンセグ TV（操作表示モード画面）の音量スライダは、Windows Mobile のシステム音量で設定した音量を最大として、その中で調節します（ワンセグ TV（操作表示モード画面）の音量スライダを最大にしたときの音量は をタップして設定した音量です）。

音声を切り替える

多重音声や音声を切り替えることができます。

多重音声の設定を変更する

主音声／副音声／主＋副音声に切り替えることができます。

1 **操作表示モード（☞5-10 ページ）の 主・副 をタップします。**

タップすると、主音声→副音声→主＋副音声→主音声に切り替わります。

複数音声の設定を変更する

音声 1 ～ 4 に切り替えることができます。

1 **操作表示モード（☞5-10 ページ）の 音声切替 をタップします。**

タップすると、音声 1 →音声 2 →音声 3 →音声 4 →音声 1 に切り替わります。

MEMO
- 受信されているテレビ映像に、複数音声があるときに、切り替えることができます。複数音声が、音声 3 まであるときは、音声 1 →音声 2 →音声 3 →音声 1 になります。

データ放送（BML ブラウザ）を利用する

BML 表示モードでは、データ放送（BML ブラウザ）を利用できます。データ放送では、番組に関連した情報を入手できます。
データ放送の利用方法は、番組によって異なります。ここでは、項目の選択や入力項目の設定などの基本的な使い方について説明します。

ご注意
- データ放送、放送局サーバーによっては、HSDPA 通信を使ってのインターネット接続を利用するかどうかの確認画面が表示されます。データ放送サービスなど、HSDPA 通信を使ってのインターネット接続を利用されるときは、通信料がかかります。

MEMO
- インターネット接続時に確認画面が表示されないようにすることができます（☞5-23 ページ）。

項目を選択する

1 前に移動 または 次に移動、戻る をタップし、項目を選択してから、決定 をタップします。

項目を選択するボタン

MEMO ● BML ブラウザ内を直接タップしても動作しません。

入力項目の設定

1 入力ボタンをタップして、入力します。

入力ボタン

MEMO ● 項目を選択するボタンと入力ボタンを切り替えるときは、[≣↔▦] をタップして切り替えてください。

テレビリンクを利用する

データ放送の情報や関連する情報画面へのリンクを登録し、あとで確認することができます。

ご注意
- テレビリンク利用時、HSDPA 通信を使ってインターネット接続を利用する場合は確認画面が表示されます。
  HSDPA 通信を使ってのインターネット接続を利用されるときは、通信料がかかります。

MEMO
- インターネット接続時に確認画面が表示されないようにすることができます(☞5-23 ページ)。

テレビリンクを登録する

1 データ放送を行っている番組などで、「テレビリンク登録」などの項目を選び、登録を行います。

テレビリンクを登録する方法は、番組によって異なります。

登録したテレビリンクを表示する

1 BML 表示モードの画面で、 をタップします。

テレビリンク画面が表示され、登録されているテレビリンクのリストが表示されます。

2 表示したいテレビリンクの選択欄をタップしてチェックを付け、画面右上の OK をタップします。

MEMO
- 登録したテレビリンクを削除するときは、削除するテレビリンクの選択欄をタップしてチェックを付け、 をタップし、表示された確認画面で、OK をタップします。

オフタイマーを設定する

ワンセグ TV をオフするまでの時間を設定することができます。

1 **操作表示モード（☞5-10 ページ）の をタップします。**

タップすると、OFF → 120 分→ 60 分→ 30 分→ 10 分→ OFF に切り替わります。

インフォメーションバーのアイコン	オフタイマー
表示なし	OFF
10	10 分
30	30 分
60	60 分
120	120 分

チャンネル設定を変更する

ご使用になる地域ごとなど、よくご使用になるチャンネルリストを 10 件まで登録することができます。また、ワンタッチ選局のキーの割り当てを変更することができます。

1 **操作表示モード（☞5-10 ページ）の をタップします。**

チャンネル設定画面が表示されます。

MEMO
- ご購入時、地域ごとのチャンネルが登録されています。

2 ◀ または ▶ をタップして、新しく登録するチャンネルリストを選択します。

3 チャンネルスキャン をタップします。

あらかじめ登録されている地域から選択するときは、地域選択 をタップします。以降、5-6 ページの手順 **7** から操作します。

4 確認画面が表示されますので、OK をタップします。

チャンネルリストの検索が始まります。

5 「検索が終了しました」と表示されたら、OK をタップします。

検索されたチャンネルが表示されます。

6 画面右上の OK をタップします。

チャンネルが登録されます。

MEMO

- ワンタッチ選局のキーが重複しているときは、メッセージが表示されます。メッセージ画面の OK をタップしてから別の番号に変更するか削除してください（☞ 次ページ）。
- チャンネル設定は電波環境の良い所で行ってください。
  パソコンやテレビなどの電子機器、ネオン、高圧線などの近く、また、ビルの陰、地下街、トンネル内、放送局から遠く離れている所などでは、電波が妨害されたり、電波が弱くなってチャンネル設定ができにくくなります。
- チャンネル設定はワンセグ放送開始時期や時間帯などにより、正しく設定できない場合があります。
- 移動先でチャンネルリストを登録するときなどは、新たなチャンネルリストに登録してください。登録済みのチャンネルリストの内容を優先するため、移動先の地域選択で登録しなおしたり、チャンネルスキャンしても、登録されないチャンネルがあります。

チャンネルリストを更新する

ご使用になる場所によって受信できるチャンネルは変化します。
ご使用になる場所が変わったときは、チャンネルを新しく設定（更新）してください。

1 **更新するチャンネルリストを選択し、チャンネルスキャン をタップし、表示された確認画面で OK をタップします。**

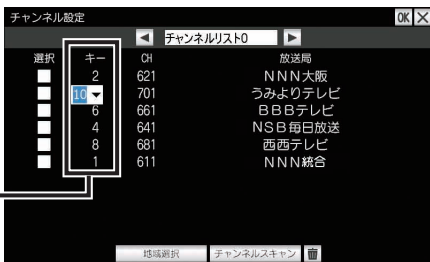
チャンネルリストの検索が始まります。

2 **「検索が終了しました」と表示されたら OK をタップします。**

3 **画面右上の OK をタップします。**

ワンタッチ選局のキーの割り当てを変更する

1 **ワンタッチ選局のキーの割り当てを変更するチャンネルリストを表示します。**

2 **ワンタッチ選局のキー欄をタップします。**

3 **割り当てたい番号を入力します。**

MEMO ● ▼をタップして表示されたチャンネル番号を選択しても入力できます。

4 **画面右上の OK をタップします。**

不要なチャンネルを削除する

1 **削除するチャンネルの選択欄をタップし、チェックを付けます。**

タップしてチェックを付けます。

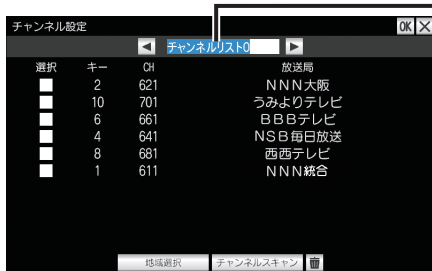
2 🗑 **をタップします。**

3 **確認画面で、OK をタップします。**

4 **画面右上の OK をタップします。**

チャンネルリストの名称を変更する

チャンネルリストの名称を変更することができます。

1 **変更するチャンネルリスト名をタップします。**

タップします

2 **変更する名称を入力します。**

3 **画面右上の OK をタップします。**

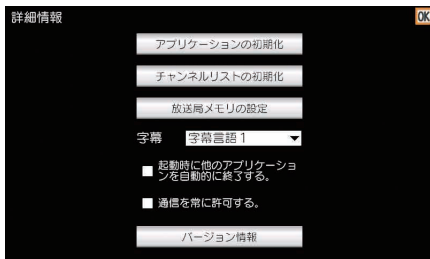
設定を変更する

アプリケーションを初期化する

設定している項目や登録しているチャンネルリストなどを初期化することができます。

1 操作表示モード（☞5-10 ページ）の [🔧] をタップします。

詳細情報画面が表示されます。

詳細情報
OK
アプリケーションの初期化
チャンネルリストの初期化
放送局メモリの設定
字幕　字幕言語 1
起動時に他のアプリケーションを自動的に終了する。
通信を常に許可する。
バージョン情報

2 [アプリケーションの初期化] をタップします。

3 確認画面で、[OK] をタップします。

ワンセグ TV が終了します。

チャンネルリストを初期化する

登録しているチャンネルリストを初期化することができます。

1 操作表示モード（☞5-10 ページ）の [🔧] をタップします。

2 [チャンネルリストの初期化] をタップします。

3 確認画面で、[OK] をタップします。

登録されている放送局メモリを確認する

データ放送によっては放送事業者名などが放送局メモリに登録されます。登録された放送事業者名などを確認することができます。

1 **操作表示モード（☞5-10 ページ）の をタップします。**

2 **放送局メモリの設定 をタップします。**

3 **▼をタップし、確認する放送局をタップします。**

放送事業者名などが表示されます。

MEMO
- 放送局メモリを削除するときは、削除する放送局メモリの選択欄をタップしてチェックを付け、 をタップして表示された確認画面で、OK をタップします。

字幕の言語を変更する

字幕の第一言語を、字幕言語 1 または字幕言語 2 から選択することができます。

1 **操作表示モード（☞5-10 ページ）の をタップします。**

2 **字幕欄の▼をタップし、「字幕言語 1」または「字幕言語 2」を選択します。**

3 **設定が終わったら、画面右上の OK をタップします。**

起動時に自動的に他のアプリケーションを終了するようにする

ワンセグ TV 起動時に他アプリケーションの終了確認画面を表示しないように設定できます（自動的に、終了確認画面に表示されるアプリケーションを終了します）。

1 **操作表示モード（☞5-10 ページ）の をタップします。**

2 **「起動時に他のアプリケーションを自動的に終了する」のチェックを付けます。**

MEMO
- 起動時に他のアプリケーションの終了確認画面が表示されるようにするときは、チェックを外します。

3 **設定が終わったら、画面右上の OK をタップします。**

インターネット接続時に確認画面が表示されないようにする

インターネット接続時の確認画面が表示されないようにすることができます。

1 操作表示モード（☞5-10 ページ）の 🔧 をタップします。

2 「通信を常に許可する」のチェックを付けます。

MEMO
- インターネット接続時に確認画面が表示されるようにするときは、チェックを外します。

3 設定が終わったら、画面右上の OK をタップします。

バージョン情報を確認する

1 操作表示モード（☞5-10 ページ）の 🔧 をタップします。

2 バージョン情報 をタップします。

バージョン情報が表示されます。

3 表示されたバージョン情報をタップすると、バージョン情報が消えます。

辞書・PIM 機能

DicLand 辞書 6-2

予定表 6-11

連絡先 6-30

仕事 6-40

メモ 6-52

DicLand 辞書

DicLand 辞書は、調べたい単語（語句）を直接入力して検索したり、メールなどの文章から単語（語句）を取り込んで検索することができる電子辞書です。
DicLand 辞書には、『エクシード英和辞典』、『エクシード和英辞典』、『デイリーコンサイス国語辞典』、キーワードで引く『英文ビジネスレター事典』が収録されています。

・『エクシード英和辞典』	約 12 万項目
・『エクシード和英辞典』	約 9 万 4 千項目
・『デイリーコンサイス国語辞典』第 3 版	約 7 万語
・キーワードで引く『英文ビジネスレター事典』	見出し語数 ：約 1,600 例文数 ：約 4,000

DicLand 辞書についてのお問い合わせ先

ブラザーコールセンター
E-mail ：honyaku@hanbai.brother.co.jp
URL ：http://www.brother.co.jp/

ご使用の前に必ず DicLand 辞書のヘルプ中の「エンドユーザーライセンス契約」をお読みください（DicLand 辞書のヘルプは、DicLand 辞書起動後「ヘルプ」メニューの「目次」で表示してください）。

単語（語句）を調べる

単語（語句）を入力して調べる

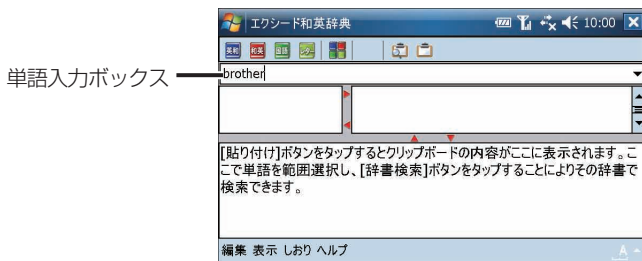
『エクシード英和辞典』、『エクシード和英辞典』、『デイリーコンサイス国語辞典』、『英文ビジネスレター事典』を使って単語（語句）を調べます。

1 スタート メニューの “プログラム” をタップします。

2 プログラム画面で “DicLand” をタップします。

3 単語入力ボックスにカーソルがあることを確認して、調べたい単語（語句）を入力します。

単語入力ボックス

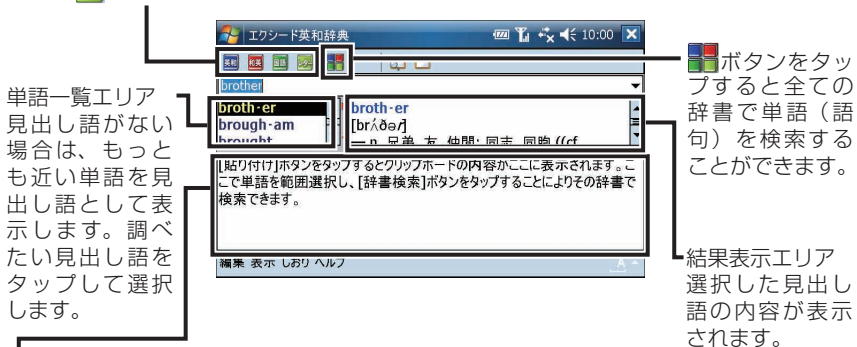
エクシード和英辞典 10:00
brother
[貼り付け]ボタンをタップするとクリップボードの内容がここに表示されます。ここで単語を範囲選択し、[辞書検索]ボタンをタップすることによりその辞書で検索できます。
編集 表示 しおり ヘルプ

4 調べたい辞書のボタンをタップします。

- 英和：英単語の日本語訳を調べるときタップします。
- 和英：日本語の読みから英語訳を調べるときタップします。
- 国語：言葉の意味や用例を調べるときタップします。
- レター：英文ビジネスレターでよく使う表現（例文）を調べるときタップします。

エクシード英和辞典 10:00
brother
broth·er
brough·am
brought
broth·er
[brʌ́ðər]
[貼り付け]ボタンをタップするとクリップボードの内容がここに表示されます。ここで単語を範囲選択し、[辞書検索]ボタンをタップすることによりその辞書で検索できます。
編集 表示 しおり ヘルプ

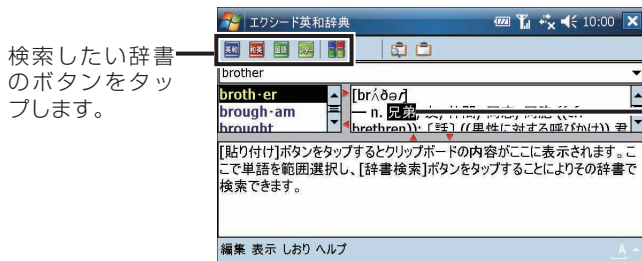
単語一覧エリア
見出し語がない場合は、もっとも近い単語を見出し語として表示します。調べたい見出し語をタップして選択します。

ボタンをタップすると全ての辞書で単語（語句）を検索することができます。

結果表示エリア
選択した見出し語の内容が表示されます。

クリップボード内容表示エリア
クリップボードにコピーした文章を表示します（☞6-5、6-9 ページ）。

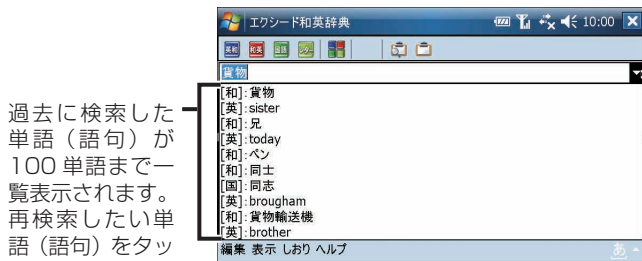
MEMO • ボタンで検索すると単語一覧エリアに表示される見出し語が辞書の種類に色分けされて表示されます。

検索結果の中の単語（語句）を検索する

わからない単語（語句）を範囲指定し、検索したい辞書のボタンをタップします。

検索したい辞書のボタンをタップします。

わからない単語（語句）を範囲指定します。
単語が英単語の場合は、ダブルタップで範囲指定できます。また漢字やひらがなをダブルタップすると漢字やひらがなを範囲指定できます。

過去に検索した単語（語句）を再検索する

単語入力ボックスの横の▼をタップして、再検索したい単語（語句）をタップします。

過去に検索した単語（語句）が100単語まで一覧表示されます。
再検索したい単語（語句）をタップします。

▼をタップ。

メールやホームページの文章を取り込んで調べる

メールやホームページなどの文章中に不明な単語（語句）がある場合は、その文章を取り込んで内容を見ながら辞書で調べることができます。

1 **調べたい単語（語句）が含まれている文章をクリップボードにコピーします。**

文章を範囲指定し、タップしたままにして表示されたポップアップメニューから コピー をタップします。

2 **DicLand を起動（ スタート － プログラム － DicLand をタップ）して、 をタップします。**

辞書を引く対象となる文章が貼り付けられます。

The agenda for the new product planning meeting is below.Please confirm your attendance via E-MAIL by Friday,OCTOBER 15. Please also bring 10 copies of your individual proposals to the meeting.

編集 表示 しおり ヘルプ

3 **調べたい単語（語句）を範囲指定し、検索したい辞書のボタンをタップします。**

検索したい辞書のボタンをタップします。

エクシード和英辞典 10:00

貨物

かもつ 貨物
カモノハシ

かもつ 貨物
〔米〕freight; 〔英〕goods; 《船荷》a (ship's) cargo

The agenda for the new product planning meeting is below.Please confirm your attendance via E-MAIL by Friday,OCTOBER 15. Please also bring 10 copies of your individual proposals to the meeting.

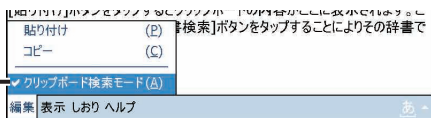
編集 表示 しおり ヘルプ

辞書を引く単語（語句）を範囲指定します。
単語が英単語の場合は、ダブルタップで範囲指定できます。
また、漢字やひらがなをダブルタップすると漢字やひらがなを範囲指定できます。

MEMO ● 編集 － クリップボード検索モード にチェックを付けておくと、メールやホームページなどの単語（語句）をコピーするだけで検索できます。

貼り付け (P)
コピー (C)
✓ クリップボード検索モード(A)
[検索]ボタンをタップすることによりその辞書で

編集 表示 しおり ヘルプ

チェックマークを付けます。

英文ビジネスレター事典を使う

英文ビジネスレター事典は、以下の第 1 部から第 4 部で構成されています。

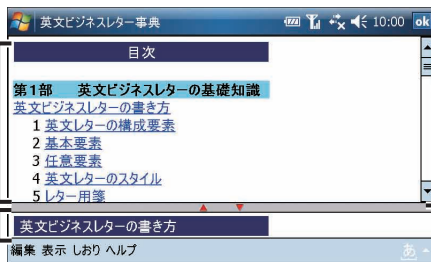
- **第 1 部　英文ビジネスレターの基礎知識**
  英文ビジネスレターを作成するにあたっての基本的な知識について解説しています。
- **第 2 部　モデルレター 30 例**
  社交通信文と業務通信文、付録を含めた合計 30 の例文を紹介しています。
- **第 3 部　ファックス・E メールのレター**
  ファックス・E メールの通信に必要な知識や、知っておくと便利な事柄を中心に解説し、ファックス 2 例、E メール 8 例の文例を紹介しています。
- **第 4 部　キーワードで引く英文ビジネスレター表現集**
  英文レターを作成していて、わからない表現があるときなど日本語のキーワードを入力して英語の表現を検索することができます。
  検索手順についてくわしくは、「単語（語句）を入力して調べる」（☞6-2 ページ）をご覧ください。

第 1 部から第 3 部を使う（英文ビジネスレターについて学習する）

英文ビジネスレター事典の第 1 部から第 3 部を参照して、英文ビジネスレターの基礎知識やファックス・E メールの書き方の学習、モデル文例を参照することができます。

1 スタート メニューの “プログラム” をタップします。

2 プログラム画面で “DicLand” をタップします。

3 画面左下の 表示 － 英文ビジネスレター事典 をタップします。

第 4 部を使う

英文ビジネスレターを作成していて、わからない表現があるときなど日本語のキーワードを入力して英語の表現を検索します。

1 **6-2 ～ 3 ページの手順 1 ～手順 3 を行います（手順 3 では、日本語のキーワードを入力します）。**

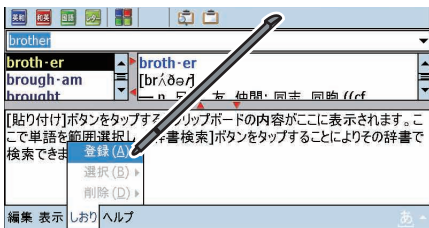
2 **レター をタップします。**

検索結果が表示されます。

しおりに登録する／登録したしおりを表示する

調べた単語（語句）の検索結果をしおりに登録することができます。

しおりに登録する

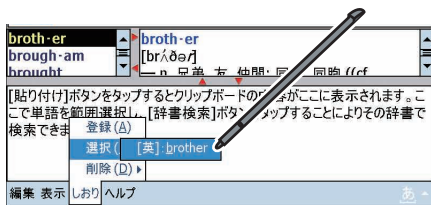
1 **検索結果が表示されているときに画面左下の しおり － 登録 をタップします。**

MEMO

- しおりに登録できる単語（語句）は最大 100 件までです。
- しおりに登録できる単語（語句）は親見出しの単語だけです。子見出しの単語を検索して、しおりに登録することはできません。

　例　親見出し：誕生

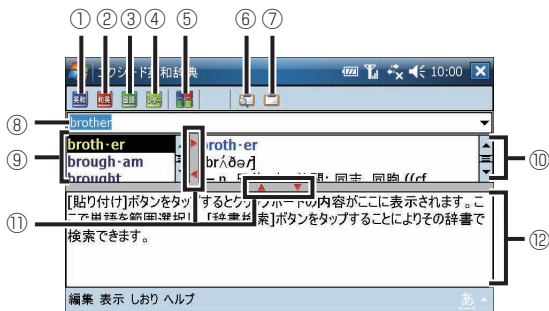
　　　子見出し：誕生石

登録したしおりを表示する

1 画面左下の しおり － 選択 をタップして、表示させたい単語（語句）をタップします。

しおりを削除する

1 画面左下の しおり － 削除 をタップして、削除したい単語（語句）をタップします。

すべてのしおりを削除する場合は、全削除 をタップします。

辞書画面について

①英単語の日本語訳を検索します。（エクシード英和辞典）
②日本語の読みから英語訳を検索します。（エクシード和英辞典）
③言葉の意味・用例を検索します。（デイリーコンサイス国語辞典）
④日本語キーワードから例文（英文表現）を検索します。（英文ビジネスレター事典）
⑤1 度に全ての辞書で検索します。
⑥クリップボードにコピーされている単語（語句）を検索します。 検索に使用される辞書は、直前に使用されていた辞書です。
⑦クリップボードにコピーされている内容をクリップボード内容表示エリアに貼り付けます。
⑧単語（語句）を入力します。
⑨検索された見出し語が表示されます。
⑩見出し語の内容が表示されます。
⑪◀、▶ をタップするとエリアのサイズを左右に変更することができます。 ▼、▲ をタップするとエリアのサイズを上下に変更することができます。
⑫クリップボードにコピーした内容が表示されます。

DicLand 辞書のメニュー

編集	貼り付け	複写(コピー)した文字列を貼り付ける。
	コピー	選択している文字列を複写(コピー)する。
	クリップボード検索モード	チェックをつけておくと検索したい単語（語句）をコピーするだけで検索する。
表示	横分割	単語一覧エリアと結果表示エリアを横分割表示する。
	縦分割	単語一覧エリアと結果表示エリアを縦分割表示する。
	クリップボードの表示	クリップボード内容表示エリアの表示･非表示を切り替える。
	文字サイズ（小）（中）（大）	表示の文字サイズを変更する。
	英文ビジネスレター事典	英文ビジネスレター事典の第1部から第3部を表示する。
しおり	登録	検索した単語(語句)をしおりに登録する。
	選択	しおりに登録した単語(語句)を選択して表示する。
	削除(全削除)	しおりに登録した単語(語句)を削除(全削除)する。
ヘルプ	目次	ヘルプの目次を表示する。
	バージョン情報	バージョン情報を表示する。

予定表

スケジュールを管理します。
・ 月間表示や週間表示、1 日表示、詳細画面などから、スケジュールを多角的に確認できます。
・ 大切な予定を忘れないようにアラームを通知できます。
・ その日の予定は Today 画面で確認できます。
・ 毎週や毎月など決まった間隔で入る予定は、定期的な予定として簡単に入力できます。

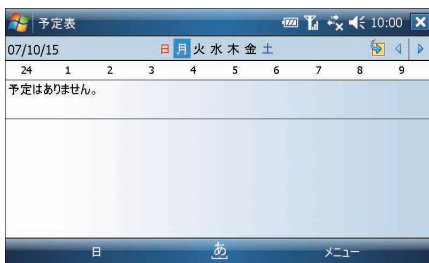
予定表の使いかたについて、本製品のヘルプもあわせてご覧ください。

MEMO ● パソコンで Microsoft Outlook をご使用の場合、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使って予定表のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは 8-2 ページやパソコンにインストールされている ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターのヘルプをご覧ください。

予定を入れる（新規作成）

1 Today 画面左下の 予定表 、または スタート メニューの "予定表" をタップします。

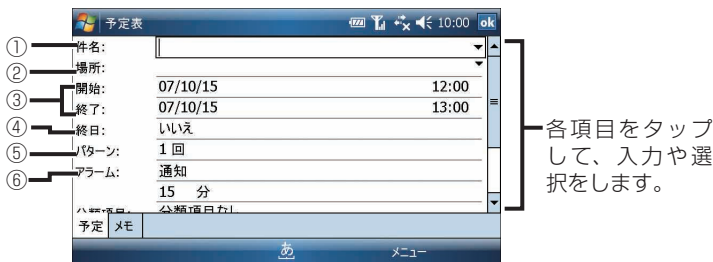
予定一覧画面などが表示されます。

消していないアラーム通知画面（☞10-34 ページ）があるとき、Today 画面左下に アラームを消す と表示されます。

2 画面右下の メニュー － 新しい予定 をタップします。

予定の新規入力画面が表示されます。

3 各項目をタップして、件名、場所、開始／終了時刻などを入力／選択します。

各項目をタップして、入力や選択をします。

①件名

直接入力するか、▼をタップして一覧から選びます。

②場所

タップして直接入力します。または▼をタップすると、過去に入力した場所が一覧で表示されるので、その中から選びます。

③開始／終了

「開始」と「終了」の日付と時刻を設定します。

・日付：日付をタップして表示されるカレンダーから日を選びます。

・時刻：時刻をタップして直接編集するか、▼をタップして選びます。

④終日

終日の予定（開始時刻や終了時刻を設定しない予定）か、開始／終了時刻がある予定かを設定します。

・「はい」　：その予定は終日になり、開始と終了の時刻が非表示になります。

・「いいえ」：開始／終了時刻を設定できます。

⑤パターン

入力中の予定を 1 回だけとするのか、または毎週や毎月など定期的な予定にするのかを設定します。

「1 回」にすると、設定日だけの予定となります。

予定の間隔（パターン）を編集するときは、「＜パターンの編集＞」をタップします（☞6-19 ページ）。

⑥アラーム

アラームの設定をします。

・「通知」　：アラームが通知されます。

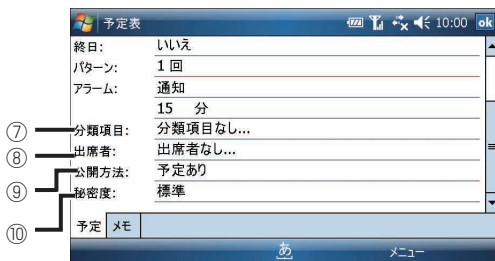
・「なし」　：アラームは通知されません。

「通知」にしたときは、「15」と「分」をタップし予定の何分／何時間前などにアラームを通知するかを設定します。

アラーム音を鳴らないようにするには：

1 スタート メニューの “設定” − “音と通知” − 通知 タブをタップします。

2「イベント」欄で「アラーム」を選択します。

3「音を鳴らす」のチェックを外し、ok をタップします。

⑦分類項目

入力中の予定に「会社関係（取引先）」などの分類項目を設定して、グループ化します。分類項目を設定しておくと、必要な予定をすばやく検索（フィルタ）できます（☞6-22 ページ）。

⑧出席者

メールアドレスが登録されている連絡先のリストが表示されます。

入力した予定を選択した連絡先へ送信できます。

⑨公開方法

予定を公開するときの表示を選びます。

ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコンと同期し、パソコン上でワークグループ内の予定表を共有するときに利用します。

⑩秘密度

「標準」、「個人」、「プライベート」、「社外秘」から選びます。

MEMO

● 予定にメモを追加したいときは、メモ タブをタップして入力します。

4 入力が終わったら、ok をタップします。

予定を確認する

入力した予定は、月間表示、週間表示、１日表示などから多角的に確認できます。
予定表には、次の表示画面があります。

・予定一覧表示　　：１日の予定を一覧で表示します（☞ 下記）。
・１日（日）表示　：１日の予定をタイムテーブルで表示します（☞ 次ページ）。
・週間（週）表示　：１週間分の予定をグラフで表示します（☞6-16 ページ）。
・月間（月）表示　：１ヶ月分の予定をカレンダー上にマークで表示します（☞6-17 ページ）。
・年間（年）表示　：１年分のカレンダーを表示します（☞6-17 ページ）。

1 **Today 画面左下の［予定表］、または［スタート］メニューの “予定表” をタップします。**

消してないアラーム通知画面（☞10-34 ページ）があるとき、Today 画面左下に［アラームを消す］と表示されます。

2 **画面右下の［メニュー］－［表示］－［予定一覧］／［日］／［週］／［月］／［年］をタップして、表示を切り替えます。**

◇ 予定一覧表示 ◇

タップするとカレンダーが表示されます。カレンダーの日付をタップするとタップした日の予定一覧が表示されます。

時刻設定のない終日の予定はバナーで表示されます。
タップすると予定の概要が表示されます。

過ぎた予定はグレーで表示されます。

時間帯が重複している予定は赤で表示され、 が表示されます。

翌日など複数の日にちにまたがる予定には「複数日」と表示されます。

 をタップすると、当日の予定が表示されます。

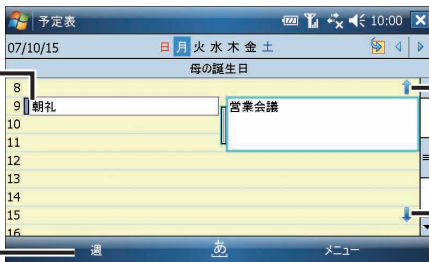
 をタップすると１週間後の予定へ進みます。
 をタップすると１週間前の予定へ戻ります。

タップした曜日の予定一覧が表示されます。

［日］をタップすると、１日表示に切り替わります。

◇ 1 日（日）表示 ◇

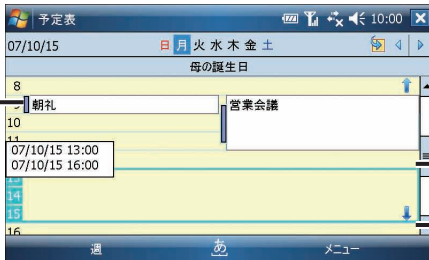
予定をタップすると、予定の概要が表示されます。

週 をタップすると、週間表示に切り替わります。

表示より早い時間帯にも予定があるときに表示されます。

表示より遅い時間帯にも予定があるときに表示されます。

MEMO

- 1 日表示では、スタイラスペンを使って予定を異なる時間帯へ移動できます。
  1 予定の前にある青いバーをタップして、予定を選択します。
  2 予定の前にある青いバーをタップしたままにして、ポップアップメニューが表示される前に変更したい時間帯へ移動します。
- 予定を入力したい時間帯をなぞってから、いったん画面から離して再度、タップしたままにして、ポップアップメニューから 新しい予定 をタップすると、開始／終了時刻が自動的に入った新規入力画面が表示されます。

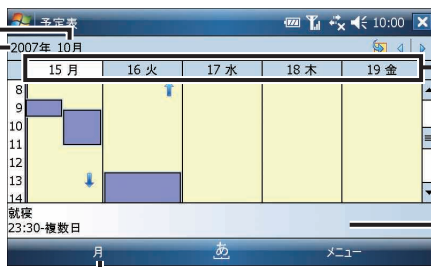
予定の前にある青いバー

予定を入力したい時間帯をなぞって選択

◇ 週間（週）表示 ◇

週間予定がグラフで表示されます。

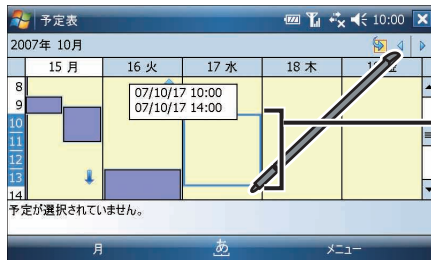
タップするとカレンダーが表示されます。日付をタップすると、別の週間表示に切り替わります。

年を切り替えるとき、タップします。

月 をタップすると、月間表示に切り替わります。

日付をタップすると1日表示になります。

予定がある時間帯を選択すると、内容が下部に表示されます。

MEMO

- 週間予定の表示形式は、画面右下の メニュー － ツール － オプション から変更できます（☞6-25 ページ）。
- 予定を入力したい日の時間帯をなぞってから、いったん画面から離して再度、タップしたままにして選択し、ポップアップメニューから 新しい予定 をタップすると、開始／終了時刻が自動的に入った新規入力画面が表示されます。

予定を入力したい日の時間帯をなぞって選択

◇ 月間（月）表示 ◇

日付をタップすると、当日の 1 日表示画面になります。

タップして別の月間表示に切り替えできます。

年を切り替えるとき、タップします。

[年] をタップすると、年間の表示に切り替わります。

をタップすると、今月の予定が表示されます。

▷ をタップすると、次月の表示へ進みます。

◁ をタップすると、前月の表示へ戻ります。

◤ ：午前に予定が入っていることを示します。

◢ ：午後に予定が入っていることを示します。

■ ：午前／午後の両方に予定が入っていることを示します。

□ ：終日の予定が入っていることを示します。

◇ 年間（年）表示 ◇

日付をタップすると 1 日表示、月をタップすると月間表示になります。

タップして年を切り替えます。

[予定一覧] をタップすると、予定一覧表示に切り替わります。

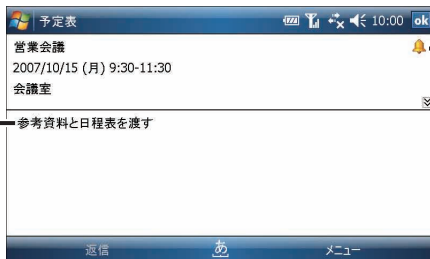
をタップすると、当日の日付が反転します。

▷または◁をタップすると、画面単位で表示が切り替わります。

3　1件ごとの予定を確認したいときは、予定一覧表示や1日表示などで予定をタップします。

予定の詳細が表示されます。

予定表　10:00　ok
営業会議
2007/10/15 (月) 9:30-11:30
会議室
参考資料と日程表を渡す
返信　あ　メニュー

予定にメモが入力されているときは、ここに表示されます。

アラームが設定されているときに表示されます。

分類項目や出席者、公開方法が設定されているとき、表示されます。
をタップすると、元の画面に戻ります。

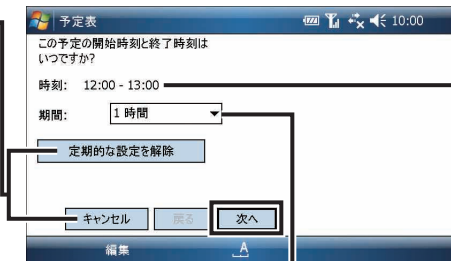
定期的な予定を入れる（パターンの編集）

予定の間隔（パターン）を編集して、定期的な予定を簡単に入れられます。
予定の入力については、6-11 ページをご覧ください。

1 **予定の入力画面で「パターン」欄（☞6-12 ページ）をタップし、表示されたメニューから ＜パターンの編集＞ をタップします。**

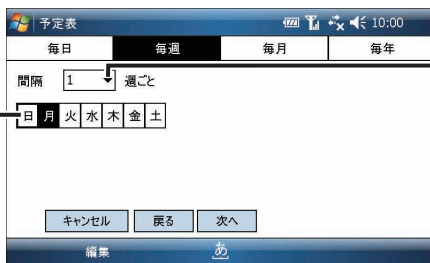
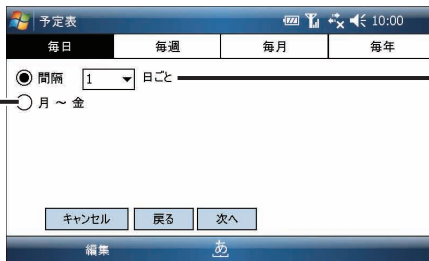
パターンの編集画面が表示されます。

2 **予定の開始／終了時刻を設定し、次へ をタップします。**

タップすると、繰り返す予定の入力がキャンセルされ、入力画面に戻ります。
定期的な設定を解除：
「パターン」は「1回」になります。
キャンセル：
「パターン」はこの画面を表示する前の状態に戻ります。

数字をタップすると、開始と終了時刻を設定する時計画面が表示されます。時刻を設定して ok をタップするとこの画面に戻ります。

終了時刻だけを変更するときは、期間の▼をタップまたは直接入力して、開始時刻から終了時刻までの時間を設定します。

3 **画面上部にある 毎日 や 毎週 などをタップして、表示された画面で予定の間隔を設定します。**

◇毎　日◇

月曜日から金曜日の毎日に設定するときに選択します。

何日ごとなど、決まった日数間隔の予定は、「間隔」をタップして日数を設定します。
▼をタップして日数を選択、または枠内に直接入力します。
「1 日ごと」にすると毎日の予定になります。

◇毎 週◇

予定をいれる曜日をタップして選択します（複数選択できます）。

何週ごとにするのか、▼をタップして選択、または枠内に直接入力して設定します。
「1 週ごと」にすると、毎週の予定になります。

◇毎 月◇

月の決まった日を指定するときに選択します。
▼をタップして選択または枠に直接入力します。
「1 か月ごと」にすると、毎月の予定になります。

月の決まった曜日を指定するときに選択します。
▼をタップして何週目の何曜日などを選択して設定します。

◇毎 年◇

毎年決まった月日を指定するときにタップして日を設定します。

母の日など、月と曜日を指定するときに選択します。
▼をタップして月と曜日などを選択して設定します。

4 次へ をタップします。

「定期的なパターンの開始日と終了日の設定」画面が表示されます。

5 パターン開始日と終了条件を設定します。

定期的な予定に期限があるときは、「終了日」または「反復回数」を選択します。
終了日：
設定した日まで定期的な予定を入れます。
反復回数：
設定した回数だけ予定を入れます。

予定表 10:00
定期的なパターンの開始日と終了日の設定
開始日:
2007/10/15 (月)
終了条件:
終了日未定
終了日 2016/10/15 (土)
反復回数 10
キャンセル 戻る 終了
編集

▼をタップして、表示されたミニカレンダーから日を選択、または直接入力します。

▼をタップして選択または直接入力します。

6 終了 をタップします。

予定の入力画面に戻ります。

件名など、その他の必要な項目を入力して ok をタップすると、設定した定期的な予定が入力されます。

MEMO

- **定期的な予定をすべて修正するとき**
  1 予定一覧画面などで、定期的な予定をタップして詳細画面を表示します。
  2 画面右下の メニュー － 編集 をタップし、確認画面で すべて をタップします。
  3 予定の編集をし、ok をタップします。

- **定期的な予定をすべて削除するとき**
  1 予定一覧画面などで、定期的な予定のひとつをタップしたままにして、ポップアップメニューから 予定の削除 を選択します。
  2 確認画面で すべて をタップします。

辞書・PIM機能

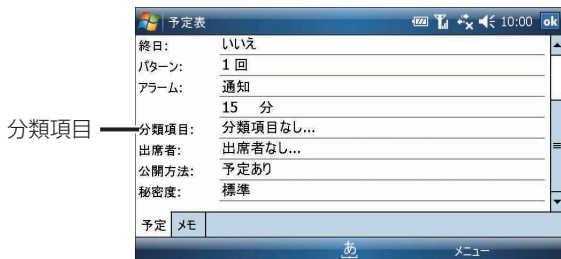
予定表

予定表のデータを分類する

予定表、連絡先、仕事では、データを「会社関係（取引先）」や「個人」などの分類項目で整理してグループにできます。分類項目を設定しておくと、「会社関係（取引先）」の仕事だけなど、必要な情報をすばやく検索（フィルタ）できます。
また、分類項目を追加したり、1 つのデータに複数の分類項目を設定したりできます。

MEMO ● “連絡先”（☞6-30 ページ）や“仕事”（☞6-40 ページ）も同様に分類することができます。

データに分類項目を設定する

1 **予定の新規入力画面で、分類項目を設定したいデータの入力画面を表示します。**

2 **「分類項目」欄をタップします。**

分類項目を選択する画面が表示されます。

3 **設定したい分類項目をタップしてチェックを付けます。**

チェックは複数付けられます（複数の項目に分類できます）。

4 ok をタップします。

チェックを付けた分類項目が入力画面に表示されます。

5 ok をタップします。

分類項目を設定したデータが保存されます。

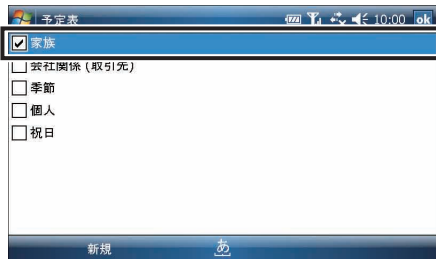
MEMO
- 設定した分類項目のデータだけを表示（フィルタ）する方法については、次ページをご覧ください。

新しく分類項目を追加する

1 **分類項目を設定したいデータの入力画面を表示します。**

2 **「分類項目」欄をタップし、画面左下の 新規 をタップします。**

3 **追加する分類項目を入力し、完了 をタップします。**

分類項目の選択画面に、追加した分類項目（チェック付き）が表示されます。

MEMO
- 続けて分類項目を追加するときは、画面左下の 新規 をタップし、手順 **3** を行ってください。
- 追加した分類項目を削除するときは、すべてのデータから削除したい分類項目のチェックを外し、データを保存しなおすと、その分類項目は削除されます。1 つでも分類項目にチェックが付いているデータが残っていると、その分類項目は削除されません。
分類項目を修正するときは、分類項目を設定しているデータを削除したのち新たに追加します。

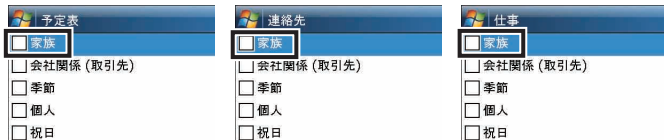
4 ok をタップします。

チェックを付けた分類項目が入力画面に表示されます。

5 ok をタップします。

分類項目を設定したデータが保存されます。

MEMO
- 追加した分類項目は、予定表、連絡先、仕事の間で共有されます。
いずれかで、追加および設定した（チェックを付けた）分類項目は、各プログラムの分類項目を選択する画面に共通して表示されます。

予定表	連絡先	仕事
家族	家族	家族
会社関係（取引先）	会社関係（取引先）	会社関係（取引先）
季節	季節	季節
個人	個人	個人
祝日	祝日	祝日

- 追加した分類項目を設定しているデータがなくなると、追加した分類項目も自動的に表示されなくなります（削除されます）。

分類したデータだけを表示する（フィルタ）

予定表、連絡先、仕事では、設定した分類項目（☞6-22 ページ）のデータだけを一覧画面にフィルタ表示できます。

1 フィルタ表示したいプログラムを起動します（☞1-53 ページ）。

2 一覧画面で、画面右下の メニュー － フィルタ をタップします。

3 メニューから、表示したい分類項目をタップします。

選択した分類項目のデータだけが一覧画面に表示されます。

MEMO
- 手順 **3** のメニューには、設定している分類項目が表示されます。
- 手順 **3** で「分類項目なし」を選択すると、分類項目を設定していないデータだけが一覧画面に表示されます。
- すべてのデータを表示するときは、手順 **3** で「すべての ***」を選択します。

アラーム通知画面を消す／再通知する

表示されたアラーム画面は、メニューから内容を確認したり、再通知したりできます。
くわしくは、☞10-34 ページをご覧ください。

表示形式を設定する

週の始まりを月曜日にしたり、時間帯の表示を 30 分単位にするなど、画面の表示形式を変更できます。

1　予定の各表示画面で、画面右下の メニュー － ツール － オプション をタップします。

オプション画面が表示されます。

◇ 全般 タブ ◇

予定表　10:00 ok
オプション
既定の画面: 予定一覧の表示
週の最初の曜日: 日曜日
週単位の表示: 週 5 日表示
30 分単位で表示する
週番号を表示する
全般　予定

チェックを付けると、1 日表示（☞6-15 ページ）と週間表示（☞6-16 ページ）の時間帯が 30 分単位で表示されます。

週の始まりを日曜日または月曜日に設定します。

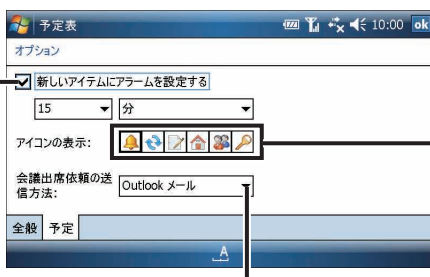
週間表示の形式を設定します。
週 5 日表示　：月～金
週 6 日表示　：月～土
週 7 日表示　：月～日（または日～土）

チェックを付けると、週間表示（☞6-16 ページ）と月間表示（☞6-17 ページ）に週番号が表示されます。

◇ 予定 タブ ◇

予定表　10:00 ok
オプション
新しいアイテムにアラームを設定する
15　分
アイコンの表示:
会議出席依頼の送信方法: Outlook メール
全般　予定

チェックを付けると、設定した時間のアラームが新規作成画面で自動的に入力されます。

会議出席依頼（☞6-27 ページ）を送信する方法を選択します。

タップして設定すると、予定に設定した内容に沿って、それぞれのアイコンが予定一覧や 1 日表示画面などに表示されます。
※アイコンをタップしたままにすると名前が表示されます。

入力した予定を変更する／削除する

予定を変更する

1　予定一覧画面で、変更したい予定をタップします。

予定の詳細が表示されます。

2　画面右下の ［メニュー］ － ［編集］ をタップします。

MEMO
- 予定のメモを変更したいときは、［メモ］ タブをタップして変更します。
- 定期的な (パターンを設定した) 予定のときは、確認画面が表示されます。選択した予定だけを変更するときは ［今回のみ］ 、定期的な予定をすべて変更するときは ［すべて］ をタップしてください。

3　変更が終わったら、 ok をタップします。

予定を削除する

1　予定一覧画面などで、削除する予定をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2　ポップアップメニューから ［予定の削除］ をタップします。

3　確認画面で ［はい］ をタップします。

MEMO
- 次の方法でも削除できます。
  - ・一覧画面で削除したい予定を選択し、画面右下の ［メニュー］ － ［予定の削除］ をタップします。
  - ・削除したい予定の詳細画面で、画面右下の ［メニュー］ － ［削除］ をタップします。
- 定期的な (パターンを設定した) 予定のときは、確認画面が表示されます。定期的な予定をすべて削除するときは ［すべて］ 、選択した予定だけを削除するときは ［今回のみ］ をタップします。

会議出席依頼をメールで送信する

Microsoft Outlook や Microsoft Outlook Mobile のユーザーへ会議出席依頼を送信される場合は、パソコンと同期して送信しますので、「表示形式を設定する」の 予定 タブ(☞6-25 ページ)をご覧になり会議出席依頼の送信方法を Outlook メールに設定しておいてください。
また、プロバイダーのメールを使って送信される場合もそれぞれ送信されるアカウントに設定しておいてください（送信するメールソフトはメール（Outlook）です）。

1 **会議出席依頼を送信するためには、出席者のメールアドレスをプログラムの「連絡先」へ登録しておく必要があります。まだの方は登録しておいてください。**

2 **予定一覧画面などから会議出席依頼を送信する予定をタップし、画面右下の メニュー － 編集 をタップします。**

3 **「出席者」をタップします。**

出席者の一覧画面が表示されます。

4 **「必須出席者の追加」または「任意出席者の追加」をタップします。**

メールアドレスが登録されている連絡先のリストが表示されます。

5 **リストから会議の出席依頼を送信する相手をタップします。**

MEMO

- 出席者を追加するときは、手順 **4** ～ **5** を繰り返します。
- 追加した送信先を削除するときは、出席者の一覧画面で削除する送信先を選択し画面右下の メニュー － 出席者の削除 をタップします。
- 新しい（連絡先に登録していない）出席者を追加するときは、出席者の一覧画面で「必須出席者の追加」または「任意出席者の追加」をタップし、画面右下の メニュー － 新しい連絡先 をタップします。

6 **ok をタップします。**

予定の編集画面に、「出席者」欄に追加した送信先が表示されます。

7 **ok をタップします。**

8 確認画面で はい をタップします。

会議の出席依頼が自動的に作成され、メール（Outlook）の「送信トレイ」フォルダに保存されます。
8-2ページをご覧になり、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでメールを同期します。

祝日を設定する

ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを使ってパソコン側のMicrosoft Outlookと同期することによって、予定表に祝日を設定できます。

1 パソコン側のMicrosoft Outlookに祝日を追加します。

祝日の追加については、パソコンのMicrosoft Outlookにあるヘルプをご覧ください。

2 ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターで予定表を同期します。

予定表に祝日が追加されます。

MEMO

- パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのヘルプをご覧ください。
- ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを使ってパソコンと同期するときは、あらかじめ同期する項目や期間の設定をご確認ください。

予定表のメニュー

一覧画面のメニュー

新しい予定		新規作成画面を開く。
予定をビームする		選択した予定を別のS01SHⅡなどに送信する。
予定の削除		選択している予定を完全に削除する。
返信	返信	会議出席依頼の予定に対して、メールを返信する。
	全員へ返信	会議出席依頼の予定に対して、全員に返信する。
今日へ移動		今日の予定表を表示する。
指定の日付へ移動		指定した日付の予定を表示する。
編集	切り取り	選択した予定データを切り取る。
	コピー	選択した予定データをコピーする。
	貼り付け	クリップボードにあるデータを、予定表に貼り付ける。
ツール	オプション	全般タブ:カレンダーの表示形式を設定する。 予定タブ: ・「新しいアイテムにアラームを設定する」にチェックがあるときは、設定した時間のアラームが新規作成画面で自動的に入力される。 ・「アイコンの表示」でアイコンをタップして設定すると、予定に設定した内容に沿って、それぞれのアイコンが一覧画面などに表示される(アイコンをタップしたままにすると、その名前が表示される)。 ・「会議出席依頼の送信方法」は、会議出席依頼を送信する方法を選択する。
表示	予定一覧	予定一覧画面を表示する。
	日	日単位で予定を表示する。
	週	週単位で予定を表示する。
	月	月単位で予定を表示する。
	年	年単位で予定を表示する。
フィルタ※	すべての予定	すべての予定を予定一覧画面に表示する。
	分類項目なし	分類項目を「分類項目なし」で作成した予定を、予定一覧画面に表示する。

※フィルタのメニューには、予定で設定した分類項目が表示されます。

MEMO

- 予定をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。
- Today 画面で予定を表示しているときは、近い将来の予定が表示されます。

連絡先

住所や電話番号、メールアドレスなどを管理します。メールを送るときに使うと便利です。
連絡先の使いかたについて、本製品のヘルプもあわせてご覧ください。

MEMO
- パソコンで Microsoft Outlook をご使用の場合、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使って連絡先のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされている ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターのヘルプをご覧ください。

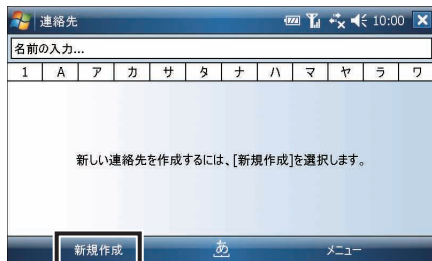
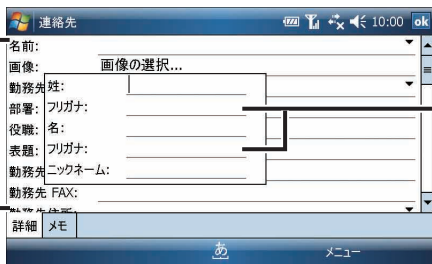
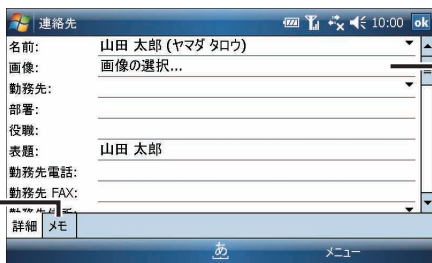
連絡先を登録する（新規作成）

1 **Today 画面右下の 連絡先 、または スタート メニューの “連絡先”をタップします。**

連絡先の一覧画面が表示されます。

2 **画面左下の 新規作成 をタップします。**

名前の入力画面が表示されます。

連絡先 10:00
名前の入力...
1 A ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ ワ
新しい連絡先を作成するには、[新規作成]を選択します。
新規作成 あ メニュー

3 名前から入力します。

「部署」や「勤務先」など、他の項目をタップすると、タップした項目の入力に移ります。

「姓」や「名」を入力して変換などをすると、フリガナは自動的に入力されます。入力されたフリガナは、一覧画面に表示される並び順となります。

4 入力したい項目をタップし、その他の情報を入力していきます。

「画像」欄をタップすると画像を設定できます(☞6-35ページ)。

メモ タブをタップすると、入力項目以外のメモなどを入力できます。

MEMO
- 「名前」、「勤務先」、「勤務先住所」、「自宅住所」、「その他の住所」は、項目をタップすると入力画面がポップアップ表示されます。
- 設定した画像は、連絡先の概要で表示されます（☞ 次ページ）。
- 「分類項目」を設定しておくと、設定した分類項目を含む連絡先だけをフィルタ表示できます（☞6-22 ページ）。

5 入力が終わったら、ok をタップします。

入力した連絡先が追加されます。

連絡先を表示する

1 Today 画面右下の 連絡先 をタップします。

連絡先の一覧画面が表示されます。
一覧画面には、名前のほかに、電話番号やメールアドレスがひとつ表示されます。

連絡先
名前の入力...
1 A ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ ワ
青木 一 (03) 3312-XXXX 社
青木 みゆき (03) 3210-XXXX 家
阿木 浩介 aki@***.emobile.co.jp E
秋田 美奈 080-XXXX-XXXX 携
新規作成 メニュー

検索したい「姓」または「名」のフリガナを入力すると、一覧画面に表示されている連絡先を検索して表示します。
※フリガナは、ひらがなでもカタカナでも検索できます。

一覧に表示されている連絡先の項目が1文字で表示されます。「社」（勤務先電話）、「家」（自宅電話）、「携」（携帯電話）、「P」（PHS）、「E」（電子メール）などです。

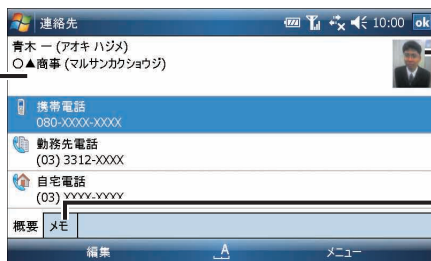
タップすると、連絡先の概要（詳細）が表示されます。

MEMO
- ひとつの連絡先に、複数の電話番号やメールアドレスを設定しているときは、一覧に表示する内容を選べます（☞ 次ページ）。

2 詳細を表示したい連絡先をタップします。

タップした連絡先の概要が表示されます。

連絡先
青木 一 (アオキ ハジメ)
○▲商事 (マルサンカクショウジ)
携帯電話 080-XXXX-XXXX
勤務先電話 (03) 3312-XXXX
自宅電話 (03) XXXX-XXXX
概要 メモ
編集 メニュー

連絡先などをタップすると編集画面が表示されます。

設定した画像が表示されます。

メモを確認するときは メモ タブをタップします。

MEMO
- 一覧に表示する項目にメールアドレスが選択（反転）されているときは画面左下に 電子メール が表示されます。

3 **確認が終わったら、ok をタップします。**

一覧画面に戻ります。

一覧に表示する電話番号やメールアドレスを変更する

ひとつの連絡先に複数の電話番号やメールアドレスを入力しているときは、一覧画面に表示する項目を変更できます。

1 **一覧画面で（カーソル）ボタンの上や下を押して、表示項目を変更したい連絡先を反転させます。**

2 **（カーソル）ボタンの左や右を押して、目的の項目を表示させます。**

MEMO
- 携帯電話の番号を入力すると SMS も自動的に表示されますが、本製品は SMS に対応しておりません。

特定した会社の連絡先を一覧表示する

名前順で表示されている連絡先を、勤務先別に一覧表示できます。

1 **一覧画面で画面右下の [メニュー] － [表示方法] － [勤務先] をタップします。**

勤務先別に一覧表示されます。

MEMO
- 名前順に戻すときは、画面右下の [メニュー] － [表示方法] － [名前] をタップします。

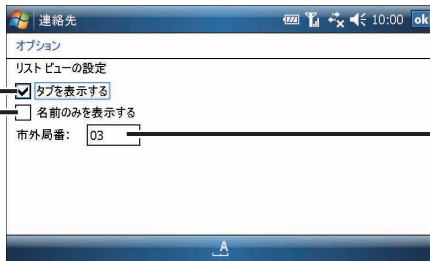
一覧画面の表示設定を変更する

一覧画面に表示されている 50 音タブを非表示にしたり、名前だけの表示にしたりできます。

1 **一覧画面で画面右下の メニュー － オプション をタップします。**

オプション設定画面が表示されます。

チェックを外すと、一覧画面で 50 音タブが非表示になります。

チェックを付けると、一覧画面には名前だけが表示されます。

設定した番号が、市外局番として入力画面で自動的に入力されます。

2 **設定が終わったら、 ok をタップします。**

設定が反映された一覧画面が表示されます。

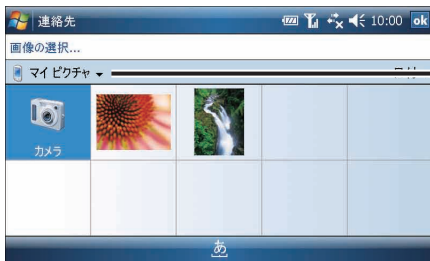
連絡先に写真を付ける／削除する

連絡先ごとに写真や画像を設定できます。
設定する写真などは保存している画像から選びます。

ご注意 ● 入力画面で「画像」欄をタップして表示される画像の選択画面で、“カメラ”をタップしても“カメラ”は起動しません。

写真や画像を付ける

1 入力画面（☞6-31 ページ）で「画像」欄をタップします。

画像の選択画面で「マイ ピクチャ」フォルダに保存されている画像が表示されます。

フォルダを変更するときは「マイ ピクチャ」をタップして「マイ デバイス」などをタップします。

2 設定したい画像をタップします。

画像が設定され、入力画面の「画像」欄に「画像の変更」と表示されます。

3 ok をタップします。

設定した写真や画像を削除する

1 一覧画面で、写真や画像を削除したい連絡先をタップします。

連絡先の概要が表示されます。

2 画像をタップします。

連絡先の編集画面が表示されます。

3 画面右下の メニュー － 画像の削除 をタップします。

4 確認画面で はい をタップします。

5 ok をタップします。

MEMO
- 上記手順では連絡先に設定した画像を削除しますが、実際の画像は削除されません。

連絡先のデータを分類する

データを「会社関係（取引先）」や「個人」などの分類項目で整理してグループにできます。分類項目を設定しておくと、「会社関係（取引先）」の仕事だけなど、必要な情報をすばやく検索（フィルタ）できます。
また、分類項目を追加したり、1 つのデータに複数の分類項目を設定したりできます。
くわしくは、6-22 ページをご覧ください。

連絡先からメールを作成する

1 一覧画面でメールを送りたい連絡先をタップしたままにします。
ポップアップメニューが表示されます。

2 電子メールの送信 をタップします。

3 アカウントの選択画面で送るメールのアカウントを選択します。
選んだ連絡先のメールアドレスが入った、メール作成画面が表示されます。

4 メッセージなどを入力したら ok をタップします。

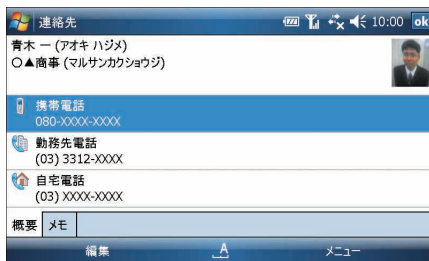
5 確認画面で はい をタップします。
作成したメールが、メール（Outlook）の下書き（フォルダ）または SH メールの下書きトレイに保存されます。

MEMO
- メールについてくわしくは、4-2 ページをご覧ください。

連絡先を修正／削除する

連絡先を修正する

1 一覧画面で、修正する連絡先をタップします。

連絡先の概要が表示されます。

2 修正したい連絡先の項目（電話番号や住所など）をタップして修正します。

3 ok をタップします。

MEMO ● 手順 **2** で画面右下の［メニュー］－［編集］をタップしても修正できます。

連絡先を削除する

1 一覧画面で、削除する連絡先をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 ［連絡先の削除］をタップします。

3 確認画面で［はい］をタップします。

MEMO ● 次の方法でも削除できます。

- 一覧画面で削除したい連絡先を選択し、画面右下の［メニュー］－［連絡先の削除］をタップします。
- 削除したい連絡先の概要画面で、画面右下の［メニュー］－［連絡先の削除］をタップします。

連絡先のメニュー

一覧画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">編集</td><td>選択している連絡先を編集する。</td></tr>
<tr><td>連絡先の送信</td><td>ビーム</td><td>選択した連絡先を別のS01SHⅡなどに送信する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先のコピー</td><td>選択している連絡先をコピーして追加する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先の削除</td><td>選択している連絡先を削除する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td>·「タブを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面で50音のタブが表示される。
·「名前のみを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に名前だけが表示される。
·「市外局番」に設定した番号が、市外局番として入力画面で自動的に入力される。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表示方法</td><td>名前</td><td>名前順に表示する。</td></tr>
<tr><td>勤務先</td><td>会社ごとに表示する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">フィルタ※</td><td>すべての連絡先</td><td>すべての連絡先を表示する。</td></tr>
<tr><td>最近表示したアイテム</td><td>最近表示した連絡先を表示する。</td></tr>
<tr><td>分類項目なし</td><td>分類項目を設定していない（分類項目なしの）連絡先を表示する。</td></tr>
</table>

※フィルタのメニューには、連絡先で設定した分類項目が表示されます。

MEMO

- 一覧画面で連絡先をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。電子メールアドレスを登録しているときは、ポップアップメニューから 電子メールの送信 をタップしてメールを作成できます。

編集画面のメニュー

画像の削除	設定した画像を削除する。
元に戻す	ひとつ前の状態に戻す。
やり直す	「元に戻す」を取り消す。
切り取り	選択した文字列などを切り取る。
コピー	選択した文字列などをコピーする。
貼り付け	クリップボードにある文字列などを、指定したポイントに貼り付ける。
クリア	範囲指定した文字列などを消す。
すべて選択	選択している項目の全ての文字列を範囲指定する。
キャンセル	編集を中止して一覧画面に戻る。

概要（詳細表示）画面のメニュー

概要タブ

編集		表示している連絡先を編集する。
連絡先の送信	ビーム	選択している連絡先を別のS01SHⅡへ送信する。
連絡先の削除		表示している連絡先を削除する。

メモタブ

編集		表示している連絡先を編集する。
連絡先の送信	ビーム	表示している連絡先を別のS01SHⅡへ送信する。
	SMSメッセージ	本製品はこの機能に対応しておりません。
削除		表示している連絡先を削除する。
ズーム		表示の大きさを設定する。75%～300%まで5段階。

仕事

やらなければいけない用件の進捗状況などを管理します。
仕事の使いかたについて、本製品のヘルプもあわせてご覧ください。

MEMO
- パソコンで Microsoft Outlook をご使用の場合、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使って仕事のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは 8-2 ページやパソコンにインストールされている ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターのヘルプをご覧ください。

仕事に優先度をつけて保存する（新規作成）

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面の “仕事” をタップします。**

仕事の一覧画面が表示されます。

3 **画面右下の メニュー － 新しい仕事 をタップします。**

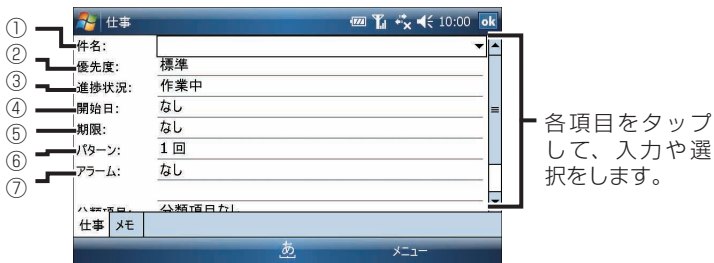
仕事の新規入力画面が表示されます。

ここに件名を入力して Enter を押すと、開始日や期限などがない仕事を作成できます。
優先度をつけるときは ！（高）または ↓（低）をタップします。

4 各項目をタップして、件名、優先度、開始日などを入力／選択します。

各項目をタップして、入力や選択をします。

①	件名:	▼
②	優先度:	標準
③	進捗状況:	作業中
④	開始日:	なし
⑤	期限:	なし
⑥	パターン:	1 回
⑦	アラーム:	なし

①件名

直接入力するか、▼をタップして一覧から選びます。

②優先度

優先度（「高」、「標準」、「低」）を選びます。

③進捗状況

「作業中」または「終了」を選びます。

④開始日

タップして、表示されたカレンダーから開始日を選びます。

⑤期限

タップして、表示されたカレンダーから期限日を選びます。

⑥パターン

入力中の仕事を 1 回だけとするのか、または毎週や毎月などの定期的な仕事にするのかを設定します。「1 回」にすると、 1 回だけの仕事となります。

仕事の間隔（パターン）を編集するときは、「<パターンの編集>」をタップします（☞6-44 ページ）。

⑦アラーム

アラームの設定をします。

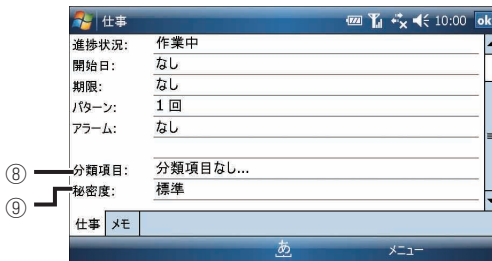
・「通知」：アラームが通知されます。

・「なし」：アラームは通知されません。

「通知」にしたときは、日付や時間をタップしてアラームを通知する日時を設定します。

アラーム音を鳴らないようにするには：

1 スタート メニューの “設定” － “音と通知” － 通知 タブをタップします。
2「イベント」欄で「アラーム」を選択します。
3「音を鳴らす」のチェックを外し、ok をタップします。

仕事
進捗状況: 作業中
開始日: なし
期限: なし
パターン: 1 回
アラーム: なし
⑧ 分類項目: 分類項目なし...
⑨ 秘密度: 標準
仕事 メモ
あ メニュー

⑧分類項目

入力中の仕事に「会社関係（取引先）」などの分類項目を設定して、グループ化します。分類項目を設定しておくと、必要なデータをすばやく検索（フィルタ）できます（☞6-22 ページ）。

⑨秘密度

「標準」、「個人」、「プライベート」、「社外秘」から選びます。

MEMO
- 仕事にメモを追加したいときは、メモ タブをタップして入力します。

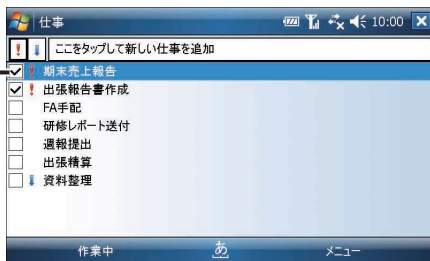
5 入力が終わったら、ok をタップします。

仕事を一覧表示する

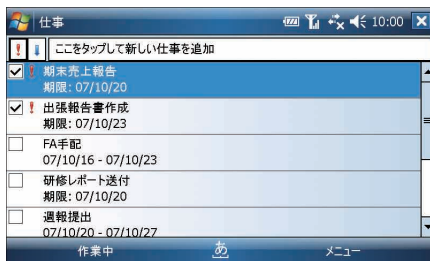
1 スタート メニューの “プログラム” をタップします。

2 プログラム画面の “仕事” をタップします。

仕事の一覧画面が表示されます。
期限が過ぎた仕事は、赤字で表示されます。

チェックなしは作業中、チェックありは終了した仕事です。
この画面でチェックを付けたり外したりできます。

仕事入力バー

MEMO

- 仕事を選択し、画面左下の 作業の終了 または 作業中 をタップしてもチェックを付けたり外したりできます。
- 画面右下の メニュー － オプション をタップし、「仕事入力バーを表示する」のチェックを外すと、仕事入力バーが非表示になります（☞6-48 ページ）。
- 画面右下の メニュー － オプション をタップし、「開始日と期限を表示する」にチェックを付けると、2 行の表示になります。

定期的な仕事を入力する（パターンの編集）

週報や毎月の進捗レポート提出などの定期的な仕事を、仕事の間隔（パターン）を編集してまとめて入力できます。
仕事の入力については、6-40 ページをご覧ください。

1 入力画面で「パターン」欄をタップし、表示されたメニューの「＜パターンの編集＞」をタップします。

パターンの編集画面が表示されます。

2 仕事開始日や期限などを入力して、次へ をタップします。

タップすると、定期的な仕事の入力がキャンセルされ、入力画面に戻ります。

定期的な設定を解除：
「パターン」は「1回」になります。

キャンセル：
「パターン」はこの画面を表示する前の状態に戻ります。

▼をタップして、この仕事の開始日や期限を選択します。
期限だけを変更するときは「期間」の▼をタップして、開始日からの日数を選択します。
期間で0日を設定すると、開始日と期限が同じ日付の仕事になります。

3 画面上部にある 毎日 や 毎週 などをタップして、表示された画面で仕事の間隔を設定します。

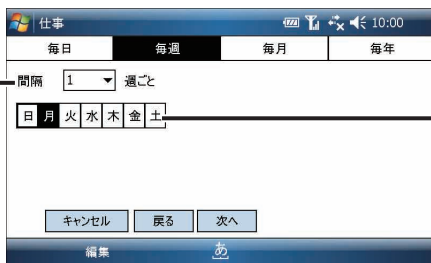
◇毎　日◇

「間隔」をタップして、日数を選択または枠内に直接入力して、仕事の間隔を設定します。
「1日ごと」にすると毎日の仕事になります。

月曜日から金曜日の毎日に設定するときに選択します。

◇毎 週◇

何週ごとにするのか▼をタップして選択または枠内に直接入力して設定します。「1週ごと」にすると毎週の仕事になります。

仕事 10:00
毎日 毎週 毎月 毎年
間隔 1 週ごと
日 月 火 水 木 金 土
キャンセル 戻る 次へ
編集 あ

仕事をいれる曜日をタップして選択します（複数選択できます）。

◇毎 月◇

月の決まった日の仕事は「日」を選択します。▼をタップして選択または枠に直接入力して設定します。「1か月ごと」にすると、毎月の仕事になります。

仕事 10:00
毎日 毎週 毎月 毎年
日 1 か月ごとの 15 日
曜日 1 か月ごとの 第 3
月曜日
キャンセル 戻る 次へ
編集 あ

月の決まった曜日を指定するときに選択します。▼をタップして何週目の何曜日などを選択して設定します。

◇毎 年◇

毎年決まった月日を指定するときにタップして設定します。

仕事 10:00
毎日 毎週 毎月 毎年
日付 10月 15 日
曜日 10月 第 3
月曜日
キャンセル 戻る 次へ
編集 あ

月と曜日を指定するときに選択します。▼をタップして月と曜日などを選択して設定します。

4 次へ をタップします。

「定期的なパターンの開始日と終了日の設定」画面が表示されます。

5 パターン開始日と終了条件を設定します。

定期的な仕事に期限があるときは、「終了日」または「反復回数」を選択します。
終了日：
設定日まで定期的な仕事を作成します。
反復回数：
設定した回数だけ仕事を作成します。

仕事 10:00
定期的なパターンの開始日と終了日の設定
開始日:
2007/10/15 (月)
終了条件:
終了日未定
終了日 2016/10/15 (土)
反復回数 10
キャンセル 戻る 終了
編集

▼をタップして、表示されたミニカレンダーから日を選択、または直接入力します。

▼をタップして選択または直接入力します。

6 終了 をタップします。

仕事の入力画面に戻ります。

件名など、その他の必要な項目を入力して ok をタップすると、設定した定期的な仕事が入力されます。

MEMO

- **定期的な仕事を修正するとき**
  1 一覧画面などで、修正したい定期的な仕事をタップして詳細画面を表示します。
  2 画面左下の 編集 をタップして修正します。
  定期的な仕事が一度に修正されます。

- **定期的な仕事をすべて削除するとき**
  1 一覧画面などで、定期的な仕事をタップしたままにしてポップアップメニューから 仕事の削除 を選択します。
  2 確認画面で すべて をタップします。

仕事のデータを分類する

データを「会社関係（取引先）」や「個人」などの分類項目で整理してグループにできます。分類項目を設定しておくと、「会社関係（取引先）」の仕事だけなど、必要な情報をすばやく検索（フィルタ）できます。
また、分類項目を追加したり、1 つのデータに複数の分類項目を設定したりできます。
くわしくは、6-22 ページをご覧ください。

アラーム通知画面を消す／再通知する

表示されたアラーム画面は、メニューから内容を確認したり、再通知したりできます。
くわしくは、10-34 ページをご覧ください。

作業中の仕事／終了した仕事を表示する（フィルタ）

作業中の仕事だけ、または終了した仕事だけを一覧表示できます。

1 一覧画面で、画面右下の メニュー － フィルタ をタップします。

2 作業中の仕事 または 終了した仕事 をタップします。

タップしたメニューにチェックがつきます。
作業中の仕事だけ、または終了した仕事だけが一覧表示されます。

MEMO
- すべての仕事を表示するときは、もう一度手順 **1** と **2** を行います。
  手順 **2** でメニューにつけたチェックが外れて、すべての仕事が表示されます。
- 分類項目でフィルタ表示しているときは、その中で作業中の仕事、終了した仕事が表示されます。分類項目については、6-42 ページをご覧ください。

辞書・PIM 機能

仕事

仕事を並べ替える

入力している仕事を条件別に並べ替えできます。

1 **一覧画面で、画面右下の メニュー － 並べ替え をタップします。**

2 **並べ替える条件（状態、優先度、件名、開始日、期限）をタップします。**

・状態　：“作業中の仕事”、“終了した仕事”別に表示されます。
・優先度　：仕事に設定している優先度別に表示されます。
・件名　：仕事の件名別に表示されます。
・開始日　：仕事に設定している開始日順に表示されます。
・期限　：仕事に設定している期限日順に表示されます。

MEMO
● 並べ替えられた順を逆に（例えば、優先度の高→低を低→高に）変えたいときは、もう一度手順 **1** と **2** を行います。

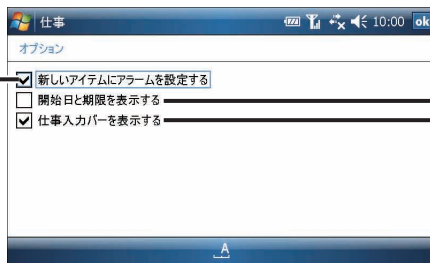
オプションの設定をする

一覧画面で表示する内容を変更できます。

1 **一覧画面で、画面右下の メニュー － オプション をタップします。**

オプション画面が表示されます。

仕事 10:00 ok
オプション
☑ 新しいアイテムにアラームを設定する
☐ 開始日と期限を表示する
☑ 仕事入力バーを表示する

チェックを付けると、新規入力画面で開始日と期限日を入力すると「アラーム」欄が自動的に「通知」に設定されます。

チェックを付けると、一覧画面に開始日と期限日が表示されます（2行表示されます）。

チェックを外すと、仕事入力バーが非表示になります（☞6-43ページ）。

2 **設定する項目にチェックを付けます。**

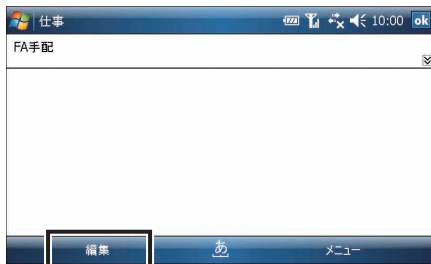
3 **設定が終わったら、ok をタップします。**

仕事を修正／削除する

仕事を修正する

1 **一覧画面で、修正する仕事をタップします。**

仕事の詳細が表示されます。

仕事 10:00 ok
FA手配
編集 あ メニュー

タップすると設定した開始日や期限なども表示されます。

2 **画面左下の 編集 をタップします。**

3 **修正が終わったら、ok をタップします。**

MEMO
- 仕事のメモを変更したいときは、メモ タブをタップして変更します。

仕事を削除する

1 **一覧画面で、削除する仕事をタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから 仕事の削除 をタップします。**

3 **確認画面で はい をタップします。**

MEMO
- 次の方法でも削除できます。
  ・一覧画面で削除したい仕事を選択し、画面右下の メニュー － 仕事の削除 をタップします。
  ・削除したい仕事の詳細画面で、画面右下の メニュー － 削除 をタップします。
- 定期的な (パターンを設定した) 仕事のときは、確認画面が表示されます。
  定期的な仕事をすべて削除するときは すべて、選択した仕事だけを削除するときは 今回のみ をタップします。

仕事のメニュー

一覧画面のメニュー

新しい仕事		新規入力画面を開く。
仕事をビームする		選択した仕事を別のS01SHⅡなどに送信する。
仕事の削除		選択している仕事を完全に削除する。
編集	切り取り	選択したデータを切り取る。
	コピー	選択したデータをコピーする。
	貼り付け	クリップボードにあるデータを、仕事に貼り付ける。
オプション		・「新しいアイテムにアラームを設定する」にチェックがあるときは、新規入力画面で、開始日と期限日を入力すると「アラーム欄」が自動的に「通知」に設定される。 ・「開始日と期限を表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に開始日と期限が表示される。 ・「仕事入力バーを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に入力バーが表示される。
並べ替え	状態	終了した仕事、作業中の仕事に分けて表示する。
	優先度	仕事を優先度順で表示する。
	件名	仕事を件名順で表示する。
	開始日	仕事を開始日順で表示する。
	期限	仕事を期限日順で表示する。
フィルタ※	すべての仕事	すべての仕事を表示する。
	最近表示したアイテム	最近表示した仕事を表示する。
	分類項目なし	分類項目を設定していない（分類項目なしの）仕事を表示する。
	作業中の仕事 終了した仕事	フィルタ表示（上記）した仕事の中から、さらに「作業中の仕事」または「終了した仕事」だけを表示する。

※フィルタのメニューには、仕事で設定した分類項目が表示されます。

MEMO

- 一覧画面などで仕事をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。優先度もポップアップメニューから変更できます。
- Today 画面に、作業中や期限切れなどの仕事件数を表示できます（☞10-4ページ）。

メモ

手書きした文字やイラスト、録音した自分の声などを保存できます。
メモの使いかたについて、本製品のヘルプもあわせてご覧ください。

MEMO
- パソコンで Microsoft Outlook をご使用の場合、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってメモと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは 8-2 ページやパソコンにインストールされている ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターのヘルプをご覧ください。

メモを書く（新規作成）

1 **スタート メニューの “プログラム”をタップします。**

2 **プログラム画面で “メモ”をタップします。**

メモの一覧画面が表示されます。

メモ 10:00
すべてのフォルダ　名前順

困ったとき	9:00	420B
臨時営業会議の件	9:00	420B
録音1	9:02	11.5s

新規　あ　メニュー

MEMO
- メモのファイルがないときは、新規入力画面が表示されます（☞ 次ページ）。

3 画面左下の 新規 をタップします。

メモの新規入力画面が表示されます。

4 文字を入力します。

・罫線あり（手書き）の画面のときはスタイラスペンを使って、画面に文字を手書きできます。
・キーボードや入力パネルからも文字を入力できます。
・画面をタップしたままにして、表示されたポップアップメニューから 日付の挿入 を選ぶと、日付が挿入できます。

MEMO
● 文字の入力方法について、くわしくは「文字入力のしかた」（☞1-19 ページ）をご覧ください。

5 入力が終わったら、ok をタップします。

作成したメモが一覧画面に追加されます。

MEMO
● 手書きしたメモのファイル名は「メモ 1」、「メモ 2」…と自動的に付けられます。キーボードや文字入力パネルから入力したメモのファイル名は、最初の行に書かれている文字がファイル名となります。
● 3 本以上の罫線にまたがって手書きした文字は、描画として扱われます。

入力画面のモードについて

罫線あり（手書き）の画面

・スタイラスペンで手書き入力
・キーボードから入力

罫線なしの画面

・キーボード／入力パネルから入力
（手書き入力はできません）

罫線あり／なしの画面を切り替えるには、入力画面で画面右下の メニュー － 描画 をタップします。
画面のズームは、画面右下の メニュー － ズーム をタップして倍率を選択します。

MEMO
- 手書きした文字を編集するときは、画面右下の メニュー － 描画 をタップして、チェックを外してから、罫線なしの画面で手書き文字をなぞって選択します。なぞって選択した手書き文字は、画面右下の メニュー から、コピー／貼り付け／切り取りなどの編集ができます。

メモを一覧表示する

1 スタート メニューの “プログラム” をタップします。

2 プログラム画面で “メモ” をタップします。

メモの一覧画面が表示されます。

メモ 10:00
すべてのフォルダ 名前順
困ったとき 9:00 420B
臨時営業会議の件 9:00 420B
録音1 9:02 11.5s
新規 あ メニュー

①フォルダの切り替え

タップするとすべてのフォルダが一覧で表示され、フォルダを切り替えられます。また、「追加／削除」を選択するとフォルダを新規作成したり、名前の変更や削除ができます。

②並べ替え

タップすると並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替えの項目をタップすると、その項目を基準にメモが並び替わります。

③メモファイル

タップするとメモの内容が表示されます。

④音声ファイル

タップすると音声が再生されます。

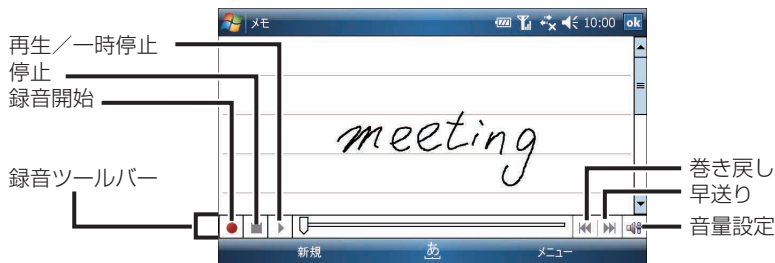
MEMO

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声だけであっても （メモファイル）のアイコンで表示されます。
「メモ」の一覧画面から録音すると のアイコンで表示されます。

録音する

1 **入力画面で、画面右下の メニュー － 録音ツールバーの表示 をタップして、チェックを付けます。**

録音ツールバーが表示されます。

再生／一時停止
停止
録音開始
録音ツールバー
巻き戻し
早送り
音量設定

2 **● をタップすると録音が始まります。**

本体の上側にあるマイク（☞1-5 ページ）に向かって自分の声などを録音します。

MEMO

- イヤホンマイク端子（平型）に市販のイヤホンマイクなどを接続すると、イヤホンマイクのマイクを使って録音することもできます。

3 **■ をタップすると録音が終了します。**

入力画面で録音したときは、録音が終了すると画面に🔊が表示されます。
削除するときは🔊をなぞってから、タップしたままにして表示されたポップアップメニューの クリア をタップします。

同時にメモも入力できます。

4 **ok をタップします。**

1つのメモファイルとして登録されます。

MEMO

- 録音ツールバーを消すときは、画面右下の［メニュー］－［録音ツールバーの表示］をタップして、チェックを外します。
- 録音した音声などを再生するときは、をタップします。スピーカー（☞1-2 ページ）から音が出ます。
- メモの入力画面から録音したときは、音声だけでもメモファイルとして保存されます（一覧画面では、（メモファイル）のアイコンで表示されます）。
- メモの一覧画面から録音すると、1 つの音声ファイルとして保存されます（一覧画面では、（音声ファイル）のアイコンで表示されます）。
- 録音ツールバーから音量を変更すると、本製品全体の音量も変更されます。

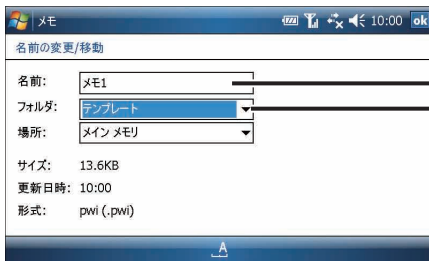
自分用のテンプレートを作成する

1 **テンプレートにしたいメモを作成します。**

2 **一覧画面で、テンプレートにしたいメモをタップしたままにします。**

3 **ポップアップメニューから、［名前の変更／移動］をタップします。**

「名前の変更／移動」画面が表示されます。

メモ 10:00 ok
名前の変更/移動
名前: メモ1
フォルダ: テンプレート
場所: メイン メモリ
サイズ: 13.6KB
更新日時: 10:00
形式: pwi (.pwi)

テンプレートの名前を入力します。

「テンプレート」を選択します。

MEMO

- 画面右下の［メニュー］－［名前の変更／移動］をタップしても名前の変更／移動画面が表示されます。

4 **「名前」欄に、作成したテンプレートに付ける名前を入力します。**

5 **「フォルダ」欄の▼をタップして、「テンプレート」を選択します。**

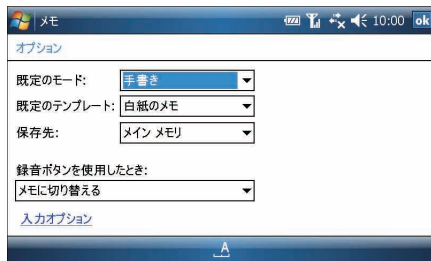
6 **［ok］をタップします。**

作成したテンプレートが保存されます。

テンプレートを設定する

よく使うテンプレートを新規入力画面でいつも表示されるように設定できます。

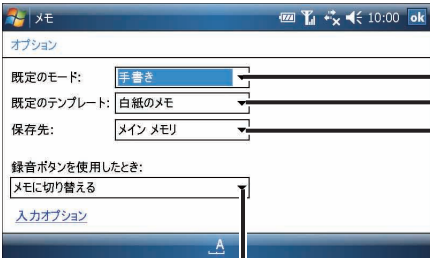
1 一覧画面で、画面右下の メニュー － オプション をタップします。

オプション画面が表示されます。

2 「既定のモード」欄で▼をタップして、「手書き」または「入力」を選びます。

3 「既定のテンプレート」欄で▼をタップして、設定したいテンプレートを選びます。

4 保存先などを選択して、ok をタップします。

メモの一覧画面に戻ります。

設定後は、画面左下の 新規 をタップすると、選択したテンプレートの入力画面が表示されるようになります。

MEMO

- テンプレートを表示させないようにするには、上記の手順 **3** で「白紙のメモ」を選びます。

オプションを設定する

新規入力画面のモードなどを設定します。

1　一覧画面で、画面右下の メニュー － オプション をタップします。

オプション画面が表示されます。

2　それぞれの設定をします。

メモ　10:00　ok
オプション
既定のモード:　手書き
既定のテンプレート:　白紙のメモ
保存先:　メイン メモリ
録音ボタンを使用したとき:
メモに切り替える
入力オプション

新規 をタップしたときに、開かれる入力画面のモードを設定します。
・手書き　：罫線ありの画面
・入力　　：罫線なしの画面

テンプレートにしたいメモがあれば、そのファイル名を選択します（☞6-57 ページ）。

作成したメモの保存先を設定します。

※本製品はこの機能に対応しておりません。

MEMO

●「入力オプション」をタップすると、スタート メニューの "設定" － "入力" と同じ設定ができます。

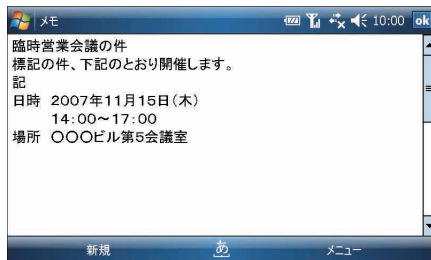
3　設定が終わったら、ok をタップします。

メモを修正／削除する

メモを修正する

1 **一覧画面で、修正するメモをタップします。**

メモの詳細が表示されます。

メモ　10:00　ok
臨時営業会議の件
標記の件、下記のとおり開催します。
記
日時　2007年11月15日（木）
　　　14:00～17:00
場所　○○○ビル第5会議室
新規　あ　メニュー

2 **メモを修正します。**

3 **ok をタップします。**

メモを削除する

1 **一覧画面で、削除するメモをタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **削除 をタップします。**

3 **確認画面で はい をタップします。**

MEMO
- 削除したいメモを選択し、画面右下の メニュー － 削除 をタップしても削除できます。

メモのメニュー

一覧画面のメニュー

録音ツール バーの表示	録音ツールバーを表示／非表示する。
名前の変更／移動	メモのファイル名や保存先のフォルダなどを変更して保存する。
削除	選択しているメモを削除する。
コピー作成	選択しているメモをコピーして追加する。
すべて選択	一覧画面のメモをすべて選択する。
送信	一覧画面で選択しているメモを添付ファイルとして、メールで送信する。
ファイルをビームする	選択したメモを別のS01SHⅡなどに送信する。
オプション	・「既定のモード」 設定したモードが新規入力画面で表示される。 ・「既定のテンプレート」 設定したテンプレートが新規入力画面に表示される。 ・「保存先」 設定した場所に、作成したメモが保存される。 ・「録音ボタンを使用したとき」 本製品はこの機能に対応しておりません。

編集画面のメニュー

メニュー		説明
録音ツール バーの表示		録音ツールバーを表示／非表示する。
描画		手書き画面（罫線あり）を表示／非表示する。
元に戻す		ひとつ前の状態に戻す。
やり直し		「元に戻す」で行った操作を取り消します。
切り取り		選択した文字列や図形を切り取る。
コピー		選択した文字列や図形をコピーする。
貼り付け		クリップボードにある文字列や図形を、指定したポイントに貼り付ける。
編集	クリア	範囲指定した文字列や図形、音声（ ）を消す。
	すべて選択	メモ全体の文字列などを範囲指定する。
ズーム		表示の大きさを設定する。75%～300%まで5段階。
ツール	名前の変更／移動	作成済みのメモを開いているとき、メモの名前や保存先を変更して保存する。
	削除	編集中のメモを完全に削除する。
	送信	メモを添付ファイルで送信する。
	ビーム	現在開いているメモを別のS01SHⅡなどに送信する。

映像と音楽

カメラを使用する

静止画（画像）やビデオ（動画）の撮影ができます。
ここでは、カメラの基本的な使いかたについて説明します。

- **QR コードなどの読み取りについては、7-17 ページをご覧ください。**
- **名刺の読み取りについては、7-20 ページをご覧ください。**

カメラをご使用になる前に

本製品は、有効画素数 131 万画素のカメラを搭載し、静止画（画像）や動画（ビデオ）の撮影ができます。

撮影サイズ／保存形式や保存場所について

撮影した静止画（画像）や動画（ビデオ）は、以下の保存形式で保存されます。

モード	撮影サイズ	保存形式	保存場所
静止画モード	320×240ドット 640×480ドット 1280×1024ドット	JPEG	・本体メモリに保存するときは、「My Documents」フォルダ内の「マイ ピクチャ」フォルダ内に保存されます。 ・miniSDカードに保存するときは、「DCIM」フォルダ内に保存されます。
ビデオモード	160×120ドット 320×240ドット	Windows Media Video（WMV）	

撮影可能枚数：約 380 枚（1280 × 1024 ドット、高画質時、
ファイルサイズ約 1MB）
※撮影枚数は目安です。撮影する対象によって枚数は変わります。

ご注意 ● miniSD カードに保存するときは、DCIM フォルダの中にファイルが保存されます。

撮影可能距離

・ このカメラの撮影可能距離は、約 80cm ～無限遠（接写モードでは約 8cm）です。

カメラ撮影中の撮影音について

・ カメラ撮影時、シャッター音（静止画撮影時）や撮影開始音（動画撮影時）は常に鳴ります。
音量をオフにしていても、撮影時のシャッター音、撮影開始音は鳴ります。

ビデオ（動画）撮影中にアラーム時間になると

・ビデオ（動画）撮影中にアラーム時間になると、録画終了後に、遅れてアラームが鳴ります。

自動終了について

・カメラ起動中に、約５分間何も操作しないでいると“カメラ”は自動的に終了します。

カメラ利用時のご注意

・撮影前に内蔵カメラのレンズカバーが汚れていないかご確認ください。
　レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
　柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
・手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。
　本製品が動かないようにしっかり持って撮影してください。
・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
・本製品を温かい場所に長時間置いたあとで、撮影したり画像を保存したときは画質が劣化することがあります。
・カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
・カメラで太陽などの光源を直接見ないようにしてください。
・横方向、縦方向どちらに構えても撮影することができますが、保存される画像は常に横向きになります。

MEMO
● カメラ起動中は、画面を横表示から縦表示には切り替えられません。
（画面回転キーを押しても切り替わりません）。

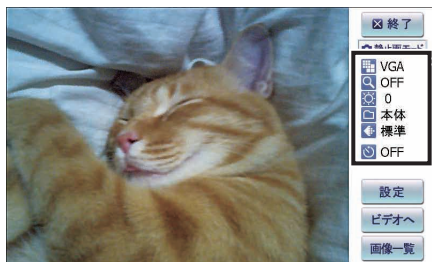
静止画（画像）を撮影する

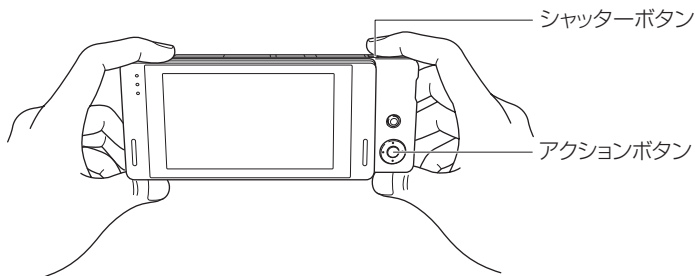
1 コントロールスタイル（☞1-10 ページ）に切り替えます。

2 スタート メニューの “プログラム”をタップします。

3 プログラム画面で “カメラ”をタップします。

4 しばらくすると、静止画モードを表示します。

MEMO
- 接写モードになっていないことを確認してください（☞7-17 ページ）。
- ビデオモードになっているときは、画面右下の 静止画へ をタップします。

画像サイズ、ズーム、明るさ、保存先、画質、タイマー撮影の状態が表示されます。

5 画面にレンズからの画像が表示されます。
被写体にレンズを向け、シャッターボタンを押します。

MEMO
- アクションボタンを押しても撮影できます。

6 撮影した画像が保存され、確認画面が表示されますので、OK をタップします。

7 カメラを終了するときは、終了 をタップします。

MEMO ● 撮影時、画面の明るさや画質などを変更できます。画面右下の 設定 をタップし、変更します（☞ 次ページ）。

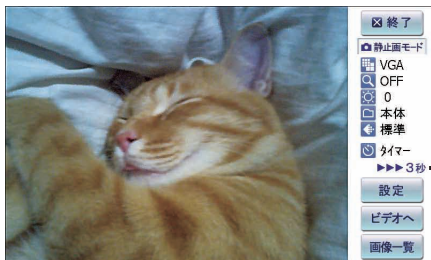
タイマーを使う

1 静止画モードで、画面右下の 設定 をタップします。

静止画モードの設定画面が表示されます。

2 タイマー撮影で「タイマー（5 秒)」を選び、 ok をタップします。

3 画面にレンズからの画像が表示されます。
被写体にレンズを向け、シャッターボタンを押します。

タイマーが動作し、約 5 秒後に撮影されます。

撮影されるまでの時間（秒）が表示されます。

MEMO ● タイマー動作中にシャッターボタンを押すと、その時点で撮影されます。

4 前ページの手順 6 と同様に確認画面が表示されますので、OK をタップします。

静止画モードの設定を変更する

1 **静止画モードで、画面右下の 設定 をタップします。**

静止画モードの設定画面が表示されます。
設定画面で設定された内容は静止画モードの画面右横に表示されます。

カメラアプリ 10:00 ok
静止画撮影設定
撮影サイズ VGA(640×480)
明るさ 0
保存先 本体メモリ
タイマー撮影 OFF
画質 標準
2倍ズーム

撮影するサイズを選択します。

画像を保存する場所として「本体メモリ」、または「mini SDカード」を選択します。

撮影する画質を設定します。

明るさを調整します。

タイマー（5秒）、またはOFFを選択します。

チェックを付けると、2倍ズームで撮影できます。※

※撮影サイズが640×480ドット以下のときに、設定できます。

2 **設定が終われば、ok をタップします。**

撮影した静止画や動画を見る

撮影した静止画や動画を表示します。

1 **静止画モード、またはビデオモードを表示します。**

2 **画面右下の 画像一覧 をタップします。**

“画像とビデオ”（☞7-9ページ）が起動します。

3 **表示する画像をタップします。**

画像が表示されます。

ビデオ（動画）を撮影する

1 **コントロールスタイル（☞1-10 ページ）に切り替えます。**

（☞1-10 ページ）

2 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

3 **プログラム画面で “カメラ” をタップします。**

モードを確認し、静止画モードになっているときは、画面右下の ビデオへ をタップします。

4 **画面にレンズからの画像が表示されます。被写体にレンズを向け、シャッターボタンを押します。**

撮影開始音が鳴り、録画が開始されます。

5 **もう一度、シャッターボタンを押す、または 停止 をタップして、録画を停止します。**

録画した動画を保存するまでに 1 分程度かかります。
miniSD カードに保存するときや他のプログラムが起動しているときなどは、数分かかることがあります。

6 **確認画面が表示されますので、OK をタップします。**

7 **カメラを終了するときは、終了 をタップします。**

MEMO
- 撮影時、画面の明るさやサイズを変更できます。画面右下の 設定 をタップし、変更します（☞ 次ページ）。

映像と音楽
カメラ

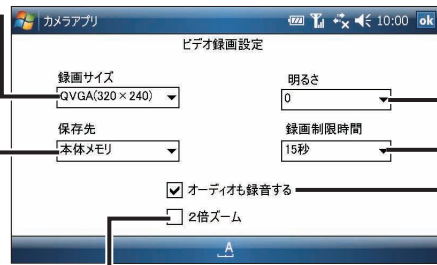
ビデオモードの設定を変更する

1 **ビデオモードで、画面右下の 設定 をタップします。**

ビデオモードの設定画面が表示されます。
設定画面で設定された内容はビデオモードの画面右横に表示されます。

撮影するサイズを選択します。

動画を保存する場所として「本体メモリ」、または「mini SDカード」を選択します。

チェックを付けると、2倍ズームで撮影できます。

明るさを調整します。

動画の撮影制限時間を「15秒」、「30秒」から選択します。

チェックを付けると、音声も録音されます。

カメラアプリ 10:00 ok
ビデオ録画設定
録画サイズ QVGA(320×240)
明るさ 0
保存先 本体メモリ
録画制限時間 15秒
オーディオも録音する
2倍ズーム

2 **設定が終われば、ok をタップします。**

画像とビデオ

静止画（画像）の表示や編集、ビデオ（動画）を表示することができます。
ここでは、画像とビデオの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

- **“画像とビデオ”では、撮影した画像や動画を一覧で表示することができ、画像の切抜きや明るさの調整などができます。**
- **“カメラ”で撮影した画像や動画も見ることができます。**

静止画や動画を見る

撮影した静止画（画像）を確認する

1 プログラム画面で “画像とビデオ”をタップします。

画像とビデオ画面（「マイ ピクチャ」フォルダに保存された静止画（画像）やビデオ（動画）の一覧）が表示されます。

タップすると、どのフォルダにある静止画を一覧で表示したいか指定できます。

“カメラ”（☞7-2ページ）が起動します。

タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準に画像が並び替わります。

フォルダ内の画像がサムネイル表示されます。

2 確認したい静止画（画像）を選択し、画面左下の 表示 をタップします。

画面全体に拡大され、詳細画面が表示されます。

MEMO ● 確認したい静止画をタップしても画面全体に拡大表示されます。

3 画面右上の ok をタップすると一覧に戻ります。

画像をスライドショーで表示する

複数の画像を連続して表示するスライドショー表示ができます。

1　画像とビデオ画面右下の ［メニュー］ － ［スライドショーの再生］ をタップします。

スライドショーを終了するときは、画面をタップしスライドショーツールバー（）を表示し、をタップします。
スライドショーツールバーでスライドショーの終了や一時停止（）、表示の回転（）などの操作ができます。

MEMO
- **スライドショーでの表示を最適化できます。**
  1 画像とビデオ画面右下の ［メニュー］ － ［オプションの表示］ － ［スライドショー］ タブをタップします。
  2「スライドショーで表示を最適化する対象」を設定します(☞7-14 ページ)。

メールに添付して送る

画像やビデオを電子メールの添付ファイルとして送信できます。

1　画像とビデオ画面で電子メールの添付ファイルとして送信したい画像またはビデオをタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2　［送信］ をタップします。

画像またはビデオを添付ファイルとしたメールの新規作成画面が表示されます。
「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。

MEMO
- 添付ファイルとして送信したい画像またはビデオを選択し、画面右下の ［メニュー］ － ［送信］ をタップしてもメールに添付して送ることができます。

3　宛先、件名、本文などを入力します。

メールの送信についてくわしくは、「メールを作って送る」(☞4-13、4-46 ページ）をご覧ください。

画像を「Today」画面の背景に設定する

画像を「Today」画面の背景として設定できます。くわしくは 10-3 ページをご覧ください。

撮影した静止画（画像）を編集する

撮影した画像をトリミング（切り抜き）したり、明るさ／コントラストのレベルを調整するなど編集することができます。

1 **画像とビデオ画面で編集したい画像を選択し、画面左下の [表示] をタップします。**

2 **画面右下の [メニュー] － [編集] をタップして画像を編集します。**

画像をトリミング（切り抜き）する

1 **画面右下の [メニュー] － [トリミング] をタップします。**

2 **切り抜きしたい部分にドラッグします。**

3 **切り抜きしたい領域内をタップします。**

トリミングをやめるときは、画面右下の [メニュー] － [元に戻す] をタップします。

4 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の [メニュー] － [名前を付けて保存] をタップし、ファイル名を確認し [ok] をタップします。**

明るさ／コントラストのレベルを調整する

1 **画面右下の メニュー － 自動修正 をタップします。**

明るさ／コントラストのレベル調整をやめるときは、画面右下の メニュー － 元に戻す をタップします。

2 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の メニュー － 名前を付けて保存 をタップし、ファイル名を確認し ok をタップします。**

MEMO
- 画面左下の 回転 をタップすると、90 度ずつ画像を回転します。
- 直前の編集操作を元に戻すには、画面右下の メニュー － 元に戻す をタップします。
- すべての編集操作をやめて元に戻すには、画面右下の メニュー － 前回保存したときの状態に戻す をタップします。

撮影した動画（ビデオ）を確認する

1 **画像とビデオ画面で、確認したい“ ”動画（ビデオ）を選択し、画面左下の 再生 をタップすると Windows Media Player 10 Mobile が起動して再生されます。**

Windows Media Player 10 Mobileの操作についてくわしくは、7-24ページをご覧ください。

画像やビデオを整理する

新規フォルダを作成する

新しくフォルダを作って画像やビデオを整理できます。

1 画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［編集］－［新しいフォルダ］をタップします。

新しいフォルダが作成されます。

ファイルやフォルダを移動させる

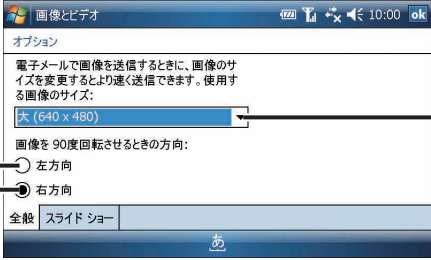
1 移動させるファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから［切り取り］をタップします。

MEMO
- 移動させるファイルやフォルダを選択し、画面右下の［メニュー］－［編集］－［切り取り］をタップしても切り取りができます。

3 移動先のフォルダをタップし、フォルダを開きます。

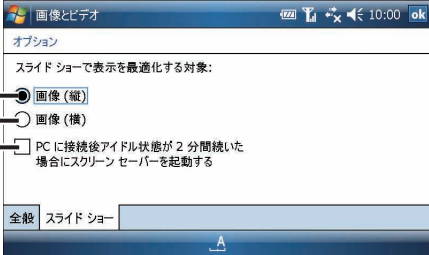
4 ［メニュー］－［編集］－［貼り付け］をタップします。

MEMO
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- **削除するときは**
  上記の手順 **2** で［削除］をタップし、確認画面で［はい］をタップします。
  動画（ビデオ）ファイルを削除するときに「ファイルの削除エラー」が表示された場合、そのファイルは Windows Media Player 10 Mobile で使用されているため削除できません。
  Windows Media Player 10 Mobile を終了してから（☞1-54 ページ）、再度、動画（ビデオ）ファイルを削除してください。
- **ファイルをコピーするときは**
  上記の手順 **2** で［コピー］をタップします。
- **ファイルの名前を変更するときは**
  1 名前を変更したいファイルを選択し、画面右下の［メニュー］－［プロパティ］をタップします。
  2 プロパティ画面の「名前」欄の名前を変更し［ok］をタップします。

メールに添付するときのサイズを設定する

画像とビデオ画面右下の メニュー － オプションの表示 － 全般 タブで、メールに添付するときのサイズの設定や編集画面で画像を回転させる方向の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

画像とビデオ
オプション
電子メールで画像を送信するときに、画像のサイズを変更するとより速く送信できます。使用する画像のサイズ:
大 (640 x 480)
画像を 90度回転させるときの方向:
左方向
右方向
全般 スライド ショー

電子メールで画像を送信するときの画像のサイズを設定します。

画像を90度回転（☞7-12ページ）させるときの方向を設定します。

スライドショーの設定をする

画像とビデオ画面右下の メニュー － オプションの表示 － スライドショー タブで、スライドショーの設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

画像とビデオ
オプション
スライド ショーで表示を最適化する対象:
画像 (縦)
画像 (横)
PC に接続後アイドル状態が 2 分間続いた場合にスクリーン セーバーを起動する
全般 スライド ショー

画像を表示するとき、縦画面にして画像を表示（画像（縦））する、横画面にして画像を表示（画像（横））するを選択します。

パソコンと接続後、2分間操作しないと、スライドショーが始まります。

画像とビデオのメニュー

画像とビデオ画面のメニュー

送信		選択した画像またはビデオを添付した新規メールを作成する(☞7-10ページ)。
ビーム		選択した画像またはビデオを別のS01SHⅡなどに送信する。
連絡先に保存		連絡先の画像情報に選択した画像を設定する。
削除		選択した画像またはビデオを削除する。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから削除をタップしても削除ができる。
編集	切り取り	画像またはビデオを切り取る。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから 切り取り をタップしても切り取りができる。
	コピー	画像またはビデオをコピーする。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューからコピーをタップしてもコピーができる。
	貼り付け	コピーおよび切り取った画像またはビデオを貼り付ける。
	新しいフォルダ	画像やビデオを整理するための新しいフォルダを作成する(☞7-13ページ)。
プロパティ		選択した画像またはビデオの情報を表示する。また、名前の変更ができる。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する(☞7-10ページ)。
[Today]の背景に設定する		選択した画像をToday画面の背景として設定する(☞7-11、10-3ページ)。
オプションの表示		オプション設定画面を表示する(☞7-14ページ)。
スペースに送信		登録しているWindows Liveスペースに送信する。

詳細画面のメニュー

ズーム		ファイルのサイズが大きいとき、タップすると、ナビゲーション用のサブウィンドウを表示して、画像の拡大／縮小、表示領域の移動をする。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する(☞7-10ページ)。
[Today]の背景に設定する		表示している画像をToday画面の背景として設定する(☞7-11、10-3ページ)。
画像のビーム		画像を別のS01SHⅡなどに送信する。
保存	連絡先に保存	連絡先の画像情報に表示している画像を設定する。
	名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。
編集		編集画面になる(☞7-11ページ)。
プロパティ		選択した画像の情報を表示する。また、名前の変更ができる。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞7-14ページ)。
スペースに送信		登録しているWIndows Liveスペースに送信する。

編集画面のメニュー

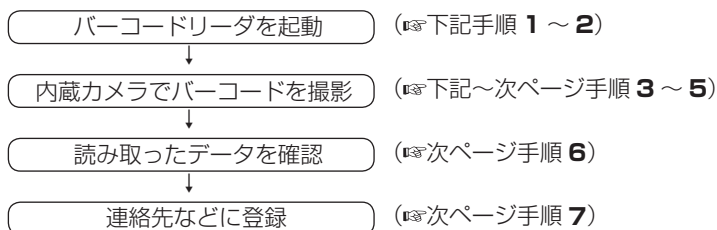
トリミング	画像を切り抜きする。
自動修正	画像の明るさやコントラストを自動で調整する。
元に戻す	トリミングや自動修正した画像を、元に戻す。
前回保存したときの状態に戻す	トリミングや画像回転などの編集を行った後、変更する前の状態（前回保存したときの状態）に戻す。
名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。

バーコードリーダを利用する

内蔵カメラを使ってバーコード（QR コードや JAN コード）を読み取ることができます。読み取った内容をもとに、連絡先への登録、メール送信、ブックマーク登録などができます。

MEMO ● バーコードのサイズや種類によっては読み取れないことがあります。

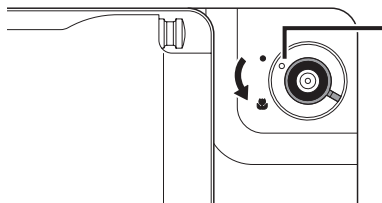
バーコードの撮影から登録までの流れ

バーコードリーダを起動 （☞下記手順 **1** ～ **2**）
↓
内蔵カメラでバーコードを撮影 （☞下記～次ページ手順 **3** ～ **5**）
↓
読み取ったデータを確認 （☞次ページ手順 **6**）
↓
連絡先などに登録 （☞次ページ手順 **7**）

バーコードを読み取る

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “バーコードリーダ” をタップします。**

画面に「表示部をスライドさせてください。カメラを接写モードにしてください。」としばらく表示されます。

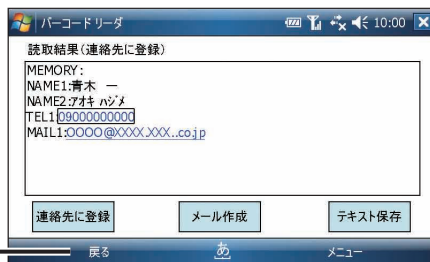
3 **コントロールスタイル（☞1-10 ページ）に切り替え、本体裏側の撮影モードを接写モード（ ）にします。**

この部分を接写モード
に合わせます。

4 読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取るバーコードを表示します。
バーコードが正面になるようにして、焦点距離は約 8cm（目安）にします。

5 シャッターボタン（☞7-4 ページ）または、画面左下の [読み取り] をタップします。

MEMO

- バーコードを読み取るときは、必ず撮影モードを 🌷（接写モード）にしてください。
  🌷 にしないとバーコードを読み取れません。
- バーコードを印刷している紙面が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。
  また､バーコードの周囲に空白部分がない場合も読み取れないことがあります。
- 読み取るときは、ピントが合っていることを確認してからシャッターボタンまたは、画面左下の [読み取り] をタップしてください。
- 読み取りに失敗すると「バーコードを読み取りできませんでした。」と表示されます。[ok] をタップし、手順 **4** からやり直してください。
- バーコードや名刺などの読み取りの際は、明るい場所で撮影してください。
  特に、本製品が影にならないようにしてください。
  暗い場合、認識精度が悪くなります。

6 読み取ったバーコードが認識され、電話番号や URL、メールアドレスなどが表示されます。

7 画面下のボタンをタップします。

- [連絡先に登録]：表示している内容を連絡先に登録します。
- [メール作成]：表示している内容を本文に挿入して新規メール作成画面を表示します。
- [テキスト保存]：表示している内容をテキストデータとして保存します。

※ 認識したバーコードによって、[連絡先に登録] は表示されないことがあります。

MEMO

- 連絡先に登録 などのボタンは、画面右下の メニュー をタップし表示されたメニューから 連絡先に登録 、メール作成 、テキスト保存 を選択しても行えます。
- **画面に表示されたメールアドレス、電話番号などをタップすると**
  メニューが表示されます。
  各メニューを選択したときの動作については、下記をご覧ください。
  メニューを選択したときと手順 **6** でボタンをタップしたときとでは動作が異なります。
- バーコードによっては、手順 **6** で表示される画面のボタンが 連絡先に登録、メール連携 などになることがあります。メール連携 をタップすると宛先、タイトルなどが入った新規メール作成画面が表示されます。

電話番号をタップしたとき

連絡先に登録	**新規登録**	表示された画面で入力する項目を選択して、決定 をタップすると、電話番号が入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して 決定 をタップすると、電話番号が入った編集画面が表示されます。

メールアドレスをタップしたとき

連絡先に登録	**新規登録**	表示された画面で入力する項目を選択して、決定 をタップすると、メールアドレスが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して 決定 をタップすると、メールアドレスが入った編集画面が表示されます。
Eメール作成		通常使用するメールソフトが起動し、宛先にメールアドレスが入ったメールの新規作成画面が表示されます。

URL をタップしたとき

ホームページに接続		インターネットに接続し、そのホームページを表示します。
ブックマークに登録		ブックマークを登録します。
連絡先に登録	**新規登録**	URLが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップすると、URLが入った編集画面が表示されます。

名刺リーダを利用する

内蔵カメラを使って、名刺を撮影すると名前や住所などの文字を読み取って“連絡先”に登録することができます。
知らない間に増えてしまう名刺を、手軽に管理できるようになります。

ご注意 ● 名刺の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、次の手順で、プログラム実行用メモリの空き領域を増やしてください。

・Today 画面に「実行中のプログラム：X 件」が表示されているときは、「実行中のプログラム：X 件」をタップして、実行中のプログラム一覧から使用していないプログラムを選択して「終了」をタップ、または「すべて終了」をタップします。

・インターネットを閲覧した際のキャッシュ（前に表示した WEB コンテンツなどの記憶）を削除します。

Opera Browser　：メニュー－ツール－設定－履歴タブから、キャッシュ削除をタップします。

Internet Explorer：メニュー－ツール－オプション－メモリタブから、ファイルを削除をタップします。

名刺の撮影から登録までの流れ

名刺リーダを起動（☞次ページ手順 **1** ～ **2**）

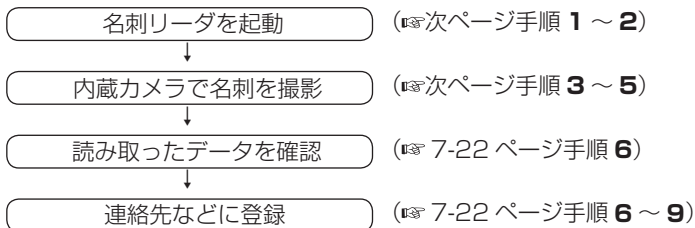
↓

内蔵カメラで名刺を撮影（☞次ページ手順 **3** ～ **5**）

↓

読み取ったデータを確認（☞ 7-22 ページ手順 **6**）

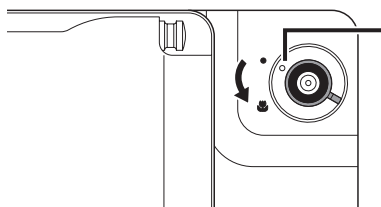
↓

連絡先などに登録（☞ 7-22 ページ手順 **6** ～ **9**）

名刺を読み取る

1 スタート メニューの “プログラム” をタップします。

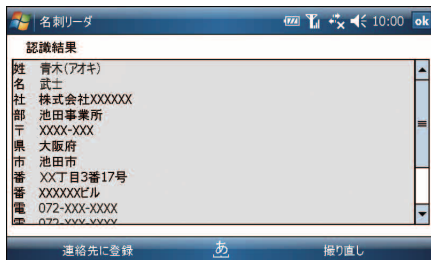
2 プログラム画面で “名刺リーダ” をタップします。

画面に「表示部をスライドさせてください。カメラを接写モードにしてください。」としばらく表示されます。

3 コントロールスタイル（☞1-10ページ）に切り替え、本体裏側の撮影モードを接写モード（ ）にします。

4 読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取る名刺を表示します。名刺が正面になるようにして、焦点距離は約8cm（目安）にします。

ご注意 ● 名刺を表示しているとき、本製品が斜めになっていないか傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。

5 シャッターボタン（☞7-4ページ）または画面左下の 読み取り をタップします。

「認識中」と表示され、しばらくすると認識結果が表示されます。

画面左端の「部」や「姓」などは、認識した文字とデータを登録する “連絡先” の項目の関係を示しています。各項目については、次ページの表をご覧ください。

<table>
<tr><th>表示項目</th><th colspan="2">連絡先の項目</th></tr>
<tr><td>U※1</td><td colspan="2">Webページ</td></tr>
<tr><td>E※2</td><td colspan="2">電子メール</td></tr>
<tr><td>電※3</td><td colspan="2">勤務先電話</td></tr>
<tr><td>携※1</td><td colspan="2">携帯電話</td></tr>
<tr><td>P※1</td><td colspan="2">PHS</td></tr>
<tr><td>F※1</td><td colspan="2">勤務先FAX</td></tr>
<tr><td>姓</td><td>姓(フリガナ)※5</td><td rowspan="2">名前</td></tr>
<tr><td>名</td><td>名</td></tr>
<tr><td>〒※1</td><td>郵便番号</td><td rowspan="4">勤務先住所</td></tr>
<tr><td>県※1</td><td>都道府県</td></tr>
<tr><td>市※1</td><td>市町村</td></tr>
<tr><td>番※1</td><td>番地以下</td></tr>
<tr><td>社※4</td><td colspan="2">勤務先</td></tr>
<tr><td>部※4</td><td colspan="2">部署</td></tr>
<tr><td>役※4</td><td colspan="2">役職</td></tr>
<tr><td>他※4</td><td colspan="2">「メモ」タブ</td></tr>
</table>

※1 この項目が複数ある場合、1つ目だけが"連絡先"の各項目に入り、2つ目以降は「メモ」タブに入ります。

※2 この項目が複数ある場合、最初の3つのメールアドレスが"連絡先"の「電子メール」、「電子メール2」、「電子メール3」に入り、4つ目以降は「メモ」タブに入ります。

※3 この項目が複数ある場合、最初の2つの電話番号が"連絡先"の「勤務先電話」、「勤務先電話2」に入り、3つ目以降は「メモ」タブに入ります。

※4 この項目が複数ある場合、対応する"連絡先"の項目(「部署」など)に半角スペースで区切られて入ります。

※5 姓にあたる文字を認識したとき、認識した文字(姓)のふりがなも表示します。
ただし、ふりがなは推測によるものであり、必ずしも正しいものではありません。

MEMO

- 認識に失敗したときはメッセージが表示されますので、ok をタップして、もう一度撮影してください。
- バーコードや名刺などの読み取りの際は、明るい場所で撮影してください。
特に、本製品が影にならないようにしてください。
暗い場合、認識精度が悪くなります。

6 読み取ったデータを確認し、画面左下の 連絡先に登録 をタップします。

読み取ったデータが"連絡先"に自動的に入力されます。

MEMO

- 撮り直したいときは、画面右下の 撮り直し をタップします。

7 “連絡先”の編集画面で内容を確認し、ok をタップします。

“連絡先”にデータが登録されます。

8 確認画面で ok をタップします。

9 読み取り画面に戻りますので、複数の名刺を読み取るときは同じ操作を繰り返します。

MEMO

- 名刺を読み取るときは、必ず撮影モードを（接写モード）にしてください。にしないと名刺を読み取れません。
- 名刺の紙質が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。

ご注意

- **名刺リーダで名刺を読み取るとき、次のような場合には認識ができないまたは認識が悪くなることがあります。**
- 認識できない名刺
  - ・黒地に白文字や濃い色の背景に薄い色の名刺
  - ・手書きや手書き風のフォントを使った名刺
  - ・背景が付いている名刺
  - ・英文名刺
  - ・縦書きと横書きが混在している名刺
- 認識が悪くなる名刺
  - ・名前や住所などの文字が薄くコントラストが低い名刺
  - ・非常に小さい文字や斜体の文字がある名刺
  - ・社名などがロゴやロゴ風フォントなどになっている名刺
  - ・表面に光沢のある名刺
  - ・汚れたり折れている名刺

音楽や映像を楽しむ（Windows Media Player 10 Mobile）

本製品やネットワーク上にあるビデオファイル、オーディオファイルを再生できます。

次のファイルを再生できます。

・オーディオファイル　：MP3 形式、Windows Media Audio（wma）形式
・ビデオファイル　　　：Windows Media Video（wmv）形式
・ストリーミング　　　：Advanced Streaming Format（asf）形式

ご注意

- ファイルの種類やサイズによっては、再生できないことがあります。
- イヤホンマイクなどをご使用になる場合は、音量の設定に十分気をつけて再生してください。
  思わぬ大音量が出て耳を痛める原因となることがあります。
  タイトルバーの をタップして音量を変えてください。
- 音楽 CD やインターネットホームページ上の著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法で認められた条件の下で、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

ここでは、Windows Media Player 10 Mobile の基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

音楽や映像を楽しむには

本製品で音楽や映像を楽しむには、最初にオーディオファイルやビデオファイルなどを本製品に保存します。
パソコンの Windows Media Player 10（または 11）と同期するとオーディオファイルなどを同期し本製品に保存できます。同期についてくわしくは、7-30 ページをご覧ください。
また、すでにお持ちのパソコンなどに再生できるファイルを保存されているときは、miniSD カードにそのファイルをコピーして本製品に取り付けて再生できます。miniSD カードに保存しているファイルを再生するときは、カードを取り付け後、ライブラリの更新（次ページのメモ）を行ってください。

音楽や映像を再生する

オーディオファイルやビデオファイルを選んで再生します。
また、ライブラリによってアーティストやジャンルなどの項目別に自動分類されたフォルダ（アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）の中のファイルを順番に再生します。

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “Windows Media” をタップします。**

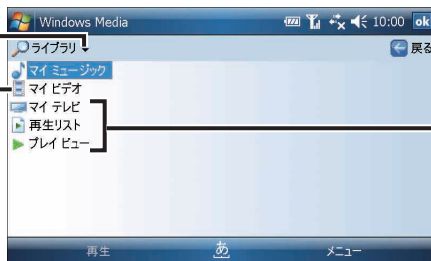
ライブラリ画面が表示されます。
表示されないときは、画面右下の メニュー － ライブラリ をタップしてください。

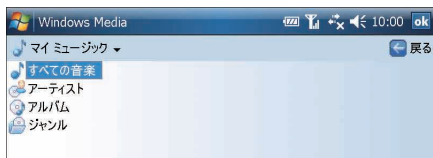
MEMO

- **ライブラリの更新**
  ファイルが表示されないときはライブラリの更新を行ってください。ライブラリ画面で画面右下の メニュー － ライブラリの更新 をタップします。
  miniSD カード内のファイルを再生するときは、下記手順 **3** のライブラリ右横の▼をタップして切り替えてください。

3 **再生したいファイルのカテゴリ（マイ ミュージック、マイ ビデオなど）をタップします。**

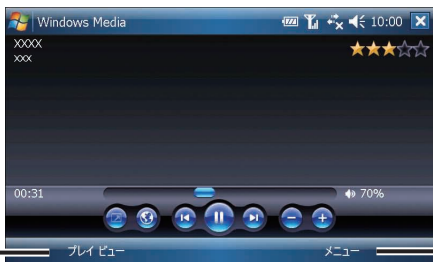
miniSD カード内のファイルを再生するときなど、タップして切り替えます。

動画ファイルはこの中に入ります。

カテゴリをタップして再生するファイルやフォルダを表示します。

4 カテゴリの中のフォルダ（すべての音楽、アーティスト、アルバム、ジャンルなど）をタップして、再生するファイルやフォルダを表示します。

5 再生するファイルやフォルダ（すべての曲、アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択し、画面左下の 再生 をタップします。

1つ前の画面に戻ります。

再生画面が表示され、再生が始まります。
フォルダ（アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択した場合は、フォルダの中のファイルが順番に再生されます。

プレイビュー画面を表示し、再生順の変更や再生リストからの削除などができます（☞7-28ページ）。

ランダム再生、連続再生の設定や再生中のファイル情報の表示などができます（☞7-35ページ）。

MEMO

- 再生するファイルやフォルダをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから 再生 をタップしても再生できます。
- パソコンなどから転送した新しいファイルがライブラリ画面に表示されない場合は、ライブラリの更新を行ってください。
  1 ライブラリ画面右下の メニュー － ライブラリの更新 をタップします。
  2 ファイルの追加作業を待って画面右下の 終了 をタップします。

再生画面について

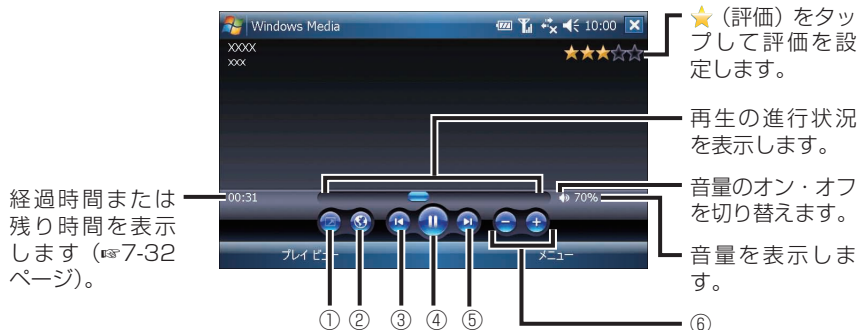
★（評価）をタップして評価を設定します。

再生の進行状況を表示します。

音量のオン・オフを切り替えます。

音量を表示します。

経過時間または残り時間を表示します（☞7-32ページ）。

①②③④⑤⑥

①ビデオファイルを再生中にタップすると、全画面で表示します。
元に戻すには、画面のどこかをタップします。

②Windows Media.com のホームページを表示します。
前もって、インターネットに接続するための設定を行ってください。

③再生中にタップするとファイルの先頭まで戻し再生します。
再生停止時にタップすると、1 つ前のファイルへスキップします。

④ファイルを一時停止します。
一時停止時は▶が表示され、タップすると再生を再開します。

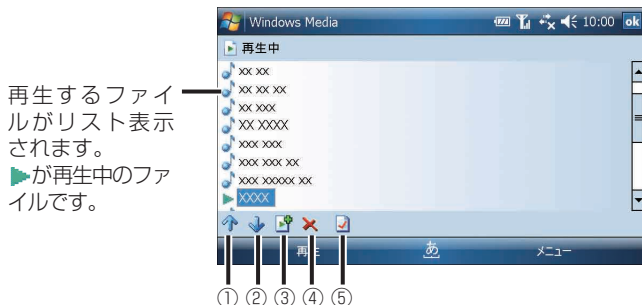
⑤次のファイルへスキップします。

⑥システム音量で設定した音量（☞1-40 ページ）を 100%として、音量を調整します。
⊕：音量を上げます。
⊖：音量を下げます。

プレイビュー画面（再生リスト）について

再生画面左下の プレイビュー をタップすると、再生するファイルをリスト表示します。再生するファイルの順番を変えたり、再生リストからファイルを削除できます。

再生するファイルがリスト表示されます。
▶が再生中のファイルです。

①②③④⑤

①選択したファイルを再生リストの上へ移動します。
②選択したファイルを再生リストの下へ移動します。
③ライブラリ画面に切り替えます。 ファイルやフォルダを追加するときは、ライブラリ画面で追加したいファイルやフォルダなどをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから 再生待ちに追加 をタップします。ライブラリ画面に切り替える前のプレイビュー画面の一番下に追加されます。
④選択したファイルを再生リストから削除します。
⑤選択したファイルの情報を表示します。

MEMO
- プレイビュー画面で画面右下の メニュー － プレイビューの消去 をタップすると、再生リストからすべてのファイルを消去します。

ランダム再生／連続再生する

順不同に再生する「ランダム再生」や、プレイビュー画面のファイルを表示順にくり返し再生する「連続再生」が行えます。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の メニュー －
ランダム再生／連続再生 － ランダム再生 または 連続再生 をタップします。

再生中に画面を消す

以下の手順でキーボードのキーや (カーソル) ボタンなどに設定を割り当てると、音楽再生中に画面を消すことができます。

1 **オプション画面（ ボタン タブ）を表示し（☞7-34 ページ）、画面を一番下までスクロールします。**

2 **切り替え画面 をタップし、割り当て をタップします。**

3 **割り当てるキーボードのキーや (カーソル) ボタンなどを押し、ok をタップします。**

Windows Media Player 10 を起動中に手順 **3** で割り当てたキーを押すと画面が消えます。何かキーを押すと画面が表示されます。

ネットワーク上のファイルを再生する

インターネットやネットワーク上のファイルを再生します。

1 **ライブラリ画面で、画面右下の メニュー － URL を開く をタップします。**

2 **「URL：」欄にネットワークアドレスを入力し、画面左下の OK をタップします。**

パソコンで作った再生リストを再生する

ライブラリ画面で「再生リスト」を選択して再生します。

“再生リスト”とは、お気に入りのファイルを集めたリストのことです。
たとえばいろいろなアルバムにあるお気に入りのオーディオファイルを再生リストに登録して、お気に入りの音楽だけを再生できます。
再生リストは、パソコンの Windows Media Player 10 で作成し、同期させて本製品に取り込みます（☞ 次ページ）。

Windows Media Player 10（11）と同期する

ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールし同期設定をしていると、パソコンの Windows Media Player 10 または Windows Media Player 11 と音楽（オーディオ）ファイルを同期できます。
ActiveSync をインストールしていない場合は8- 7ページを、Windows Mobile デバイスセンターをインストールしていない場合は8- 13ページをご覧になりインストールしてください。

ご注意
- Windows 2000 の場合は、Windows Media Player 9 シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

MEMO
- ActiveSync をインストールしていても Media を設定していないときは8-11 ページのメモをご覧になり、設定を行ってください。

Windows Media Player 10 と同期する

1 パソコンで Windows Media Player 10 を起動し、同期する音楽ファイルを取り込みます。

すでに、Windows Media Player 10 に音楽ファイルを取り込んでいるときは、この手順は必要ありません。

2 パソコンと本製品を付属の USB ケーブルで接続します。

しばらくすると ActiveSync が起動し、「連絡先」など設定しているプログラムの同期を行います。

3 パソコンで Windows Media Player 10 を起動して「同期」タブをクリックします。

4 パソコンで画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「 同期の開始」をクリックします。

同期が始まります。

5 同期完了後、パソコンから本製品を取り外します。

Windows Media Player 10 の操作についてくわしくは、Windows Media Player 10 のヘルプをご覧ください。

MEMO
- Windows Media Player 10と自動的に同期するように設定した場合（8-12ページの手順**16**で「自動」を選択した場合）は、手順**2**を行った後、自動的に同期されます。ただし、音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが同期されますのでご注意ください。1度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

Windows Media Player 11と同期する

1 **パソコンでWindows Media Player 11を起動し、同期する音楽ファイルを取り込みます。**

すでに、Windows Media Player 11に音楽ファイルを取り込んでいるときは、この手順は必要ありません。

2 **パソコンと本製品を付属のＵＳＢケーブルで接続します。**

3 **パソコンでWindows Media Player 11を起動して「同期」タブをクリックします。**

4 **初めて同期する場合、表示された画面で、「はい、今すぐコンピュータを検索します（推奨)」を選択して[次へ]をクリックします。**

2回目以降や表示されない場合は、手順**7**へ進みます。

5 **[次へ]をクリックします。**

6 **デバイス名を確認して[完了]をクリックします。**

7 **画面左側のライブラリから、同期したい音楽ファイルを画面右側の同期リストにドラッグします。**

8 **[同期開始]をクリックします。**

同期が始まります。

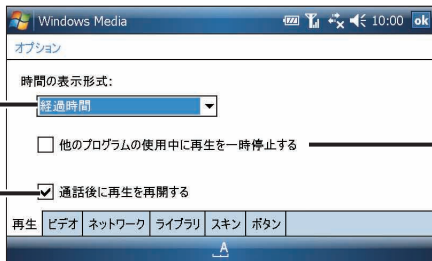
9 **同期完了後、パソコンから本製品を取り外します。**

Windows Media Player 11の操作についてくわしくは、Windows Media Player 11のヘルプをご覧ください。

時間の表示形式、他のプログラムを使用中の再生方法などを設定する

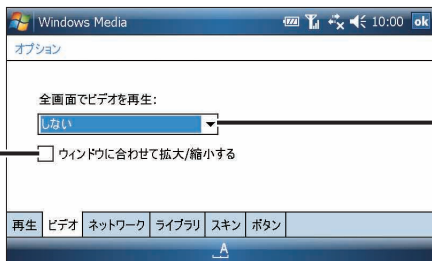
再生画面右下の メニュー － オプション － 再生 タブで、時間の表示形式を変更したり、他のプログラムを使用中の再生方法の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

再生画面に表示する時間の設定をします。
経過時間：再生開始からの時間を表示します。
残り時間：終了までの残り時間を表示します。

本製品では、この機能は動作しません。

チェックを付けると、他のプログラムを使用中は再生を一時停止します。

ビデオ再生時の画面設定をする

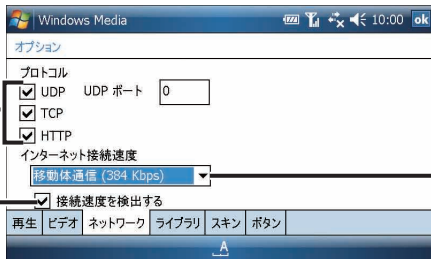
再生画面右下の メニュー － オプション － ビデオ タブで、ビデオ再生時の表示画面の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

チェックを付けると、縮小表示します。

しない：ビデオを全画面で再生しません。
サイズ超過時のみ：サイズが超過したビデオのみ全画面で再生します。
常に：すべてのビデオを全画面で再生します。

ネットワークプロトコルとインターネット接続速度を設定する

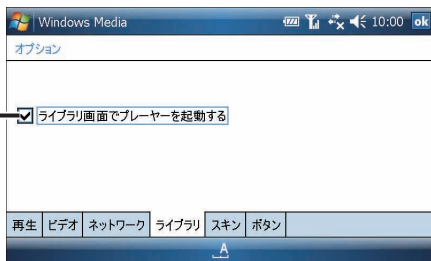
再生画面右下の メニュー － オプション － ネットワーク タブで、ネットワーク上のファイルを再生する（ストリーミング）ときの設定をします。
設定が終わったら ok をタップしてください。

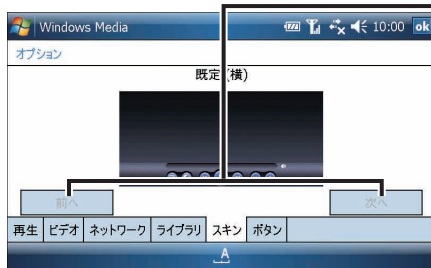
ストリームを受信するときのプロトコルを指定します。
すべてのプロトコルを選択することをお勧めします。

再生が最適化されるように接続速度を自動的に設定させるときチェックを付けます。

インターネット接続速度を変更します。

起動時に表示させる画面を設定する

再生画面右下の メニュー － オプション － ライブラリ タブで、Windows Media Player 10 Mobile を起動したときの画面を設定します。
設定が終わったら ok をタップしてください。

チェックを付けると、起動したときにライブラリ画面が表示されます。
再生画面を表示させるときは、チェックを外します。

再生画面の外観（スキン）を変更する

再生画面右下の メニュー － オプション － スキン タブで、再生画面の外観（スキン）を設定します。
設定が終わったら ok をタップしてください。

ダウンロードなどにより新しいスキンを本製品に取り込むと 前へ または 次へ をタップして外観（スキン）の変更ができます。

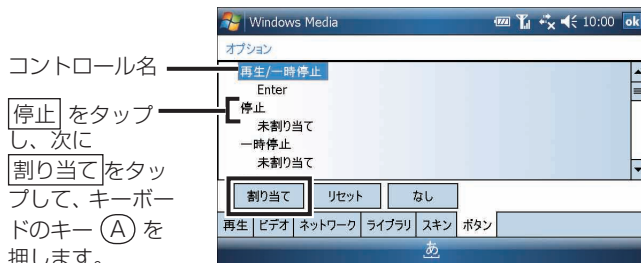
キーボードのキーなどの割り当てを変更する

1 **再生画面右下の メニュー － オプション － ボタン タブで、変更したいコントロール名（再生／一時停止など）をタップします。**

2 **割り当て をタップし、「ボタンの割り当て」画面が表示中に、新しく割り当てるキーボードのキーや カーソル ボタンなどを押します。**

押したキーが表示されます。

コントロール名

停止 をタップし、次に 割り当て をタップして、キーボードのキー Ⓐ を押します。

MEMO
- キーやボタンの割り当てを元に戻すときは、再度コントロール名をタップして リセット をタップします。
- キーやボタンの割り当てをしないときは、コントロール名をタップして なし をタップします。
- 一部のボタンやキーには割り当てできないなどの制限があります。

3 設定が終わったら ok をタップします。

Windows Media Player 10 Mobile のメニュー

再生画面のメニュー

ライブラリ		ライブラリ画面に切り替わる。
再生／一時停止		再生を開始または一時停止する。
停止		再生を停止する。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生	ランダム再生する(☞7-28ページ)。
	連続再生	連続再生する(☞7-28ページ)。
全画面表示		ビデオファイルの再生中にタップすると、全画面表示になる。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞7-32～34ページ)。
プロパティ		現在再生中のファイルの情報を表示する。
バージョン情報		バージョン番号など、Windows Media Player 10 Mobileに関する情報を表示する。

プレイビュー画面のメニュー

ライブラリ		ライブラリ画面に切り替わる。
上へ		選択したファイルを再生リストの上へ移動する。
下へ		選択したファイルを再生リストの下へ移動する。
再生リストから削除		選択したファイルを再生リストから削除する。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生	再生リストのファイルをランダム再生する（☞7-28ページ）。
	連続再生	再生リストのファイルを連続再生する（☞7-28ページ）。
再生リストの保存		再生リストを保存する。
プレイビューの消去		すべての再生リスト（ファイル）を削除する。
エラーの詳細		再生時にエラーメッセージが表示されたときなどにタップでき、そのエラーの詳細を表示する。
プロパティ		選択したファイルの情報を表示する。

ライブラリ画面のメニュー

再生待ちに追加	プレイビュー再生リストの最後に追加する。
ライブラリから削除	選択したファイルをライブラリから削除する。
プレイビュー	プレイビュー画面に切り替わる。
ライブラリ	ライブラリを切り替える。
ライブラリの更新	ライブラリを更新（新しいファイルを追加）する。
ファイルを開く	マイデバイスの中のフォルダを表示する。フォルダを開きファイルを探せる。
URLを開く	Windows Media.comなどのホームページから、ネットワーク上のファイルを再生する。
プロパティ	選択したファイルの情報を表示する。

パソコンや周辺機器との連携

8

パソコンとの連携（ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンター） 8-2

データ通信 8-27

周辺機器との接続やデータ交換をする（Bluetooth） 8-39

USB ホストとして使う 8-52

遠隔的にパソコンの操作を行う（リモートデスクトップモバイル） 8-53

パソコンとの連携（ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンター）

ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使うと、同期やファイルのコピーなど以下のことができます。

・パソコンの Microsoft Outlook と本製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、本製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。
・本製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーできます（☞8-21 ページ）。
・Word Mobile や Excel Mobile のデータとパソコンの Word や Excel のデータを同期します（☞8-16、8-17 ページ）。
・パソコンで表示したホームページの URL を本製品に転送することができます。

ここでは、ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターの基本的な使いかたについて説明します。

設定や使用方法についてくわしくは、ヘルプや、付属の CD-ROM の中にある ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターの Word ファイルをご覧ください。

MEMO

● パソコンの Word や Excel のデータを Word Mobile や Excel Mobile のデータに変換したとき、Word Mobile や Excel Mobile がサポートしていない書式や機能などは反映されません。

連携ソフトとパソコンの OS

パソコンと連携するためのソフト、および連携するパソコンの OS は次の通りです。

連携ソフト	パソコンの OS※
Windows Mobile デバイスセンター 6.1	Windows Vista
ActiveSync 4.5	Windows XP/2000

※詳しくは、8-6 ページの「動作環境」をご覧ください。

付属の CD-ROM をパソコンにセットしたときのご注意

お使いのパソコンにインストールされている Adobe Flash Player のバージョンが古い場合、付属の CD-ROM をセットしたときに次のようなエラー表示が出ることがあります。

■ お使いのパソコンが Windows XP の場合

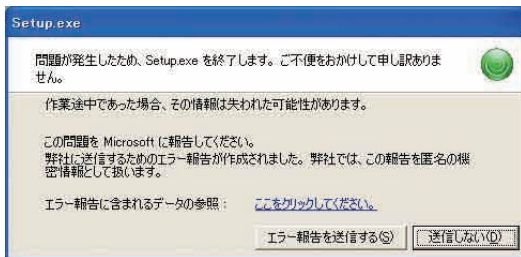
Setup.exe

問題が発生したため、Setup.exe を終了します。ご不便をおかけして申し訳ありません。

作業途中であった場合、その情報は失われた可能性があります。

この問題を Microsoft に報告してください。
弊社に送信するためのエラー報告が作成されました。弊社では、この報告を匿名の機密情報として扱います。

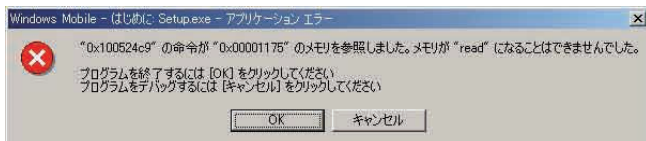
エラー報告に含まれるデータの参照： ここをクリックしてください。

エラー報告を送信する(S)　送信しない(D)

■ お使いのパソコンが Windows 2000 の場合

Windows Mobile － はじめに: Setup.exe － アプリケーション エラー

"0x100524c9" の命令が "0x00001175" のメモリを参照しました。メモリが "read" になることはできませんでした。

プログラムを終了するには [OK] をクリックしてください
プログラムをデバッグするには [キャンセル] をクリックしてください

OK　キャンセル

■お使いのパソコンが Windows Vista の場合

Microsoft Windows

Setup.exe は動作を停止しました

次にオンラインになるときに、問題の解決策をオンラインで確認できます。

オンラインで解決策を後で確認してプログラムを終了します

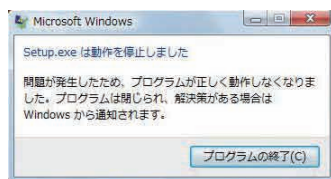
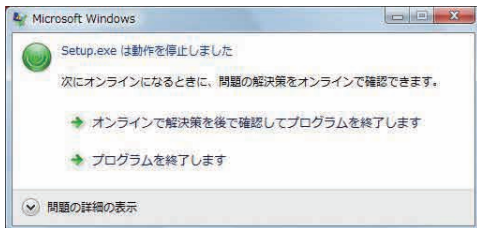
プログラムを終了します

問題の詳細の表示

Microsoft Windows

Setup.exe は動作を停止しました

問題が発生したため、プログラムが正しく動作しなくなりました。プログラムは閉じられ、解決策がある場合は Windows から通知されます。

プログラムの終了(C)

このエラー表示が出たときは、Adobe Flash Player を最新のバージョンにアップデートすると CD-ROM が使えるようになります。以下の URL に接続して Adobe Flash Player をアップデートしてください。
http://www.adobe.com/jp/
アップデートが終わったら、パソコンを再起動後、再度 CD-ROM をセットしてください。「Windows Mobile デバイス - はじめに」画面が表示されますので、それぞれの操作を行います。

■ Adobe Flash Player がインストールされていない場合

「Adobe Flash Player のバージョン 8.0 以降が必要です。」のメッセージが表示されますので、メッセージにあるリンクから Adobe Flash Player をインストールしてください。

尚、前ページおよび上記のメッセージが表示されても、他のアプリケーションソフトなどへの影響はありません。

■ Adobe Flash Player を最新バージョンにできないとき

パソコンがインターネット接続環境にないなど、Adobe Flash Player を最新のバージョンにできないときは、以下の手順で CD-ROM をお使いください。

Windows XP/Windows 2000 に ActiveSync 4.5 をインストールする

①［スタート］－［マイコンピュータ］をクリックします。
　（Windows 2000 の場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします）
②CD-ROM ドライブを右クリックし、「エクスプローラ」をクリックします。
③「ACTIVESYNC」フォルダをダブルクリックし、「JAPAN」フォルダをダブルクリックします。
④「setup」をダブルクリックします。
　ActiveSync のインストール画面が表示されます。

これ以降は、8-9 ページの手順 **5** からをご覧いただき、ActiveSync をインストールして操作を続けてください。

Windows Vista に Windows Mobile デバイスセンター 6.1 をインストールする

①［スタート］－［コンピュータ］をクリックします。
②CD-ROM ドライブを右クリックし、「エクスプローラ」をクリックします。
③「WMDC」フォルダをダブルクリックし、「drvupdate-x86」をダブルクリックします。
　インストール画面が表示されますので、Windows Mobile デバイスセンターをインストールしてください。

インストールが終わったら、8-14 ページの手順 **7** からをご覧いただき、操作を続けてください。

PDF マニュアルなどを見る

PDF マニュアルなどを見るには、パソコンに Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。Adobe Reader は、以下手順の③で「AdbeRdr80_ja_JP」をダブルクリックするとインストールできます。

①エクスプローラを起動して CD-ROM の内容を表示します。

Windows XP の場合

[スタート] －[マイコンピュータ] －「CD-ROM」右クリック－「エクスプローラ」をクリックします。

Windows Vista の場合

[スタート] －[コンピュータ] －「CD-ROM」右クリック－「エクスプローラ」をクリックします。

②「OEM」フォルダをダブルクリックします。

③PDF マニュアルを見る場合

「Application_manual」や「Picsel PDF Viewer_manual」をダブルクリックします。

パソコンの動作環境について

ご注意 ● 次のようなパソコンでの動作は保証できません。
- ・自作パソコン
- ・OS をアップグレードしたり入れ替えたパソコン
- ・ご自分で追加した USB ポートをお使いのとき
- ・USB ハブなどを経由した接続のとき
- ・パソコンに本製品以外の USB 機器が接続されているとき

ActiveSync 4.5 をインストールするパソコン

OS（ActiveSync と USB モデムドライバ共通）
- ・ Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 2）
- ・ Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2）
- ・ Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 4）

※これ以外の OS については、付属の CD-ROM に収録されている「readme.doc」をご覧ください。

アプリケーション
- ・ Microsoft Outlook XP
- ・ Microsoft Outlook 2003
  ※受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要
- ・ Microsoft Internet Explorer 6.0 以降

ハードディスク空き容量
- ・約 65MB

Windows Mobile デバイスセンター 6.1 をインストールするパソコン

OS
- ・ Windows Vista Ultimate
- ・ Windows Vista Enterprise
- ・ Windows Vista Business
- ・ Windows Vista Home Premium
- ・ Windows Vista Home Basic

アプリケーション
- ・ Microsoft Outlook 2007
- ・ Microsoft Outlook 2003
  ※受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要。
- ・ Microsoft Internet Explorer

ハードディスク空き容量
- ・ 約 120MB

ActiveSync 4.5 をインストールする

ActiveSync 4.5 をインストールする前にお読みください

ActiveSync をインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。
確認した後、インストールを行ってください。
※これ以降、ActiveSync 4.5 を ActiveSync と記載します。

① Outlook をインストールして、使用状態（下記）にしてください。なお、Outlook Express とは同期できません。

ActiveSync をインストールした後で Outlook をインストール／使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlook をインストールして使用できる状態にしてください。

Outlook を使用状態にする

Outlook インストール後、Outlook の「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付けた後、Outlook に連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

② ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。

停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

③ Intellisync など他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。

④ Windows Media Player と同期するときは、ActiveSync をインストールする前に Windows Media Player 10 をインストールしてください。

古いバージョンの Windows Media Player とは同期できませんので、ご注意ください。
パソコンの OS が Windows 2000 の場合は、Windows Media Player 9 シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

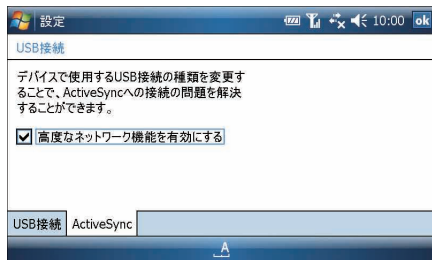
MEMO

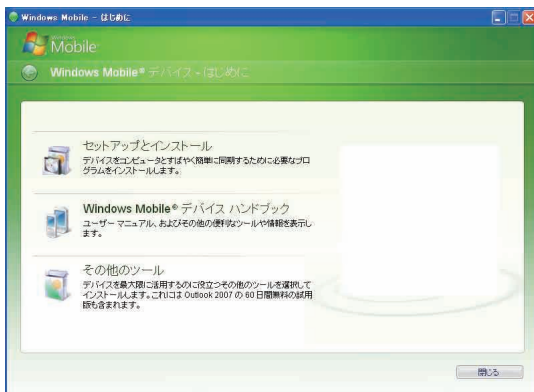
- **ActiveSync をアンインストールするには**
  ［スタート］メニューから「プログラムのアクセスと既定の設定」を選び、「プログラムの追加と削除」画面で「プログラムの変更と削除」をクリックした後、「Microsoft ActiveSync」を選んで［削除］をクリックします。表示される画面の指示に従ってアンインストールします。

1 本製品の通信モードを ActiveSync ができる設定にします。

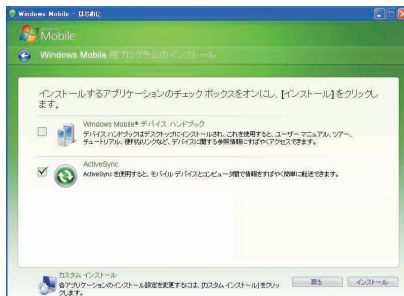
1 スタート メニューの "設定" をタップし、接続 タブをタップします。

2 "USB 接続" の USB 接続 タブで「PC と同期する(ActiveSync)」にチェックを付けます。

3 ActiveSync タブをタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックが付いていることを確認し、ok をタップします。

4 本製品の電源が自動的に切れないように設定しておいてください(☞10-21 ページ)。

2 付属の CD-ROM をパソコンにセットします。しばらくすると、次の画面が表示されます。

MEMO
- ここでは、Windows XP の画面で説明しています。Windows 2000 Professional では画面の形状が一部異なりますが、基本的な操作のしかたは同じです。

3 「セットアップとインストール」をクリックします。

4 表示された画面で、ActiveSync にチェックが付いていることを確認して［インストール］をクリックします。

5 内容をご覧になり［同意する］をクリックします。

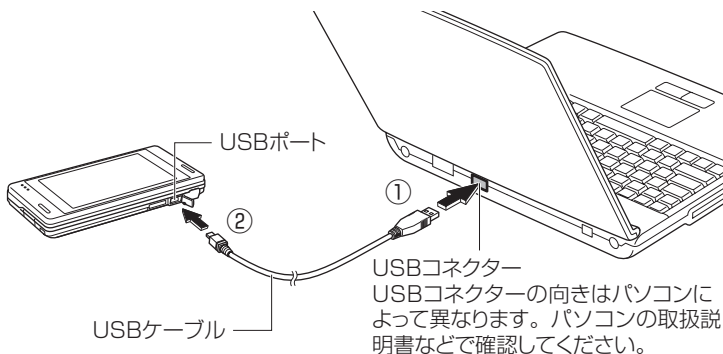
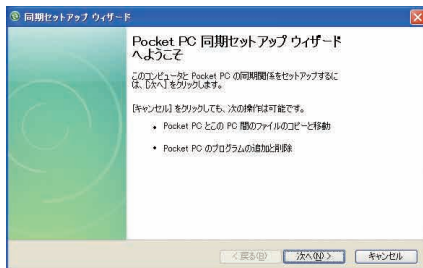
インストールが始まります。

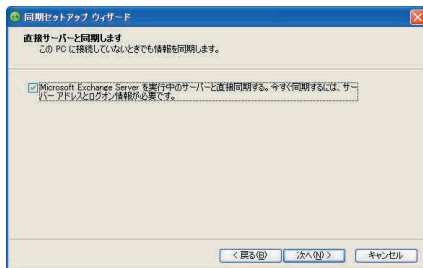
6 インストール終了後、［終了］をクリックします。

7 ①、②の順でパソコンと本製品を付属の USB ケーブルを使って接続します。

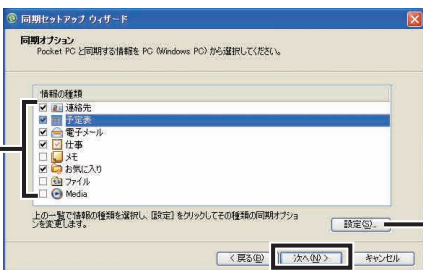
ご注意

- USB ケーブルは、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。USB ハブや USB 延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、本製品に AC アダプタを接続するか電池残量が十分であることを確認してください。

USBポート
①
②
USBコネクター
USBコネクターの向きはパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書などで確認してください。
USBケーブル

8 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

MEMO

- **お使いのパソコンが Microsoft Exchange Server に接続しているときは**
  手順 **8** の後、「直接サーバーと同期します」画面（下記の画面）が表示されます。

  ・サーバー情報やログオン情報などをネットワーク管理者にご確認のうえ、画面にしたがって操作してください。

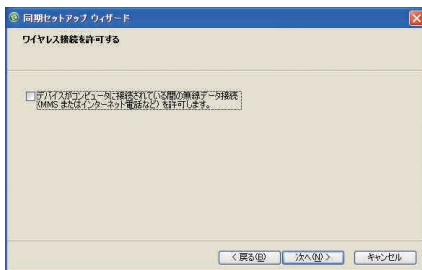
9 Poket PC の名前を入力する画面が表示されたときは、名前を確認し、[次へ] をクリックします。

10 「同期オプション」画面が表示されたら、同期する項目にチェックを付け [次へ] をクリックします。

同期する項目にチェックを付けます。

クリックすると「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

MEMO

- 「ファイル」を選択すると「ファイルの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、[OK] をクリックしてください。この「ファイル」は、同期するためのものです。パソコンと本製品のファイルをコピーするときは、ファイルのコピー（☞8-21 ページ）を行います。
- Windows Media Player10 と音楽ファイルを同期するときは、Media の項目にチェックを付けセットアップを完了したあと手動で行います。
  Media を選択すると「メディアの同期」画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。

11 「ワイヤレス接続を許可する」画面で内容を確認し、[次へ] をクリックします。

12 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

しばらくすると自動的に同期が開始されます。同期が終了すると、「ActiveSync」画面内に「接続完了」が表示されます。

手順 **10** で Media の項目にチェックを付けていないときは、手順 **12** で終了です。

Media の項目にチェックを付けているときは、手順 **13** 以降を行います。

13 Windows Media Player 10 と同期する場合（手順 10 で Media にチェックを付けた場合）は、ActiveSync 画面内の Media の右横の「セットアップを完了する必要があります」をクリックします。

14 表示された確認画面で「はい」をクリックします。

Windows Media Player 10 が起動します。

15 Windows Media Player 10で「同期」タブをクリックし「同期の設定」をクリックします。

16 表示された画面で、「手動」を選択し [完了] をクリックします。

17 画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「 同期の開始」をクリックします。

Windows Media Player と同期が始まります。
ActiveSync をインストールできないときや同期できないときは、8-24 ページをご覧ください。

MEMO

- 手順 **16** で「自動」を選択すると音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが自動的に Windows Media Player と同期しますので、「手動」を選択することをおすすめします。
  1 度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。
- **ActiveSync インストール後に Media など同期する項目を変更するときは**
  パソコンと本製品を接続した状態で ActiveSync 画面の「ツール」メニューの「オプション」を選択します。
  設定画面が表示されますので項目のチェックを付けたり外したりします。

Windows Mobile デバイスセンター 6.1 をインストールする

Windows Mobile デバイスセンター 6.1 をインストールする前にお読みください

デバイスセンターをインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。確認した後、インストールを行ってください。
※これ以降、Windows Mobile デバイスセンター 6.1 を Windows Mobile デバイスセンターと記載します。

① **Outlook をインストールして、使用状態（☞ 下記）にしてください。なお、Windows メールとは同期できません。**
Windows Mobile デバイスセンターをインストールした後で Outlook をインストール／使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlook をインストールして使用できる状態にしてください。

Outlook を使用状態にする
Outlook をインストールした後、Outlook の「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付けた後、Outlook に連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

② **ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。**
停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

③ **Intellisync など他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。**

1 **本製品に付属の CD-ROM をパソコンにセットします。**
自動再生画面が表示されたときは「Start.exe の実行」をクリックします。

2 **ユーザーアカウント制御画面が表示されるので、［続行］をクリックします。**
「Windows Mobile デバイスーはじめに」画面が表示されます。

3 **「セットアップとインストール」をクリックします。**

4 **「Windows Mobile デバイスセンター」にチェックが付いていることを確認して［インストール］をクリックします。**
インストールが始まります。

5 インストールが終わったら、[終了] をクリックします。

6 再起動する旨の画面が表示されるので、[今すぐ再起動する] をクリックします。

表示されないときは、次の手順に進みます。

7 再起動後、パソコンと本製品を付属の USB ケーブルを使って接続します（☞8-9 ページ）。

自動的にドライバのインストールが始まります。自動再生画面が表示されたときは、[X] をクリックして画面を閉じます。

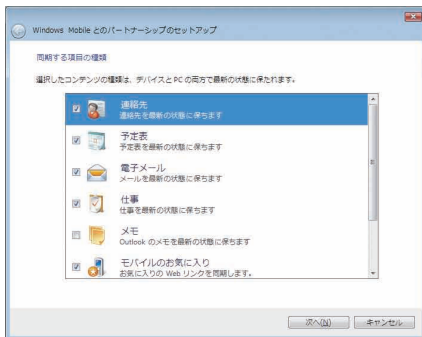
8 ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、[続行] をクリックします。

9 ソフトウェアのライセンス画面が表示されるので、内容をご覧になり [同意する] をクリックします。

10 次に表示された画面で、[登録しない]、[オンラインで登録する]、[後で登録する] のいずれかをクリックします。

11 「Windows Mobile デバイスセンター」の画面が表示されたら、[デバイスのセットアップ] をクリックします。

12 表示された画面で、「連絡先」などの項目にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

Outlook をインストールしていないと、「連絡先」などにチェックを入れることはできません。

13 パートナーシップの画面が表示されたら、必要に応じてデバイス名を変更し [セットアップ] をクリックします。

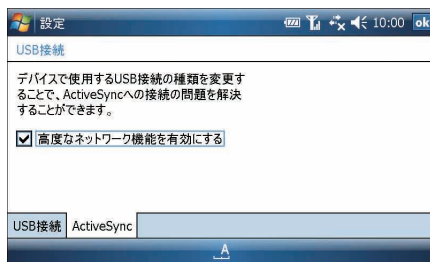
14 セットアップが完了すると、Windows Mobile デバイスセンターの画面に戻り、自動的に同期を行います。

ActiveSyncを使って同期する

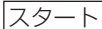
1 スタート メニューの “設定” をタップします。

2 設定画面で 接続 タブをタップし、 “USB 接続” をタップし、USB 接続 タブで「PC と同期する。(ActiveSync)」にチェックを付けます。

3 ActiveSync タブをタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付けます。

設定
10:00 ok
USB接続
デバイスで使用するUSB接続の種類を変更することで、ActiveSyncへの接続の問題を解決することができます。
高度なネットワーク機能を有効にする
USB接続 ActiveSync

4 ok をタップします。

ご注意 ● 本製品とパソコンを同期するときは、必ず手順 **1** ～ **4** を行ってください。手順 **2** の USB 接続の設定が「モデムとして使用する」にチェックが付いていると、同期できません。

5 本製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

自動的に同期が始まります。
本製品とパソコンを接続した状態では、本製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO

- 手動で同期するときは、次の方法で行います。

  パソコン側から同期を実行する

  1 ActiveSync の［ファイル］メニューの［同期］をクリック、または［同期］をクリックします。

  本製品側から同期を実行する

  1 スタート メニューの“プログラム”をタップし、プログラム画面で“ActiveSync”をタップします。

  2 画面左下の 同期 をタップします。

- 本製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから8-9 ページの手順 **7** の②、①の順で取り外してください。

Windows Mobile デバイスセンターを使って同期する

1 本製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

自動的に同期が始まります。
Windows Mobile デバイスセンターは自動的に起動しませんので、起動しておくことをおすすめします。本製品とパソコンを接続した状態では、本製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO

- Windows Mobile デバイスセンターの画面左下に、同期の状況が表示されます。
  同期の状況を確認したいときは、Windows Mobile デバイスセンターを起動してから USB ケーブルを接続してください。

同期をするときの設定を行う

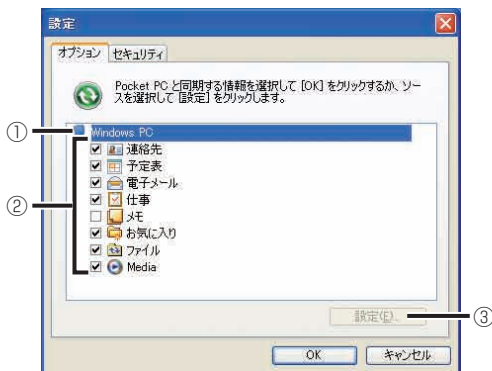
同期を行うときにどのアプリケーションと同期を行うのかを設定できます。

ActiveSync の場合

1 **パソコンと本製品を接続します。**

2 **パソコン側の ActiveSync 画面で、［ツール］メニューの［オプション］をクリックします。**

設定画面が表示されます。

3 **同期に関する設定を行います。**

①同期するパソコン名（フレンドリ名）が表示されます。

「設定」をクリックするとフレンドリ名の変更やパソコンで設定されている日時を本製品に同期させることができます。

・パソコンで設定されている日時を本製品に同期させるときは「接続時に Pocket PC の日時を同期する」にチェックをつけて同期操作を行ってください。

②同期するアプリケーションにチェックを付けます（チェックを外すと同期されません）。

③「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。
- ・予定表　：同期する予定の期間を設定します。
- ・電子メール　：同期する期間、メッセージ形式、サイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
- ・お気に入り　：同期する URL を選択／削除します。
- ・ファイル　：同期するファイルを設定します。同期フォルダに入れたファイルと連動します。

4 ［OK］をクリックします。

設定画面に表示される「ファイル」は、ファイルを同期するためのものです。
パソコンに保存しているファイルを本製品にコピーしたり、本製品のファイルをパソコンにコピーするときは、8-21 ページの方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

Windows Mobile デバイスセンターの場合

1 Windows Mobile デバイスセンターを起動します。

Windows Mobile デバイスセンターを起動せずに次の手順を行っても自動的に同期が始まります（ただし、自動的に Windows Mobile デバイスセンターは起動しません）。

2 パソコンと本製品を接続します。

3 パソコン側の Windows Mobile デバイスセンター画面で、「モバイルデバイスの設定」にマウスポインタを移動し「コンテンツの同期の設定の変更」をクリックします。

設定画面が表示されます。

4 同期に関する設定を行います。

①同期するアプリケーションにチェックを付けます（チェックを外すと同期されません）。

②「予定表」、「電子メール」、「ファイル」の詳細設定ができます。

- 予定表　：同期する予定の期間を設定します。
- 電子メール　：同期する期間、サイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
- ファイル　：同期するファイルを設定します。同期フォルダに入れたファイルと連動します。

5 ［保存］をクリックします。

上記の（ファイル）は、ファイルを同期するためのものです。
パソコンに保存しているファイルを本製品にコピーしたり、本製品のファイルをパソコンにコピーするときは、次ページの方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

ファイルをコピーする

パソコンと本製品の間で相互にファイルをドラッグ＆ドロップでコピーできます。

MEMO
- パソコンから本製品に Microsoft Excel ファイルや Microsoft Word ファイルをコピーすると外出先等でもファイルの内容を確認できます。

1 パソコンと本製品を接続します。

2 ActiveSync の場合

パソコン側の ActiveSync 画面で、[エクスプローラ] をクリックします。ウィンドウが開き、本製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

Windows Mobile デバイスセンターの場合

パソコン側の Windows Mobile デバイスセンター画面で、「ファイル管理」にマウスポインタを移動し、「デバイスのコンテンツの参照」をクリックします。

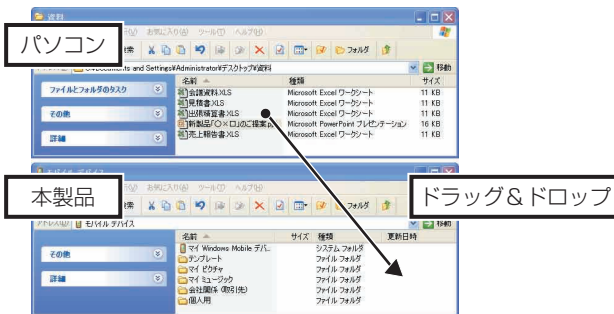
表示された画面で をダブルクリックすると、本製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

3 パソコンのウィンドウを表示し、パソコンに保存しているファイルやフォルダを表示します。

4 コピーしたいファイルを一方のウィンドウからもう一方のウィンドウにドラッグ＆ドロップします。

ドラッグ＆ドロップしたファイルがコピーされます。

パソコン

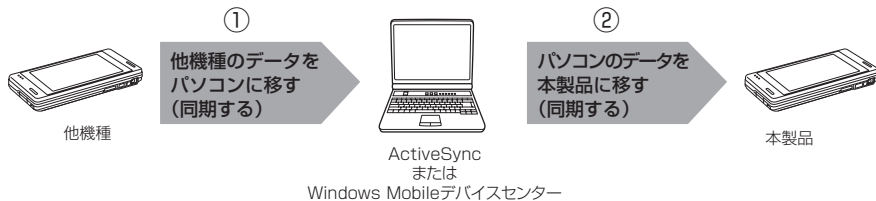
本製品

ドラッグ＆ドロップ

5 ウィンドウ右上の ☒ をクリックしてウィンドウを閉じます。

6 パソコンと本製品を取り外します。

ご注意 ● パソコンから本製品を取り外すとドラッグ＆ドロップしてもコピーされません。

前に使っていた連絡先などを移す

他機種のデータ（予定表や連絡先など）を本製品に移すには、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターの同期を使って行います。「他機種の予定表や連絡先などのデータ」を「パソコンの Microsoft Outlook のデータ」に移したあと、そのパソコンのデータを本製品に移します。ここでは操作の概要を説明します。

同期によって移行できるデータ

・連絡先　・予定表　・仕事
・メモ　・お気に入り　・電子メール※

※電子メールでデータを移行（同期）できるのは、Outlook のアカウントのみです。SH メールやご自分で加入しているプロバイダーメールは同期できません。

ご注意 ● 他機種で Sprite Backup を使って作ったバックアップデータを本製品に移すことはできません。

● **他機種で ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールされていない方**
次ページの手順 **1** ～ **3** に従って他機種のデータを本製品に移します。

● **他機種で ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールしてお使いの方**
次ページの手順 **2** ～ **3** に従って他機種のデータを本製品に移します。

1 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールする（☞8-7 ～ 15 ページ）。

①本製品の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。

② ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールします。

- **ActiveSync の場合**

  インストール時、「同期オプション」画面で「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「お気に入り」にチェックを付けます。

- **Windows Mobile デバイスセンターの場合**

  インストール時、「同期する項目の種類」画面で「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「モバイルのお気に入り」にチェックを付けます。

2 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使って他機種のデータをパソコンに移す

①他機種の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。

②他機種とパソコンを接続します。

③移したいデータの項目を確認して、他機種のデータをパソコンに移します。
Microsoft Outlook と他機種との間で同期が行われ、Microsoft Outlook と他機種のデータが同じ状態になります。

3 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコンのデータを本製品に移す（☞8-16 ～ 17 ページ）。

①本製品の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。

②本製品とパソコンを接続します。

③「同期オプション」画面または「同期する項目の種類」画面で移したいデータの項目を確認して、パソコンのデータを本製品に移します。
Microsoft Outlook と本製品との間で同期が行われます。本製品に何もデータが入っていない状態では、Microsoft Outlook に移した他機種のデータが本製品に移ります。

同期ができないときは

パソコンと同期できない、エラーメッセージが表示されるときは、以下の内容をご確認ください。

同期できないときは

USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続してみてください（☞ 下記）。

USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続する

8-7、8-13 ページの方法でインストールしたあと接続できないときは、USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して試してください（☞8-16 ページ）。

1. パソコンから本製品を取り外します。
2. 本製品の USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外し、ok をタップします。
3. パソコンと本製品を接続します。
4. 「Pocket PC 同期セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されますので、8-10 ページの手順 8 以降をご覧になり操作します。

「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しても同期できないときは

以下の内容をご確認ください。

こんなときは	ここをお確かめください
● インストール直後、同期できず、エラー（「サポートコード：85010014」）が表示される。	● Microsoft Outlook を起動し、「ヘルプ」メニュー－「アプリケーションの自動修復」をクリックします。 自動修復完了後、Windows のプログラムの追加と削除画面で Microsoft ActiveSync を選択し [変更] をクリックします。表示された画面で [次へ] をクリックし、次の画面で「修復」を選択し [次へ] をクリックします。
●「Outlook を既定の設定にしてください」と表示され同期できない。 ●「デフォルトのメールクライアントを設定されていないか、現在のメールクライアントがメールを受け取れない状態にあります。Microsoft Outlook を起動してデフォルトのメールクライアントに指定してください。」と表示され同期できない。	● パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニュー－「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」の項目を「Microsoft Office Outlook」にします。
● ActiveSync インストール後に Outlook をインストールしたり、Windows Media Player10 をインストールまたは Windows Media Player10 にアップグレードしたときは？	● ActiveSync の修復を行ってください。修復の方法は、このページの１つ目の「ここをお確かめください」をご覧ください。

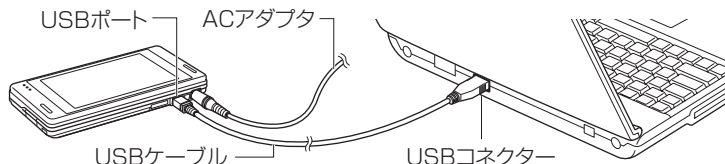
こんなときは	ここをお確かめください
● エラー（「サポートコード：8503001f」）が表示され同期できない。 ●「プロファイル保護がかかっています。プロファイルを作成し直してください。」と表示され同期できない。 ●「電子メールは既に Windows PC と同期しているため同期できません。」と表示され電子メールの同期ができない。 ● エラー（「サポートコード：80072EE2」）が表示され同期できない。	● 現在の同期設定を削除（モバイルデバイスの削除）し、再度、モバイルデバイスを作り直します。 パソコンと本製品の接続を外して、パソコンと本製品に設定されているモバイルデバイスを削除してください。削除後、再度同期を行うと新しいモバイルデバイスが設定されます。 以下の方法でモバイルデバイスを削除してください。 パソコン：ActiveSync 画面の「ファイル」メニューの「モバイルデバイスの削除」をクリックして確認画面で [はい] をクリックします。 本製品：プログラム画面で“ActiveSync”をタップし表示された ActiveSync 画面で[メニュー]－[オプション]をタップし、オプション画面で[削除]をタップして確認画面で[はい]をタップします。 パソコンと本製品の両方のモバイルデバイスを削除した後、USB ケーブルで接続すると「同期セットアップウィザード」画面が表示されますので画面にしたがって操作して同期を行ってください。

どうしても同期ができないときは

Outlook を使える状態にしても同期できないときや前ページの方法でも同期できないときは、Outlook と ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをいったんアンインストールしてください。その後、再度インストールしてみてください。

データ通信

パソコンと本製品を付属の USB ケーブルで接続して、本製品を HSDPA 通信のモデム（※）として利用できます。
※パソコンと接続してインターネットに接続するための機器

USBポート
ACアダプタ
USBケーブル
USBコネクター

データ通信の準備

データ通信を行う前に、このページから 8-36 ページで説明している①～③のことを行います。

①ドライバのインストール（パソコン側）

パソコンにドライバをインストールする必要があります。

データ通信用のドライバをインストールするパソコンの環境
OS
- Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 2）
- Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2）
- Microsoft Windows Vista 32 ビット版

その他
- USB ポート
- CD-ROM ドライブ
- 256 色以上の VGA グラフィックスカードまたは互換性のあるビデオグラフィックスアダプタ
- キーボード
- Microsoft マウスまたは互換性のあるポインティングデバイス

ご注意 ● **次のようなパソコンでの動作は保証できません。**
- ・自作パソコン
- ・OS をアップグレードしたり入れ替えたパソコン
- ・ご自分で追加した USB ポートをお使いのとき
- ・USB ハブなどを経由した接続のとき
- ・パソコンに本製品以外の USB 機器が接続されているとき

パソコンの OS が Windows XP の場合

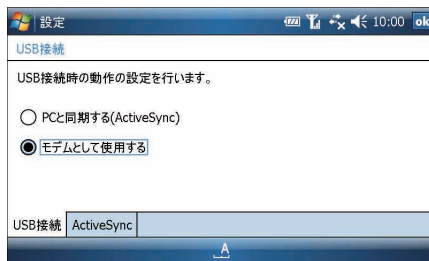
このページから 8-30 ページで説明している手順にしたがって操作してください。
パソコンの OS が Windows Vista の場合は、8-31 ページをご覧ください。

1 **本製品の スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブをタップします。**

設定（接続 タブ）画面が表示されます。

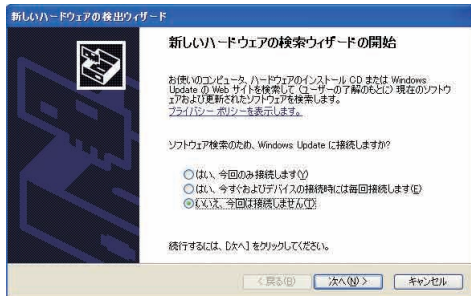
2 **“USB 接続” をタップします。**

3 **「モデムとして使用する」にチェックを付け、ok をタップします。**

本製品をデータ通信機器として使用できます。

4 **付属の Getting Started CD をパソコンにセットします。しばらくすると、自動的にセットアップ画面が表示されますので、画面右上の ✕ をクリックして画面を消します。**

5 **パソコンと本製品を付属の USB ケーブルを使って接続します。**

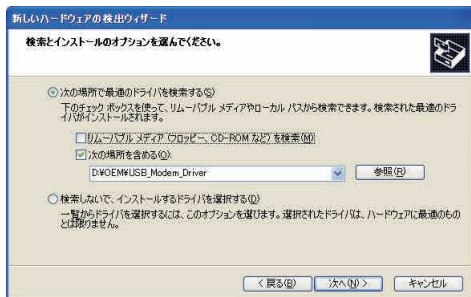
6 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されます。「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ] をクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザード
新しいハードウェアの検索ウィザードの開始
お使いのコンピュータ、ハードウェアのインストール CD または Windows Update の Web サイトを検索して (ユーザーの了解のもとに) 現在のソフトウェアおよび更新されたソフトウェアを検索します。
プライバシー ポリシーを表示します。
ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?
○はい、今回のみ接続します(Y)
○はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します(E)
◉いいえ、今回は接続しません(T)
続行するには、[次へ] をクリックしてください。
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

7 表示された画面で「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、[次へ] をクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザード
このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします:
SHARP USB Modem Driver
ハードウェアに付属のインストール CD またはフロッピー ディスクがある場合は、挿入してください。
インストール方法を選んでください。
○ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)(I)
◉一覧または特定の場所からインストールする (詳細)(S)
続行するには、[次へ] をクリックしてください。
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

8 「次の場所を含める」にチェックを付け、「D：¥OEM ¥ USB_Modem_Driver」と入力し、[次へ] をクリックします。

お使いのパソコンによっては、「D:¥OEM ¥～」ではなく「E:¥OEM ¥～」などとなります。お使いのパソコンの CD-ROM ドライブを指定するようにしてください。くわしくはお使いのパソコンの説明書などをご覧ください。

新しいハードウェアの検出ウィザード
検索とインストールのオプションを選んでください。
◉次の場所で最適のドライバを検索する(S)
下のチェック ボックスを使って、リムーバブル メディアやローカル パスから検索できます。検索された最適のドライバがインストールされます。
☐リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索(M)
☑次の場所を含める(O):
D:¥OEM¥USB_Modem_Driver　参照(R)
○検索しないで、インストールするドライバを選択する(D)
一覧からドライバを選択するには、このオプションを選びます。選択されたドライバは、ハードウェアに最適のものとは限りません。
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

MEMO
- 手順 **8** で入力を間違えてエラーメッセージが表示されたときは、再度入力し直すか［参照］ボタンをクリックして正しいフォルダを指定してください。

9 ［完了］をクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザード
新しいハードウェアの検索ウィザードの完了
次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました:
GlobeTrotter Module 3G+ Flip-Flop Bus
[完了] をクリックするとウィザードを閉じます。
< 戻る(B) 完了 キャンセル

10 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されますので、「いいえ、今回は接続しません」を選択し［次へ］をクリックします。

11 手順 **7** ～ **9** と同じ操作を行います。

12 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されますので、「いいえ、今回は接続しません」を選択し［次へ］をクリックします。

13 手順 **7** ～ **9** と同じ操作を行います。
これで、ドライバのインストールが終了です。

14 ドライバが正常にインストールされると、デバイスマネージャ上の
- ネットワークアダプタに「GlobeTrotter Module 3G+ Network Card」
- モデムに「GlobeTrotter Module 3G+ Modem」
- 多機能アダプタに「GlobeTrotter Module 3G+ Flip-Flop Bus」が追加されます。

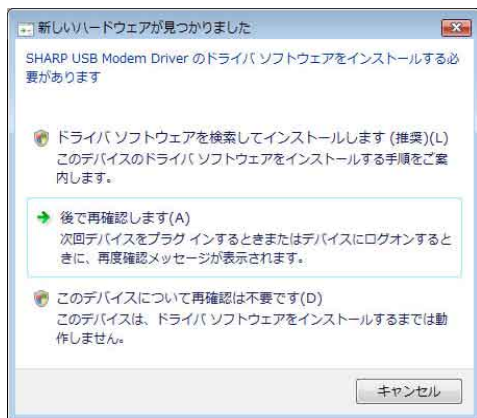
パソコンのOSがWindows Vistaの場合

このページから説明している手順にしたがって操作してください。
パソコンのOSがWindows XPの場合は、8-28ページをご覧ください。

1 本製品側で、[スタート] ー [設定] ー [接続] タブの “USB接続” をタップし、「モデムとして使用する」にチェックを付けて ok をタップします。

2 本製品にACアダプタを接続し、8-37ページ手順**3**のようにパソコンと本製品を付属のUSBケーブルで接続します。

3 しばらくすると「新しいハードウェアが見つかりました」（SHARP USB Modem Driverのドライバソフトウェアをインストールする必要があります）画面が表示されますので、「ドライバソフトウェアを検索してインストールします」をクリックします。

> 新しいハードウェアが見つかりました
>
> SHARP USB Modem Driver のドライバ ソフトウェアをインストールする必要があります
>
> ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします (推奨)(L)
> このデバイスのドライバ ソフトウェアをインストールする手順をご案内します。
>
> 後で再確認します(A)
> 次回デバイスをプラグ インするときまたはデバイスにログオンするときに、再度確認メッセージが表示されます。
>
> このデバイスについて再確認は不要です(D)
> このデバイスは、ドライバ ソフトウェアをインストールするまでは動作しません。
>
> キャンセル

4 「ユーザアカウント制御」画面が表示されますので、[続行] をクリックします。

5
- 「新しいハードウェアの検出 - SHARP USB Modem Driver」（SHARP USB Modem Driverのドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか？）画面が表示されたら、「オンラインで検索しません」をクリックします。
- この画面が表示されないときは、次の手順に進みます。

6 「新しいハードウェアの検出 － SHARP USB Modem Driver」(SHARP USB Modem Driver に付属のディスクを挿入してください) 画面が表示されますので、付属の CD-ROM をパソコンにセットします。

しばらくすると、ドライバのインストールが始まります。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[続行] をクリックします。

7 「新しいハードウェアの検出 - GlobeTrotter Module 3G+Flip-Flop Bus」(このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。) 画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。

8
- 「新しいハードウェアの検出 - 不明なデバイス」(不明なデバイスのドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか？) 画面で「オンラインで検索しません」をクリックします。
- この画面が表示されないときは、次の手順に進みます。

9 「新しいハードウェアの検出 - 不明なデバイス」(このデバイス用のドライバソフトウェアが見つかりませんでした。) 画面が表示されますので、「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」をクリックします。

10 「次の場所でドライバソフトウェアを検索します。」画面が表示されますので、「E: ￥OEM ￥USB_Modem_Driver」と入力し、「次へ」をクリックします。お使いのパソコンによっては、「D: ￥～」などとなります。お使いのパソコンの CD-ROM ドライブを指定するようにしてください。

ドライバのインストールが始まります。

11 「新しいハードウェアの検出 － GlobeTrotter Module 3G+Modem」(このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。) 画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。

(「新しいハードウェアの検出 － GlobeTrotter Module 3G+Network Card」画面になる場合もあります。)

12 ●「新しいハードウェアの検出 － 不明なデバイス」（不明なデバイスのドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか？）画面が表示されますので、「オンラインで検索しません」をクリックします。

●この画面が表示されないときは、次の手順に進みます。

13 しばらくすると、手順 **9** と同じ「新しいハードウェアの検出 － 不明なデバイス」画面が表示されますので、「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」をクリックします。

14 「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」画面が表示されますので、手順 **10** と同様に「E: ¥OEM ¥USB_Modem_Driver」と入力し、「次へ」をクリックします。お使いのパソコンの CD-ROM ドライブを指定するようにしてください。

ドライバのインストールが始まります。

15 「新しいハードウェアの検出 － GlobeTrotter Module 3G+ Network Card」（このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。）画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。

（「新しいハードウェアの検出 - GlobeTrotter Module 3G+ Modem」画面の場合もあります。）
これで、ドライバのインストールは終了です。

16 ドライバが正常にインストールされると、デバイスマネージャ上の
- ネットワークアダプタに「GlobeTrotter Module 3G+ Network Card」
- モデムに「GlobeTrotter Module 3G+ Modem」
- 多機能アダプタに「GlobeTrotter Module 3G+ Flip-Flop Bus」

が追加されます。

②インターネット接続の設定（パソコン側）

ドライバをインストールした後、パソコン側でインターネットに接続するための設定を行います。

パソコンの OS が Windows XP の場合

パソコンの OS が Windows Vista の場合は、次ページをご覧ください。

1 パソコンの「ネットワーク接続」画面を表示し、[ファイル] メニュー－ [新しい接続] をクリックします。

「ネットワーク接続」画面の表示方法は、お使いのパソコンの説明書やヘルプなどをご覧ください。

2 「新しい接続ウィザードの開始」画面で [次へ] をクリックします。

3 「インターネットに接続する」にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

4 「接続を手動でセットアップする」にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

「デバイスの選択」画面が表示されたときは、「モデム－ GlobeTrotter Module 3G+ Modem」にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

6 ISP 名に名称を入力し、[次へ] をクリックします。

7 電話番号に半角で「＊ 99 ＊＊＊ 1#」を入力し、[次へ] をクリックします。

MEMO
- 「＊ 99 ＊＊＊ 1#」は、必ず半角英数字で入力してください。また、入力した記号や数字に間違いがないか確認してください。

8 ユーザー名に半角英小文字で「em」を入力し、パスワードにも半角英小文字で「em」を入力した後、[次へ] をクリックします。

MEMO
- ユーザー名とパスワードは、必ず、半角小文字で「em」を入力してください。

9 ［完了］をクリックします。

設定が完了しました。

MEMO ● 手順 **7** で入力する電話番号と手順 **8** で入力するユーザー名／パスワードは、手順に記載している内容を入力してください。この内容が間違っているとインターネットに接続できません。

パソコンの OS が Windows Vista の場合

パソコンの OS が Windows XP の場合は、前ページをご覧ください。

1 **パソコンの「ネットワークに接続」の画面を表示し､「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックします。**

2 **「インターネットに接続します」を選択して、「次へ」をクリックします。**

3 **すでに接続設定があるときは、「いいえ、新しい接続を作成します」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。**

4 **「ダイヤルアップ」をクリックします。**

「ダイヤルアップ」が表示されていないときは、「このコンピュータで使うようにセットアップされていない接続オプションを表示する」にチェックマークを付けてください。

5 **「ダイヤルアップの電話番号」の項目に半角で「＊ 99 ＊＊＊ 1#」を入力します。**

MEMO ●「＊ 99 ＊＊＊ 1#」は必ず半角英数字で入力してください。また、入力した記号や数字に間違いがないか確認してください。

6 **「ユーザー名」の項目に半角英小文字で「em」を入力し、「パスワード」の項目にも半角英小文字で「em」を入力した後､「このパスワードを記憶する」にチェックを付けて「接続名」に適当な名前を入力します。**

[接続] をクリックします。

MEMO ● ユーザー名とパスワードは、必ず、半角小文字で「em」を入力してください。

※パソコンの詳しい操作については、Windows Vista のヘルプや説明書をご覧ください。

③接続方式をモデムに設定する（本製品）

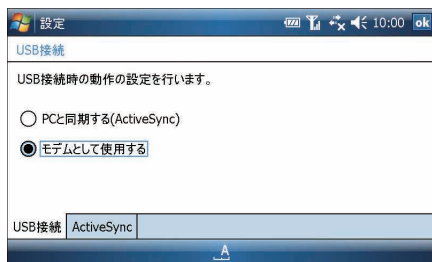
1 スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブをタップします。

設定（接続 タブ）画面が表示されます。

2 “USB 接続” をタップします。

3 「モデムとして使用する」にチェックを付け、ok をタップします。

本製品をデータ通信機器として使用できます。

設定 10:00 ok
USB接続
USB接続時の動作の設定を行います。
PCと同期する(ActiveSync)
モデムとして使用する
USB接続 ActiveSync

MEMO
- ActiveSync を使ってパソコンと同期を行うときは、手順 **3** で「PC と同期する (ActiveSync)」を選択してください（☞ 8-16 ページ）。

パソコンと接続してデータ通信を行う

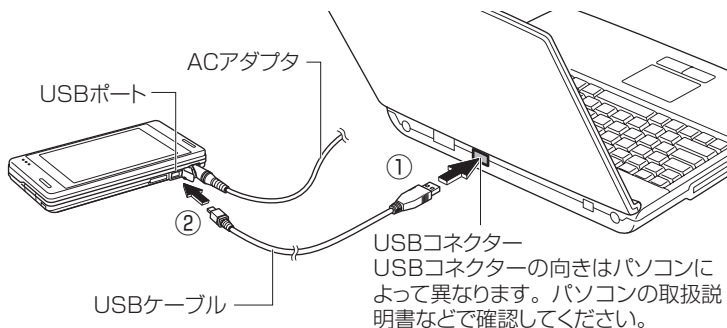
パソコンと接続してデータ通信を行う

1 8-27 ～このページの準備①、②、③を行ったことを確認してください。

まだ、行っていないときは、8-27 ～このページをご覧になり行ってください。

2 本製品のHSDPA通信で通信できることを確認してください。

HSDPA通信が無効（オフ）になっているときは有効（オン）にしてください（☞2-3ページ）。また、本製品単体でインターネットに接続しているときは（タイトルバーのアイコンが ⇄ になっている状態）、⇄ アイコンをタップして 切断 をタップしてください。

3 パソコンを起動し、下図のように①、②の順で本製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

ご注意 ● USBケーブルは、パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。

MEMO ● 本製品の電池残量の消耗を少なくするために、本製品にACアダプタを接続してデータ通信を行うことをおすすめします。

4 パソコンの「ネットワーク接続」画面を表示し、8-34ページで作成したダイヤルアップのアイコンをダブルクリックします。

5 表示された画面で、［ダイヤル］をクリックします。

本製品をモデムとしてインターネットに接続します。

6 パソコンを操作し、ホームページの閲覧やメールの送受信を行います。

パソコン側の操作については、パソコンの説明書やヘルプなどをご覧ください。

MEMO
- 本製品をモデムとして使用しているときは、本製品のインターネット接続アイコンは のままです。
  また、本製品のオートパワーオフ（☞10-21 ページ）を設定しているとき、オートパワーオフの時間になってもオートパワーオフしません。
- ご使用のパソコンにすでに本製品以外のモデムが接続され、そのドライバがインストールされている場合、本製品とパソコンを USB ケーブルで接続せずに前ページ手順 **4** と **5** を行うと、すでに接続されているモデムを使って接続しようとします（この場合、接続できません）。
  このようなときは、ダイヤルアップのアイコンのプロパティ画面を表示し、接続方法を「GlobeTrotter Module 3G+ Modem」に設定し直してください。

パソコンと本製品を取り外す

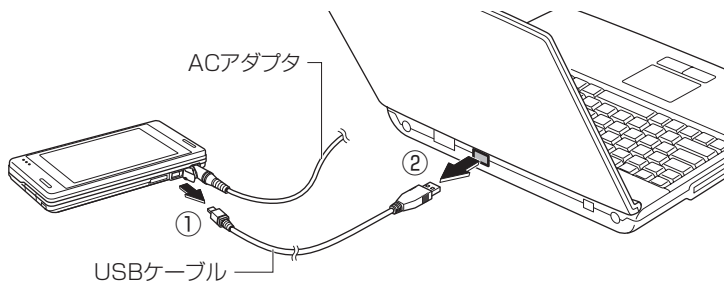
ご注意
- パソコンと本製品を取り外すときは、ネットワークに接続してない状態で行ってください。ネットワークに接続した状態で取り外すと、以降、ネットワーク接続ができないことがあります。
  再度 USB ケーブルを接続してネットワーク接続ができないときは、本製品をリセットしてください（☞12-2 ページ）。

1 **パソコンの「ネットワーク接続」画面を表示し、8-34 ページで作成したダイヤルアップのアイコンをダブルクリックします。**

2 **表示された画面で、［切断］をクリックします。**

回線を切断します。

3 **パソコンを起動したまま、下図のように①、②の順で USB ケーブルを取り外します。**

ACアダプタ
②
①
USBケーブル

周辺機器との接続やデータ交換をする（Bluetooth）

Bluetooth をご利用になる前に

Bluetooth について

Bluetooth とは、10m 以内にある本製品同士や Bluetooth 対応機器（パソコンなど）との間をワイヤレスでつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。
本製品の Bluetooth の仕様は、次のとおりです。

通信方式	Bluetooth 標準規格　Ver. 1.2 準拠
出力	Bluetooth 標準規格 Power Class2
通信距離※1	見通しのよい状態で 10 m以内
対応 Bluetooth プロファイル※2	GAP（Generic Access Profile） SDAP（Service Discovery Application Profile） GOEP（Generic Object Exchange Profile） SPP(Serial Port Profile) HSP(Head Set Profile) DUN(Dial-Up Networking Profile) OPP(Object Push Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) HID(Human Interface Device)
使用周波数帯	2.4GHz 帯（2.402GHz ～ 2.480GHz）

※ 1 通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
※ 2 Bluetooth 対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth 標準規格で定められています。

Bluetooth でできること

本製品同士や Bluetooth 対応パソコンなどとワイヤレスでデータ送信ができます。 → データを送受信する （☞8-43 ページ）

Bluetooth対応ヘッドセットなどを使ってワイヤレスで音楽を聴くことができます。 → ワイヤレスで音楽／音声を出力する （☞8-49ページ）

MEMO ● Bluetooth関連用語について

用語	説明
デバイスアドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12桁の英数字）です。パスコード入力を行って接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは、変更することができません。
GAP (Generic Access Profile)	機器の接続／認証／暗号化を行うためのプロファイルです。
SDAP (Service Discovery Application Profile)	他のBluetooth機器が提供する機能を調べるためのプロファイルです。
GOEP (Generic Object Exchange Profile)	機器間でオブジェクトを転送するためのプロファイルです。
SPP (Serial Port Profile)	仮想的なシリアルケーブル接続を設定してデバイス間を相互に接続するためのプロファイルです。このプロファイルを使って接続するとき、Bluetooth画面（COMタブ）でポートを設定する必要があります。くわしくは、本製品のヘルプをご覧ください。
DUN (Dial-Up Networking Profile)	パソコンなどを使用したデータ通信のためのプロファイルです。
OPP (Object Push Profile)	パソコンなどとアドレス帳データ、スケジュールデータなどを送受信するためのプロファイルです。
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	音を転送するためのプロファイルです。
OBEX (OBject EXchange)	画像データやアドレス帳データのファイル交換を行うための手順です。
認証パスワード	接続する機器からOBEX認証の要求があった場合に入力するパスワードです。本製品では、最大16桁までの英数字を入力できます。

パスコード	Bluetooth 接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。Bluetooth 機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれ同一の英数字（パスコード）を入力する必要がある場合があります。本製品では、最大 16 桁までの英数字を入力できます。
HSP (HeadSet Profile)	ヘッドセットを接続するためのプロファイルです。
HID (Human Interface Device)	キーボードを接続するためのプロファイルです。

※プロファイルとは、Bluetooth 対応機器同士が通信するための標準プロトコルです。さまざまな使用ケースに応じて定義されています。

Bluetooth ご使用時のご注意

- Bluetooth を利用してワイヤレスで接続するには、相手機器も Bluetooth 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
- 本製品同士で通信を行うときの通信距離は、最大 10m です。
- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ・他の Bluetooth 機器とは、見通し距離約 10m 以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。本製品と他の Bluetooth 機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。

    特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ・他の機器（電気製品／AV 機器／OA 機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど）から 2m 以上離れて接続してください（特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず 3m 以上離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHF や衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - ・放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手の Bluetooth 機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎるときは、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth 対応機器の使用する電波帯（2.4GHz 帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- 本製品の Bluetooth 機能では、同時に 2 台以上の機器を接続することはできません。

ご注意

- **本製品は、すべての Bluetooth 機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。**
  - ・接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - ・接続する Bluetooth 機器が Bluetooth 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示･動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
  - ・音声出力時など、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
  - ・ヘッドセット機器などの使い方については、各機器の取扱説明書を参照してください。
  - ・ワイヤレス通信時のセキュリティとして、Bluetooth の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。
    Bluetooth によるデータ通信を行う際はご注意ください。
    Bluetooth によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
    USB ケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth 機能を使用できないことがあります。
- **Bluetooth 通信中※の動作について**
  - ・電池残量がなくなった場合は、Bluetooth 通信が中断され、電源が切れます。

※ Bluetooth 通信中とは、「パートナーシップの確立中」、「データ送受信中」、「接続相手リストからの探索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。

データを送受信する

本製品同士やBluetooth対応パソコンなどと、ワイヤレスでデータの送受信ができます。

本製品の Bluetooth 機能を有効（オン）にする

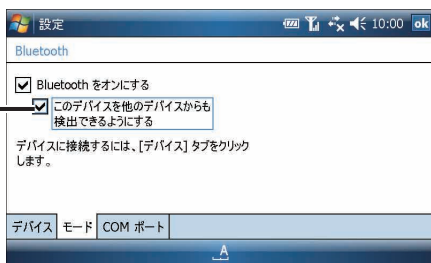
Bluetoothを利用するときは、Bluetooth機能を有効(オン)にする必要があります。
接続する相手機器の Bluetooth 機能も有効（オン）にしてください。

1 スタート メニューの "設定" をタップします。

2 接続 タブにある "Bluetooth" をタップします。

Bluetooth 画面が表示されます。

3 Bluetooth 画面（ モード タブ）の「Bluetooth をオンにする」にチェックを付けます。

相手機器から本製品を検出できるようにチェックを付けます。

ワイヤレスマネージャ画面（☞2-8 ページ）でも Bluetooth を有効（オン）にできます。

4 ok をタップします。

●これまで接続したことのない機器と接続する場合

「パートナーシップを確立する」（☞ 次ページ）に進みます。

●以前に接続したことのある機器と接続する場合

「データを送受信する」（☞8-47 ページ）に進みます。

MEMO

- 内蔵ワイヤレス LAN の有効（オン）時に Bluetooth を有効（オン）にすると、通信速度／通信距離が低下するほか、Bluetooth対応ヘッドセットなどを使って音楽を聴くときに音が途切れたり、音程が変わることがあります。
  どちらかを有効（オン）にしたときは、もう一方を無効（オフ）にすることをおすすめします。

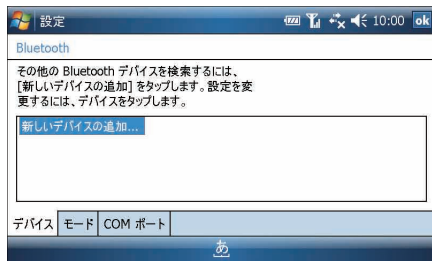
パートナーシップを確立する

- Bluetooth を使って相手機器と接続するときは、安全に情報を交換できるようにパートナーシップを確立します。パートナーシップを確立するには、本製品と相手機器に同じパスコード（最大 16 桁までの英数字）を入力する必要があります。一度パートナーシップを確立すると、次回からこの操作を行う必要はありません。
- ここでは、本製品を送信側、相手機器を受信側として説明します。受信側の操作についてくわしくは、ご使用の機器の説明書をご覧ください。
- 本製品と相手機器が 10m 以内にあることを確認してください。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブの “Bluetooth” をタップします。**

MEMO

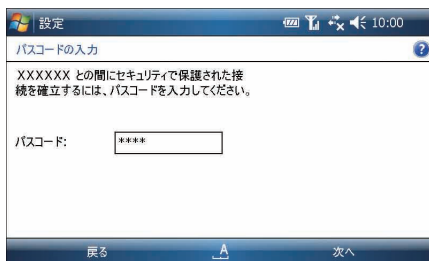
- **受信側の操作**
  相手機器の Bluetooth 機能が有効（オン）になっていることを確認してください。

2 **Bluetooth 画面（デバイス タブ）の「新しいデバイスの追加」をタップします。**

接続可能な機器が検索され、Bluetooth デバイスの選択画面に表示されます。本製品同士の場合、「バージョン情報」（☞10-20 ページ）にあるデバイス名が表示されます。

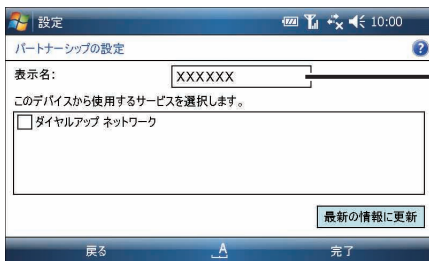
3 **接続する相手機器を一覧から選び、次へ をタップします。**

パスコードの入力画面が表示されます。

4 パスコード（最大 16 桁までの英数字）を入力し、次へ をタップします。

設定 10:00
パスコードの入力
XXXXXX との間にセキュリティで保護された接続を確立するには、パスコードを入力してください。
パスコード: ****
戻る 次へ

MEMO
- **受信側の操作**
  ①パートナーシップ確立の確認メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。
  ②パスコードの入力画面が表示されますので、本製品に入力したのと同じパスコードを入力し、［次へ］などを選択してください。
- 受信側のパスコードは、送信側でパスコードを入力してから約 30 秒以内に入力してください。

5 パートナーシップが確立されると、パートナーシップの設定画面に相手機器の名前が表示されます。

設定 10:00
パートナーシップの設定
表示名: XXXXXX
このデバイスから使用するサービスを選択します。
ダイヤルアップ ネットワーク
最新の情報に更新
戻る 完了

相手機器の名前を表示。タップすると表示名を変更することができます。

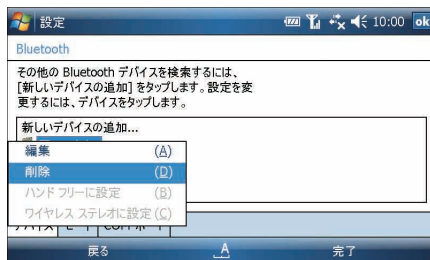
6 使用するサービスにチェックを付け、完了 をタップします。

MEMO
- 一度パートナーシップを確立すると、次回から同じ機器と接続する場合、パートナーシップの確立は不要になります。

パートナーシップを削除する

使わなくなったパートナーシップは、以下の操作で削除できます。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブの “Bluetooth” をタップします。

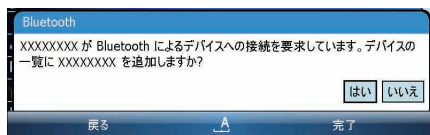
2 Bluetooth 画面（デバイス タブ）で削除したいパートナーシップをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。

3 確認画面で はい をタップします。

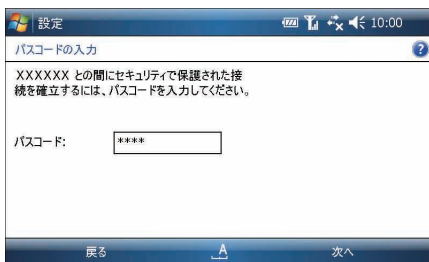
Bluetooth 対応機器からのパートナーシップ要求に応答する

Bluetooth 対応機器から本製品へのパートナーシップ要求に応答することで、パートナーシップを確立することもできます。

1 本製品の Bluetooth 機能を有効（オン）にします。

くわしくは 8-43 ページをご覧ください。

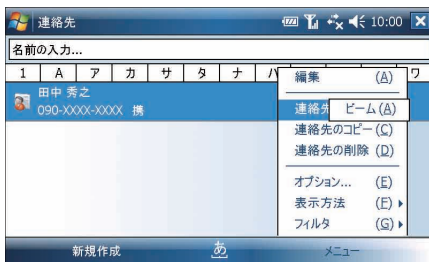
2 パートナーシップの確認メッセージが表示されたら、はい をタップします。

パスコードの入力画面が表示されます。

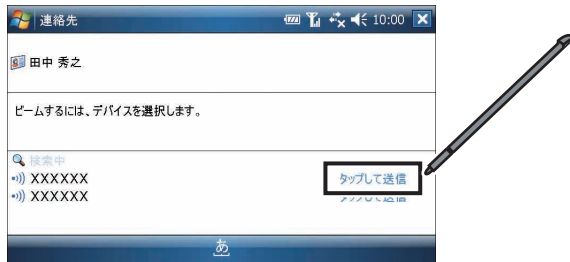
3 相手機器に入力したのと同じパスコードを入力し、次へ をタップします。

4 使用するサービスにチェックを付け、完了 をタップします。

データを送受信する

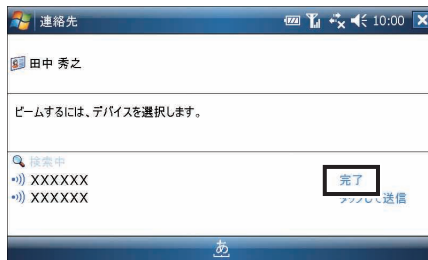
“連絡先”、“予定表”、“仕事”、“メモ”のデータを、本製品同士やBluetooth対応パソコンなどに送受信できます。
ここでは例として、本製品同士で“連絡先”のデータを送受信する方法を説明します。

1 送信側： スタート メニューの “連絡先”をタップして、送信する“連絡先”のデータを選びます。

2 送信側： 画面右下の メニュー － 連絡先の送信 － ビーム をタップします。

「ビームするには、デバイスを選択します。」と画面に表示されます。

3 送信側：送信する相手機器の「タップして送信」をタップします。

4 受信側： 確認メッセージ（××を保存しますか？）が表示されますので、はい をタップします。

受信したデータが連絡先一覧に保存（表示）されます。

5 送信側： 送信が終わると、「タップして送信」が「完了」に変わります。

6 送信側： ok をタップします。

"連絡先"の一覧画面に戻ります。

ワイヤレスで音楽／音声を出力する

Bluetooth 対応ヘッドセットなどを使ってワイヤレスで音楽を聴くことができます。
ヘッドセットの設定や操作方法については、ご使用のヘッドセットの説明書をご覧ください。

MEMO ● ヘッドセットを使って録音することはできません。

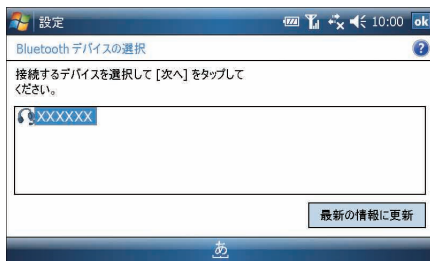
本製品の Bluetooth 機能を有効（オン）にする

くわしくは、「本製品の Bluetooth 機能を有効（オン）にする」（☞8-43 ページ）をご覧ください。

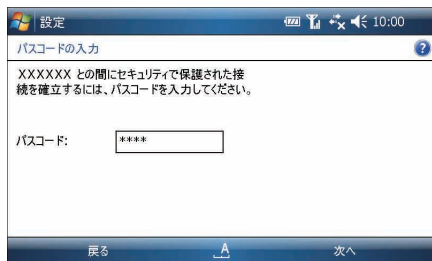
パートナーシップを確立する

1 **「パートナーシップを確立する」（☞8-44 ページ）の手順 1、2 の操作をします。**

2 **Bluetooth デバイスの選択画面でヘッドセットの名前をタップし、 次へ をタップします。**

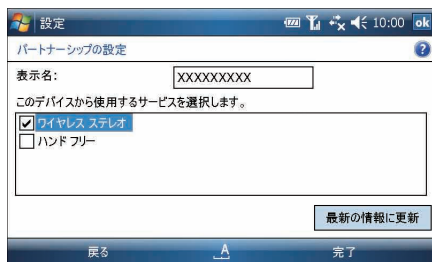
設定 10:00 ok
Bluetooth デバイスの選択
接続するデバイスを選択して [次へ] をタップしてください。
XXXXXX
最新の情報に更新
あ

パスコードの入力画面が表示されます。

3 ヘッドセットのパスコードを入力し、次へ をタップします。

設定 10:00
パスコードの入力
XXXXXX との間にセキュリティで保護された接続を確立するには、パスコードを入力してください。
パスコード: ****
戻る 次へ

パスコードについては、ご使用のヘッドセットの説明書をご覧ください。

4 パートナーシップが確立すると、パートナーシップの設定画面にヘッドセットの名前が表示されます。

5 使用するサービスの一覧で「ワイヤレスステレオ」にチェックを付け、完了 をタップします。

設定 10:00 ok
パートナーシップの設定
表示名: XXXXXXXXX
このデバイスから使用するサービスを選択します。
☑ ワイヤレス ステレオ
☐ ハンド フリー
最新の情報に更新
戻る 完了

MEMO

- 一度パートナーシップを確立すると、次回から同じ機器と接続する場合、パートナーシップの確立は不要になります。この場合は、次の手順で接続ができます。
  1 接続するヘッドセットの電源をオンにします。
  2 本製品の Bluetooth 機能を有効（オン）にします（☞8-43 ページ）。
  3 デバイス タブをタップして、Bluetooth 画面（デバイス タブ）を表示します。
  4 Bluetooth 画面（デバイス タブ）にヘッドセットの名前が表示されたら、その名前をタップしたままにして、表示されたメニューから ワイヤレスステレオに設定 をタップします。
  ※接続するときは、ヘッドセットの電源がオンになっていること（手順 **1**）を確認してください。また、ヘッドセットの設定や操作方法は、ヘッドセットの説明書などをご覧ください。

ワイヤレスでデータ通信を行う

本製品をBluetooth対応パソコンなどと接続してHSDPA通信のモデムとして利用できます。

1 **本製品のBluetooth機能を有効（オン）にします（☞8-43ページ）。**

2 **8-44～45ページの手順1～4をご覧になり、パートナーシップを確立します。**

3 **パートナーシップが確立されると、本製品のパートナーシップの設定画面に相手機器（Bluetooth対応パソコンなど）の名前が表示されます。**

4 **パートナーシップの設定画面で、完了をタップします。**

MEMO
- 一度パートナーシップを確立すると、次回から同じ機器を接続する場合、パートナーシップの確立は不要になります。

5 **相手機器（Bluetooth対応パソコンなど）と接続します。**

① 本製品単体でネットワークを接続している場合は、タイトルバーの ⇄ をタップし、切断をタップしてネットワーク接続を切断します。

② Bluetooth対応パソコンなどから以下の設定で、Bluetoothによるダイヤルアップ接続を実行します。

・電話番号：＊99＊＊＊1#

・ユーザー名：em

・パスワード：em

電話番号、ユーザー名、パスワードに入力する英数字や記号は半角で入力します。

※ダイヤルアップ接続の方法については、お使いのパソコンやパソコンに接続しているBluetoothアダプタなどの説明書をご覧ください。

USB ホストとして使う

本製品は、USB ホスト機能を持っています。
USB メモリや USB キーボードなどと接続して利用することができます。
USB 周辺機器を接続する場合は、別途 USB ホストケーブルが必要です。

ご注意 ● インターネットやメールの送受信など、通信しているときに USB 機器を取り付けたり取り外したりしないでください。通信が切断されることがあります。

遠隔的にパソコンの操作を行う
（リモートデスクトップモバイル）

リモートデスクトップモバイルは、USB ケーブル（ActiveSync、Windows Mobile デバイスセンター）やワイヤレス LAN を経由して本製品上でパソコンの画面を表示するものです。

遠隔的にパソコンの操作を行う

1 スタートメニューの “プログラム” をタップします。

2 プログラム画面で “リモートデスクトップモバイル” をタップします。

リモートデスクトップモバイルの状態表示画面が表示されます。

3 接続に必要な情報を入力します。

IP アドレスまたは接続するパソコンの名前を入力します。

パソコンに設定しているパスワードを入力します。

入力したパスワードを保存するときは、チェックを付けます。

パソコンに設定しているユーザー名を入力します。

接続するパソコンのドメインを入力します。

リモート デスクトップ モバイル 10:00
状態: 未接続
コンピュータ:
ユーザー名:
パスワード:
ドメイン:
パスワードの保存
接続 オプション

4 画面左下の 接続 をタップします。

MEMO
- 表示や音声の設定を行うときは、リモートデスクトップモバイルの状態表示画面で、画面右下の オプション をタップし設定を行います。

その他の機能

9

バックアップする（Sprite Backup）

バックアップは、本製品に保存しているデータ（☞下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）を1つのファイル（バックアップファイル）としてminiSDカードまたは本体にバックアップします。
miniSDカードを取り付けているときは自動的にminiSDカードにバックアップし、miniSDカードを取り付けていないときは本体メモリにバックアップします。
また、miniSDカードまたは本体にバックアップしたファイルを本体に復元します。

バックアップ／復元には「基本モード」と「拡張モード」の2つのモードがあり、目的によって使い分けができます。

・「基本モード」は、この製品に保存しているデータ（☞下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）をバックアップします。また、一番新しいバックアップファイルを復元します。
・「拡張モード」は、指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。また、複数のバックアップファイルがあるとき、バックアップファイルを選択して復元できます。

●バックアップできないデータ

以下のデータはバックアップできません。

・PIN認証設定
・APN設定

● Sprite Backupの動作やバックアップファイルの保存に必要な空き容量

<u>Sprite Backup動作用</u>
本体メモリに約10MBの空きが必要です。

<u>miniSDカードにバックアップファイルを保存するとき</u>
「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」＋「約5MB」の空き容量が必要です（データ記憶用の使用領域は、［スタート］－［設定］－［システム］タブ－［メモリ］をタップして表示されるメモリ画面（［メイン］タブ）で確認できます）。

<u>本体メモリにバックアップファイルを保存するとき</u>
Sprite Backup動作用のメモリ（約10MB）＋「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」＋「約5MB」の空き容量が必要です。

※設定（☞9-10ページ）によってはデータを圧縮してバックアップファイルを作れますが、保存しているデータによって圧縮率が変わるため上記の空き容量を確保することをおすすめします。

●復元について

復元は、本体メモリにバックアップファイル内のファイルを上書きします。
本体メモリに同じファイル名のファイルがある場合は、バックアップファイル内のファイルに置き換わります。
※バックアップした後に画像ファイルや Word Mobile などのファイルを本体に保存するとバックアップファイル内にないファイルが存在し、復元を行ってもそのファイルは本体メモリに残ります。

ご注意

- バックアップを行う前に、すべてのプログラム（ホームページ閲覧、連絡先などのデータ入力など）を終了してください。
- バックアップ中や復元中には、次のことを行わないでください。
  - ・プログラムを起動するなどこの製品を動作させないでください。また、アラームなど自動的に起動する設定は、設定を解除した後にバックアップを行ってください。
    バックアップ中にプログラムを起動すると、中途半端な状態のデータをバックアップすることがあります。
  - ・通信（ワイヤレス LAN、HSDPA 通信、Bluetooth）を行わないでください。
- 復元中に、復元を中止（キャンセル）しないでください。中止したときは、システムが不安定な状態になることがありますので、いったん、完全消去（フォーマット）した後、再度、復元してください。
- 本体の動作が不安定な状態でバックアップは行わないでください。壊れたファイルをバックアップすることがあります。このバックアップファイルを復元すると不安定な状態を復元することになります。
- 本製品にカードリーダーなどの USB 機器を接続した状態でバックアップや復元を行わないでください。
- プロテクトがかかっているデータやプログラム、著作権情報付きの音楽データなどを含んでいるバックアップファイルを復元した場合、これらのデータは復元できないことがあります。
  プログラムやデータ提供元にご確認の上、パソコン等に保存するようにしてください。
- バックアップや復元を行うときは、AC アダプタを接続してからバックアップや復元を行ってください。
- バージョンが違う本製品のバックアップファイルを復元することはできません。本製品のバージョンは、 スタート － 設定 － システム タブ － S01SH 情報をタップして表示される S01SH 情報画面で確認できます。

「基本モード」でバックアップする

本製品に保存している全データをバックアップします。

1 miniSD カードにバックアップファイルを保存する場合、本体に miniSD カードを取り付けます（☞1-57 ページ）。

2 Today 画面を表示し、 : OFF : OFF : ON をタップしてすべての項目を OFF にして、 ok をタップします。

再起動時にパスワードを入力するように設定していた場合、手順 **7** と手順 **8** のリセット後、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し画面左下の ロックの解除 をタップします。パスワード入力画面を表示したくないときは、パスワード画面（☞10-7 ～ 8 ページ）で「パスワード入力が必要になるまでの時間」のチェックを外し、 ok をタップします。

MEMO
- パスワード入力画面が表示される設定のままバックアップを行った場合、手順 **7** のリセットの後、パスワード入力画面が表示され、この画面のままにしておくとバックアップが中断します。パスワード入力画面でパスワードを入力してロックを解除してください。
- PIN コードを設定している場合は、PIN ロックの設定を解除してください。

3 スタート メニューの “プログラム”をタップし、プログラム画面で “Sprite Backup”をタップします。

Sprite Backup 10:00
即時ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
即時復元
最終ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ 該当なし
該当なし
オプション

4 即時バックアップ をタップします。

MEMO
- miniSD カードを取り付けていないときは、 即時バックアップ をタップすると手順 **4** の後に確認画面が表示されますので、 はい をタップします。

5 **表示されたパスワード入力画面で、パスワード（半角英数字 6 文字以上 15 文字以下）を入力します。確認の入力欄にも同じパスワードを入力し、画面左下の OK をタップします。**

このパスワードはバックアップファイル用のパスワードで、バックアップファイルごとに設定できます。

MEMO
- パスワードは、バックアップファイルを復元するときに必要になります（☞ 次ページ、9-9 ページ）。入力したパスワードは忘れないようにしてください。

6 **表示された確認画面の内容をご覧になり、画面左下の OK をタップします。**

7 **自動的にリセットが行われ、バックアップが始まります。**

8 **バックアップ終了後、自動的にリセットが行われます。**

9 **しばらくすると Today 画面が表示されます。さらにしばらくすると「バックアップが完了しました。」の画面が表示されます。**

10 **OK をタップすると、一連の動作が終了します。**

レポート表示 をタップするとバックアップの作業内容が表示されます。
本体のデータは、１つのバックアップファイルとして miniSD カードに保存されます。miniSD カードを取り付けていないときは、本体メモリに保存されます。
１つ目のバックアップファイル名は、Backup_YYYY-MM-DD となります。たとえば、2007 年 11 月 10 日にバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10」となります。同じ日にバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10_1」となり「_1」が付きます。さらにバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10_2」となり最後の数字が増えていきます。

MEMO
- バックアップ時、バックアップファイルを圧縮する／しない、暗号化する／しないなどを設定できます。各種設定については、9-10 ページをご覧ください。

「基本モード」でバックアップしたデータを復元する

「基本モード」でバックアップした一番新しいバックアップファイルを復元します。すでに複数のバックアップファイルがあり、この中から１つのバックアップファイルを指定して復元する場合は、「「拡張モード」で復元する」（☞9-9 ページ）をご覧ください。

1 **バックアップファイルを保存している miniSD カードを本体に取り付けます。**

本体に保存しているバックアップファイルを復元するときは、手順 **2** からはじめます。

2 **ワイヤレス機能をオフにしたり、再起動時にパスワードを入力する設定を無効にするときは 9-4 ページの手順2をご覧ください。**

3 **スタート メニューの “プログラム” をタップし、プログラム画面で “Sprite Backup” をタップします。**

4 **即時復元 をタップします。**

5 **パスワード入力画面で、バックアップ時に入力したパスワードを入力し、画面左下の OK をタップします。**

6 **表示された確認画面の内容をご覧になり、OK をタップします。**

7 **自動的にリセットが行われ、復元が始まります。**

8 **復元完了後、自動的にリセットが行われます。**

9 **しばらくすると Today 画面が表示されます。さらにしばらくすると「復元が完了しました。」の画面が表示されます。**

10 **OK をタップすると、一連の動作が終了します。**

レポート表示 をタップすると復元の作業内容が表示されます。

MEMO

- 復元前と復元後のデータについて
  - ・連絡先や予定表、設定（一部除く）などのデータは、バックアップファイルの内容に置き換わります。
  - ・画像ファイルや Word Mobile、Excel Mobile などのファイルは、復元するファイルと同じファイル名があるときは上書きし、同じファイル名がないときは、そのまま残ります。9-3 ページの「復元について」もご覧ください。

「拡張モード」でバックアップする

「拡張モード」は、指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。

1 **miniSD カードにバックアップファイルを保存する場合、本体に miniSD カードを取り付けます。**

2 **Today 画面を表示し、 : OFF : OFF : ON をタップしてすべての項目を OFF にして、 ok をタップします。**

再起動時にパスワードを入力するように設定していた場合、リセット後、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し画面左下の ロックの解除 をタップします。パスワード入力画面を表示したくないときは、パスワード画面（☞10-7 ～ 8 ページ）で「パスワード入力が必要になるまでの時間」のチェックを外し、 ok をタップします。

MEMO

- パスワード入力画面が表示される設定のままバックアップを行った場合、リセット後、パスワード入力画面が表示され、この画面のままにしておくとバックアップが中断します。パスワード入力画面でパスワードを入力してロックを解除してください。
- PIN コードを設定している場合は、PIN ロックの設定を解除してください。

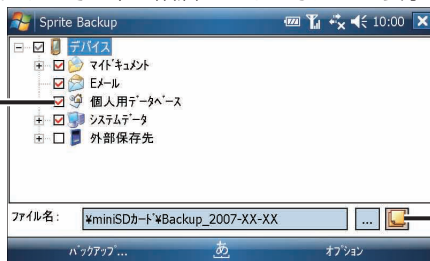
3 **スタート メニューの “プログラム” をタップし、プログラム画面で “Sprite Backup” をタップします。**

Sprite Backup が起動します。

基本モード画面が表示されたときは、 オプション － 拡張モードへ切り替え をタップし、表示された確認画面で OK をタップします。

4 拡張モード画面で、バックアップするフォルダやファイルにチェックを付け［...］をタップします。

［+］をタップするとその下の階層にあるフォルダが表示されます。

チェックを付けた項目をバックアップします。

タップすると、バックアップファイルの説明（コメント）を入力できます。

MEMO ●「E メール」フォルダは、メール（Outlook）のデータです。SH メールのデータは選択できません。

5 「名前」欄に、ファイル名を入力します。

また、必要に応じて場所（My Documents（本体）または miniSD カードの選択）、フォルダの選択、バックアップファイルの説明を入力して画面左下の［OK］をタップします。

MEMO ● 本製品の USB ポートに USB メモリなどのデバイスを接続していると、そのデバイスを保存先として選択できますが、デバイスによってはバックアップできないことがありますので、保存先は、本製品のメモリまたは、本製品に接続した miniSD カードを選択してください。

6 拡張モード画面に戻りますので、画面左下の［バックアップ］をタップします。

7 表示されたパスワード入力画面で、パスワード（半角英数字 6 文字以上 15 文字以下）を入力します。確認の入力欄にも同じパスワードを入力し、［OK］をタップします。

このパスワードはバックアップファイル用のパスワードで、バックアップファイルごとに設定できます。

MEMO ● パスワードは、バックアップファイルを復元するときに必要になります。入力したパスワードは忘れないようにしてください。

8 以下、9-5 ページの手順 6 以降と同様にしてバックアップを行います。

「拡張モード」で復元する

バックアップファイルが複数ある場合、この方法でバックアップファイルを選択し復元します。

1 **バックアップファイルを保存している miniSD カードを本体に取り付けます。**

本体に保存しているバックアップファイルを復元するときは、手順 **2** からはじめます。

2 **Sprite Backup 画面（「拡張」モード）を表示し、画面右下の オプション ー 復元 をタップします。**

3 **… をタップします。**

4 **表示された画面で、バックアップファイルを選択し画面左下の OK をタップします。**

MEMO
- リストには、miniSD カードと本体に保存しているバックアップファイルの両方が表示されます。

5 **表示された画面で、パスワードを入力して OK をタップします。**
入力するパスワードは、バックアップを行ったときに入力したパスワードです。

6 **Sprite Backup 画面（「拡張」モード）に戻りますので、画面左下の 復元 をタップします。**

7 **以下、9-6 ページの手順 6 以降と同様にして復元を行います。**

復元前と復元後のデータについては、9-6 ページのメモをご覧ください。

バックアップ時の設定を行う

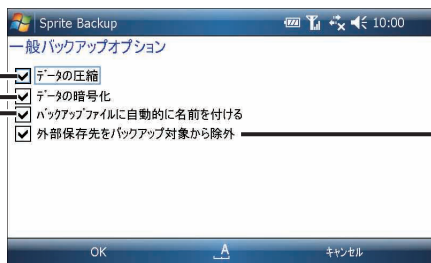
バックアップ時、圧縮や暗号化してバックアップファイルを作ったり、自動的にバックアップファイル名を付ける設定などができます。

一般バックアップオプション

拡張モード画面で、オプション－バックアップ・オプション－一般バックアップオプションをタップします。

圧縮してバックアップファイルを作ります。

バックアップファイルを暗号化します。
※このチェックは外さないようにしてください。

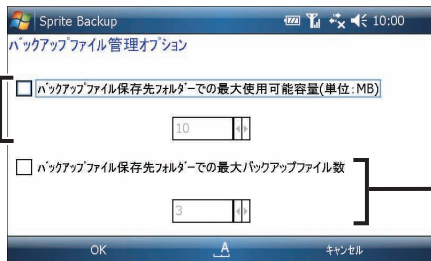
Sprite Backup 10:00
一般バックアップオプション
データの圧縮
データの暗号化
バックアップファイルに自動的に名前を付ける
外部保存先をバックアップ対象から除外
OK キャンセル

バックアップファイルに外部保存先を除外する／しないを設定します。

バックアップ時、自動的にファイル名(「Backup_YYYY-MM-DD)を付けます。(たとえば、2007年11月10日にバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10」となります。同じ日に再度バックアップを行うと、「Backup_2007-11-10_1」となり「_1」が付きます。さらにバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10_2」となり最後の数字が増えていきます。)

バックアップファイル管理

オプション－バックアップ・オプション－バックアップファイル管理をタップします。

保存先フォルダの容量の上限を設定します。バックアップ実行時、新規ファイル作成のために十分な空きスペースがない場合には、日付が一番古いファイルから削除し、充分な空き容量が確保できてからバックアップを実行します。

Sprite Backup 10:00
バックアップファイル管理オプション
バックアップファイル保存先フォルダーでの最大使用可能容量(単位:MB)
10
バックアップファイル保存先フォルダーでの最大バックアップファイル数
3
OK キャンセル

バックアップファイル数の上限を設定します。フォルダ内のファイル数が最大になっているときは、日付の一番古いファイルを削除し新しいファイルを保存します。

除外ルール

バックアップ時、除外ルールのリストに表示されているファイルをバックアップしないようにします。
オプション – バックアップ・オプション – 除外ルール をタップします。

「除外ルールの使用」にチェックを付けます。

+ をタップして表示された画面で除外するファイル名などを入力し、画面左下の OK をタップします。ファイル名を入力するとき、「¥temp」など階層（ディレクトリ）も入力します。

+ をタップして入力したファイル名などが表示されます。

MEMO

- 除外ルールのリストにある「Sprite Backup ファイル」は、Sprite Backup でバックアップしたファイルのことです。
- プログラムなど（*.EXE、*.DLL）を除外するときは、除外ルール画面の オプション – 除外プログラム をタップします。
- 除外ルールのリストにあるファイルなどを外すときは、リストから項目を選択し、– をタップします。
  「Sprite Backup ファイル」を外したあと、再度、リストに入れる場合は オプション – 除外 Sprite Backup ファイル をタップします。

基本モードのオプションメニュー

オプションをリセットする	拡張モードで設定したバックアップオプションをリセットする。
登録する	ネットワーク接続中に、オプション － 登録する をタップし、表示された画面で名前やメールアドレスなどを入力して画面左下の OK をタップすると、Sprite Software 社に登録が行なわれる。登録後、Sprite Software 社から各種情報が送られてくる。
バージョン情報	バージョンを表示する。
ヘルプ	ヘルプを表示する。
拡張モードへ切り替え	拡張モードへ切り替える。
終了	Sprite Backup を終了する。

拡張モードのオプションメニュー

復元	拡張モードで復元を行う。
バックアップオプション	バックアップ時、データの圧縮や暗号化などの設定を行う(☞9-10 ～ 11 ページ)。 オプションをリセットするときは、 オプションをリセットする をタップする。
バックアップ履歴表示	バックアップを行った履歴を表示する。
登録する	ネットワーク接続中に、オプション － 登録する をタップし、表示された画面で名前やメールアドレスなどを入力して画面左下の OK をタップすると、Sprite Software 社に登録が行なわれる。登録後、Sprite Software 社から各種情報が送られてくる。
バージョン情報	バージョンを表示する。
ヘルプ	ヘルプを表示する。
基本モードへ切り替え	基本モードへ切り替える（☞9-4 ページ)。
終了	Sprite Backup を終了する。

電卓

一般の電卓と同じ操作で 10 桁までの計算ができます。

1 スタート メニューの “プログラム” をタップします。

2 プログラム画面で “電卓” をタップします。

タップして表示されている数値を保存します（「M」が表示されます）。

表示されている数値をクリアしたり、エラーを解除します。

メモリ内の数値をクリアします。

メモリ内の数値を表示します。

表示されている数値をメモリに加算します。

入力した数字や計算結果を表示します。

入力した最終桁を削除します。

数値の符号（＋，－）を反転させます（＋は表示されません）。

入力した数字や計算結果をコピー／貼り付けできます。

3 電卓を終了するときは、✕ をタップします。

ファイルを管理する
（ファイルエクスプローラ）

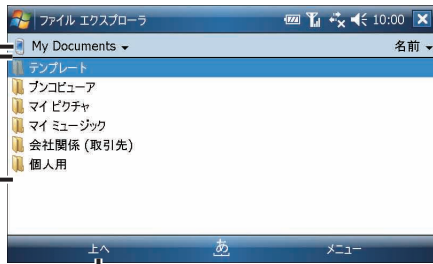
ファイルエクスプローラを使うと新しくフォルダを作成したり、ファイルのコピーやフォルダを移動させるなど、ファイルの管理ができます。
ここでは、ファイルエクスプローラの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。フォルダやファイルをコピー・移動する方法については 1-60 ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラの使いかた

1 **スタート メニューの “プログラム”をタップします。**

2 **プログラム画面で “ファイルエクスプローラ”をタップします。**
ファイルエクスプローラの画面が表示され、「My Documents」などのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

「My Documents ▼」をタップすると現在表示中のフォルダ階層より、上のフォルダ階層へ移動できます。

フォルダをタップすると、フォルダ内のファイル一覧が表示されます。ファイルをタップすると、そのプログラムが起動してファイルを開きます。

ファイル エクスプローラ 10:00
My Documents
名前
テンプレート
ブンコビューア
マイ ピクチャ
マイ ミュージック
会社関係（取引先）
個人用
上へ
あ
メニュー

タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

現在表示中のフォルダ階層より、1 つ上のフォルダ階層へ移動します。

ご注意 ● ファイルエクスプローラを使うと Windows のシステムファイルなどが見られますが、誤って削除したりすると正常に動作しなくなる恐れがあります。

MEMO ● ファイルをタップしてもそのファイルが開かないときは、プログラムを起動して、そのプログラムからファイルを開いてみてください。

ファイルをメールに添付して送る

1 送信したいファイルをタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 送信 をタップします。

「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。
ファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

MEMO
- 送信したいファイルを選択し、画面右下の メニュー － 送信 をタップしても同じ操作が行えます。

3 宛先、件名、本文などを入力します。

メールの送信についてくわしくは、「メールを作って送る」(☞4-13 ページ、4-46 ページ)をご覧ください。

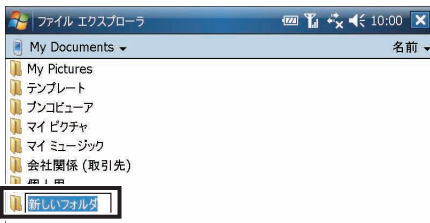
新しいフォルダを作成する

ここでは「My Documents」フォルダの下に新しくフォルダを作ります。
別の階層にフォルダを作成するときは、「My Documents ▼」をタップし、フォルダを選んでください。

1 ファイルエクスプローラ画面で「My Documents」フォルダを開きます。

2 画面右下の メニュー － 新しいフォルダ をタップします。

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

新しくフォルダが作成されます。

MEMO
- ファイルやフォルダのない空白部分をタップしたままにし、ポップアップメニューから 新しいフォルダ をタップしても新しいフォルダが作成されます。

3 フォルダ名を入力します。

その他の機能
ファイルエクスプローラ

フォルダやファイルの名前を変更する

1 名前を変更するファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから 名前の変更 をタップします。

MEMO
- 名前を変更するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー － 名前の変更 をタップしても名前の変更ができます。

3 名前を変更します。

MEMO
- 名前の変更をやめるときは、画面右下の メニュー － 編集 － 元に戻す 名前の変更 をタップして、元に戻します。

フォルダやファイルを削除する

1 削除するファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから 削除 をタップします。

削除の確認画面が表示されます。

MEMO
- 削除するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー － 削除 をタップしても削除の確認画面が表示されます。

3 はい をタップします。

ご注意
- **削除の取り消しはできません。**
  フォルダの削除を実行すると、フォルダ内のファイルやフォルダはすべて削除されます。
- エラーが表示され削除できないときは、そのファイルがプログラムから開かれていることが考えられます。
  関連するプログラムを終了（☞1-54 ページ）した後、削除してください。

フォルダやファイルを移動・コピーする

1-60 ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラのメニュー

My Documents		「My Documents」のファイルとフォルダの一覧を表示する。
パスを開く		ネットワークに接続しているときパスを指定してネットワーク上の共有フォルダを開く。※指定したパスの履歴が残ります。履歴の編集はできません。
送信		タップすると選択しているファイルを添付したメッセージ作成画面を表示する(☞9-15ページ)。
ファイルをビームする		選択したファイルを別のS01SHⅡなどに送信する。
最新の情報に更新		最新の状態に更新する。
すべてのファイルを表示		すべてのファイルを表示する。
新しいフォルダ		新しいフォルダを作成する(☞9-15ページ)。
名前の変更		フォルダやファイルの名前を変更する(☞9-16ページ)。
削除		フォルダやファイルを削除する(☞9-16ページ)。
編集	元に戻す	フォルダやファイルのコピー、名前の変更、移動の操作を元に戻す。
	切り取り	フォルダやファイルを切り取る(☞1-60ページ)。
	コピー	フォルダやファイルをコピーする(☞1-60ページ)。
	貼り付け	コピーおよび切り取ったフォルダやファイルを貼り付ける(☞1-60ページ)。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダやファイルのショートカットを貼り付ける。
	すべて選択	すべてのフォルダやファイルを選択する。

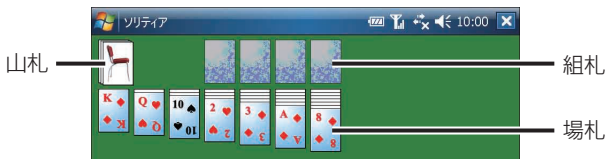
ゲームで遊ぶ

ソリティア

山札のカードを使い切り、すべてのカードを組札に積み重ねるゲームです。
組札には、エースからキングまで、同じマークのカードを数字の小さい順に積み重ねていきます。

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “ゲーム” の “ソリティア” をタップします。**

山札
組札
場札

3 **画面左下の カードをめくる をタップして山札をめくります。**

山札をタップしても山札をめくります。

4 **場札に赤と黒のカードを交互に数字が小さくなるように積み重ねながら、組札にエースを移動し、同じマークのカードを数字の小さい順に積み重ねていきます。**

・組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
・移動したカードを元に戻すときは、画面右下の メニュー － 元に戻す をタップします（直前のプレイを取り消せます)。
・移動できるカードがなくなると終了です。
画面右下の メニュー － 新しいゲーム をタップすると、もう一度最初からゲームを始められます。

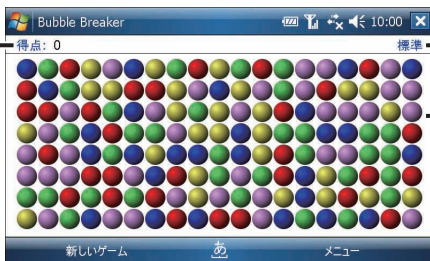
MEMO
● 画面右下の メニュー － オプション で以下の設定が変更できます。
ゲームのルール タブ
・カード（山札）のめくりかたや得点の付けかたなどが設定できます。
カードの模様 タブ
・カードの模様を変更できます。

Bubble Breaker

泡を消すゲームです。
1 度にたくさんの泡を消すと高得点になります。

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “ゲーム” の “Bubble Breaker” をタップします。**

得点が表示されます。

ゲームのスタイルが表示されます。

縦または横に並んでいる同じ色の泡のかたまりをブロックと呼びます。タップして 1 度にたくさんの泡が集まったブロックを消すと高得点になります。

Bubble Breaker 10:00
得点: 0
標準
新しいゲーム
メニュー

3 **消したいブロックをタップします。**
消せるブロックが線で囲われ、得られる得点が表示されます。

4 **もう一度消したいブロックをタップします。**
ブロック内の泡が消え、得点が表示（加算）されます。
・消したブロックを元に戻すときは、画面右下の メニュー － 元に戻す 移動 をタップします（直前のプレイを取り消せます）。
・消せるブロックがなくなると終了です。
画面左下の 新しいゲーム をタップすると、もう一度最初からゲームを始められます。

MEMO
- **ゲームの遊びかたを変更する**
画面右下の メニュー － オプション でゲームの遊びかたを変更することができます。
・ゲームのスタイルは「標準」、「継続」、「シフタ」、「メガシフト」などから選べます。
・色は「カラー」、「グレースケール」が選べます。
変更が終わったら ok をタップしてください。
- **成績を確認する**
画面右下の メニュー － 成績表 でゲームの成績を確認できます。
確認が終わったら ok をタップしてください。

パケットカウンタを使用する

本製品で使用したパケット数をカウントし、パケット量の履歴を見ることができます。

カウントを設定する

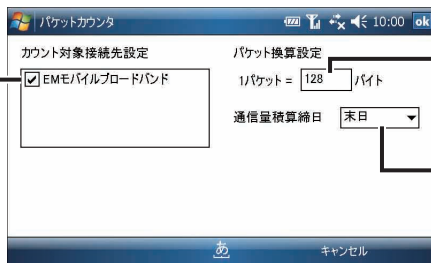
カウントの対象とするダイアルアップの接続先や通信量積算締日などの設定をします。この設定を行わないと、カウントされません。

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “パケットカウンタ” をタップします。**

パケットカウンタ画面（当月）が表示されます。

3 **パケットカウンタ画面右下の メニュー － カウント設定 をタップします。**

カウント対象接続先設定画面が表示されます。

4 **設定が終われば、 ok をタップします。**

MEMO
- パケット換算設定には、1～2048バイトまで設定できます。
  通信量積算締日を変更した場合は、パケット量の履歴データは、リセットされます。

パケット量を表示する

当月／前月／前々月に使用したパケット量の概算を表示できます。

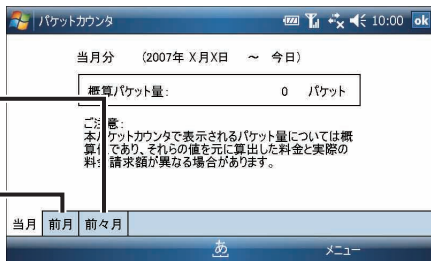
1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “パケットカウンタ” をタップします。**

パケットカウンタ画面（当月）が表示されます。

パケットカウンタ 10:00 ok
当月分 （2007年 X月X日 ～ 今日）
概算パケット量： 0 パケット
ご注意：
本パケットカウンタで表示されるパケット量については概算値であり、それらの値を元に算出した料金と実際の料金請求額が異なる場合があります。
当月 前月 前々月
あ メニュー

タップすると前々月分が表示されます。

タップすると前月分が表示されます。

ご注意
- パケットカウンタで表示されるパケット使用量などは、概算値です。実際の料金請求額と異なる場合があります。
- 本製品をモデムとして使用したとき（☞8-27 ページ）は、パケットをカウントしません。

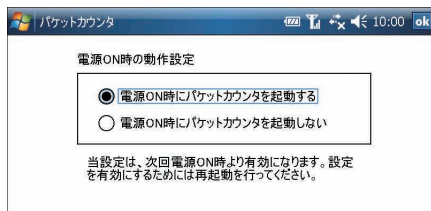
電源 ON 時に起動する／しないを設定する

本製品の電源を入れたときに、パケットをカウントする／しないを設定できます。

ご注意
- 起動時にパケットをカウントする設定にしないと、正しくカウントされません。

1 **パケットカウンタ画面右下の メニュー － 起動設定 をタップします。**

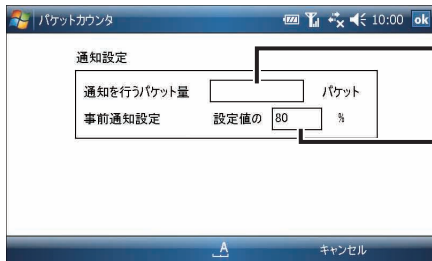
電源 ON 時の動作設定画面が表示されます。

パケットカウンタ 10:00 ok
電源ON時の動作設定
◉ 電源ON時にパケットカウンタを起動する
○ 電源ON時にパケットカウンタを起動しない
当設定は、次回電源ON時より有効になります。設定を有効にするためには再起動を行ってください。

2 設定が終われば、ok をタップします。

パケット使用量を通知する

指定したパケット量になると、事前に通知することができます。

1 パケットカウンタ画面右下の メニュー － 通知設定 をタップします。

通知設定画面が表示されます。

通知するパケット量を入力します。

上記で入力したパケット量を事前に通知するための値を入力します。

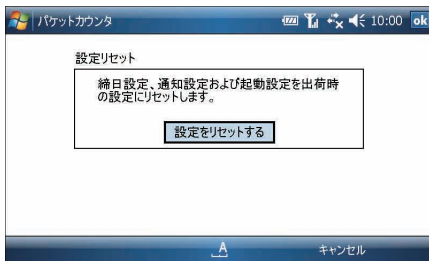
2 設定が終われば、ok をタップします。

ご注意 ● 設定値を設定しなかった場合や 100%に設定した場合は、事前通知画面は表示されません。

パケットカウント設定をリセットする

締日や通知設定などを出荷時の設定に戻します。

1 **パケットカウンタ画面右下の メニュー － 設定リセット をタップします。**

設定リセット画面が表示されます。

2 **設定をリセットする場合は、設定をリセットする をタップします。**

確認画面が表示されます。

3 **メッセージを確認して、設定をリセットする場合は、OK をタップします。**

ご注意 ● 設定をリセットすると通信量積算締日が変更されるため、パケット量の履歴データは、リセットされます。

パケットカウンタのメニュー

起動設定	電源ON時に、パケットカウンタを起動する／しないを設定する。
カウント設定	カウントの対象とするダイアルアップの接続先や通信量積算締日などを設定する。
通知設定	設定したパケット量になると通知するように設定する。
設定リセット	締日や通知設定などを出荷時の設定に戻す。
ヘルプ	ヘルプを表示する。
バージョン情報	バージョン情報を表示する。

Windows Live ／ Messenger

Windows Live を使うとチャット（Messenger）やメール（Hotmail）やスペースを使うことができます。
Windows Live を使うには Windows Live ID が必要です。この ID を取得していない場合は、パソコンなどを使って以下の URL から ID を取得してください。
また、Windows Live や Messenger はネットワークに接続しますので、あらかじめ本製品でネットワークに接続できるようにしておいてください。

URL : http://get.live.com/getlive/overview（2007 年 8 月現在）

MEMO

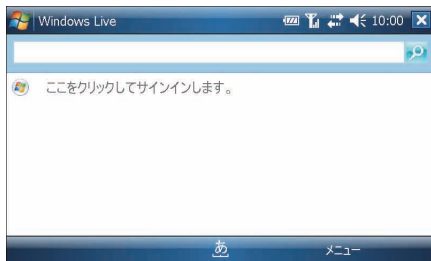
- Windows Live Messenger では、メンバーを登録してその相手とチャットができます。
- Windows Live Hotmail を使うと、本製品のメール（Outlook）に Windows Live というアカウントができ、メール（Outlook）と同様にしてメールの送信や受信ができます。また、パソコンなどの Web ブラウザを使って表示する Hotmail（マイクロソフト社のサーバー）とメール（Outlook）の Windows Live アカウントと同期を取ります。
- Windows Live スペースは、画像とビデオに保存しているファイルをマイクロソフト社のサーバーにある自分の領域にアップできます。

サインインをする

1 スタート メニューの “プログラム” をタップし、 “Windows Live” をタップします。

2 「ここをクリックしてサインインします。」をタップします。

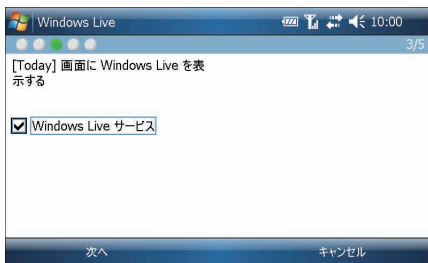
自動的にインターネットに接続します。

Windows Live 10:00
ここをクリックしてサインインします。
あ メニュー

3 本製品からはじめてサインインするときは使用条件の画面が表示されますので、承諾 をタップします。

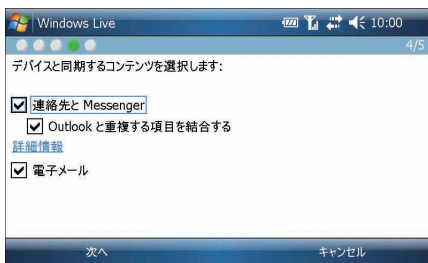
4 表示された画面で、電子メールアドレスとパスワードを入力し、次へ をタップします。

5 表示された画面で、Today 画面に「Windows Live サービス」を表示する／しないを選択し、次へ をタップします。

チェックを付けると表示します。

Windows Live 10:00
3/5
[Today] 画面に Windows Live を表示する
Windows Live サービス
次へ キャンセル

6 表示された画面で､同期する／しないを選択し、次へ をタップします。「連絡先と Messenger」や「電子メール」などにチェックを付けると（サーバーと）同期します。

Windows Live 10:00
4/5
デバイスと同期するコンテンツを選択します:
連絡先と Messenger
Outlook と重複する項目を結合する
詳細情報
電子メール
次へ キャンセル

7 Windows Live 画面が表示されます。

◆◆をタップすると、メール、同期、Messenger が切り替わります。

- **メール**

  メール（Outlook）に「Windows Live」という名称のアカウントが自動的に作成され、サインインしたメールアドレス（XXXXXX@hotmail.co.jp など）を使ってメールの送信／受信を行います。
  メールの送信や受信については、メール（Outlook）の章をご覧ください。
  なお、「Windows Live」という名称のアカウントとご自分で作成したアカウントとでは、機能やメニューなどが異なります。

- **同期**

  マイクロソフト社のサーバーと同期を取ります。パソコンなどで Web ブラウザから Hotmail を使われている場合は、メール（Outlook）の「Windows Live」というアカウントと同期を取ります。

- **Messenger**

  Messenger にサインインしていないときは、「ここをクリックしてサインインします。」をタップして、表示された画面で画面左下の［サインイン］をタップします。
  Messenger を終了するときは、画面右下の［メニュー］－［サインアウト］をタップしてサインアウトしてください。
  Windows Live を終了した後、タイトルバーの ⇄ をタップして［切断］をタップし回線を切断します。Messenger のサインアウトをしていないと、回線を切断しても自動的に再度接続します。

MEMO

- プログラム画面の “Messenger” をタップして、表示された画面で画面左下の［サインイン］をタップしてもサインインできます。

設定

使用環境を設定する

Today 画面など、使いやすいように本製品の環境を設定します。
スタート メニューの “設定” をタップすると、設定画面が表示されます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

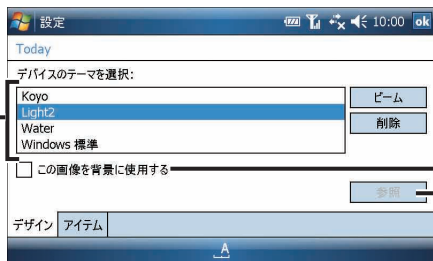
Today 画面を設定する

壁紙などを設定して、自分だけの Today 画面を作成できます。

1 スタート メニューの “設定” をタップして “Today” をタップします。

2 Today 画面に関する設定を行います。

◇ デザイン タブ ◇

Today 画面の背景にするテーマを選択します。

写真など、テーマ以外を背景にするときは、チェックを付けてから 参照 をタップして画像ファイルを選択します。

◇ アイテム タブ ◇

Today 画面に表示するアイテムにチェックを付けます。

※ 本製品ではこの機能に対応しておりません。

Today 画面に表示するアイテムの順番を変更します（「日付」の順番は変更できません）。

「仕事」または「予定表」にチェックを付けた場合、表示する内容の詳細を設定できます（☞10-4ページ）。

3 設定が終わったら、ok をタップします。

画像を「Today」画面の背景に設定する

本製品に保存している画像を「Today」画面の背景として設定できます。

1 画像とビデオ画面で、「Today」画面の背景として設定したい画像をタップしたままにして表示されたメニューから [Today] の背景に設定する をタップします。

「[Today] の背景に設定する」画面が表示されます。

MEMO
- 「Today」画面の背景として設定したい画像を選択し、画面右下の メニュー － [Today] の背景に設定する をタップしても「[Today] の背景に設定する」画面が表示されます。

2 背景にするときの透過レベルを設定します。

透過レベルのパーセントを低くするほど、くっきりした画像になります。

3 設定が終われば、ok をタップします。

MEMO
- 「Today」画面の背景の設定をやめるときは、キャンセル をタップします。

Today 画面に表示する「仕事」と「予定表」の内容を設定する

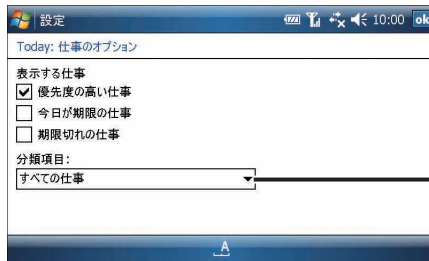
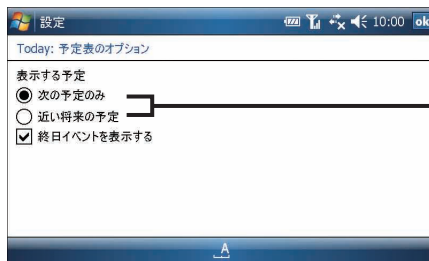
アイテム タブ画面で「仕事」または「予定表」をタップしてから、オプション をタップして設定します。

◇ 仕事 ◇

設定 10:00 ok
Today: 仕事のオプション
表示する仕事
☑ 優先度の高い仕事
☐ 今日が期限の仕事
☐ 期限切れの仕事
分類項目:
すべての仕事

仕事を分類しているとき（☞6-47 ページ）、分類項目を選択します。

◇ 予定表 ◇

設定 10:00 ok
Today: 予定表のオプション
表示する予定
◉ 次の予定のみ
○ 近い将来の予定
☑ 終日イベントを表示する

「次の予定」だけ表示するのか、「近い将来の予定」まで表示するのか、どちらかを選択します。

オーナー情報を設定する

オーナー情報を入力します。

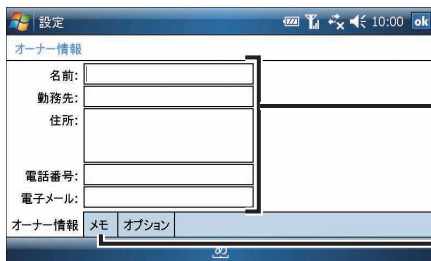
1 **スタート メニューの "設定" をタップします。**

2 **個人用 タブにある "オーナー情報" をタップします。**

オーナー情報の設定画面が表示されます。

3 **オーナー情報に関する設定をします。**

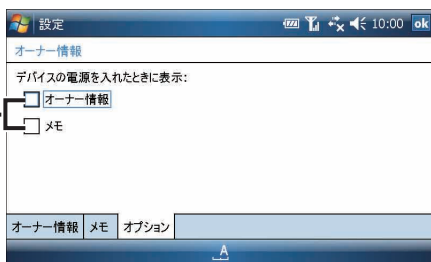
◇ オーナー情報 タブ ◇

設定 10:00 ok
オーナー情報
名前:
勤務先:
住所:
電話番号:
電子メール:
オーナー情報 | メモ | オプション

名前、勤務先、住所、電話番号、電子メールなどを入力します。

タップするとメモを追加できます。

◇ オプション タブ ◇

設定 10:00 ok
オーナー情報
デバイスの電源を入れたときに表示:
☐ オーナー情報
☐ メモ
オーナー情報 | メモ | オプション

チェックを付けると：
本製品の電源を入れたときに、オーナー情報やメモの内容が「マイ インフォ」画面（☞1-14ページ）として表示されます。
（マイ インフォ画面をタップすると、Today画面が表示されます。）

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

ボタンを設定する

本製品のボタンやタブレットキーに割り当てるプログラムや機能を設定します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

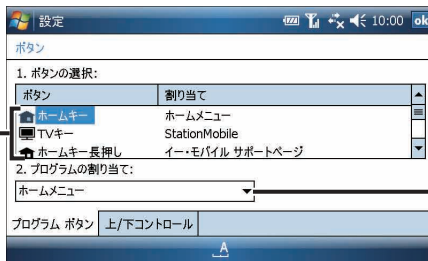
2 **個人用 タブにある “ボタン” をタップします。**

ボタン設定画面が表示されます。

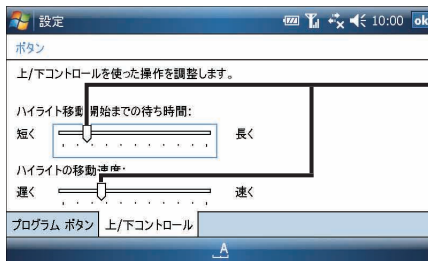
3 **ボタンやタブレットキーなどに割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。**

◇ **プログラムボタン タブ** ◇

「1. ボタンの選択」から設定／変更したいボタンやタブレットキーなどを選択し、「2. プログラムの割り当て」から割り当てるプログラムを選択します。

ボタンやキーなどに割り当てられているプログラムが表示されます。

上のリストで選択しているボタンやキーに割り当てるプログラムを選びます。

◇ **上／下コントロール タブ** ◇

(カーソル) ボタンを押したときスクロールを開始するまでの時間や移動速度、ならびに、キー入力時のリピートを開始するまでの時間やリピート速度を変更します。

つまみをドラッグして調整します。ただし、「ハイライトの移動速度」を左端の「遅く」に設定すると(カーソル)ボタンの上下を押し続けてもハイライトは移動しなくなりますのでご注意ください。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

スタートメニューを設定する

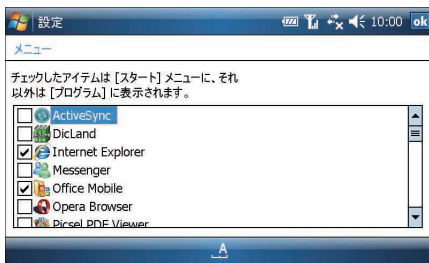
スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **個人用 タブにある “メニュー” をタップします**

メニュー設定画面が表示されます。

3 **スタートメニューに表示したいプログラムなどにチェックを付けます（7 つまで）。**

- チェックを付けたアイテムは、スタートメニュー（☞1-53 ページ）に表示されます。
- チェックを付けていないアイテムは、プログラム画面（☞1-45 ページ）に表示されます。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

他人が使えないようにロックする

電源を入れたときにパスワードの入力画面を表示して、本製品を他人が使えないようにロックします。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **個人用 タブにある “ロック” をタップします。**

パスワード設定画面が表示されます。

3 パスワードなどを設定します。

チェックを付けると：設定時間が経過すると、パスワードの入力画面が表示されます。

強力なパスワードを設定しているとき、パスワードを忘れたときにヒントになる言葉を入力します。パスワードを5回間違えると入力したヒントが表示されます。

パスワードの種類を設定します。
- 数字の簡易パスワードの場合、4桁以上の数字を入力します。
- 強力な英数字のパスワードの場合、英字（大文字または小文字）、数字、区切り記号（/、:など）の3種類を含んだ7文字以上を入力します。

MEMO
- パスワードを設定していないとき、リセットやフルリセットを行い本製品起動時に上記画面が表示されます。この画面を表示しないようにするには、ユーティリティ画面（パスワード確認 タブ）で「無効にする」を選択します（☞10-30 ページ）。

4 設定が終われば、ok をタップします。

5 確認画面で、はい をタップします。

ご注意
- パスワードは忘れないようにしてください。登録したパスワードを忘れると、本製品を使えなくなります。パスワードは控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、完全消去（フォーマット）（☞12-5 ページ）が必要になります。完全消去すると、本製品に入っているデータなどはすべて消去されます。
- キーロック（☞1-16 ページ）を設定しているときはパスワードの入力もできません。キーロックを解除してからパスワードを入力してください。

MEMO
- パスワードを設定すると、パスワード画面を表示するときもパスワードの入力が必要です。

単語登録（Microsoft IME）や文字入力の設定をする

日本語入力システムとして Microsoft IME を使っている場合に、よく使う単語を登録します。また、入力方法の設定や手書き入力の詳細設定などをします。
ATOK をお使いの場合は、日本語入力システム（ATOK）の設定と単語登録をする（☞10-13 ページ）および日本語入力システムを切り替える（☞10-14 ページ）をご覧ください。

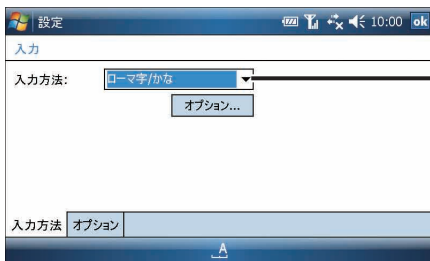
1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **個人用 タブにある “入力” をタップします。**

入力設定画面が表示されます。

3 **よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。**

◇ 入力方法 タブ ◇

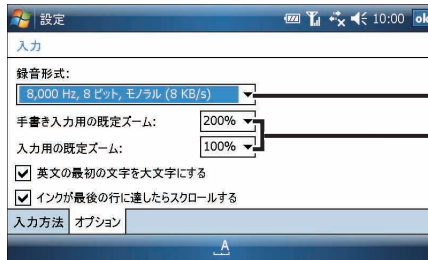
単語の登録と手書き入力パネルの設定をします。

オプションを設定したい入力パネルを選択し、オプション をタップして設定します。

それぞれの入力方法から、以下のオプションが設定できます。

- ひらがな／カタカナ　：単語の登録（☞ 次ページ）
- ローマ字／かな　：単語の登録（☞ 次ページ）
- 手書き検索　：「左手」（手書き入力枠が左になる）設定
- 手書き入力　：「左手」（手書き入力枠が左端になる）設定、「3 つの入力ボックス」（手書き入力枠が 3 つになる）設定、「タイムアウトを使用」（手書きした文字が設定した秒数で消える）設定、「タイムアウト値」（手書きした文字が消える秒数を入力）設定

MEMO ● 手書き入力の設定についてくわしくは 1-34 ～ 36 ページをご覧ください。

◇ オプション タブ ◇

録音形式や入力の詳細設定をします。これらの設定は、録音やメモなどのプログラムに適用されます。

録音形式を選びます。

手書き入力と、キー入力のズームを設定します。

MEMO ● 手書き入力のズームを大きくすると、手書きエリアに表示される罫線の幅が変わり、大きい文字が手書きできるようになります。

4 設定が終われば、ok をタップします。

よく使う単語を辞書に登録する

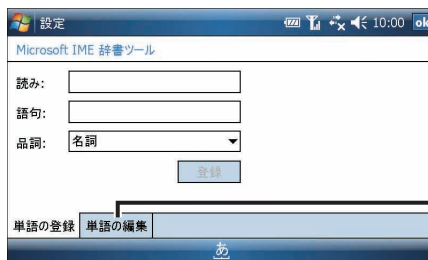
よく使う単語を辞書に登録します。

1 スタート メニューの “設定” をタップします。

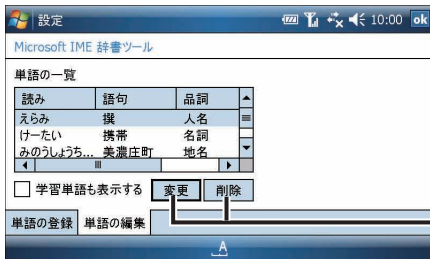
2 個人用 タブにある “入力” をタップします。

入力設定画面が表示されます。

3 「入力方法」欄で ▼ をタップして「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」を選択し、オプション をタップします。

辞書登録画面が表示されます。

登録している単語の一覧を表示します。

4 読み、変換後の語句を入力し、その品詞を設定して、登録 をタップします。

5 登録した単語を変更／削除する場合は、単語の編集 タブをタップします。

変更／削除する単語を一覧から選び、変更 ／ 削除 をタップします。

MEMO

- 本製品には、変換した語を記憶する学習機能があります。
  学習された語は、次回の変換で優先的に表示されます。
  変換ミスなどで誤った語が学習されてしまったときなどは、「学習単語も表示する」にチェックを付けて一覧に表示し、変更や削除をします。

6 設定が終われば、ok をタップします。

音と通知を設定する

アラームや画面のタップ音の設定などをします。

1 スタート メニューの “設定” をタップします。

2 個人用 タブにある “音と通知” をタップします。

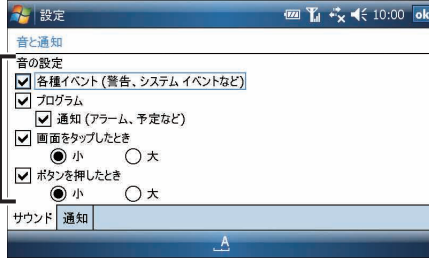
音と通知設定画面が表示されます。

3 音や通知に関する設定をします。

◇ サウンド タブ ◇

“予定表”や“仕事”で設定したアラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

チェックを付けると、その操作（イベント）をしたときに音がでます。

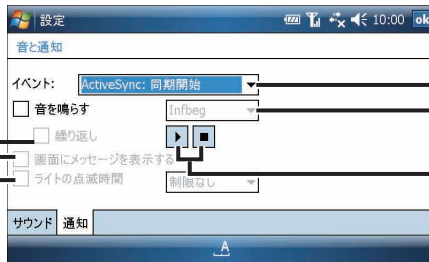
設定
音と通知
音の設定
各種イベント（警告、システム イベントなど）
プログラム
通知（アラーム、予定など）
画面をタップしたとき
小 大
ボタンを押したとき
小 大
サウンド 通知

◇ 通知 タブ ◇

各種イベントを通知する方法にチェックを付けて設定します。
イベントによっては設定できない項目があります。

設定
音と通知
イベント: ActiveSync: 同期開始
音を鳴らす Infbeg
繰り返し
画面にメッセージを表示する
ライトの点滅時間 制限なし
サウンド 通知

通知時に設定した音を繰り返し鳴らします。

アラームや接続の確立などの通知時にメッセージを表示します。

充電ランプ（☞1-2、1-3ページ）の点滅時間を設定します。

設定するイベントを選びます。

鳴らす音を選択します。

選択した音を再生／停止します。

4 設定が終われば、ok をタップします。

MEMO

- サウンド タブで「プログラム」の「通知（アラーム、予定など）」のチェックを外している場合、通知 タブで「音を鳴らす」にチェックを付けていても音は鳴りません。サウンド タブでは、「通知（アラーム、予定など）」のチェックはつけておいてください。

日本語入力システム（ATOK）の設定と単語登録をする

日本語入力システムを切り替えたり、日本語入力システム（ATOK）の変換候補に表示される文字種の設定、よく使う単語の登録、バージョン情報の確認などをします。

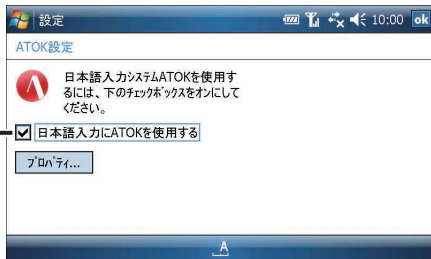
1 スタート メニューの “設定” をタップします。

2 システム タブをタップします。

3 “ATOK 設定” をタップします。

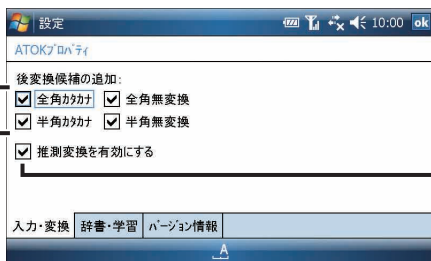
ATOK 設定画面が表示されます。

4 プロパティ をタップします。

チェックを外すと、Windows Mobile 標準の日本語入力システム（Microsoft IME）に切り替えることができます。くわしくは10-9 ページをご覧ください。

5 変換候補の設定や学習データのリセット、単語の登録、バージョン情報の確認などをします。

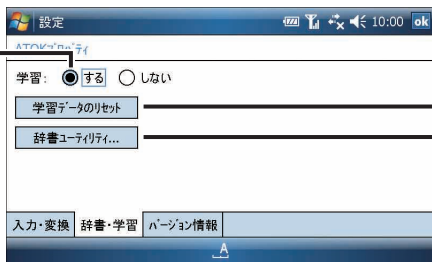
◇ 入力・変換 タブ ◇

変換候補（☞1-23 ページ）に表示される文字の種類を変更したり、推測変換を有効にする／しないを設定します。

チェックの付いている文字種が変換候補一覧に表示されます。

チェックを付けると、文字を入力するたびに、入力した文字から推測される変換候補が表示されます（☞1-25 ページ）。

◇ 辞書・学習 タブ ◇

変換結果を学習する／しないか、学習したデータのリセット、単語登録ができます。単語登録については、「よく使う単語をユーザー辞書に登録する」（☞ 次ページ）をご覧ください。

「する」にチェックを付けると、1度入力した語は次回の変換で優先的に変換候補ウィンドウに表示されます。

変換して学習された語が削除されます。

単語をユーザー辞書に登録する画面が表示されます。くわしくは次ページをご覧ください。

◇ バージョン情報 タブ ◇

ATOK のバージョン情報を表示します。

6 **設定／確認が終われば、ok をタップします。**

7 **さらに ok を数回タップし設定画面を閉じます。**

推測変換候補ウィンドウに表示する文字を変更（☞ 前ページ）したり単語登録（☞ 次ページ）を行った後、設定画面を閉じてください。設定画面を閉じないと変更や登録が有効になりません。

日本語入力システムを切り替える

Microsoft IME と ATOK を切り替えることができます。

1 **前ページの手順 4 の画面で、「日本語入力に ATOK を使用する」のチェックを外します。**

2 **ok をタップします。**

3 **確認画面で はい をタップします。**

本製品が再起動されます。

MEMO
- ATOK の使用を再開するときは、手順 **1** で「日本語入力に ATOK を使用する」のチェックを付けてください。

よく使う単語をユーザー辞書に登録する

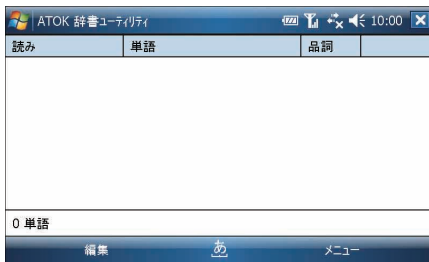
1 10-13 ページの手順 5 の画面で 辞書・学習 タブをタップし、辞書ユーティリティ をタップします。

ユーザー辞書画面が表示されます。

読み	単語	品詞

ATOK 辞書ユーティリティ 10:00

0 単語

編集　あ　メニュー

2 画面左下の 編集 － 登録 をタップします。

3 単語、読み、品詞を入力して、OK をタップします。

4 画面右上の ✕ をタップし、さらに ok を数回タップして設定画面を閉じます。

単語が登録されます。

MEMO

- **登録した単語を削除するときは**
  上記の手順 **2** の画面で、削除したい単語を選択し、画面左下の 編集 － 削除 をタップし、確認画面で はい をタップします。

設定

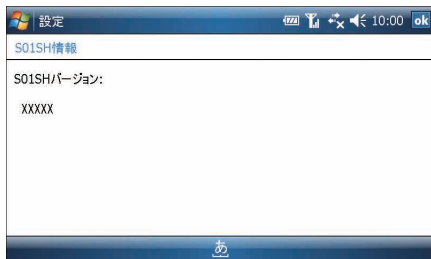
各種設定

ファームウェアのバージョン情報を確認する

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

2 “S01SH 情報” をタップします。

ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

設定 10:00 ok
S01SH情報
S01SHバージョン:
XXXXX
あ

3 確認が終われば、ok をタップします。

エラー報告をする／しないを設定する

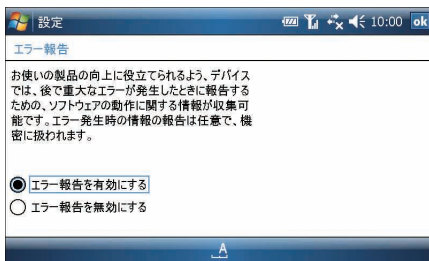
本製品を使っているときに発生したエラー内容を、マイクロソフト株式会社に報告する／しないを設定します。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

2 “エラー報告” をタップします。

エラー報告画面が表示されます。

3 「エラー報告を有効にする」、または「エラー報告を無効にする」をタップします。

設定 10:00 ok
エラー報告
お使いの製品の向上に役立てられるよう、デバイスでは、後で重大なエラーが発生したときに報告するための、ソフトウェアの動作に関する情報が収集可能です。エラー発生時の情報の報告は任意で、機密に扱われます。
エラー報告を有効にする
エラー報告を無効にする

4 設定が終われば、ok をタップします。

MEMO
- エラー報告のために「お詫び」画面が表示されたとき、この画面内に「特別な費用はかかりません」のメッセージが出ますが、情報を送信するための通信費は別途必要となります。

設定
各種設定

バックライトを減光（最小輝度）するまでの時間を設定する

画面のバックライトを減光（最小輝度）するまでの時間を設定します。
バックライトが最小輝度になるとキーボードのバックライトは消灯します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“バックライト” をタップします。**

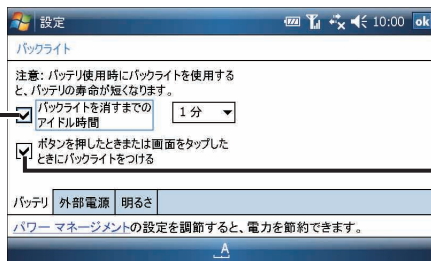
バックライト設定画面が表示されます。

3 **バックライトに関する設定をします。**

◇ バッテリ タブ ◇

電池パックを使っている（AC アダプタを接続していない）ときの設定をします。

チェックを付けると：最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります（プログラムによっては、最小輝度にならない場合もあります）。下記メモもご覧ください。

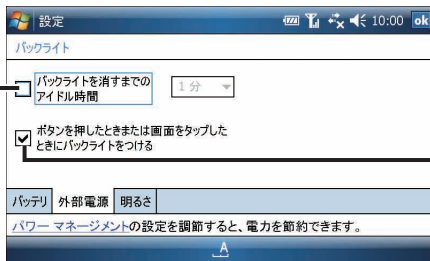
設定
バックライト
注意: バッテリ使用時にバックライトを使用すると、バッテリの寿命が短くなります。
バックライトを消すまでのアイドル時間 1 分
ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける
バッテリ 外部電源 明るさ
パワー マネージメントの設定を調節すると、電力を節約できます。

チェックを付けると：キーを押したり、画面をタップしたらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。

MEMO

- **キーボードのバックライトについて**
  最後の操作から数秒後、キーボードのバックライトが消えます。
  消えた状態で画面タップまたはキーを押すとバックライトが点灯します（パワーマネージメント設定画面（ キーボード点灯 タブ）で「バックライト設定と連動」にチェックを付けているとき（☞10-22 ページ））。

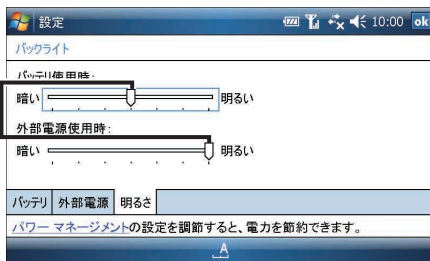
◇ 外部電源 タブ ◇

AC アダプタを接続しているときの設定をします。

チェックを付けると：最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります。

チェックを付けると：キーを押したり、画面をタップしたらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。

◇ 明るさ タブ ◇

バックライトの明るさを設定します。
電池パック使用時、AC アダプタ（外部電源）使用時それぞれの明るさを設定できます。

スライダーを左端に移動すると、バックライトは消灯します。

MEMO

- バックライトを消灯すると、キーボードのバックライトも消灯します。
  また、バックライトの明るさを左端以外（消灯以外）にすると、キー操作中はキーボードのバックライトも点灯します。キーボードのバックライトの明るさは調節できません。

4 **設定が終われば、 ok をタップします。**

バージョン情報などを確認する

CPU やメモリ容量など、本製品に関するバージョン情報を確認できます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“バージョン情報” をタップします。**

バージョン情報確認画面が表示されます。

3 **バージョン情報や本製品の名前を確認します。**

◇ バージョン タブ ◇

本製品のバージョン情報を確認できます。

◇ デバイス ID タブ ◇

本製品の名前を設定します。
ActiveSync などを使って同期を行ったときなど、ここで設定したデバイス名がパソコン側などの画面に表示されます。

◇ 著作権 タブ ◇

本製品の著作権について確認できます。

4 **確認／設定が終われば、ok をタップします。**

パワーマネージメントを設定する

電池残量の確認やオートパワーオフするまでの時間などを設定します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

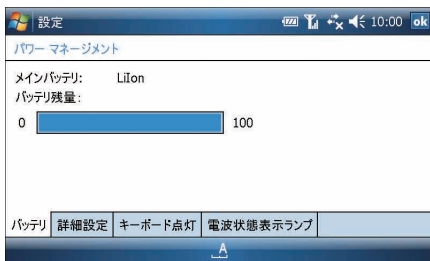
2 **“パワーマネージメント” をタップします。**

パワーマネージメント設定画面が表示されます。

3 **電池残量の確認や、パワーマネージメントの設定をします。**

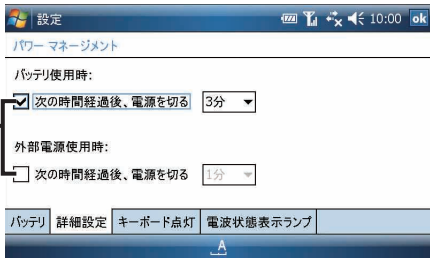
◇ バッテリ タブ ◇

電池（バッテリ）残量を確認できます。

設定 10:00 ok
パワー マネージメント
メインバッテリ: LiIon
バッテリ残量:
0 100
バッテリ 詳細設定 キーボード点灯 電波状態表示ランプ

◇ 詳細設定 タブ ◇

最後の操作から一定時間が経過すると、電源が自動的に切れるように設定します。バッテリ（電池パック）使用時と外部電源使用時（AC アダプタ接続時）を別々に設定します。

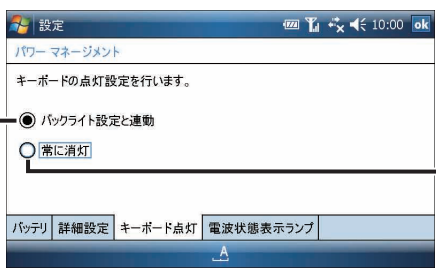
設定 10:00 ok
パワー マネージメント
バッテリ使用時:
次の時間経過後、電源を切る 3分
外部電源使用時:
次の時間経過後、電源を切る 1分
バッテリ 詳細設定 キーボード点灯 電波状態表示ランプ

チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過するとオートパワーオフします。

ご注意 ● **以下のときなどは、設定した時間が経過してもオートパワーオフしません。**
- インターネットなどで通信中
- 付属の USB ケーブルを使ってパソコンと接続中
- Windows Media Player 10 Mobile で再生中
- ブンコビューアの自動表示中
- カメラ起動中
- ワンセグ TV 起動中
- 別売の RGB アダプタを接続しているとき

◇ キーボード点灯 タブ ◇

キーボードのバックライトの設定をします。

キーボードのバックライトが消灯しているとき、画面タップやキーを押すとバックライトが点灯します。ただし、最後の操作から数秒後、キーボードのバックライトは消灯します。

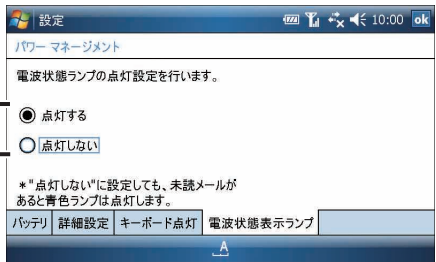
設定
パワー マネージメント
キーボードの点灯設定を行います。
バックライト設定と連動
常に消灯
バッテリ | 詳細設定 | キーボード点灯 | 電波状態表示ランプ

キーボードのバックライトが常に消灯します。

MEMO
- バックライト設定と連動するのは、10-18 ページ、10-19 ページの「ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける」にチェックが付いているときです。
  このチェックが付いていないときは、連動しません。

◇ 電波状態表示ランプ タブ ◇

電波状態を示すランプを点灯する／しないを設定します。電波状態ランプの色で電波強度がわかります。

ランプで電波強度を表示する／しないを設定します。ランプの色は電波強度によって変わります。

設定
パワー マネージメント
電波状態ランプの点灯設定を行います。
点灯する
点灯しない
＊"点灯しない"に設定しても、未読メールがあると青色ランプは点灯します。
バッテリ | 詳細設定 | キーボード点灯 | 電波状態表示ランプ

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

プログラムを削除する

追加したプログラムを削除します。

1 **すべてのプログラムを終了します。**

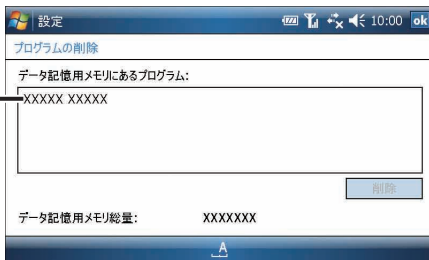
プログラムの終了については、1-54 ページをご覧ください。

2 **スタート メニューの “設定”をタップして、システム タブをタップします。**

3 **“プログラムの削除”をタップします。**

プログラムの削除設定画面が表示されます。

設定 10:00 ok
プログラムの削除
データ記憶用メモリにあるプログラム:
XXXXX XXXXX
削除
データ記憶用メモリ総量: XXXXXXX

削除可能なプログラムが表示されます。

4 **削除するプログラムを選択し、削除 をタップします。**

5 **確認画面で、はい をタップします。**

MEMO

- 連絡先や予定表などのプログラムは削除できません。

マウスポインターの設定をする

ポインティングデバイスを操作して、マウスポインター（ ）を動かせることができ、マウスポインターの表示／非表示や移動速度などの設定をします。

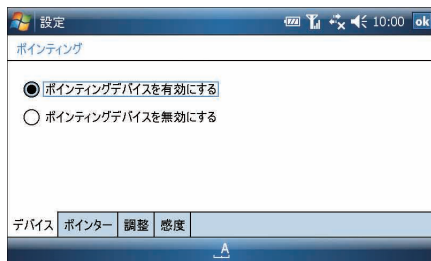
1 **スタート メニューの “設定”をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“ポインティング”をタップします。**
ポインティングの設定画面が表示されます。

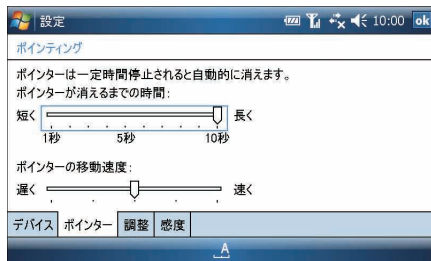
3 **マウスポインターに関する設定をします。**

◇ デバイス タブ ◇

ポインティングデバイスの有効／無効の設定をします。
「ポインティングデバイスを有効にする」にしたとき、ポインティングデバイスをスライドさせると、画面上にマウスポインター（ ）が表示されます。

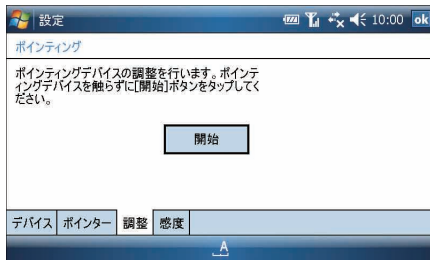
設定 10:00 ok
ポインティング
ポインティングデバイスを有効にする
ポインティングデバイスを無効にする
デバイス ポインター 調整 感度

◇ ポインター タブ ◇

マウスポインターの移動速度や消えるまでの時間などを設定します。

設定 10:00 ok
ポインティング
ポインターは一定時間停止されると自動的に消えます。
ポインターが消えるまでの時間：
短く 長く
1秒 5秒 10秒
ポインターの移動速度：
遅く 速く
デバイス ポインター 調整 感度

MEMO ● デバイス タブの「ポインティングデバイスを無効にする」にチェックを付けているときは、移動速度の設定はできません。

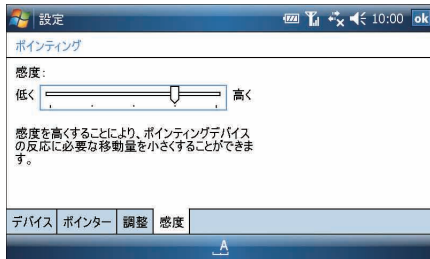
◇ 調整 タブ ◇

ポインティングデバイスの調整を行います。
開始 をタップし、◯ に表示された ↑ と同じ方向にポインティングデバイスをしばらくスライドさせたままにします。
画面に表示される ↑ の方向にしたがって、ポインティングデバイスを押します。

設定 10:00 ok
ポインティング
ポインティングデバイスの調整を行います。ポインティングデバイスを触らずに[開始]ボタンをタップしてください。
開始
デバイス ポインター 調整 感度

MEMO
- デバイス タブの「ポインティングデバイスを無効にする」にチェックを付けているときは、調整はできません。

◇ 感度 タブ ◇

ポインティングデバイスの感度を設定します。

設定 10:00 ok
ポインティング
感度:
低く 高く
感度を高くすることにより、ポインティングデバイスの反応に必要な移動量を小さくすることができます。
デバイス ポインター 調整 感度

MEMO
- デバイス タブの「ポインティングデバイスを無効にする」にチェックを付けているときは、感度の設定はできません。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

メモリを確認する

メモリの使用状況を確認したり、実行しているプログラムの切り替えや終了をしたりできます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

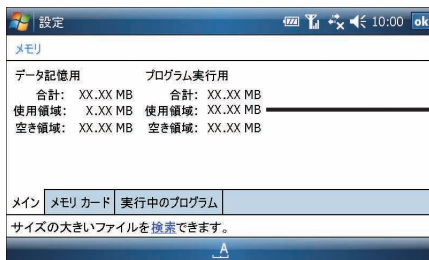
2 **“メモリ” をタップします。**

メモリ設定画面が表示されます。

3 **メモリの使用状況を確認したり、プログラムを終了します。**

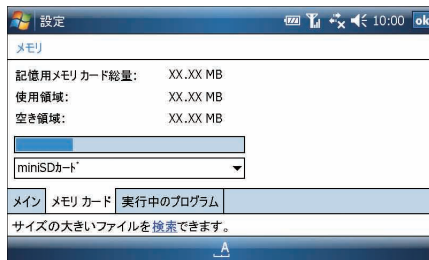
◇ メイン タブ ◇

メモリの使用領域や空き領域を確認できます。

設定 10:00 ok
メモリ
データ記憶用 プログラム実行用
合計: XX.XX MB 合計: XX.XX MB
使用領域: X.XX MB 使用領域: XX.XX MB
空き領域: XX.XX MB 空き領域: XX.XX MB
メイン メモリ カード 実行中のプログラム
サイズの大きいファイルを検索できます。

実行中のプログラムをすべて終了してもシステムが使用領域を使います。

◇ メモリカード タブ ◇

装着しているメモリカードの使用領域／空き領域を確認できます。

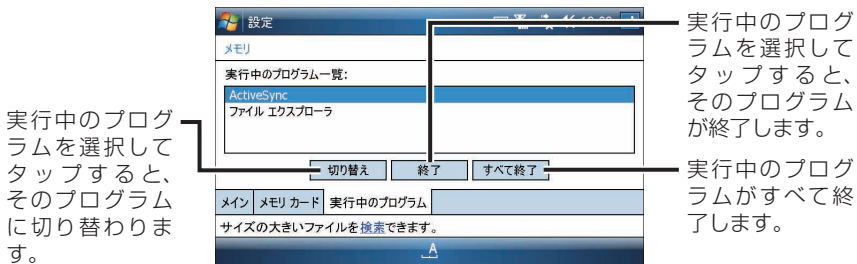
設定 10:00 ok
メモリ
記憶用メモリ カード総量: XX.XX MB
使用領域: XX.XX MB
空き領域: XX.XX MB
miniSDｶｰﾄﾞ
メイン メモリ カード 実行中のプログラム
サイズの大きいファイルを検索できます。

◇ 実行中のプログラム タブ ◇

実行中のプログラムを確認できます。

設定
メモリ
実行中のプログラム一覧:
ActiveSync
ファイル エクスプローラ
切り替え　終了　すべて終了
メイン　メモリ カード　実行中のプログラム
サイズの大きいファイルを検索できます。

実行中のプログラムを選択してタップすると、そのプログラムに切り替わります。

実行中のプログラムを選択してタップすると、そのプログラムが終了します。

実行中のプログラムがすべて終了します。

4 **確認／設定が終われば、ok をタップします。**

メモリ不足を解消する

動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、以下の内容をご覧になりデータ記憶用メモリやプログラム実行用メモリの不足を解消してください。

データ記憶用メモリの不足を解消する

“Internet Explorer Mobile” や “Opera Browser” を使っていろいろなホームページを閲覧していると画像データなどをキャッシュファイルとして一時保存します。キャッシュファイルがデータ記憶用メモリを使っていることが考えられます。プログラムをインストールしたり、大きなファイルを保存していないのにデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、3-11、3-23ページに記載している方法でキャッシュを削除してください。また、このメモリが不足すると縦表示と横表示の切り替えが遅くなることがあります。

プログラム実行用メモリの不足を解消する

動作が遅くなったり、“Picsel PDF Viewer” を使って PDF ファイルを正しく開けなかったり、縦表示と横表示の切り替えが遅くなったときなどは「プログラム実行用のメモリ」が不足していることが考えられます。
このようなときは、1-54 ページをご覧になり、終了するプログラム名をタップし、終了 をタップします。

音量調節ボタン、スタイル切替時の音、RGB 出力の設定をする

音量調節ボタンを押したときの設定や、コントロールスタイルやインプットスタイル（☞1-9 ～ 10 ページ）へ切り替えたときに音を鳴らす／鳴らさないの設定、別売の RGB アダプタを接続して出力する画像サイズの設定ができます。

1 **スタート メニューの “設定”をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“ユーティリティ”をタップします。**

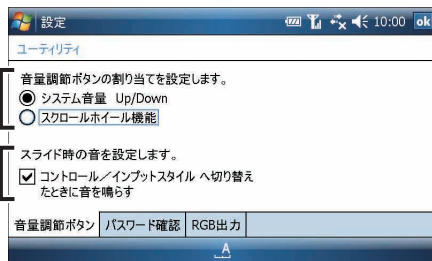
ユーティリティ画面（ 音量調節ボタン タブ）が表示されます。

3 **音量調節ボタン、スタイル切り替え時の音、RGB 出力の設定をします。**

◇ 音量調節ボタン タブ ◇

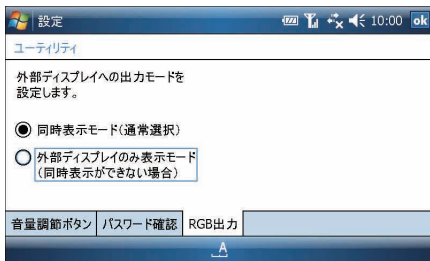
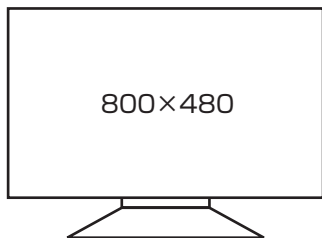
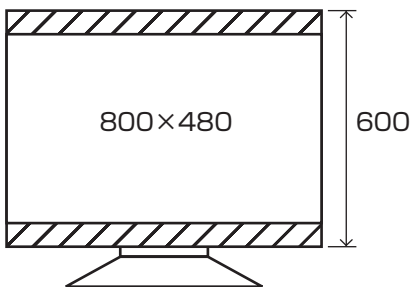
- 音量調節ボタンを押したときに、「システム音量」または「スクロールホイール機能」を設定をします。
- コントロールスタイルやインプットスタイル（☞1-9 ～ 10 ページ）へ切り替えたときに、音を鳴らす／鳴らさないを設定します（チェックを付けると音が鳴ります）。

音量調節ボタンの設定

コントロールスタイルやインプットスタイルへ切り替えたとき、音を鳴らす／鳴らさないの設定

MEMO ● パスワード確認 タブについては、10-30 ページをご覧ください。

ご注意
- 音量調節ボタンを「スクロールホイール機能」にしていると音量調節ボタンを使ってシステム音量のコントロールができなくなります。
- スクロールホイール機能に設定しているとき、プログラムによっては音量調節ボタンを押してもスクロールしません。
- 「コントロール／インプットスタイルへ切り替えたときに音を鳴らす」にチェックを付けても、音量をオフにしていると音は鳴りません。

◇ RGB 出力 タブ ◇

別売の RGB アダプタを接続してプロジェクターやディスプレイに出力するとき、出力モードを設定できます。
「同時表示モード」を選択した場合、800 × 480 ドットで出力されます。
「外部ディスプレイのみ表示モード」を選択した場合、800 × 600 ドットの信号で出力されます。本製品の画面には表示されません。

同時表示モード
ワイド VGA で表示 (800x480 ドットの解像度で出力) し、同じ画面を表示させせることができます。

外部ディスプレイのみ表示モード
SVGA（800 × 600 ドット）の信号で出力し､本製品の画面 (800 × 480 ドット）を表示します。

ご注意
- 「同時表示モード」に設定した場合、プロジェクターやディスプレイによって、上下または左右が切れたり画面中央に表示しない、または画面に表示できないことがあります。このようなときは、「外部ディスプレイのみ表示モード」に設定してください。
- 「外部ディスプレイのみ表示モード」にした場合、本製品の画面やタブレットキー（、 など）をタップしても動作しません。

MEMO
- 別売の RGB アダプタを接続しているときは､オートパワーオフは働きません。

4 設定が終われば、 ok をタップします。

再起動時のパスワード設定をする

再起動時にパスワード入力画面を表示する／しないを設定できます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

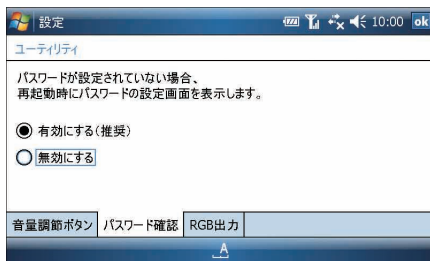
2 **“ユーティリティ” をタップします。**

ユーティリティ画面（ 音量調節ボタン タブ）が表示されます。

3 **パスワード確認 タブをタップし、再起動時のパスワード設定をします。**

◇ パスワード確認 タブ ◇

パスワードを設定していないとき、再起動時にパスワード入力画面を表示しないように設定できます。

設定　10:00 ok
ユーティリティ
パスワードが設定されていない場合、
再起動時にパスワードの設定画面を表示します。
有効にする（推奨）
無効にする
音量調節ボタン　パスワード確認　RGB出力

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

地域を設定する

本製品で使う数値の表示形式を変更できます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“地域” をタップします。**

地域設定画面が表示されます。

3 **各タブで数値の表示形式などを設定します。**

MEMO

- 地域を変更し ok をタップすると、「再起動してください」と表示されます。このときは、リセット（☞12-2 ページ）を行ってください。
- 地域を日本に選択したとき、時刻表示は 24 時間制になります。時刻 タブで時刻の形式を「tt hh:mm:ss」や「tt h:mm:ss」を選択すると 12 時間制になりますが、タイトルバーに表示される時間には AM や PM は表示されません。「H:mm:ss」「HH:mm:ss」を選択して 24 時間制にすることをおすすめします。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

時計を設定する

現在地と訪問先の時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップし、“時計とアラーム” をタップします。**

時計とアラーム設定画面が表示されます。

2 **時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。**

◇ 時刻 タブ ◇

現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

▼ をタップして、表示されたカレンダーから設定する日付をタップします。カレンダーで月を変えるときは◀▶をタップします。

設定
時計とアラーム
現在地 GMT+9 東京、大阪 10:00:00 2007/10/15
訪問先 GMT-8 太平洋 米国 18:00:04 2007/10/14
時刻 アラーム その他

▼ をタップして現在地を選択します。

変更したい時：分：秒をタップしてから▲や▼で時刻を設定します。

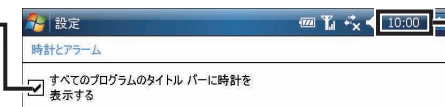
MEMO

- 画面の時分秒のいずれかをタップすると時刻は止まったように見えますが、「訪問先」（灰色になっている時分秒）の時刻で分かるように時刻は進んでいます。このため、変更する時刻の秒を「00」にして、時報に合わせて ok をタップしても実際の時刻と合わなくなります。
正確に時刻を合わせるためには、時報などに合わせて、変更する秒を「00」にしてください。また、ActiveSync と同期するとパソコンと時刻を合わせることができます（☞8-18 ページ）。

◇ その他 タブ ◇

時刻 タブで設定した時刻をすべてのプログラムで、タイトルバーに表示するかしないかを設定します。
チェックを外すと、縦表示にしてプログラム起動中などでは時刻が表示されません。

チェックを付けるとすべてのタイトルバーに時刻が表示されます。

設定 10:00
時計とアラーム
すべてのプログラムのタイトル バーに時計を表示する

タイトルバーの時計表示

3 **設定が終われば、ok をタップします。**

アラームを設定する

決まった時間に音を鳴らしたり、画面にメッセージを表示できます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“時計とアラーム” をタップします。**

時計とアラーム設定画面が表示されます。

3 **アラーム タブをタップします。**

◇ アラーム タブ ◇

決まった時刻に通知するアラームを設定します。

タップしてアラームに表示されるメッセージを入力します。

チェックを付けます。

アラームを設定する曜日をタップして反転します。

タップすると、アラーム音の種類などを設定する画面が表示されます。okをタップするとこの画面に戻ります。

時刻をタップして、表示された画面でアラーム時刻を設定します。okをタップするとこの画面に戻ります。

MEMO

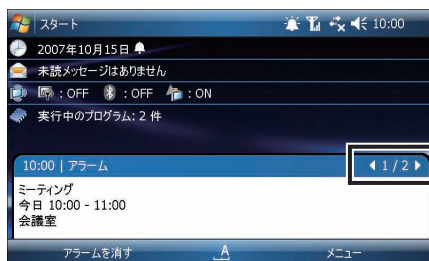
- 音と通知設定画面（☞10-12 ページ）で、「通知（アラーム、予定など）」にチェックを付けないと音は鳴りません。
- “予定表” や “仕事” で設定したアラーム音の種類などを設定するときは、10-12 ページをご覧ください。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

アラーム通知画面を消す／再通知する

アラームは 2 種類あります。
・予定表や仕事で設定したアラーム（☞6-13、6-41、10-12 ページ）
・時計から設定したアラーム（☞ 前ページ）
それぞれのアラームで音の種類の設定ができます。
表示されたアラーム画面は、メニューから内容を確認したり再通知したりできます。

アラーム通知画面を確認する

アラームは、設定した時間になると画面下方に表示されます。

アラーム通知画面が複数あるときは ◀ ▶をタップして確認します。

MEMO
● 予定や仕事のアラーム通知は、画面右下の メニュー － アイテムの表示 をタップすると詳細画面が表示されます。
アラーム通知画面を再度表示するときは、画面左下の アラーム やタイトルバーの をタップします。

アラーム通知画面を消す

1 **アラームの通知画面で、画面左下の アラームを消す をタップします。**

MEMO
- アラーム通知画面が複数あるときは、別の通知画面が表示されます。
- 複数のアラーム通知画面をすべて消すときは、画面右下の メニュー － すべてのアラームを消す をタップします。

アラームを再通知する

1 **再通知したいアラームの通知画面で、画面右下の メニュー をタップし、再通知の時間を選択します。**

・５分前にアラームを表示する：設定している時間の５分前に再通知します。
・５分後に再通知　：今から５分後に再通知します。
・10分後に再通知　：今から10分後に再通知します。
・15分後に再通知　：今から15分後に再通知します。
・1時間後に再通知　：今から1時間後に再通知します。
・1日後に再通知　：今から1日後に再通知します。

miniSDカードに保存するときにファイルを暗号化する

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“暗号化” をタップします。**

「メモリカード内のファイルを暗号化する」にチェックを付けると、miniSDカードにファイルを保存するときに、ファイルを暗号化して保存します。

ご注意
- 暗号化したファイルは、別のS01SH Ⅱやパソコンなど別の機器で開いたり編集などはできません。また、同じS01SH Ⅱでも、本体を完全消去（フォーマット）（☞12-5ページ）した場合、開いたり編集などはできなくなります。この機能をお使いになるときは、十分ご注意ください。

設定

各種設定

画面の設定をする

画面表示の方向や文字のサイズの設定ができます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“画面” をタップします。**

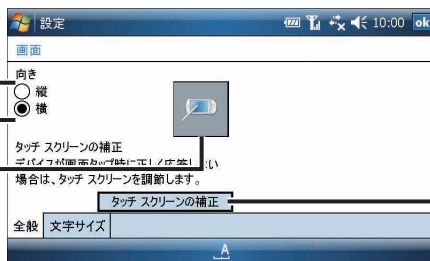
画面設定画面が表示されます。

3 **画面に関する設定をします。**

◇ 全般 タブ ◇

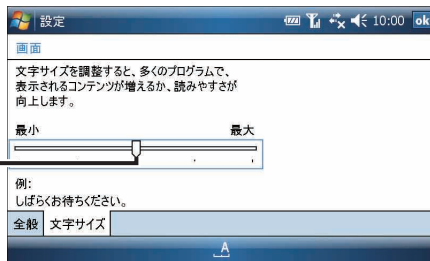
画面の向きを設定したり、タッチスクリーンの調節をしたりします。

画面の向きを設定します。

選択した画面の向きが表示されます。

画面をタップした位置と反応する位置がずれているときは、タップしてタッチスクリーンの補正をします。

◇ 文字サイズ タブ ◇

文字サイズの設定をします。

つまみをドラッグして設定します。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

タッチスクリーンの補正をする

スタイラスペンでタップした位置が画面の位置とずれているときはタッチスクリーンの補正をします。

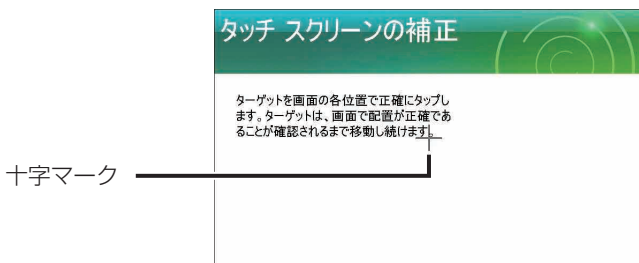
ご注意 ● スタイラスペンで画面をタップするとき、手が画面に触れないようにご注意ください。
また、タブレットキー（ ok など）をタップしないでください。タップすると、画面をタップしたものとして十字マークが移動します。

1 前ページの手順 1 ～ 2 を操作します。

画面設定画面が表示されます。

2 タッチスクリーンの補正 をタップします。

タッチスクリーンの補正画面が表示されます。

3 画面の十字マークの中心を少し長くタップします。

タップすると十字マークが移動します。同様にタップし、以後、同じ操作を繰り返します。

4 タッチスクリーンの補正が終了すると、画面設定画面に戻ります。

証明書を確認する

個人の身元を証明する個人証明書や、接続先のサーバーを識別する証明書を確認できます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“証明書” をタップします。**

証明書の管理画面が表示されます。

3 **証明書を確認します。**

各タブで証明書の内容を確認します。

4 **確認が終われば、ok をタップします。**

MEMO
- 証明書についてくわしくは、ヘルプをご覧ください。

電話番号を確認する

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

設定画面が表示されます。

2 **設定画面で 接続 タブの “HSDPA 設定” をタップします。**

HSDPA 設定画面（情報 タブ）に電話番号が表示されます。

設定 10:00
HSDPA設定
電話番号
XXXXXXXXXXX
ファームウェアバージョン
XXXXX
ユーティリティバージョン
XXXXX
情報 | PIN認証設定 | PIN変更 | APN設定 | 無線ON/OFF
あ

3 **確認が終われば をタップします。**

MEMO ● 本製品では、電話をかけたり受けることはできません。

困ったときは

困ったときは

本製品を使っていて、『使いかたが分からないとき』や『困ったとき』は、ここに書いている内容をご覧ください。

本体操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● **電池残量がすぐに少なくなる**	● **使用していないプログラムを終了する。** Today 画面で をタップし、表示されたメモリ（ 実行中のプログラム タブ）画面で一覧から使用していないプログラムを選択して、 終了 をタップ、または すべて終了 をタップします。 ● **画面の明るさを下げる。** スタート ー 設定 ー システム タブー バックライト ー 明るさ タブをタップして、スライダーで画面の明るさを調節します。スライダーを左端にするとバックライトは最小輝度になります。 ● ワイヤレス LAN がオン（有効）になっているときは、オフ（無効）にしてください。
● **インストールしたプログラムや大きいファイルを保存していないのにメモリの空き領域がほとんどなくなっている**	● データ記憶用メモリの空き領域が少ないときは、インターネットを閲覧した際のキャッシュ (前に表示した WEB コンテンツなどの記憶) でメモリを使用している場合があります。 このようなときはキャッシュを削除してください。 Internet Explorer Mobile の場合： メニュー ー ツール ー オプション ー メモリ タブから ファイルを削除 をタップします。 Opera の場合： メニュー ー ツール ー 設定 ー 履歴 タブから キャッシュ削除 をタップします。 ● プログラム実行用メモリの空き領域が少ないときは、Today 画面で をタップし表示されたメモリ（ 実行中のプログラム タブ）画面で、一覧から使用していないプログラムを選択して 終了 をタップ、または すべて終了 をタップします。

こんなときは	ここをお確かめください
● 画面が暗い	● バックライトの明るさの設定が暗くなっていませんか（☞10-19 ページ）。
● 電源が入らない	● 電池カバーが、しっかり閉まっているか確認してください。 ● 電池パックが充電されているか確認してください。
● 充電ランプが点灯しない ● 充電ランプが点滅する	● 次の順で、充電ランプが点灯（オレンジ色）するかを確認してください。いずれの場合も点灯したときは電池パックを 10 分程度充電してください。 ① AC アダプタを取り外してから、再度 AC アダプタを接続して点灯するか確認してください（点灯しないときは②へ）。 ② AC アダプタを取り付けた状態で、リセット (☞12-2 ページ) を行ってください（点灯しないときは③へ）。 ③ AC アダプタを取り付けた状態で、フルリセット（☞12-3 ページ）を行ってください。
● 充電したが本体の電源が入らない ● 充電開始後所定の充電時間以上が経過しても充電ランプが消灯しない	● 長期間使用しなかったときなど電池パックが過放電の状態になっている場合は、しばらく充電しても本体の電源が入らなかったり、所定の充電時間以上充電しても、充電ランプが黄緑色にならないことがあります。そのときには、AC アダプタを取り外してからリセット（☞12-2 ページ）をして再度充電してみてください。 ● 指定の周囲温度（0 ～ 40℃）で充電してください。 ● 満充電後、そのままにしておくと、電池残量が減り、また充電がはじまる場合があります。
● 急に電源が切れた	● パワーマネージメントを設定していると電源が切れます（☞10-21 ページ）。 ● 電池残量が少なくなると、電源が切れます。すぐに AC アダプタを使って充電してください (☞1-7 ページ)。 ● 強い静電気や電気的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。
● 電源を入れても何も表示されない（電源が入らない） ● 画面が明るくなるだけで文字などが表示されない	● 電池残量を確認してください（☞1-41、10-21 ページ）。 ● リセットしてください（☞12-2 ページ）。

こんなときは	ここをお確かめください
● 電源を入れようとしても、1、2 秒間隔で電源が入りそうになるが、入らない	● 電池残量がありません。AC アダプタを使って電池パックを充電してください（☞1-7 ページ）。
● AC アダプタを使用中や充電中に、AC アダプタや本製品が温かくなる	● 故障ではありません。AC アダプタ使用中や充電中は、AC アダプタや本製品は温かくなります。
● すべてのキーが働かない ● データを正常に表示しない	● 「異常が起きたとき」（☞12-2 ページ）の対処方法を順に試してみてください。 ● キーロックにしていませんか。 キーロックが働いているとキーを押しても動作しません。キーロックを解除してください（☞1-16 ページ）。
● miniSD カードを認識しない	● 奥までしっかりと装着していることを確認してください。 ● 表裏が逆になっていませんか。端子面を下にして装着してください（☞1-57 ページ）。 ● いったん本体からカードを取り外し、リセット（☞12-2 ページ）をしてから、再度カードを装着してください。
●「シュルシュル」という音がする	● 静かな場所でご使用のとき、「シュルシュル」という音が聞こえる場合がありますが、これは構成回路の動作音であり、故障ではありません。
● ポインティングデバイスをスライドさせていないのに、マウスポインターが表示され勝手に動く	● ポインティングデバイスは磁力の変化を原理にしているため、ポインティングデバイスに磁石を近づけるとマウスポインターが表示され動きます。磁石を近づけないようにしてください。 ● 長く使っていると、インプットスタイル（☞1-9 ページ）とコントロールスタイル（☞1-10 ページ）のポインティングデバイスの調整にズレが生じることがあり、これが原因でマウスポインターが表示され勝手に動くことがあります。このようなときは、インプットスタイルとコントロールスタイル両方で、ポインティングデバイスの調整（☞10-24 ～ 25 ページ）を行ってください。

こんなときは	ここをお確かめください
● 長時間使用しなかった後、電源が入らない	● 電池残量がありません。電池パックを充電してください（☞1-7 ページ）。 電源 OFF の状態でも、満充電の電池パックは約 10 日間、満充電の大容量電池パックは約 16 日間経過すると完全に消耗します。

インターネット接続／メール操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● インターネットに接続できない	● 電波状況が良好か確認してください（☞1-3、1-40 ページ）。 ● PIN コードが設定されていたり（PIN）、PIN ロック状態（LOCK）、EM chip が取り付けられていない（USIM）ときは、HSDPA 通信やワイヤレス LAN が使用できなくなり、ネットワークに接続することができなくなります。PIN コードが設定されていないか、PIN ロック状態でないか、EM chip が取り付けられているか確認してください。 ● ×になっていませんか。×のときはインターネットに接続できません。HSDPA 通信を有効（オン）にしてください（☞2-3 ページ）。 ● APN 設定が正しことを確認してください（☞2-4、2-16 ページ） ● いったん電源を切って、再度電源を入れてください。 ● 本体をリセットしてください（☞12-2 ページ）。 ● 本製品単体でインターネットに接続するときは、USB ケーブルを取り外してください。

こんなときは	ここをお確かめください
● EM モバイルブロードバンドの番号の前に「+01」などが付いて接続できない。	● 「ダイヤルルールを使用する」にチェックをつけていませんか。チェックが付いていると「+01」などが付いて接続できません。以下のようにして、チェックを外します。 1 スタート － 設定 － 接続 タブ－ 接続 アイコンをタップします。 2 表示された接続画面（ 設定 タブ）で、既存の接続を管理 をタップします。 3「EM モバイルブロードバンド」を選択し 編集 をタップし続いて 次へ をタップします。 4 表示された画面で、ダイヤルルールを使用します をタップします。 5「ダイヤルルールを使用する」のチェックを外し、表示された確認画面で OK をタップします。 6「ダイヤルルールを使用する」のチェックが外れていることを確認して、画面左上の ok をタップします。 7 次へ をタップします。 8 完了 をタップします。 これで、EM モバイルブロードバンドの番号の前に付いていた「+01」などが消え、インターネットに接続できます。
● EM モバイルブロードバンドの接続設定が消えて接続できない。	● 以下の手順で、接続設定を追加してください。 1 スタート － 設定 － 接続 タブ－ 接続 アイコンをタップします。 2 表示された接続画面（ 設定 タブ）で、新しいモデム接続の追加 をタップします。 3 接続名に「EM モバイルブロードバンド」を入力、モデムの選択で「GlobeTrotter Module 3G+ Modem」を選択し、次へ をタップします。 4「＊ 99 ＊＊＊ 1#」を入力し、次へ をタップします。 5 ユーザー名に「em」、パスワードに「em」を入力し、完了 をタップします。

こんなときは	ここをお確かめください
● ネットワークの切断ができない	● いったん電源を切って、再度電源を入れてください。 ● 本体をリセットしてください（☞12-2 ページ）。
● メールの送信や受信ができない	● メールアドレス、ユーザー名、パスワード、メールサーバーなどが、プロバイダーから指定されたものと合っているか確認してください。 ● “メール（Outlook）”の場合、設定（☞4-11 ページの手順 **12**）によっては「送信トレイ」に入ったままになっています。画面右下の メニュー － 送受信 を行ってみてください。 【メール（Outlook）】 ● サーバーによっては送信する前に認証を必要とする場合があります。 このような場合は、「送信電子メールには SSL が必要」（☞4-10 ページ）にチェックを付け設定を行います。 【SH メール】 ● サーバーによっては送信する前に認証を必要とする場合があります。 このような場合は、「送信サーバーの認証設定」（☞4-43 ページ）にチェックを付け設定を行います。
● 電波状態アイコンが、Y!になったり、Y の状態から変化しないときや電波状態アイコンが消える	● いったん電源を切り、再度電源を入れてください。 ● 本体をリセットしてください（☞12-2 ページ）。
● メールが途中で切れている／添付ファイルが受信できない	【メール（Outlook）】 ● メールの一部を受信するように設定していませんか。 「メッセージのダウンロード制限」を「ヘッダーのみ」にしていると一部しか受信しません。 全文を受信するときは、「メッセージ全体」にしてください（☞4-12 ページ）。 【SH メール】 ● メールの一部を受信するように設定していませんか？ アカウントの設定画面（ 動作設定 タブ）で「メールの一部を受信する」にチェックを付けていると、メールの一部しか受信しません。 このような場合は、メールの全部（全体）を受信してください（☞4-44 ページ）。

困ったときは

こんなときは	ここをお確かめください
● 長い件名のメールを送受信すると、件名が文字化けするときがある（“メール”）	【メール（Outlook）】 ● 送受信するメールの件名が全角で 19 文字以上になると件名が文字化けする場合があります。件名は、全角 18 文字（半角 36 文字）までにしてお使いください。
● 添付メールは何 MB まで対応できますか？	【メール（Outlook）】 ● 仕様としての制限はありません。 本体メモリーの空き容量やサーバーによって異なります。 【SH メール】 ● 3MB 未満
● メールアカウントは、複数設定できますか？	● 【メール（Outlook）】 ：7 件 【SH メール】 ：10 件
● 絵文字に対応していますか？	● 絵文字には対応していません。絵文字は送信／受信ともにお使いいただけません。
● miniSD カードに直接メールを受信できますか？	● miniSD カードに、直接、メールを受信することはできません。 また、受信後のメールを miniSD カードに移動／コピーすることもできません 。 添付ファイルのみ、データ保存領域を miniSD カードに設定することができます。
● メールが文字化けする	【メール（Outlook）】 ● 長文のメールの場合、文字化けすることがあります。改行を入れて文章を区切ったり、文章を短くしてください。
● 設定したメールアカウントを削除する方法を教えてください。	【メール（Outlook）】 ● メールの一覧画面で メニュー － ツール － オプション から、削除したいアカウントをタップしたままにして表示されたメニューから 削除 － はい をタップします。 【SH メール】 ● 受信トレイ一覧画面などで、メニュー － その他 － アカウント設定 から、削除したいアカウントを選択し 削除 － はい をタップします。
● メールを受信後にサーバーから消す設定はできますか？	【メール（Outlook）】 ● アカウントの設定で行います（☞4-11 ページ）。 【SH メール】 ● アカウントの設定で行います（☞4-44 ページ）。

その他のプログラムで困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● プログラムの終了はどのようにするの	● 画面の右上の ok や ✕ をタップしただけでは、プログラムは終了しません。1-54 ページに記載の方法で、プログラムを終了してください。
● メモリー不足の画面が表示された	● 使っていないプログラムを終了してください（☞1-54 ページ）。
● 画面の縦横切り替えなどが遅い	● 使っていないプログラムを終了してください（☞1-54 ページ）。
● 他の機種から電話帳などを転送できない	● 本製品は Microsoft Outlook と同期できます。お使いの機種が Outlook と同期できる場合は、その機種と Outlook を同期したのち本製品と同期することで転送することができます。
● ワンセグ TV が視聴できない	● EM chip が取り付けられていないときや、ご契約を解約されているときは、ワンセグ TV を視聴できません。
● ワンセグ TV が別売の RGB アダプタから出力されない	● ワンセグ TV は、別売の RGB アダプタから出力することはできません。
● Excel Mobile や Word Mobile で作ったファイルを SO1SH などで開くことができない	● Excel Mobile や Word Mobile で新規に作ったファイルは、この製品に入っている Excel Mobile と Word Mobile でないと開くことができません。SO1SH にデータを送付する場合などは、以下のようにしてテンプレートを使用してファイルを作成してください。 **テンプレート選択方法** **1** Excel Mobile または Word Mobile を起動し、一覧画面を表示します。 **2** 画面上部の［すべてのフォルダ］をタップし、さらに［テンプレート］をタップします。 **3** Excel Mobile では、「空白の 97-2003 ブック」を選択し、Word Mobile では、「Word97-2003 文書」を選択します。 **4** 文章や表のデータを入力し保存します。

同期（ActiveSync）操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● パソコンに付属のCD-ROMをセットするとエラー表示が出る	● お使いのパソコンにインストールされているAdobe Flash Playerのバージョンが古い場合、エラー表示が出ることがあります。 8-3～4ページをご覧になり、Adobe Flash Playerを最新のバージョンにアップデートしてみてください。
● ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターがインストールできない ● 接続／同期ができない	● パソコンにウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトをお使いのときは、それらを停止してからインストールしてください（ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトを停止する方法は、各ソフトウェアの問い合わせ先へご確認ください）。 ● パソコンにOutlookがインストールされているか確認してください。
● 付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続しても、動作しない	● パソコンに正しく接続されているか確認してください（☞8-9ページ）。 ● ActiveSyncの接続設定を確認してください。 1.パソコンのActiveSyncを起動させます。 2.[ファイル]－[接続の設定]で、「USB接続を有効にする」にチェックが付いているか確認してください。 ● 接続方法を変えてみてください（☞8-24ページ）。 ● PINコードが設定されていたり、PINロック状態、EM chipが取り付けられていないときは、USBポートが使用できなくなります。PINコードが設定されていないか、PINロック状態でないか、EM chipが取り付けられているか確認してください。
● 同期がうまく取れなくなってしまったのですが	● 複数のアプリケーション（プログラム）を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください。 ● 同期中に接続／切断を繰り返したり、USBケーブルを取り外したりすると、正しく接続できなくなることがあります。 このような時は、本体をリセットし、パソコンを再起動させてからもう一度接続してください。

こんなときは	ここをお確かめください
● 同期する情報の種類を変更するには、どうすればよいのですか？	● 次の操作をしてください。 1.パソコンの ActiveSync を起動させます。 2.[ツール] − [オプション] をクリックします。 3.同期する情報の種類を変更して [OK] をクリックします。
● インストール直後、同期できず、エラー（「サポートコード：85010014」）が表示される。	● Microsoft Outlook を起動し､「ヘルプ」メニュー −「アプリケーションの自動修復」をクリックします。 自動修復完了後、Windows の「スタート」メニュー −「コントロールパネル」−「プログラムの追加と削除」をクリックし、プログラムの追加と削除画面で Microsoft ActiveSync を選択し [変更] をクリックします。表示された画面で [次へ] をクリックし、次の画面で「修復」を選択し [次へ] をクリックします。
●「Outlook を既定の設定にしてください」と表示され同期できない。 ●「デフォルトのメールクライアントを設定されていないか、現在のメールクライアントがメールを受け取れない状態にあります。Microsoft Outlook を起動してデフォルトのメールクライアントに指定してください。」と表示され同期できない。	● パソコンの “Internet Explorer” を起動し､「ツール」メニュー −「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」の項目を「Microsoft Office Outlook」にします。

困ったときは

こんなときは	ここをお確かめください
● エラー（「サポートコード：8503001f」）が表示され同期できない。 ●「プロファイル保護がかかっています。プロファイルを作成し直してください。」と表示され同期できない。 ●「電子メールは既に Windows PC と同期しているため同期できません。」と表示され電子メールの同期ができない。 ● エラー（「サポートコード：80072EE2」）が表示され同期できない。	● 現在の同期設定を削除（モバイルデバイスの削除）し、再度、モバイルデバイスを作り直します。パソコンと本製品の接続を外して、パソコンと本製品に設定されているモバイルデバイスを削除してください。削除後、再度同期を行うと新しいモバイルデバイスが設定されます。 以下の方法でモバイルデバイスを削除してください。 パソコン：ActiveSync 画面の「ファイル」メニューの「モバイルデバイスの削除」をクリックして確認画面で [はい] をクリックします。 本製品　：プログラム画面で“ActiveSync”をタップし表示された ActiveSync 画面で メニュー － オプション をタップし、オプション画面で 削除 をタップして確認画面で はい をタップします。 パソコンと本製品の両方のモバイルデバイスを削除した後、USB ケーブルで接続すると「同期セットアップウィザード」画面が表示されますので画面にしたがって操作して同期を行ってください。
● ActiveSync インストール後に Outlook をインストールしたり、Windows Media Player をインストールまたは Windows Media Player をアップグレードしたときは？	● ActiveSync の修復を行ってください。修復の方法は、前ページの 2 つ目の「ここをお確かめください」をご覧ください。

PCモデム操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● インターネットに接続できない	● ドライバが正しくインストールされているか確認してください（☞8-30、8-33ページ）。 ● 接続方式がモデムに設定されているか確認してください（☞8-36ページ）。 ● 電波状況が良好か確認してください（☞1-3、1-40ページ）。 ● PINコードが設定されていたり（PIN）、PINロック状態（LOCK）、EM chipが取り付けられていない（USIM）ときは、モデムとして使用できなくなり、ネットワークに接続することができなくなります。PINコードが設定されていないか、PINロック状態でないかEM chipが取り付けられているか確認してください。 ● ✕になっていませんか。✕のときはインターネットに接続できません。HSDPA通信を有効（オン）にしてください（☞2-3ページ）。 ● APN設定が正しことを確認してください（☞2-4ページ） ● S01SH Ⅱ単体でインターネット接続していないことを確認してください（タイトルバーの接続アイコンが ✕ になっていることを確認してください）。 ● ご使用のパソコンにすでに本製品以外のモデムが接続され、そのドライバがインストールされていませんか。 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続せずに8-37ページの手順**4**と**5**を行うと、すでに接続されているモデムを使って接続しようとします（この場合、接続できません）。 このようなときは、ダイヤルアップのアイコンのプロパティ画面を表示し、接続方法を「GlobeTrotter Module 3G+ Modem」に設定し直してください。 ● いったんUSBケーブルを取り外し、再度接続してください。 ● いったんS01SH Ⅱの電源を切って、再度電源を入れてください。 ● S01SH Ⅱをリセットしてください（☞12-2ページ）。

付録

異常が起きたとき

異常が起きたときは、まず「困ったときは」（☞11-2 ページ）を参照してください。「困ったときは」をご覧になっても症状が改善されず、データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しく働かない、通信・ネットワーク接続ができないなど異常状態のときは、AC アダプタを接続し、10 分～ 20 分程度充電したあと、次の対処方法を順に試してみてください。

① **リセット**	データが正常に表示されないときや、画面タップやキー操作が正しく動作しないときなどに試してみてください。	☞ 下記
② **フルリセット**	リセット（①）をしても正常に動作しないときなどに、試してみてください。	☞ 次ページ
③ **完全消去（フォーマット）**	リセット（①）やフルリセット（②）をしても動作しないときや、全データを消去するときなどに行います。	☞12-5 ページ

① リセット（再起動）する

データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しく働かない、などのときにリセット操作を試してみてください。リセット操作を行うと編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

ご注意 ● 手順にしたがって操作をするときは、本体側面を持ち画面に指が触れないようにしてください。

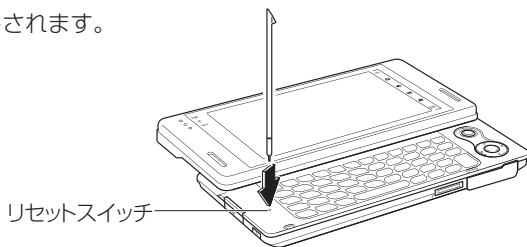
1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞1-14 ページ）。**

動作しない場合には、手順 **2** へ進んでください。

2 **本製品に USB ケーブルや miniSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

3 リセットスイッチをスタイラスペンで押します。

リセットされます。

リセットスイッチ

4 自動的に電源が入り、しばらくすると Today 画面が表示されます。

電源が入らないときは、電池カバーがきっちり取り付けられているか確認し、AC アダプタを接続して充電してください。また、電池パックを入れ直してください。Today 画面表示後は、時刻が合っているか確認してください。

② フルリセットする

リセット（再起動）（☞ 前ページ）しても正常に動作しないときは、次の方法でフルリセットしてください。この方法も編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。
設定している日付／時刻は失われます。フルリセット後は必ず日付／時刻を設定（☞ 12-5 ページの手順 **8**）してください。

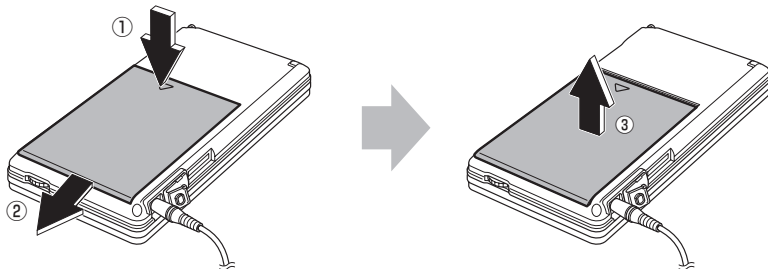
1 すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞1-14 ページ）。

動作しない場合には、手順 **2** に進んでください。

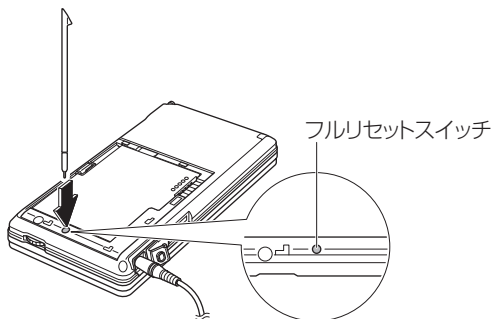
2 本製品に USB ケーブルや miniSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

3 本体裏側の電池カバーを取り外します。

1 ▽マークを矢印の方向に押し（①）ながら、スライドします（②）。
2 持ち上げて取り外します（③）。

①
②
③

4　約 15 秒以上待って、フルリセットスイッチをスタイラスペンで押します。

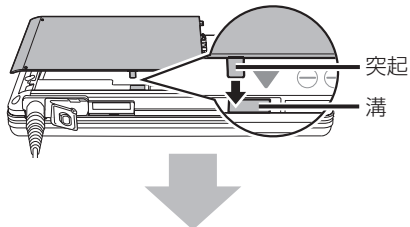
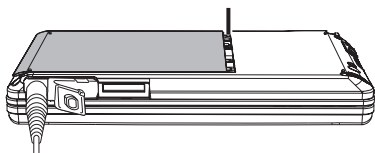
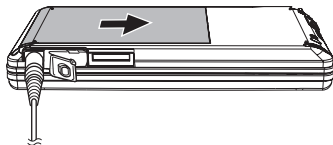
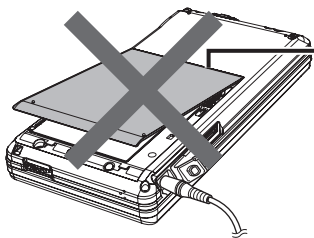
フルリセットされます。

フルリセットスイッチ

5　電池カバーを取り付けます。

電池カバーはきっちりと取り付けてください。電池カバーをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。

1 電池カバーの突起が電池収納部の溝に合うようにして、本体とすき間を 3mm 程度あけて電池カバーを本体にのせます。

突起

溝

すき間（3mm 程度）

2 電池カバーをそのまま矢印方向にスライドさせて取り付けます。

ご注意 ● **誤った取り付けかた**
ロックツメを先にはめ込まないでください。

ロックツメを先にはめ込んで上から押さえると、電池カバーのツメや本体のツメが変形する原因になります。

6 **電源を入れます。**

電源が入らないときは、AC アダプタを接続して充電してください。

7 **しばらくすると、Today 画面が表示されます。**

8 **時計画面を表示し、日付／時刻を設定します。**

時刻設定画面は、Today 画面でをタップして「時計とアラーム」画面を表示します。
「時計とアラーム」画面については、10-32 ページをご覧ください。

ご注意 ● フルリセット後は必ず手順 **8** を行い、日付／時刻を合わせてください。

③ 完全消去する（フォーマット）

12-2 ～ 5 ページの①と②を行っても正常に動作しないときなどは、本体の全データを消去してフォーマットします。

ご注意 ● **データがすべて消去されます。**
ご購入後に入力したデータや設定、追加したプログラムなどがすべて消去されます。日付／時刻データも失われますので、手順 **12** を必ず行ってください。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞1-14 ページ）。**

動作しない場合には、手順 **2** に進んでください。

2 **本製品に USB ケーブルや miniSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

3 **本体裏側の電池カバーを取り外します（☞12-3 ページ「②フルリセットする」の手順 3）。**

付録
異常が起きたとき

4 約 15 秒以上待って、フルリセットスイッチをスタイラスペンで押します（☞12-4 ページの手順 **4**）。

5 電池カバーを取り付けます（☞12-4 ページの手順 **5**）。
さらに AC アダプタを接続します。

6 本体を表にして、キーボードを開きます。

7 (Fn) キーと (F) キーの両方を押したままで、電源を入れます。
しばらくすると本体が起動し、メンテナンスメニュー画面が表示されます。

8 (2) キーを押します（「フォーマット」を選択します）。

9 確認画面が表示されたら、キーボードの (Enter)（OK）キーを押します。

完全消去が始まります。完全消去が終わると、セットアップ（手順 **10** 以降）が始まりますので画面に従って操作します。

10 セットアップ画面が表示されたら画面をタップします。

11 タッチスクリーンの補正画面が表示されますので、十字マークの中心を少し長くタップします。

タップすると十字マークが移動します。同様にタップし、同じ操作を繰り返します。

12 タッチスクリーンの補正が終了すると、日付／時刻表示画面が表示されます。

タイムゾーンが [GMT + 9 東京、大阪] になっていることを確認します。
日付欄の ▼ をタップして表示されたミニカレンダーから、今日の日付をタップします。さらに、時刻欄の時分秒を合わせます。

13 [次へ] をタップします。

14 パスワードを設定する／しないの確認画面が表示されますので、[次へ] または [スキップ] をタップします。

これ以降、画面にしたがって操作します。

電池パックについて

電池パックを安全にお使いいただくために、「安全にお使いいただくために」(☞0-9ページ)をよくお読みください。

使用できる電池パック

電池パック:PBS01SHZ10
大容量電池パック:PBS02SHZ10(別売)
これら以外の電池パックは使用しないでください。

MEMO
- 通常は、電源を切った状態で充電し始めてから約3.5時間(常温25℃)で満充電されますが、工場出荷時からの時間の経過により、ご購入直後の充電時間は変わります(大容量電池パックの場合は、約6時間)。
- 電池パックは、ご使用にならなくても自然に放電します。電池残量が少なくなることによるトラブルを避けるために、長期間ご使用にならないときは、使用される前に充電されることをおすすめします。

充電する

本製品に電池パックを取り付け、ACアダプタを接続して充電します(☞1-7ページ)。
使用しながら充電を行った場合、充電が完了するまで長い時間がかかるため、充電するときは電源を切ることをおすすめします。
充電中に温かくなることがありますが、故障ではありません。

残量を確認する

電池残量は、タイトルバーの電池残量のアイコンで確認することができます(☞1-41ページ)。
パワーマネージメント画面(バッテリタブ)でも確認できます(☞10-21ページ)。

電池パックの交換について

電池パックは繰り返し使用するうちに劣化し、使用できる時間が短くなってきます。満充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、電池パックの寿命ですので、交換してください。

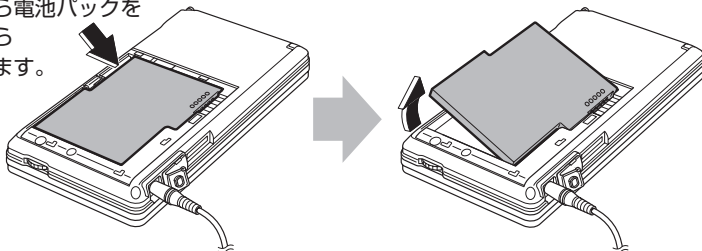
電池パックを交換する

1 本製品の電源を切ります（☞1-14 ページ）。
また、USB ケーブルを接続しているときは、取り外します。

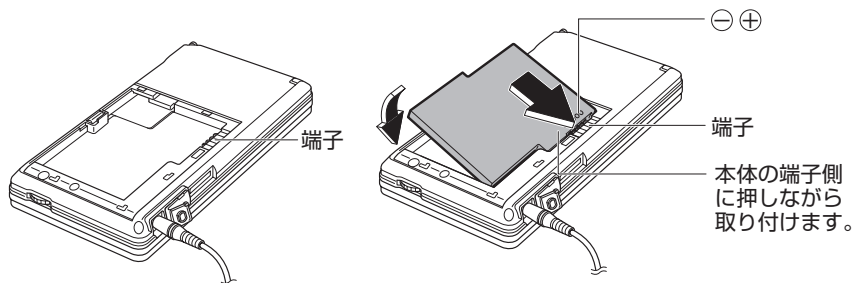
2 表示が消えたことを確認してから、裏返します。

3 AC アダプタを接続します（☞1-7 ページ）。

4 本体裏側の電池カバーを取り外します（☞12-3 ページ「②フルリセットする」の手順 **3**）。

5 電池残量が少なくなった電池パックを持ち上げて取り外します。

ご注意 ● 電池パックは端子面を下にして金属などの導電性物の上に置かないでください。ショートの原因になります。

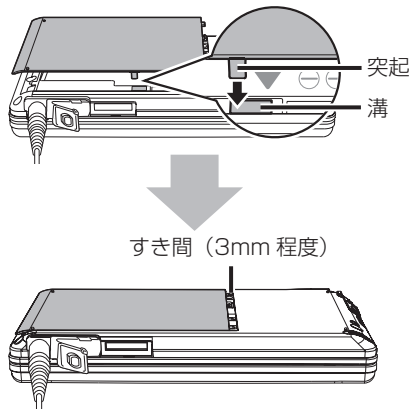
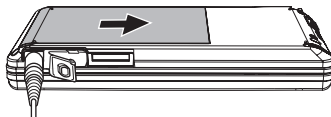
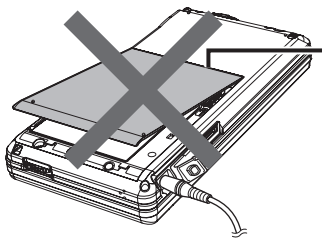
6 図のように本体の端子と電池パックの端子が合うようにして電池パックを取り付けます。

ご注意 ● 充電端子などに金属片や鉛筆の芯などの導電性の物が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因になります。

7 電池カバーを取り付けます。

電池カバーはきっちりと取り付けてください。電池カバーをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。

1 電池カバーの突起が電池収納部の溝に合うようにして、本体とすき間を 3mm 程度あけて電池カバーを本体にのせます。

突起
溝

すき間（3mm 程度）

2 電池カバーをそのまま矢印方向にスライドさせて取り付けます。

ご注意 ● **誤った取り付けかた**
ロックツメを先にはめ込まないでください。

ロックツメを先にはめ込んで上から押さえると、電池カバーのツメや本体のツメが変形する原因になります。

8 電源を入れます。電源が入らないときは手順 1 からやり直してください。

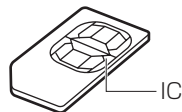
電源が入ります。

AC アダプタを接続せずに電池パックを交換したときは、日付と時刻が合っているか確認してください。合っていないときは、10-32 ページをご覧になり設定してください。

EM chip（USIM カード）について

EM chip は電話番号やお客さま情報が入った IC カードです。EM chip 対応の機器に取り付けて使用します。EM chip が取り付けられていないときは、HSDPA 通信、ワイヤレス LAN、Bluetooth、USB 機能、ワンセグ TV が利用できません。

- EM chip についてくわしくは、EM chip の台紙に記載されている取扱説明を参照してください。
- EM chip の取り付け、および取り外し時のご注意については、EM chip の台紙に記載されている取扱説明ならびに 0-18 ページをご覧ください。
- 他社の IC カードリーダーなどに、EM chip を挿入して故障したときは、お客さまご自身の責任となり当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- EM chip にラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

IC

EM chip

S01SH Ⅱを落としたり、強い衝撃を与えたとき

EM chip を正しく認識しなくなることがありますのでご注意ください。

EM chip についてのその他ご注意

- EM chip の所有権はイー・モバイル株式会社に帰属します。
- 紛失・破損などによる EM chip の再発行は有償となります。
- 解約・休止などの際は、EM chip を当社にご返却ください。
- EM chip の仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- EM chip や、本製品（EM chip 装着済）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、ご契約先の問い合わせ窓口（☞ 裏表紙の前ページ）までご連絡ください。

EM chip（USIM カード）を取り外す／取り付ける

1 本製品の電源を切ります（☞1-14 ページ）。

2 本製品に AC アダプタや USB ケーブル、miniSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

ご注意 ● AC アダプタなどは必ず取り外してから次の手順を行ってください。

3 本体裏側の電池カバーと電池パックを取り外します（☞12-8 ページ）。

4 EM chip を取り外します。または、取り付けます。

EM chip を図のようにして、取り外します。

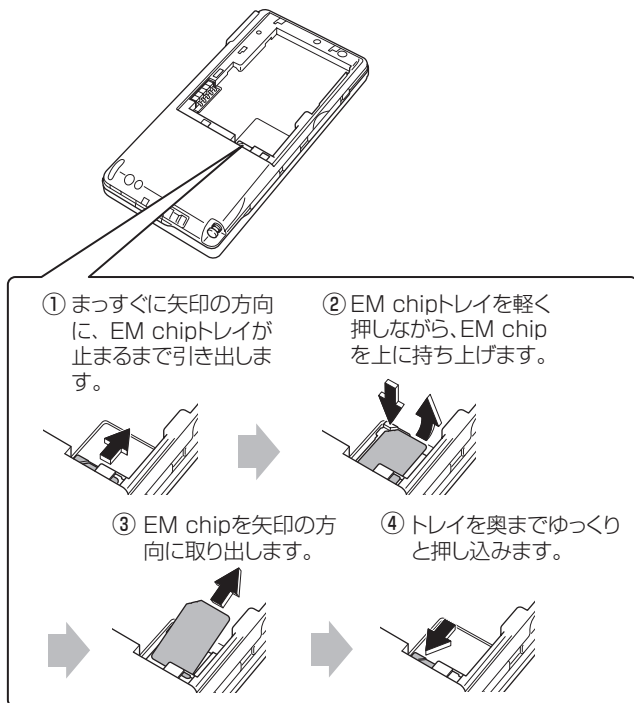
取り外す

EM chip のトレイを引き出し、EM chip を取り外します。取り外した後は、トレイを元に戻します。

①まっすぐに矢印の方向に、EM chipトレイが止まるまで引き出します。

②EM chipトレイを軽く押しながら、EM chip を上に持ち上げます。

③EM chipを矢印の方向に取り出します。

④トレイを奥までゆっくりと押し込みます。

取り付ける

トレイを引き出し、EM chip を取り付けます。
IC 部を下向きにし、奥に入るようにして、EM chip を取り付けます。
奥までしっかりと取り付けてください。しっかりと取り付けていないと、正常に動作しませんので、ご注意ください。

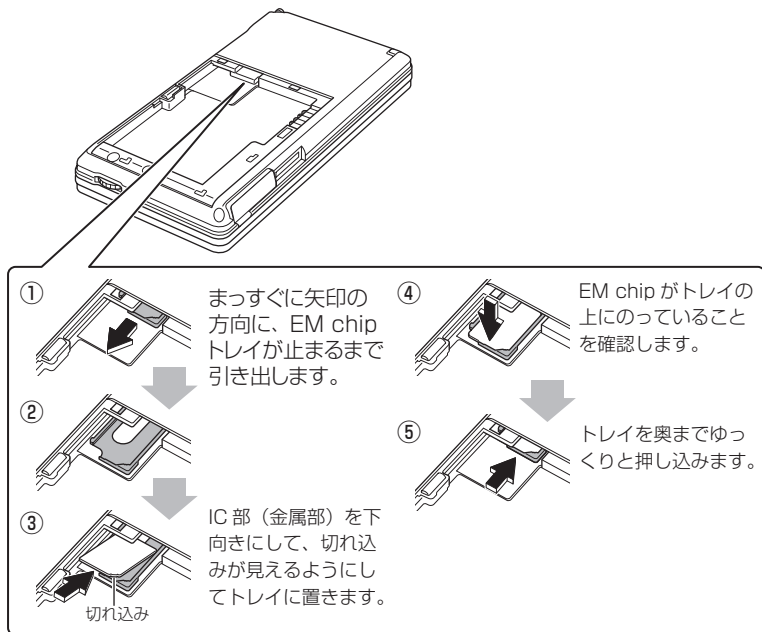
①まっすぐに矢印の方向に、EM chip トレイが止まるまで引き出します。

②

③IC 部（金属部）を下向きにして、切れ込みが見えるようにしてトレイに置きます。

切れ込み

④EM chip がトレイの上にのっていることを確認します。

⑤トレイを奥までゆっくりと押し込みます。

5 **電池パックを取り付け、さらに電池カバーを取り付けます（☞12-9 ページ）。**

6 **電源を入れます。**

※上記の方法で正常に動作しない場合は、フルリセット（☞12-3 ページ）を行ってください。

7 **Today 画面で をタップして「時計とアラーム」画面を表示し、日付と時刻を確認します。**

「時計とアラーム」画面については、10-32 ページをご覧ください。

PIN コードを設定する／設定を解除する

EM chip（USIM カード）には、「PIN コード」という暗証番号があります。
この PIN コードを設定すると、本製品の HSDPA 通信を使用できなくして無断使用を防ぐことができます。
また、同時に以下のこともできなくなります。

- ワイヤレス LAN や Bluetooth を使った通信ができなくなります。
- USB ポート（ActiveSync など）が使用できなくなります。
- ワンセグ TV の視聴ができなくなります。

ご購入時、PIN コードは「9999」（半角数字）になっています。PIN コードを変更するときは、12-16 ページをご覧ください。

ご注意

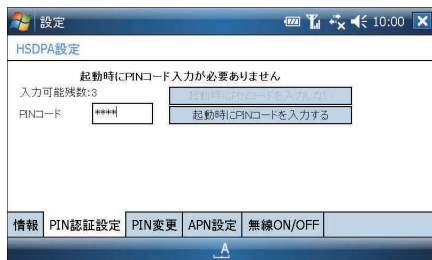
- PIN コードの入力を 3 回連続して間違えると PIN ロック状態となり、それ以降 PIN コードの入力を受け付けなくなります。この PIN ロックを解除するために PIN ロック解除コードの入力が必要となります。
  「PIN ロック解除コード」については、ご契約先の問い合わせ窓口（☞ 裏表紙の前ページ）までご連絡ください。
- **PIN ロック解除について**
  PIN ロック解除コード入手後、PIN ロック解除画面で PIN ロック解除コードと新しい PIN コードを入力すると、PIN ロック解除ができます。
  PIN ロック解除コード入力時に 10 回連続して間違えるとロック解除ができなくなり、EM chip の再発行（有償）が必要となります。あらかじめご了承ください。

PIN コードを設定する

PIN コードを設定し HSDPA 通信を使用できなくします。

1 **設定画面（ 接続 タブ）を表示し、 “HSDPA 設定”をタップします。**

2 **PIN 認証設定 タブをタップし、PIN コード入力欄に PIN コードを入力し、起動時に PIN コードを入力する をタップします。**

ご購入時の PIN コードは「9999」（半角数字）です。

PIN コードが設定されます。
次回、電源を入れたとき PIN コード認証画面が表示され、PIN コードを入力しないと HSDPA 通信、ワイヤレス LAN、Bluetooth、USB ポート、ワンセグ TV の使用ができなくなります。

設定した PIN コードを一時的に解除する

この方法は一時的に設定した PIN コードを解除します。次回、電源を入れると PIN コードが設定された状態に戻ります（電源を入れたときに、PIN コード認証画面が表示されます）。

1 **表示された PIN コード認証画面で、PIN コードを入力し OK をタップします。**

PIN コード認証画面は、電源を入れたとき、またはタイトルバーに表示されているアイコン をタップして表示される画面で PIN コード認証を行う をタップすると表示されます。

2 **PIN コードが解除され、HSDPA 通信が行えます。**

ただし、次に電源を入れると PIN コードが設定された状態になり、PIN コード認証画面が表示されます。

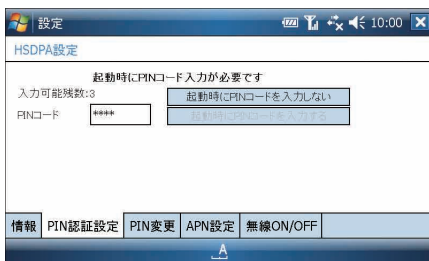
設定した PIN コードを解除する

この操作を行うと、常に HSDPA 通信が使用できる状態（電源を切ったあと次に電源を入れても PIN コードは解除された状態）になります。

1 設定画面（ 接続 タブ）を表示し、 “HSDPA 設定” をタップします。

2 PIN 認証設定 タブをタップし、PIN コード入力欄に PIN コードを入力し、起動時に PIN コードを入力しない をタップします。

ご購入時の PIN コードは、「9999」（半角数字）です。

設定
10:00
HSDPA設定
起動時にPINコード入力が必要です
入力可能残数:3
PINコード ****
起動時にPINコードを入力しない
起動時にPINコードを入力する
情報 PIN認証設定 PIN変更 APN設定 無線ON/OFF

PIN コードが解除され、常に HSDPA 通信が使用できる状態になります。

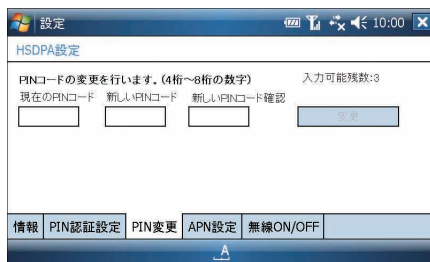
PIN コードを変更する

現在の PIN コードから別の PIN コードに変更します。
PIN コードとして指定できるのは、4 桁〜 8 桁の半角数字です。

1 **PIN コードを設定します。**

PIN コードを変更するには、PIN コードが設定されていることが必要です。
PIN コード設定方法は、12-13 ページをご覧ください。

2 **HSDPA 設定画面で PIN 変更 タブをタップします。**

3 **「現在の PIN コード」欄に現在の PIN コードを入力します。そして、「新しい PIN コード」欄に新しい PIN コードを入力し、さらに「新しい PIN コード確認」欄に新しい PIN コードを再度入力します。**

4 **変更 をタップします。**

PIN コードが変更されます。

ご注意
- PIN コードを変更したときは、新しい PIN コードをメモに書くなどして忘れないようにしてください。
  PIN コードの入力を 3 回連続して間違えると PIN ロック状態となり、それ以降 PIN コードの入力を受け付けなくなります。PIN ロック解除コードの入力が必要となります。PIN ロック解除コードについては、ご契約先の問い合わせ窓口（☞ 裏表紙の前ページ）までご連絡ください。

ローマ字→かな変換表

キーボードまたは文字入力パネルでローマ字入力することができます。

あア行	A	I	U	E	O
かカ行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さサ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
たタ行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
なナ行	NA	NI	NU	NE	NO
はハ行	HA	HI	HU FU	HE	HO
まマ行	MA	MI	MU	ME	MO
やヤ行	YA		YU		YO
らラ行	RA	RI	RU	RE	RO
わワ行	WA				WO（を）
んン	N	NN			

がガ行	GA	GI	GU	GE	GO
ざザ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だダ行	DA	DI	DU	DE	DO
ばバ行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱパ行	PA	PI	PU	PE	PO

きゃキャ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃシャ行	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃチャ行	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
にゃニャ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃヒャ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃミャ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃリャ行	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃギャ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃジャ行	ZYA JA JYA	ZYI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃヂャ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃビャ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃピャ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
いぇイェ行				YE	
くぁクァ行	QA KWA QWA	QI QWI	QWU	QE QWE	QO QWO
ぐぁグァ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
つぁツァ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃテャ行	THA	THI	THU	THE	THO
でゃデャ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふぁファ行	FA	FI		FE	FO
ふゃフャ行	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
うぃウィ行		WI			
うぇウェ行				WE	
とぅトゥ行			TWU		
どぅドゥ行			DWU		
ヴぁヴァ行	VA	VI	VYU	VE	VO

●撥音（はつおん）の入力

- "ん、ン" の次に母音または "Y" がくるときや "ん、ン" で終わるとき "N" を 2 回入力する
  ほんやく→ HONNYAKU
  はんい→ HANNI
  ほん→ HONN
- 上記以外のとき
  ほんき→ HONKI

●促音の入力

"N" と "Y" 以外の子音を重ねる
けっか→ KEKKA
トップ→ TOPPU

●特殊な表現の入力

ヴゅ→ VYU

MEMO ● ［網掛け］：ATOK では入力できません。

●小さい文字（ァ、ィ、ゥ、ェ、ォ、ヵ、ヶ、ッ、ャ、ュ、ョ、ヮ）の単独入力

- "X" または "L"(エル) の次に、それぞれの文字を入力する。
  ティータイム→ TEXI-TAIMU
  トップ→ TOXTUPU
- "ヵ" と "ヶ" はカタカナで入力される。

仕様について

本体

形名	S01SHⅡ	
OS	Microsoft® Windows Mobile® 6 Classic 日本語版	
CPU	Marvell® PXA270 520MHz	
本体メモリ	Flashメモリ512MB(本体システム領域等含む) SDRAM 128MB(ワークエリア)	
表示部	800×480 ドット　4.1型　65,536色(バックライト付き)	
通信機能	HSDPA	最大:3.6Mbps(受信)、384Kbps(送信)
	ワイヤレスLAN	IEEE802.11b/g準拠
	Bluetooth	Bluetooth1.2
テレビ機能	地上デジタル放送「ワンセグ」受信	
内蔵カメラ	有効画素数：約131万画素(接写機能付)	
カードスロット	miniSD™カードスロット×1、EM chipスロット×1	
接続端子	miniUSB端子(miniAB)、ACアダプタ端子、イヤホンマイク端子(平型)、クレードル端子、RGBアダプタ端子	
電源	DC 3.7V　電池パック：リチウムイオン充電池(PBS01SHZ10)	
消費電力	約7W	
使用温度	0～40℃	
使用時間※1	約4時間:付属の電池パック(PBS01SHZ10) 約7時間:別売の大容量電池パック(PBS02SHZ10)	
外形寸法	(高さ)約70mm×(幅)約140mm×(厚さ)約18.9mm (キーボード収納時、突起部除く)	
質量	約250g(電池パック、スタイラスペンを含む)	
付属品	電池パック(PBS01SHZ10)、USBケーブル、ACアダプタ(PCS01SHZ10)、ケース※2、スタイラスペン、『安全にお使いいただくために』、『はじめにお読みください』、『取扱説明書』※2、CD-ROM、保証書	

(次ページへ続く)

※1 使用環境、機能の設定状況などにより、使用時間は変動します。
満充電の電池パックの場合、本体の電源が OFF の状態でも約 10 日間経過すると完全に消耗します。
満充電の大容量電池パックの場合、本体の電源が OFF の状態でも約 16 日間経過すると完全に消耗します。

※2 ご購入時、箱とは別にお渡しします。

プログラム	StationMobile for S01SH(ワンセグTV)、SHメール、ホームメニュー、ネットウォーカー、バーコードリーダ、メール(Outlook)、Opera Browser、Internet Explorer Mobile、パケットカウンタ、DicLand辞書、予定表、連絡先、仕事、メモ、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、Word Mobile、Windows Media Player 10 Mobile、カメラ、画像とビデオ、名刺リーダ、電卓、ゲーム、Sprite Backup、Picsel PDF Viewer、ActiveSync、ブンコビューア、Messenger、Windows Live、リモートデスクトップモバイル

電池パック（PBS01SHZ10）

公称電圧	3.7V
公称容量	1200mAh
充電時間	満充電になるまでの時間 ： 約3.5時間(常温25℃、電源を切った状態での目安)
使用温度	0～40℃
充電温度	0～40℃
充放電回数	約500回

AC アダプタ（PCS01SHZ10）

入力	100V-240V 50/60Hz
出力	DC 5V 1.5A

- Original SSLeay License

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED
WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT
SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

● OpenSSL License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted
provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

保証とアフターサービス

保証について

- お買上げいただくと、保証書がついています。
  記載内容および「お買上げ日・販売店」の記載事項をよくお確かめの上、大切に保管してください。
- 保証内容については保証書に記載されております。

修理について

- 修理を依頼される場合、この説明書をお読みになり、もう一度ご使用方法や設定状態をご確認ください。それでも改善、復旧しない場合は、ご契約先の問い合わせ窓口（☞ 裏表紙の前ページ）までご相談ください。
- 保証期間中の修理
  保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間経過後の修理
  修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償にて修理いたします。

ご注意
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信等の機会を逸したために発生した損害など付随的な損害の保証については当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録されたデータやお客さまが独自に設定、インストールされたソフトが消去される（出荷時の初期状態となる）場合があります。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理を受付できませんのでご注意ください。

修理用部品

本製品および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後 5 年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせ先

イー・モバイル カスタマーセンター

0120-736-157

受付時間　9：00 ～ 21：00（年中無休）

ホームページ　http://emobile.jp/